
2002

[第16回]

**牛乳・乳製品の
消費動向に
関する調査**

社団法人全国牛乳普及協会
後援：農林水産省 農畜産業振興事業団

はじめに

当協会が1987年に牛乳・乳製品の消費動向に関する総合的な調査を始め、今年で16回目になります。この調査は、毎年、牛乳・乳製品に関して、全国で6,000人の消費者を対象に行うもので、酪農・乳業界にとどまらず、他の食品業界、研究団体そしてマスコミ等多方面の方々にも種々ご活用を頂いております。

さて、この消費動向調査は、牛乳・乳製品の飲食・購入・嗜好等に関する基本的な項目を系列的に地域・年代等に偏りなく調べ、消費の構造や動向を把握するとともに、社会経済上の新たな事象や変化に対する消費者の対応に関する調査テーマを設け、新しい消費者の意識や行動を把握し、牛乳・乳製品の消費拡大方策を探るための資料を得ることを目的に、時系列を重視しつつ実施してきました。

しかしながら、世代による牛乳の飲み方が大きく異なってきた中で、これらを一本で捉えたのでは、消費者の実態を把めないと判断し、今年度から、過去との連続性のある程度犠牲にしても、飲み方別の調査に切り替えるとともに、今年度は特に、小学生以下の子供の飲用実態（乳幼児から小学生）を取り入れました。また、新規にライフステージ別分析、牛乳パックの表示の変更や切欠き等の認識状況、BSEの影響等も加えました。

当報告書は、食品の安全・安心を問われている中で、事業に関わる多くの方々にご一読賜り、牛乳・乳製品の消費についてのご理解の一助に、そして、普及活動、マーケティング活動のヒントにして頂ければ幸いです。

2002年12月

社団法人 全国牛乳普及協会
会長 海野 研一

目 次

調査設計

調査目的	1
本年度調査テーマ	1
調査方法	1
サンプル構成	3
主な分析軸	4

調査結果の詳細

I 白もの牛乳類の飲用実態

1. 白もの牛乳類の飲用頻度	7
1) そのまま飲む頻度	7
2) 他のものと混ぜて飲む頻度	8
3) シリアルなどにかける頻度	9
4) 季節による変動	10
2. 白もの牛乳類の飲用量	13
3. 白もの牛乳類のユーザー分類	18
1) 飲用行动別ユーザー分類	18
2) 飲用意識別ユーザー分類	19
3) 飲み方パターン別ユーザー分類	20
4) ユーザー分類別の白もの牛乳類飲用量	21
4. 白もの牛乳類の飲み方	22
5. 白もの牛乳類の飲用場所と飲用シーン	27
1) 白もの牛乳類の飲用場所	27
2) 白もの牛乳類の飲用シーン	29
6. 白もの牛乳類を飲む理由と飲まない理由	32
1) 白もの牛乳類を飲む理由	32
2) 白もの牛乳類を飲まない理由	34
7. 白もの牛乳類の種類	35

II 子供の白もの牛乳類の飲用実態

1. 子供の白もの牛乳類の飲用頻度	41
2. 子供の白もの牛乳類の飲用量	43
3. 子供の白もの牛乳類の好き嫌い	45
1) そのまま飲む場合の好き嫌い	45
2) 他のものと混ぜて飲む場合の飲用	46
4. 子供の白もの牛乳類の飲用場所	47

III 白もの牛乳類の購入実態と常備実態

1. 白もの牛乳類の購入頻度	49
2. 白もの牛乳類の購入場所	51
3. 白もの牛乳類の常備実態	58
1) 白もの牛乳類のサイズ別常備本数	58
2) 白もの牛乳類の常備バリエーション	59

IV 乳製品の飲食頻度と常備実態

1. 乳製品の飲食頻度	63
1) 普通のヨーグルト(食べるタイプ)の食用頻度	63
2) ドリンクヨーグルトの飲用頻度	65
3) チーズの食用頻度	67
4) バターの食用頻度	69
2. 乳製品の常備実態	71
1) 白もの牛乳類の常備実態	71
2) 普通のヨーグルト(食べるタイプ)の常備実態	75
3) ドリンクヨーグルトの常備実態	79
4) チーズの常備実態	83
5) バターの常備実態	87

V 生活の中の白もの牛乳類

1. 白もの牛乳類を使った料理	91
2. 白もの牛乳類のベネフィットの認識とサプリメント	100
1) 白もの牛乳類のベネフィットの認識	100
2) サプリメントと食生活	105
3. 牛乳容器に対する意識	106
1) よく見る牛乳パックの表示	106
2) 一括表示欄の認知状況	108
3) 一括表示欄を見る頻度	109
4) 切欠きの認知状況	110
4. BSEと牛乳・乳製品の飲食の変化	111
1) 白もの牛乳類・乳製品の飲食の変化	111
2) 白もの牛乳類・乳製品の飲食の回復条件	112

VI 白もの牛乳類と他の飲料

1. 飲用状況	113
2. 飲用シーン	114
3. イメージ	115

<付録1> 各年度のテーマとサンプル数	117
---------------------------	-----

<付録2> 単純集計結果付き調査票	119
-------------------------	-----

調査設計

調査目的

『牛乳・乳製品の消費動向に関する調査』は、1987年度から2001年度まで15回にわたり、毎年全国の消費者に対し調査を実施し、牛乳・乳製品に関する購入実態、飲用実態、牛乳・乳製品に関する意識・知識などを時系列で把握してきた。今回の2002年度調査は、以下に示すような調査テーマを併せて聞くことにより、牛乳・乳製品の消費拡大のための資料を得ることを目的とする。

本年度調査テーマ

- 12歳以下のこどもの白もの牛乳類の飲用実態
- 白もの牛乳類と他の飲料のイメージ・飲用機会
- 白もの牛乳類のもつ様々なベネフィットの認識
- 白もの牛乳類を使った料理の実態
- 牛乳容器の表示と切欠きについて
- BSEと白もの牛乳類・乳製品の飲食の変化

調査方法

1. 調査方法

- ・ 留置併用訪問面接法

2. 調査項目

- ・ 白もの牛乳類の飲用頻度・飲用量
- ・ 白もの牛乳類の飲み方
- ・ 白もの牛乳類の飲用場所・飲用シーン
- ・ 白もの牛乳類を飲む理由と飲まない理由
- ・ 多様な白もの牛乳類の種類について
- ・ 白もの牛乳類の購入実態
- ・ 牛乳容器の表示と切欠きについて
- ・ 家庭での白もの牛乳類の常備実態
- ・ 白もの牛乳類を使った料理の実態
- ・ 12歳以下のこどもの白もの牛乳類の飲用実態
- ・ 乳製品の飲食頻度と常備実態
- ・ BSEと白もの牛乳類・乳製品の飲食の変化
- ・ 白もの牛乳類と他の飲料のイメージ・飲用機会
- ・ 白もの牛乳類のもつ様々なベネフィットの認識
- ・ サプリメントと食生活
- ・ 対象者の属性

3. 調査対象者

全国13歳以上の男女個人 6,000人 設定

4. 抽出方法

住民基本台帳より層化2段抽出

* 層化2段抽出法の手順は以下の通り

まず、平成12年国勢調査時の人口に基づき、地域と都市規模（各5分類）により層化する。第1次抽出単位として各層ごとに国勢調査時に設定された調査区の基本単位区を抽出し、第2次抽出単位として住民登録台帳より個人を抽出する。

調査対象となる個人の抽出は、調査地点の住民登録台帳より、調査対象適格者（今回の場合は13歳以上の男女個人）を等間隔に系統抽出する。

5. 地域

全国 6,000サンプル

地域別	設定数	回収数	構成比 (%)
北海道	270	200	4.7
東北	465	352	8.2
関東・甲信	2,085	1,383	32.3
東海	705	548	12.8
北陸	270	217	5.1
近畿	990	653	15.3
中国	375	293	6.9
四国	195	140	3.3
九州	645	491	11.5
計	6,000	4,277	100.0

都市規模別	設定数	回収数	構成比 (%)
13大都市	1,335	865	20.2
15万以上の市	1,860	1,274	29.8
5万～15万未満の市	1,170	845	19.8
5万未満の市	375	285	6.7
郡部	1,260	1,008	23.6
計	6,000	4,277	100.0

6. 調査期間

2002年5月24日（金）～6月10日（月）

7. 回収状況

6,000人設定 → 4,277人有効回収（有効回収率 71.3%）

未回収数	回収状況					
	転居	長期不在	一時不在	拒否	住所不明	その他
1,723	230	137	328	814	88	126

8. 本報告書でデータを読むうえでの注意点

- この調査は消費者の視点にたちアンケートを実施している都合上、牛乳類の分類については、**種類別**牛乳の他にも低脂肪乳、無脂肪乳、栄養成分強化牛乳（カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの）を白もの牛乳類としており、法律や規約上の種類別分類とは異なる。
- 択一式選択肢（SA）の場合、回答率の合計が100.0%になるべきところで、そうならない箇所がある。これは各回答率を小数点以下第2位で四捨五入しているためである。
- MAと表記のあるものは複数回答である。

<調査結果の要約は「要約版」を参照>

サンプル構成

()内は%

<性別>

全体	4277 (100.0)
男性	1944 (45.5)
女性	2333 (54.5)

<結婚の有無>

全体	4277 (100.0)
未婚	1033 (24.2)
既婚	3114 (72.8)
その他	121 (2.8)
無回答	9 (0.2)

<年齢>

全体	4277 (100.0)
13～15歳	137 (3.2)
16～19歳	217 (5.1)
20～24歳	240 (5.6)
25～29歳	285 (6.7)
30～34歳	361 (8.4)
35～39歳	306 (7.2)
40～44歳	321 (7.5)
45～49歳	372 (8.7)
50～54歳	419 (9.8)
55～59歳	384 (9.0)
60～64歳	381 (8.9)
65～69歳	357 (8.3)
70歳以上	497 (11.6)
平均 47.1歳	

<子供の有無>

全体	4277 (100.0)
いる	2897 (67.7)
いない	1368 (32.0)
無回答	12 (0.3)

<同居家族数>

全体	4277 (100.0)
1人	243 (5.7)
2人	993 (23.2)
3人	955 (22.3)
4人	1014 (23.7)
5人	572 (13.4)
6人	320 (7.5)
7人以上	175 (4.1)
無回答	5 (0.1)
平均 3.5人	

<職業>

全体	4277 (100.0)
農林漁業	132 (3.1)
商工サービス業	247 (5.8)
自由業	149 (3.5)
内職	20 (0.5)
管理職	192 (4.5)
専門・技術職	487 (11.4)
事務職	355 (8.3)
労務職	248 (5.8)
販売・サービス職	229 (5.4)
パート・アルバイト	425 (9.9)
専業主婦	741 (17.3)
中学生	97 (2.3)
高校生	169 (4.0)
中高生以外の学生	122 (2.9)
無職	649 (15.2)
無回答	15 (0.4)

<家族構成(同居家族数「1人」を除く)>

全体	4029 (100.0)
夫婦2人	811 (20.1)
2世代世帯／親と子	2290 (56.8)
3世代世帯／親、子、孫	824 (20.5)
その他	96 (2.4)
無回答	8 (0.2)

<同居する子供(家族構成「夫婦2人」を除く)>

全体	3210 (100.0)
乳児・幼児	539 (16.8)
小学生	670 (20.9)
中学生	581 (18.1)
高校生	629 (19.6)
大学・短大・専門学校生	354 (11.0)
この中にはない	1381 (43.0)
無回答	21 (0.7)

主な分析軸

本報告書で利用した主な分析軸は次の通り

()内は%

<性・年齢別>

全 体		4277 (100.0)
男 性	中学生	55 (1.3)
	10代 (中学生除)	129 (3.0)
	20代	259 (6.1)
	30代	292 (6.8)
	40代	298 (7.0)
	50代	359 (8.4)
	60代	365 (8.5)
	70代以上	187 (4.4)
女 性	中学生	42 (1.0)
	10代 (中学生除)	128 (3.0)
	20代	266 (6.2)
	30代	375 (8.8)
	40代	395 (9.2)
	50代	444 (10.4)
	60代	373 (8.7)
	70代以上	310 (7.2)
男 性 計		1944 (45.5)
女 性 計		2333 (54.5)

<ライフステージ別>

	男 性	女 性
中 学 生	55 (1.3)	42 (1.0)
高 校 生	83 (1.9)	86 (2.0)
中高生以外の学生	72 (1.7)	50 (1.2)
未婚有職計	304 (7.1)	256 (6.0)
未婚有職 ひとり暮らし	55 (1.3)	29 (0.7)
未婚有職 家族と同居	249 (5.8)	226 (5.3)
既婚子供なし	130 (3.0)	186 (4.3)
既婚子供あり	920 (21.5)	1228 (28.7)
小学生以下の子の親計	296 (6.9)	411 (9.6)
未就学児の親	173 (4.0)	230 (5.4)
小学生の親	180 (4.2)	279 (6.5)
中学生同居	148 (3.5)	206 (4.8)
高校生同居	148 (3.5)	176 (4.1)
大学専門学校生同居	86 (2.0)	111 (2.6)
それ以外の子供あり	311 (7.3)	444 (10.4)
既婚子供独立	268 (6.3)	294 (6.9)

<飲用行動別ユーザー分類>

全 体		4277 (100.0)	
飲用者・計		3810 (89.1)	
そのま ま飲用	週5日以上	1694 (39.6)	
	1日 飲用 量	400ml以上	492 (11.5)
		200ml	1014 (23.7)
		100ml以下	184 (4.3)
	週1~4日	1220 (28.5)	
それ以下	893 (20.9)		
非飲用者		467 (10.9)	

<飲用意識別ユーザー分類>

飲用者・計	3810 (100.0)
効果重視者計	1663 (43.6)
愛 飲	644 (16.9)
非愛飲	1019 (26.7)
栄養重視者計	1555 (40.8)
愛 飲	669 (17.6)
非愛飲	886 (23.3)
牛乳愛飲者	218 (5.7)
習慣飲用者	130 (3.4)

<ユーザー分類>

(1) 飲用行動別ユーザー分類の作成方法

対象者全体を、白もの牛乳類をそのまま飲む頻度（年間平均）と、週5日以上の飲用者については飲み方を問わず1日の飲用量という行動面から分類した。

		そのまま飲む頻度						1日の飲用量							
		毎日飲む	週に5〜6日飲む	週に3〜4日飲む	週に1〜2日飲む	月に2〜3日飲む	それ以下	50ml未満	50mlくらい	100ml	200ml	400ml	600ml	800ml	1ℓ
白もの牛乳類飲用者計※		○	○	○	○	○	○								
そのまま飲用	週5日以上	○	○												
	1日飲用量	400ml以上	○	○								○	○	○	○
		200ml	○	○							○				
		100ml以下	○	○				○	○	○					
	週1〜4日			○	○										
それ以下					○	○									
白もの牛乳類非飲用者※															

※ 飲用者とは「そのまま」「混ぜて」「かけて」のいずれかで飲用する人とし、非飲用者とはいずれも飲用するとの回答のない人とする

(2) 飲用意識別ユーザー分類

白もの牛乳類飲用者を、白もの牛乳類を飲む理由という意識面から分類した。

	効果グループ				栄養グループ			愛飲グループ		習慣グループ		その他							
	骨粗しょう症が心配だから	美容に良いから	便秘に効果があるから	ぐっすり眠るため	気が高くなりたいから	背がラクくなるから	カルシウムがあるから	良質のタンパク質があるから	健康によいから	おいしいから	好きだから	習慣で	いつも家にあるから	食事代わりに	水代わりに	混ぜたり、かけたりするため	家族がすすめるから	医療関係者がすすめるから	安いから
効果重視者計			○				△		△		△					△			
愛飲			○				△		○		△					△			
非愛飲			○				△		×		△					△			
栄養重視者計			×				○		△		△					△			
愛飲			×				○		○		△					△			
非愛飲			×				○		×		△					△			
牛乳愛飲者			×				×		○		△					△			
習慣飲用者			×				×		×		○					△			

(注) ○は飲用理由グループ内のいずれかの項目に回答があることを示す
 ×は飲用理由グループ内のいずれの項目にも回答がないことを示す
 △は回答の有無を問わないことを示す

調査結果の詳細

I 白もの牛乳類の飲用実態

1. 白もの牛乳類の飲用頻度

そのまま飲む、他のものと混ぜて飲む、シリアルなどにかけるなど飲み方ごとに、ふだんどの程度白もの牛乳類を飲むかを聞いた。

1) そのまま飲む頻度

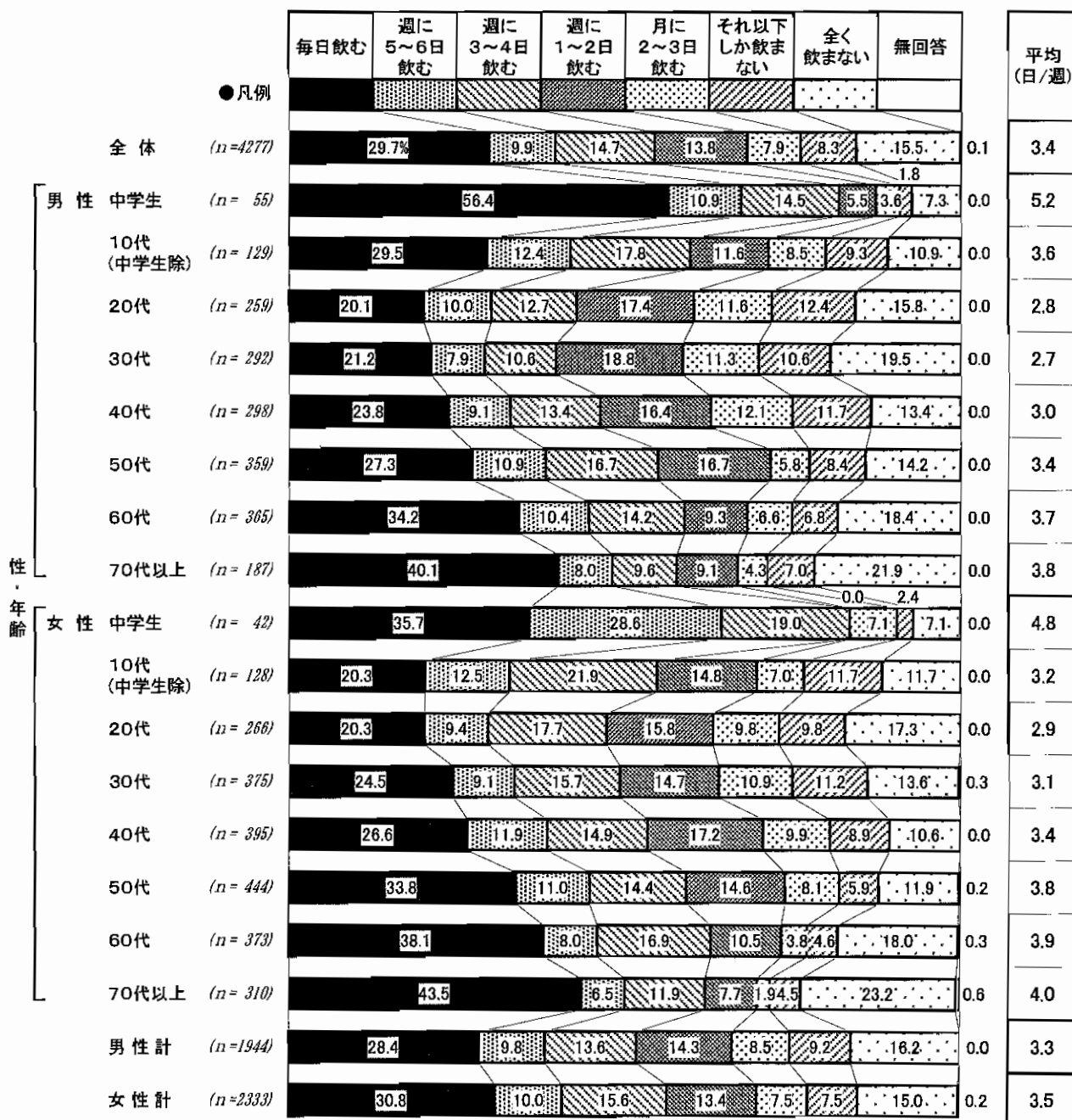
「毎日飲む」人は全体の30%を占める。一方「全く飲まない」という人は16%である。

性・年齢別にみると、「毎日飲む」人は男性中学生で多く、56%と過半数を占める。「毎日飲む」人は男女とも20代が最も少なく、以降年齢があがるにつれて多くなっている。

週あたりの平均飲用頻度は全体で3.4回である。

(注) ここでいう「白もの牛乳類」とは、普通の牛乳や低脂肪乳（ローファットミルク）や機能強化牛乳（カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの）などの白い牛乳類をいう。市販のコーヒー牛乳やフルーツ牛乳などは含まない。

図表I-1-1 性・年齢別 白もの牛乳類をそのまま飲む頻度／年間平均

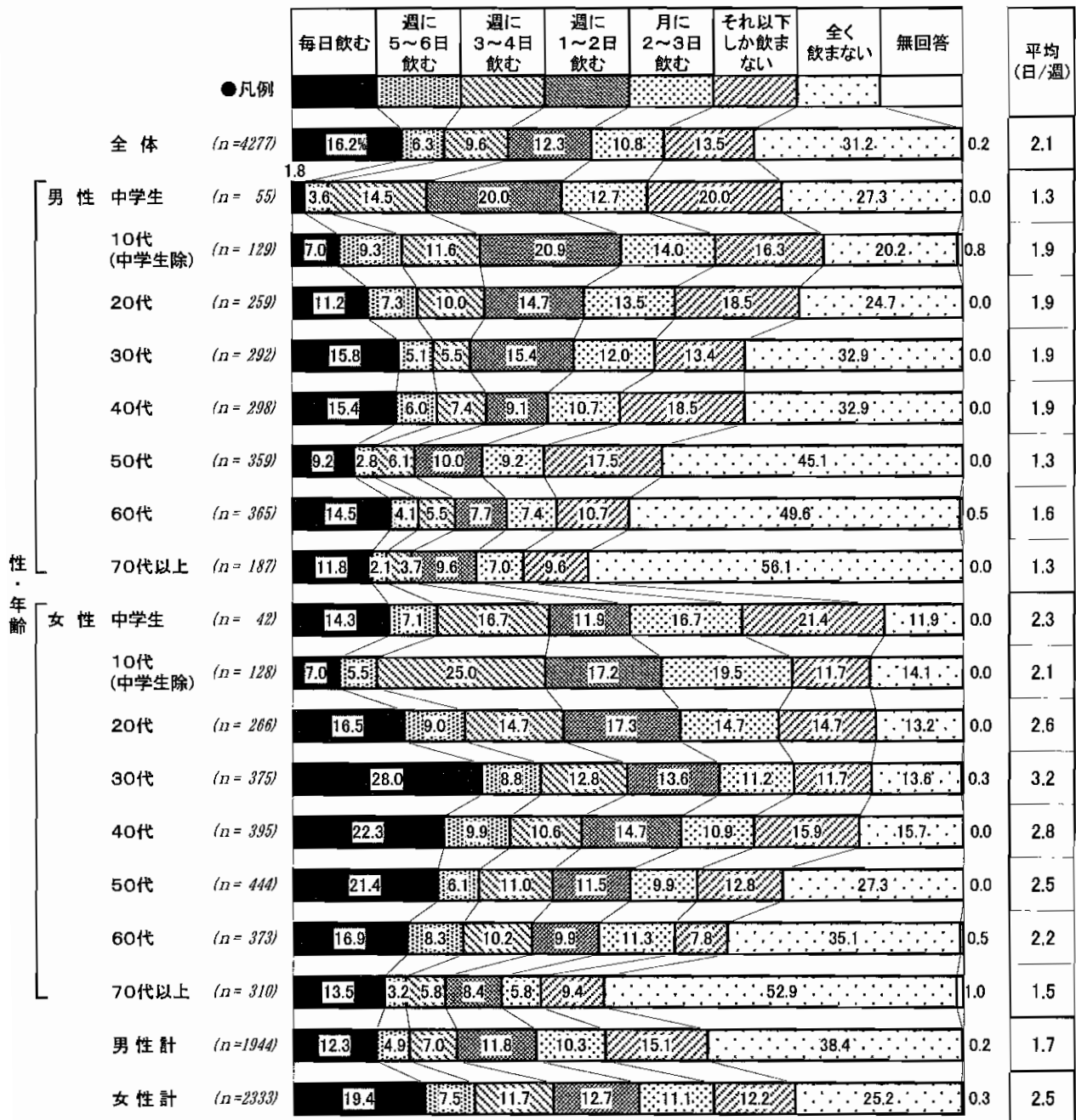


2) 他のもものと混ぜて飲む頻度

「毎日飲む」人は全体の16%である。一方「全く飲まない」という人は31%である。

性・年齢別にみると、「毎日飲む」人は男性12%、女性19%であり、女性の方が多い傾向がみられる。特に女性の30代では「毎日飲む」が28%と多く、女性の40代、50代でも「毎日飲む」人が20%を超えている。

図表I-1-2 性・年齢別 白もの牛乳類を他のもものと混ぜて飲む頻度／年間平均

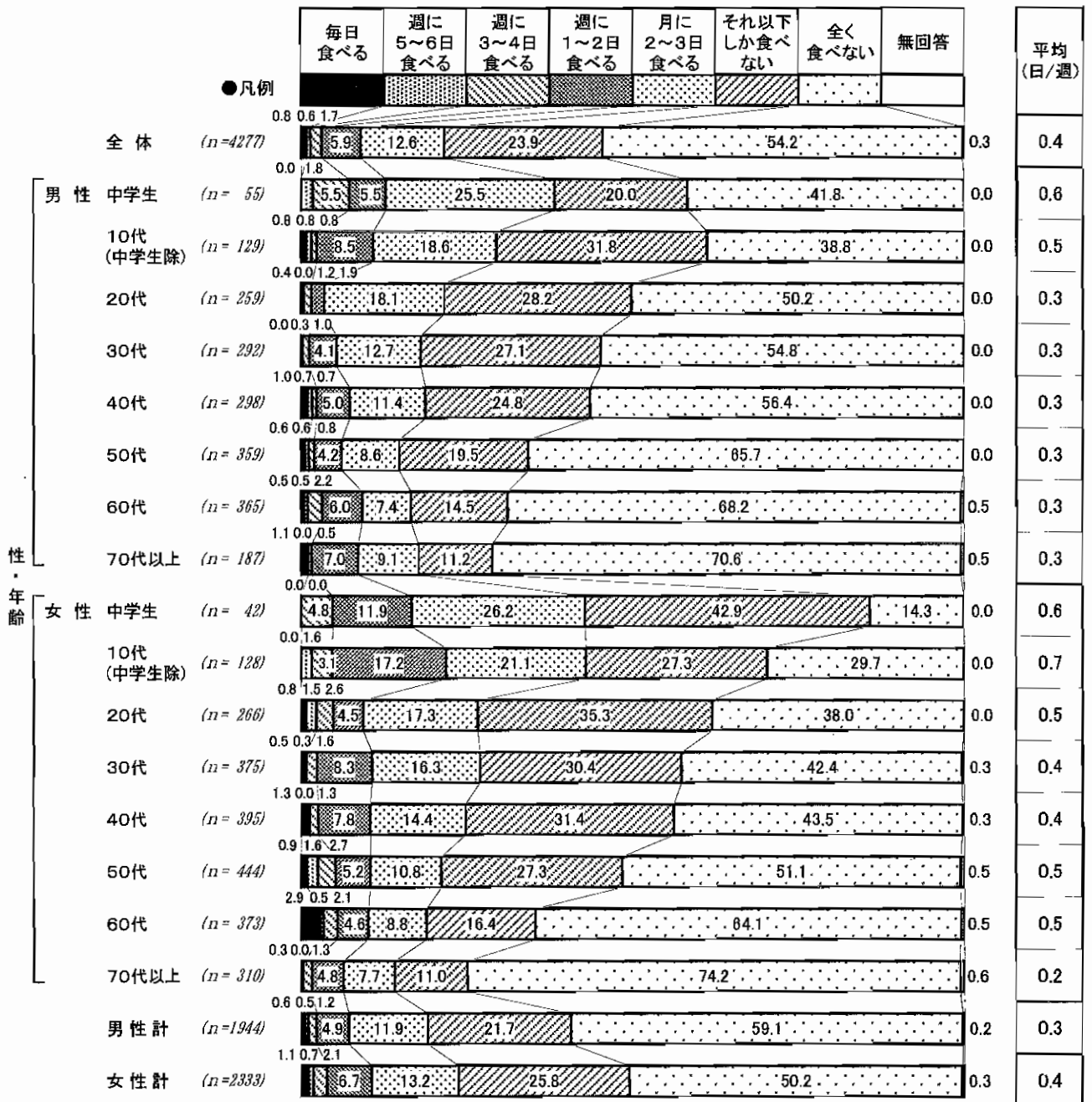


3) シリアルなどにかける頻度

「毎日食べる」人は全体の1%、少なくとも週に1~2日以上食べる人の合計が9%ほどである。一方「全く食べない」という人は54%を占める。

性・年齢別にみると、少なくとも週に1~2日以上食べる人は、女性の10代（中学生除）で22%と最も多く、女性の中学生でも17%と多くなっている。

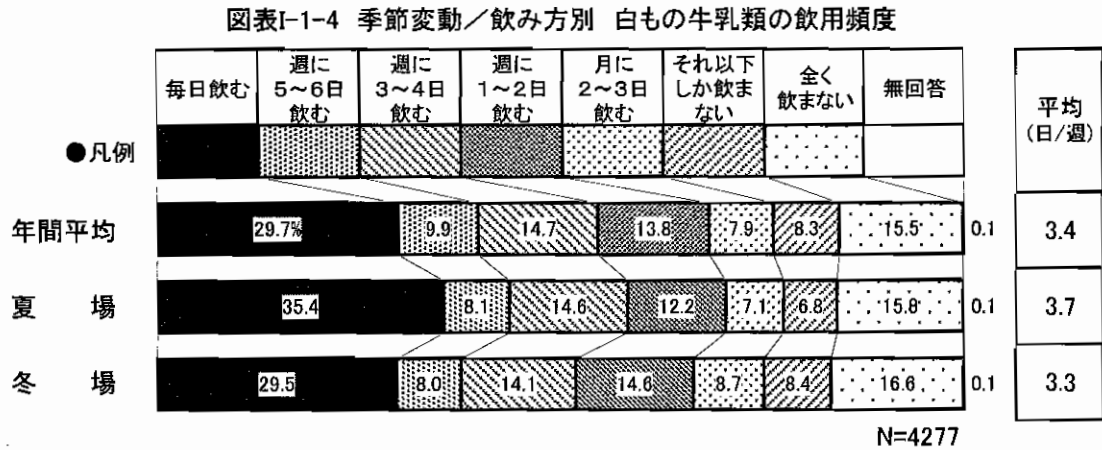
図表I-1-3 性・年齢別 白もの牛乳類をシリアルなどにかける頻度／年間平均



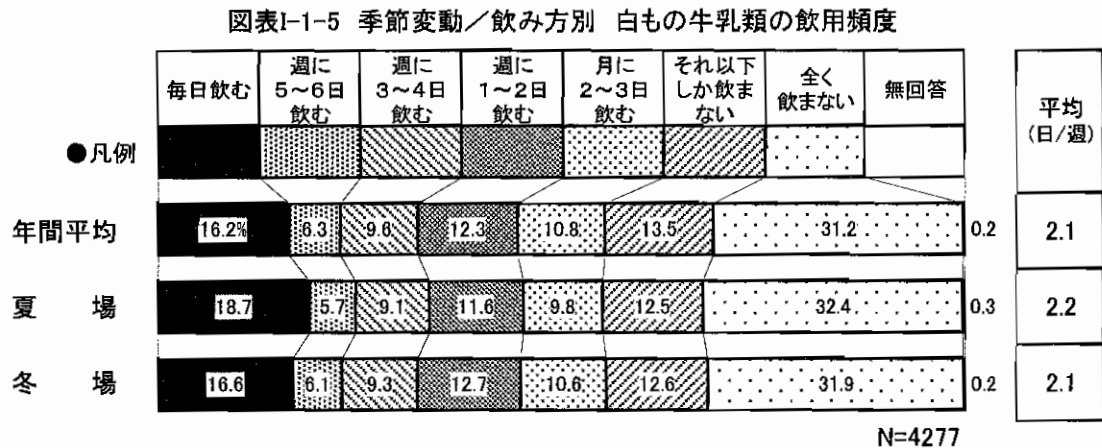
4) 季節による変動

白もの牛乳類の飲み方別飲用頻度の季節による変動をみてみると、そのまま飲む飲み方では、夏場は「毎日飲む」人が35%と冬場（30%）より5ポイント多くなっている。そのまま飲む以外の飲み方では大きな変動はみられない。

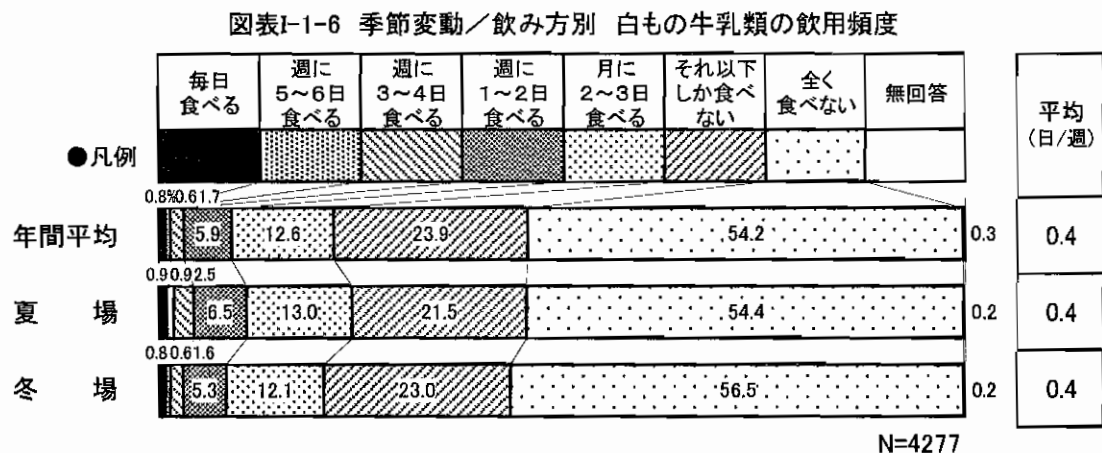
<そのまま飲む>



<他のものと混ぜて飲む>



<シリアルなどにかける>



<そのまま飲む>

図表I-1-7 性・年齢別／季節変動／飲み方別 白もの牛乳類の飲用頻度

		(日/週)								
		中学生	10代 (中学生除)	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	男女別 計
男 性	年間平均	5.2	3.6	2.8	2.7	3.0	3.4	3.7	3.8	3.3
	夏 場	5.4	3.9	3.0	2.9	3.2	3.7	3.9	4.0	3.5
	冬 場	4.9	3.4	2.7	2.6	2.9	3.3	3.6	3.7	3.2
女 性	年間平均	4.8	3.2	2.9	3.1	3.4	3.8	3.9	4.0	3.5
	夏 場	5.2	3.4	3.1	3.3	3.7	4.2	4.2	4.2	3.8
	冬 場	4.5	3.0	2.7	3.0	3.2	3.6	3.8	3.9	3.4

<他のものと混ぜて飲む>

図表I-1-8 性・年齢別／季節変動／飲み方別 白もの牛乳類の飲用頻度

		(日/週)								
		中学生	10代 (中学生除)	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	男女別 計
男 性	年間平均	1.3	1.9	1.9	1.9	1.9	1.3	1.6	1.3	1.7
	夏 場	1.7	1.9	2.0	2.0	2.0	1.4	1.7	1.4	1.8
	冬 場	1.3	1.9	2.0	1.9	1.9	1.3	1.6	1.3	1.7
女 性	年間平均	2.3	2.1	2.6	3.2	2.8	2.5	2.2	1.5	2.5
	夏 場	2.3	2.0	2.6	3.3	3.1	2.6	2.4	1.6	2.6
	冬 場	2.3	2.3	2.7	3.2	2.8	2.5	2.2	1.5	2.5

<シリアルなどにかける>

図表I-1-9 性・年齢別／季節変動／飲み方別 白もの牛乳類の飲用頻度

		(日/週)								
		中学生	10代 (中学生除)	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	男女別 計
男 性	年間平均	0.6	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	夏 場	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4
	冬 場	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
女 性	年間平均	0.6	0.7	0.5	0.4	0.4	0.5	0.5	0.2	0.4
	夏 場	0.7	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.2	0.5
	冬 場	0.6	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.2	0.4

[参考] 参考にこれまでの調査での白もの牛乳類の飲用頻度の推移をみる。

これまでの調査では、他のものと混ぜて飲む、シリアルなどにかけるなど、そのまま飲む以外の場合も含めて、ふだんどの程度白もの牛乳類を飲むかを聞いていた。

図表I-1-10 白もの牛乳類の飲用頻度(時系列)

	<i>n</i>	毎日飲む	週に 5～6日 飲む	週に 3～4日 飲む	週に 1～2日 飲む	月に数回 飲む	それ以下 しか飲ま ない	全く飲ま ない	無回答	平均 (日/月)
2001年	4778	40.8	9.1	14.7	13.6	7.1	4.1	10.6	0.0	17.6
2000年	4632	41.1	9.8	14.5	12.8	7.2	4.5	10.0	0.0	17.8
1999年	4476	45.6	10.0	13.5	10.7	6.4	3.2	10.6	0.0	18.8
1998年	4472	44.9	9.0	14.4	10.7	6.3	3.6	11.0	0.0	18.5
1997年	4547	45.7	9.1	13.7	10.4	6.7	5.1	9.1	0.0	18.7
1996年	4706	42.5	9.3	16.9	11.7	6.4	3.7	9.4	0.0	18.3
1995年	4668	48.4	7.5	12.9	9.9	6.6	4.7	9.9	0.1	19.0
1994年	4617	46.8	9.6	13.3	9.2	7.7	3.4	10.0	0.0	19.0
1993年	4553	46.5	10.2	14.3	9.2	6.9	3.4	9.4	0.2	19.2
1992年	4651	44.2	9.3	13.8	10.7	8.1	5.0	8.7	0.2	18.4
1991年	4714	45.2	10.4	14.7	10.0	7.0	4.3	8.2	0.2	19.1
1990年	4691	45.7	10.2	14.0	9.5	7.5	4.9	7.9	0.3	19.1
1989年	4579	43.4	9.5	13.5	10.5	7.9	5.0	9.8	0.4	18.2
1988年	4604	39.9	10.4	14.5	10.7	8.7	5.2	10.1	0.5	17.6
1987年	4664	38.5	9.5	14.3	11.6	10.0	6.8	8.7	0.6	17.0

(%)

2. 白もの牛乳類の飲用量

そのまま飲む以外の場合を含めて、白もの牛乳類を飲むときには1日にどれくらいの量を飲むかを聞いた。

全体では、「200ml」が最も多く、52%と過半数を占めている。

性・年齢別にみると、どの層でも「200ml」が最も多い。年齢が若いほど、「400ml」「600ml」の比率が高くなる傾向がみられる。

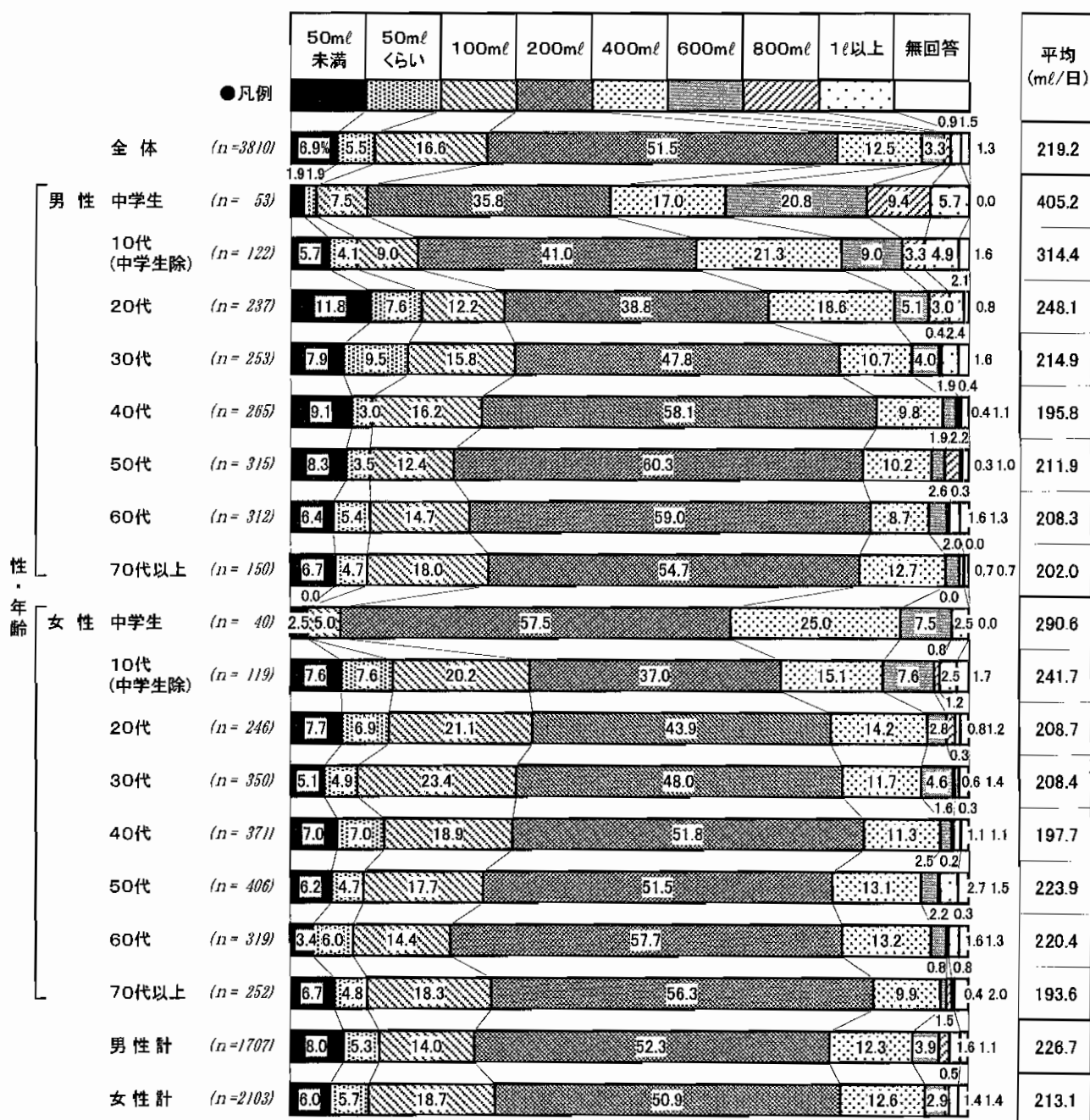
参考に算出したところ、1日に飲む平均量は220mlとなる。

1日に飲む平均量を性別にみると、男性227ml、女性213mlとなっており、男性の方が多い。

1日に飲む平均量を年齢別でみると、男女ともに中学生が最も多くなっている。男女とも、中学生が最高で以降40代まで飲用量が少なくなっていき、50代で回復するという傾向である。

50代、60代の世代でのみ、女性の方が男性の飲用量を上回っている。

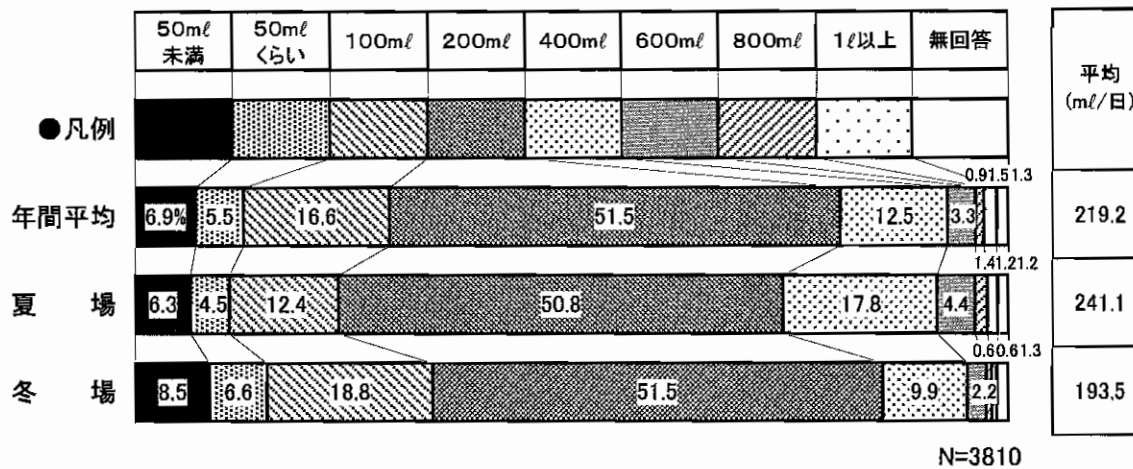
図表I-2-1 性・年齢別 1日に白もの牛乳類を飲む量／年間平均（飲用者ベース）



白もの牛乳類飲用者の1日あたりの飲用量の季節による変動をみてみると、平均量で夏場241ml、冬場194mlとなっており、夏場は冬場より47ml多くなっている。

性・年齢別にみると、男性の中学生や10代では夏場は冬場より平均飲用量が100mlほど多く、季節による変動が大きい。

図表I-2-2 季節変動 1日に白もの牛乳類を飲む量（飲用者ベース）



図表I-2-3 性・年齢別/季節変動 1日に白もの牛乳類を飲む量（飲用者ベース）

		n	年間平均	夏場	冬場
全体		3810	219.2	241.1	193.5
性	中学生	53	405.2	463.2	356.6
	10代(中学生除)	122	314.4	366.7	267.9
	20代	237	248.1	278.6	220.6
	30代	253	214.9	239.2	186.9
	40代	265	195.8	227.1	178.7
	50代	315	211.9	229.2	197.1
	60代	312	208.3	211.6	182.6
	70代以上	150	202.0	217.8	183.8
性	中学生	40	290.6	303.1	248.1
	10代(中学生除)	119	241.7	261.5	195.9
	20代	246	208.7	236.9	179.1
	30代	350	208.4	234.8	184.2
	40代	371	197.7	226.4	174.8
	50代	406	223.9	236.3	185.3
	60代	319	220.4	239.5	198.2
	70代以上	252	193.6	205.1	185.8
男性計		1707	226.7	250.1	202.3
女性計		2103	213.1	233.8	186.4

(ml/日)

年間平均での白もの牛乳類の飲用頻度と飲用量から、非飲用者も含めた全体ベースでの1日あたりの白もの牛乳類の平均飲用量を算出した。

図表I-2-4 性・年齢別 1日あたりの白もの牛乳類の飲用量

	全 体	男 性								
		中学生	10代 (中学生除)	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	男性・計
<i>N</i>	4277	55	129	259	292	298	359	365	187	1944
平均 (mℓ/日)	127.3	300.1	199.0	133.9	103.1	96.5	115.4	123.3	117.9	125.8

	全 体	女 性								
		中学生	10代 (中学生除)	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	女性・計
<i>N</i>	4277	42	128	266	375	395	444	373	310	2333
平均 (mℓ/日)	127.3	183.8	129.6	112.7	129.4	119.1	139.5	136.7	120.2	128.6

[参考] 参考にこれまでの調査での白もの牛乳類の1日あたりの飲用量の推移をみる。

なおこの数値は、白もの牛乳類を飲むときには1日にコップ何杯飲むかをきき（コップ1杯は140mlとする）、この飲用量と飲用頻度から算出したものである。

図表I-2-5 1日あたりの白もの牛乳類の飲用量(時系列)

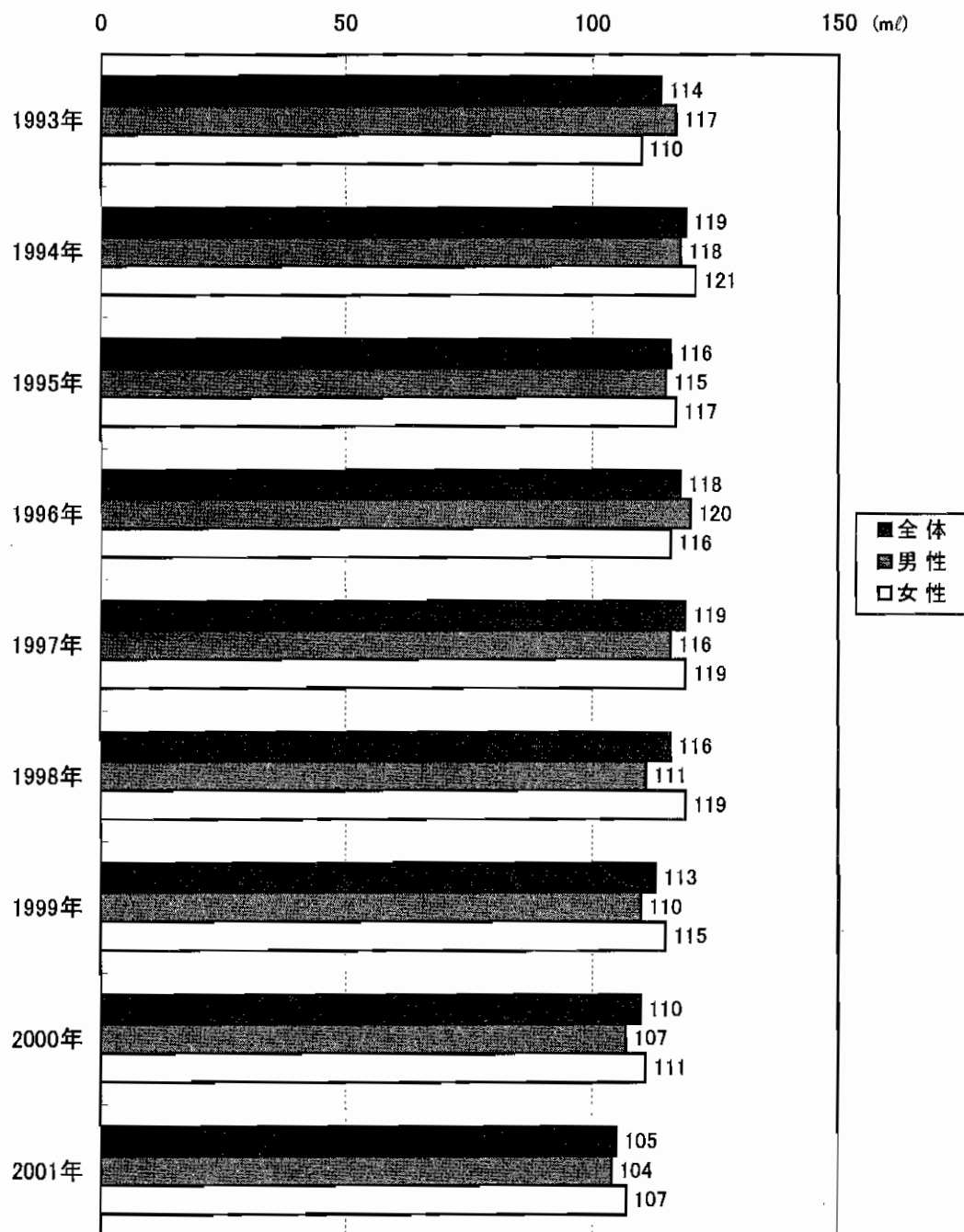
	<i>n</i>	飲まない	50ml 未満	100ml 未満	200ml 未満	200ml 以上	無回答	平均 (ml)
2001年	4778	10.6	22.2	15.2	27.4	24.4	0.1	130
2000年	4632	10.0	22.5	14.0	26.5	26.8	0.2	136
1999年	4476	10.6	19.1	14.3	25.8	30.3	0.0	148
1998年	4472	11.0	19.3	13.7	26.1	30.0	0.0	147
1997年	4547	11.1	18.4	13.2	27.7	29.5	0.0	147
1996年	4706	10.4	18.8	15.1	25.3	30.4	0.0	150
1995年	4668	11.7	18.2	12.6	25.3	31.9	0.3	151
1994年	4617	13.4	15.0	16.8	25.2	29.4	0.2	154
1993年	4553	12.8	15.7	19.8	27.6	23.9	0.2	138
1992年	4651	13.7	17.5	13.3	30.6	24.6	0.4	141
1991年	4714	12.5	15.8	14.0	30.0	27.4	0.3	145
1990年	4691	12.8	16.3	13.5	31.0	25.9	0.5	144
1989年	4579	15.4	17.6	12.6	29.6	23.9	0.9	135
1988年	4604	15.4	18.9	13.5	29.2	22.3	0.7	127

(%)

[参考] 白もの牛乳類の生産量（牛乳・加工乳・乳飲料の合計）を推計して、総人口（各年3月現在住民基本台帳人口）で割ることにより、白もの牛乳類の1人1日あたりの消費量を算出した（男女比は2001年まで本調査結果を反映した）。

国民1人あたりの1日の平均消費量は、2000年度の110mlに対し2001年度は105mlとなった。平均飲用量は1994年のピークの後、数年の停滞期間を経て、ここ数年は、減少傾向となっている。

図表I-2-6 1人1日あたりの白もの牛乳類消費量の変化



3. 白もの牛乳類のユーザー分類

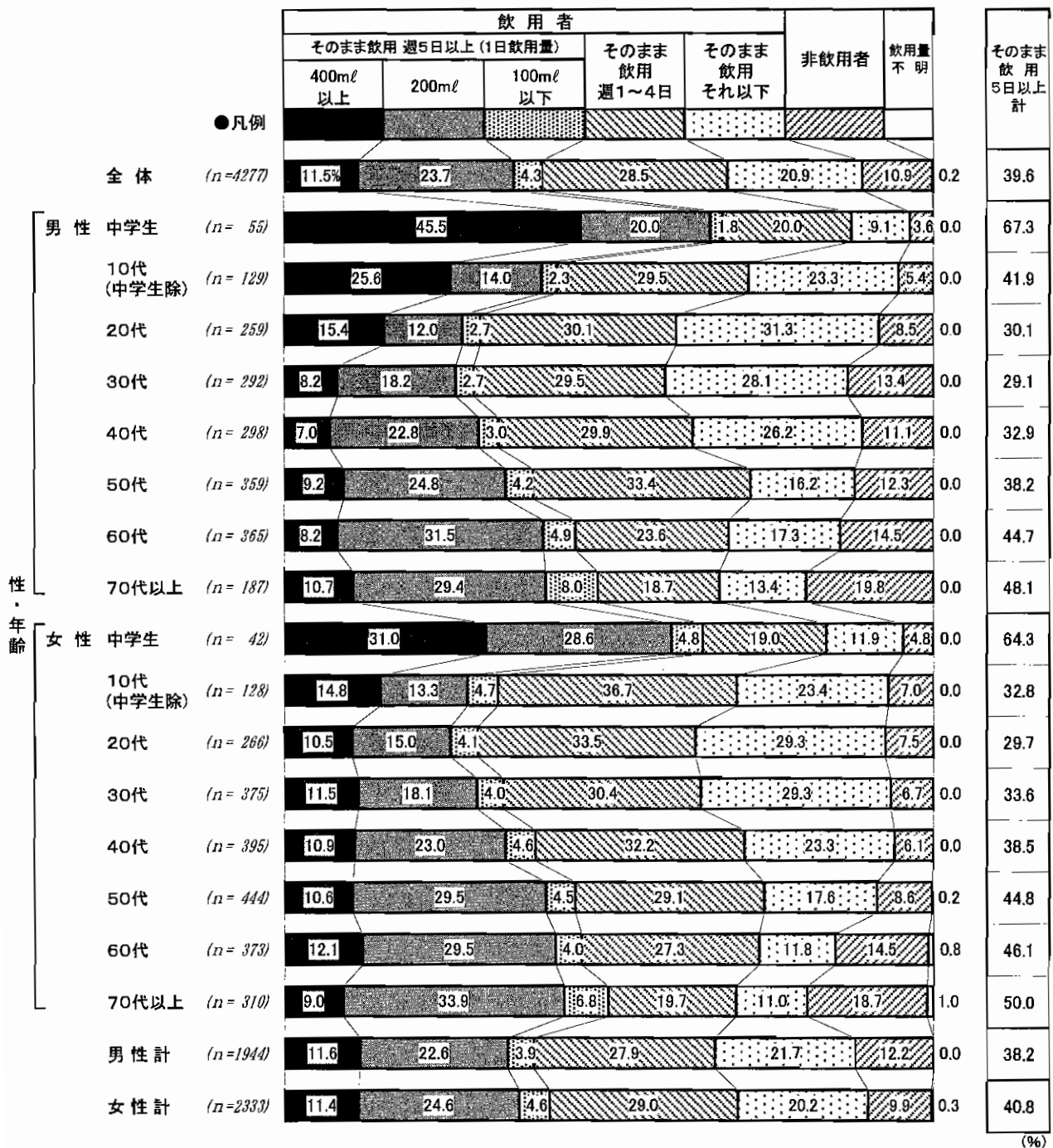
1) 飲用行动別ユーザー分類

白もの牛乳類の飲用頻度と1日の飲用量から、飲用行动別のユーザー分類を行った。具体的な分類方法については、調査設計の「主な分析軸」(p5)を参照されたい。

全体の構成をみると、「そのまま飲用週1~4日」が29%と最も多く、次いで「そのまま飲用週5日以上1日飲用量200ml(24%)」「そのまま飲用それ以下(21%)」の順である。「非飲用者」は11%である。

性・年齢別にみると、「そのまま飲用週5日以上1日飲用量400ml以上」は中学生で多く、特に男性中学生では46%とほぼ半数を占めている。また「そのまま飲用週5日以上1日飲用量200ml」は、高年齢層に多く、男性の60代以上と女性の50代以上ではほぼ3割を占める。

図表I-3-1 性・年齢別 飲用行动別ユーザー分類



(%)

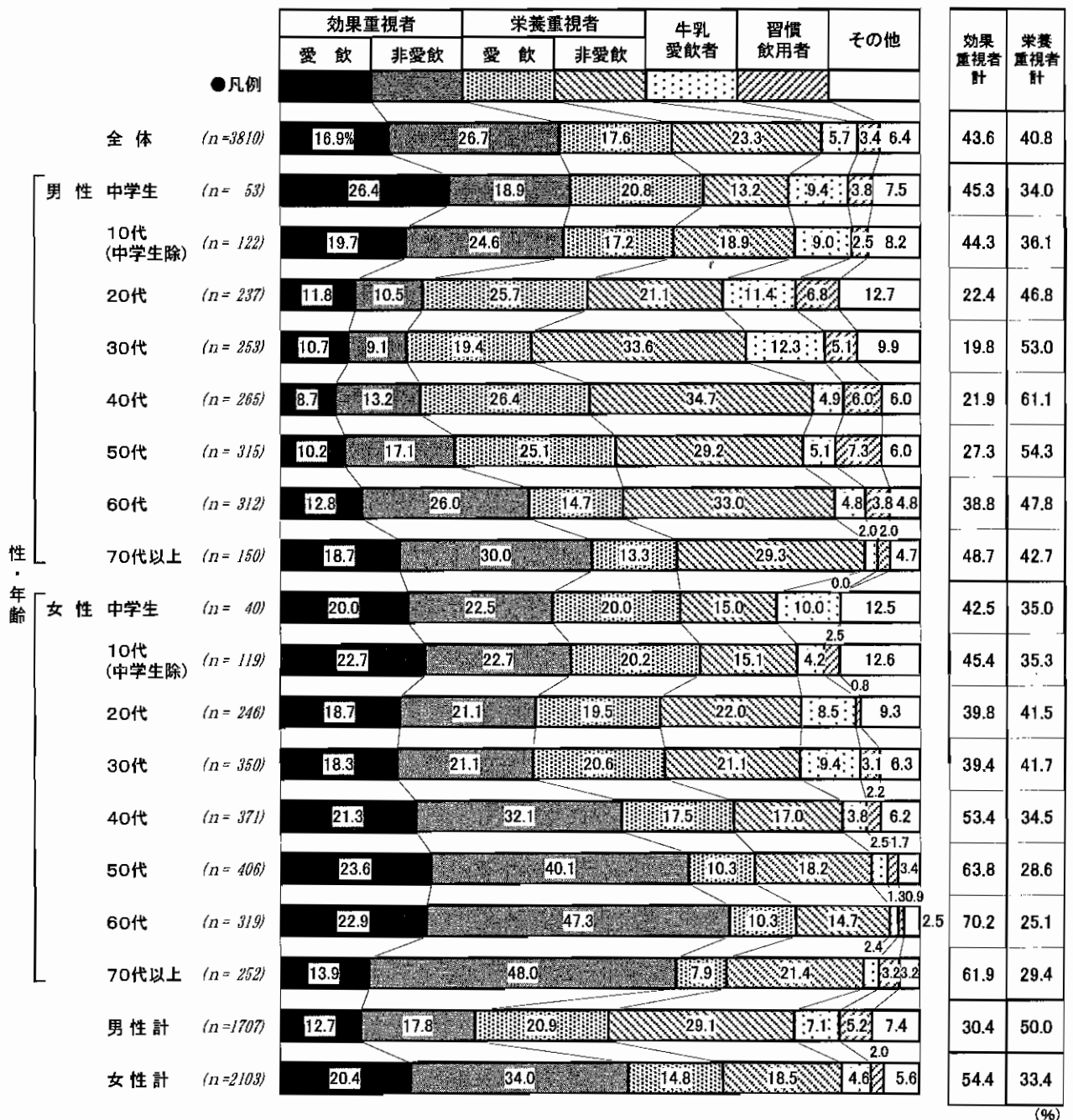
2) 飲用意識別ユーザー分類

白もの牛乳類の飲用理由から飲用意識別にユーザーを分類した。(飲用理由については後述 p32)

全体の構成をみると、「効果重視者 - 非愛飲」が27%と最も多く、「栄養重視者 - 非愛飲」が23%と続く。

性・年齢別にみると、「栄養重視者 - 非愛飲」は男性の30代以降で多く、3割前後をしめる。また「効果重視者 - 非愛飲」は女性の50代以降で多く、4割以上となっている。

図表i-3-2 性・年齢別 飲用意識別ユーザー分類 (飲用者ベース)



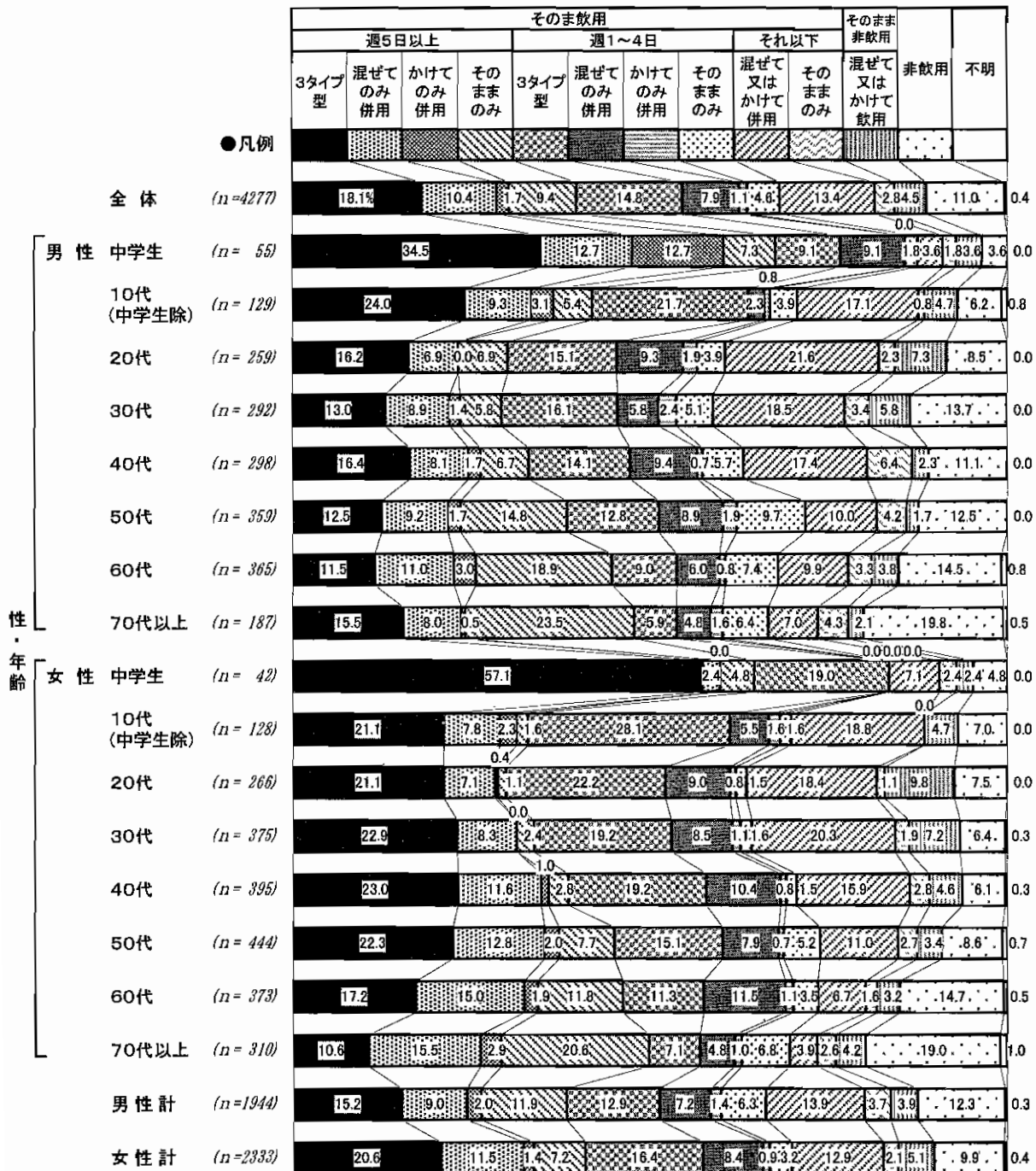
3) 飲み方パターン別ユーザー分類

白もの牛乳類の飲み方の組み合わせから飲用パターン別にユーザー分類をした。

全体をみると「そのまま飲用週5日以上-3タイプ型」が18%と最も多い。

性・年齢別にみると、「そのまま飲用週5日以上-3タイプ型」は男女とも中学生で最も多く、特に女性の中学生では57%と過半数を占めている。

図表I-3-3 性・年齢別 飲み方パターン別ユーザー分類



4) ユーザー分類別の白もの牛乳類飲用量

ユーザー分類別に白もの牛乳類の飲用量をみてる。

飲用行動別で「そのまま飲用週5日以上」ユーザーの1日あたりの平均飲用量は245mlである。

飲用意識別では「効果重視者の愛飲」ユーザーが1日あたり212mlと多い。

飲み方パターン別にみると、そのまま飲用のみの飲み方より、そのまま+混ぜて+かけての3タイプの飲みの方が飲用量が多い。ただし、そのまま+混ぜての併用、そのまま+かけての併用に比べると、そのままのみの飲みの方が飲用量が多くなっている。

図表I-3-4 ユーザー分類別 1日あたりの飲用量（飲用行動別）

	全体	飲用者							非飲用者	飲用量不明
		飲用者・計	そのまま飲用週5日以上	1日飲用量			そのまま飲用週1~4日	そのまま飲用それ以下		
				400ml以上	200ml	100ml以下				
N	4277	3810	1694	492	1014	184	1220	893	467	7
平均(mℓ/日)	127.3	143.7	245.2	445.1	178.4	75.0	79.7	44.1		

図表I-3-5 ユーザー分類別 1日あたりの飲用量（飲用意識別/飲用者ベース）

	飲用者・計	効果重視者			栄養重視者			牛乳愛飲者	習慣飲用者	その他
		計	愛飲	非愛飲	計	愛飲	非愛飲			
N	3810	1663	644	1019	1555	669	886	218	130	244
平均(mℓ/日)	143.7	157.0	212.1	122.3	138.8	187.7	102.5	178.2	126.1	53.5

図表I-3-6 ユーザー分類別 1日あたりの飲用量（飲み方パターン別）

	全体	そのまま飲用										非飲用	不明	
		週5日以上				週1~4日				それ以下				
		3タイプ型	混ぜてのみ併用	かけてのみ併用	そのままのみ	3タイプ型	混ぜてのみ併用	かけてのみ併用	そのままのみ	混ぜて又はかけて併用	そのままのみ			
N	4277	775	443	71	401	633	337	49	197	572	120	193	471	15
平均(mℓ/日)	127.3	250.0	242.6	223.6	243.1	84.0	77.3	63.5	73.9	43.0	10.1	71.7		

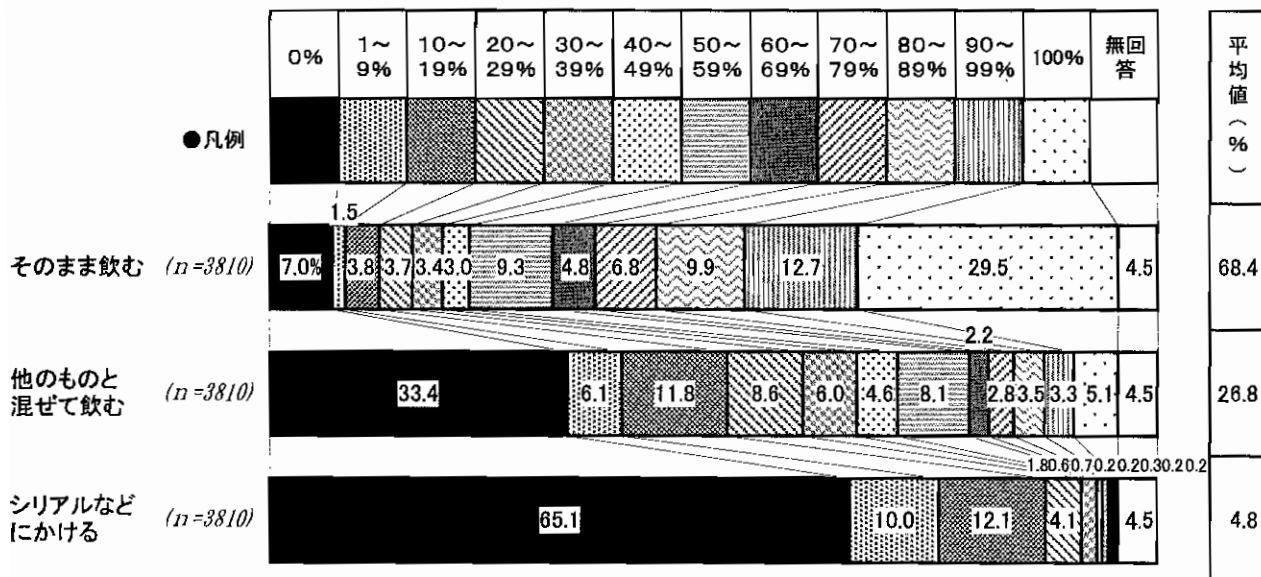
4. 白もの牛乳類の飲み方

そのまま飲む、他のものと混ぜて飲む、シリアルなどにかけるといった飲み方ごとに、白もの牛乳類の飲用量の割合を聞いた。

「そのまま飲む」割合が100%となる人は3割を占める。

「他のものと混ぜて」は全く飲まない人は33%であり、「シリアルなどにかける」ことの全くない人は65%とほぼ3分の2を占める。

図表I-4-1 白もの牛乳の飲み方／年間平均（飲用者ベース）



そのまま飲む、他のものと混ぜて飲む、シリアルなどにかけるなど飲み方ごとの飲用量の割合の平均値をみている。

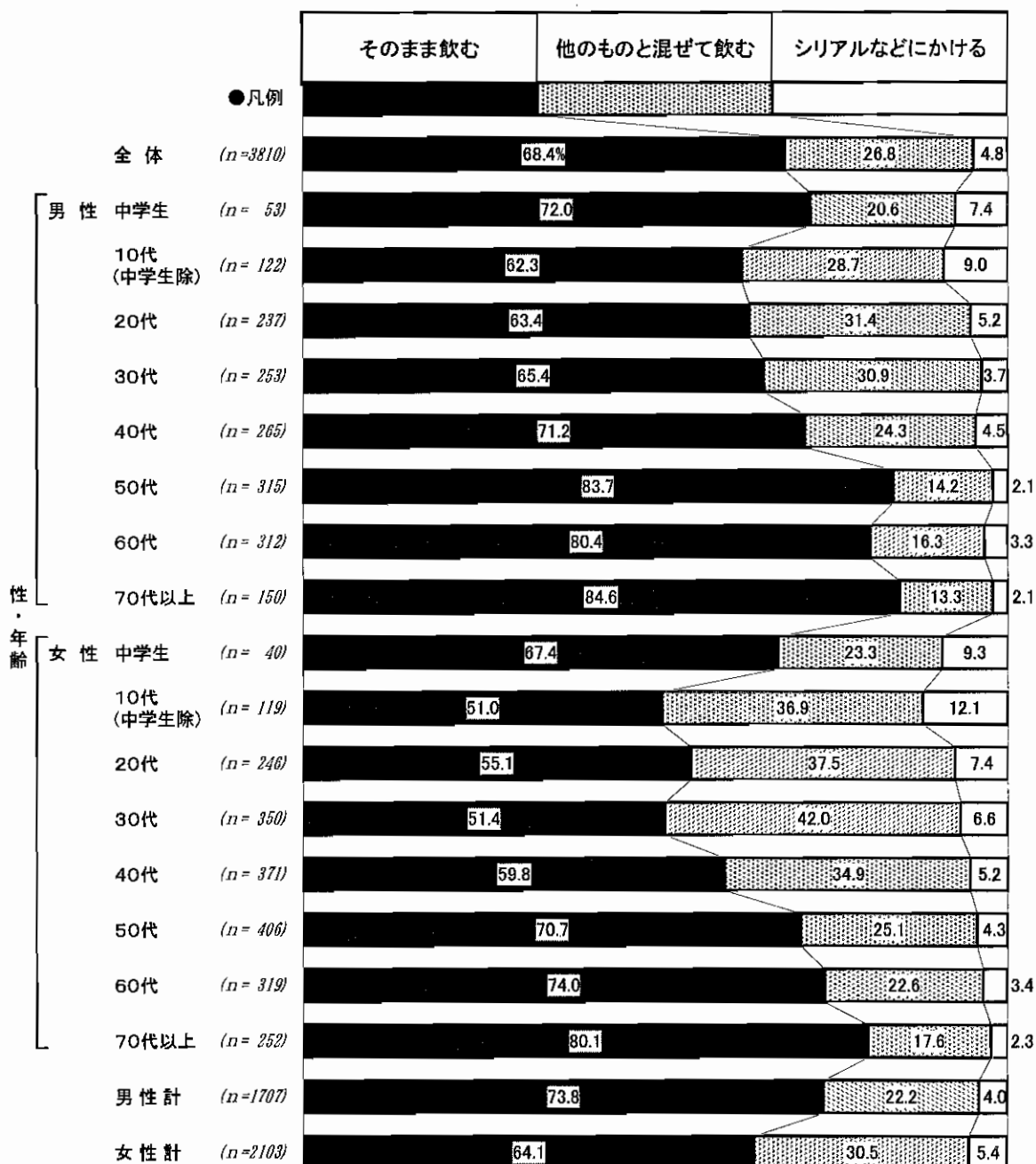
全体でみると、「そのまま飲む」が68%を占める。

性別にみると、「そのまま飲む」の割合は男性74%、女性64%と男性の方が高い。

年齢別では、「そのまま飲む」の割合は男女とも40代以降の高年齢層で比較的高い。中学生を除く10代から30代までは、男女とも「他のものと混ぜて飲む」が他の世代に比較して多くなっている。

また中学生を除く10代では、「シリアルなどにかける」が男性9%、女性12%と1割近くを占めており、多様な飲み方をしている層といえる。

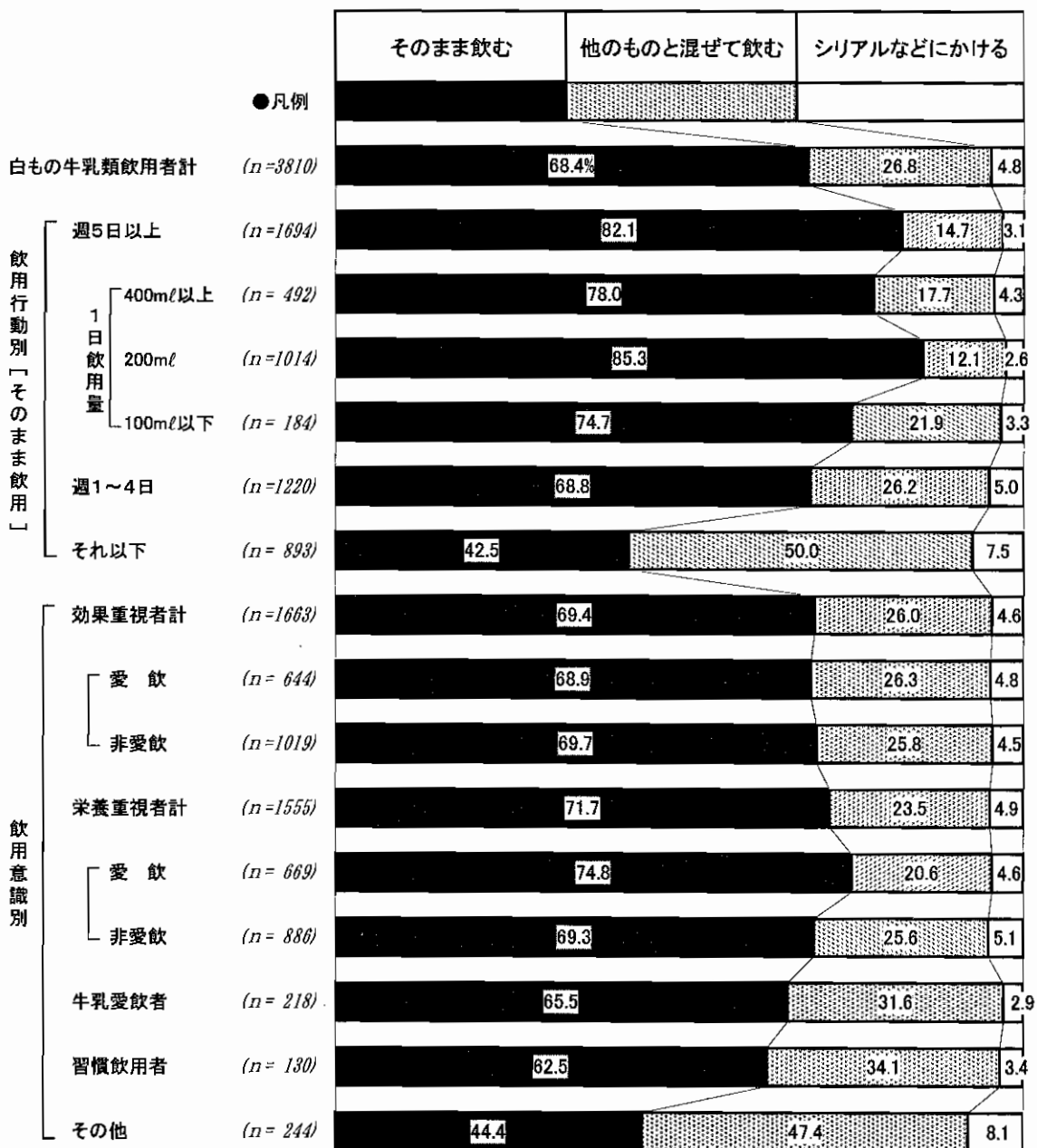
図表I-4-2 性・年齢別 白もの牛乳の飲み方別割合／年間平均（飲用者ベース）



ユーザー分類別に白もの牛乳類の飲み方別飲用量の割合をまとめてみた。

「そのまま飲用それ以下」の層では、他のものと混ぜて飲む割合が50%と、他の層に比べて高くなっている。

図表I-4-3 ユーザー分類別 白もの牛乳の飲み方別飲用量割合／年間平均（飲用者ベース）



白もの牛乳類の飲み方別の飲用量の割合は、季節によって大きな変動はみられない。

図表I-4-4 季節変動 白もの牛乳類の飲み方別割合（飲用者ベース）

	そのまま飲む	他のものと混ぜて飲む	シリアルなどにかける
●凡例			
年間平均	68.4%	26.8	4.8
夏 場	70.1	24.8	5.1
冬 場	66.7	28.9	4.4

N=3810

<そのまま飲む>

図表I-4-5 性・年齢別／季節変動／飲み方別 白もの牛乳を飲む割合

		中学生	10代 (中学生除)	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	男女別 計
男 性	年間平均	72.0	62.3	63.4	65.4	71.2	83.7	80.4	84.6	73.8
	夏 場	74.9	66.1	64.7	66.6	73.1	85.5	81.3	86.5	75.4
	冬 場	70.1	59.9	61.9	63.9	69.4	82.6	79.8	82.6	72.3
女 性	年間平均	67.4	51.0	55.1	51.4	59.8	70.7	74.0	80.1	64.1
	夏 場	68.9	53.9	56.4	52.5	61.8	72.6	76.0	80.6	65.7
	冬 場	65.3	46.6	52.4	50.0	57.9	68.6	72.4	78.5	62.1

(%)

<他のものと混ぜて飲む>

図表I-4-6 性・年齢別／季節変動／飲み方別 白もの牛乳を飲む割合

		中学生	10代 (中学生除)	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	男女別 計
男 性	年間平均	20.6	28.7	31.4	30.9	24.3	14.2	16.3	13.3	22.2
	夏 場	17.9	24.2	29.9	29.3	22.0	12.3	15.6	11.7	20.4
	冬 場	22.3	31.6	33.6	32.8	26.4	15.3	16.8	15.0	23.9
女 性	年間平均	23.3	36.9	37.5	42.0	34.9	25.1	22.6	17.6	30.5
	夏 場	20.4	32.6	35.2	39.8	32.4	23.1	21.0	16.9	28.4
	冬 場	26.9	43.0	41.0	44.2	37.3	27.4	24.3	19.2	33.1

(%)

<シリアルなどにかける>

図表I-4-7 性・年齢別／季節変動／飲み方別 白もの牛乳を飲む割合

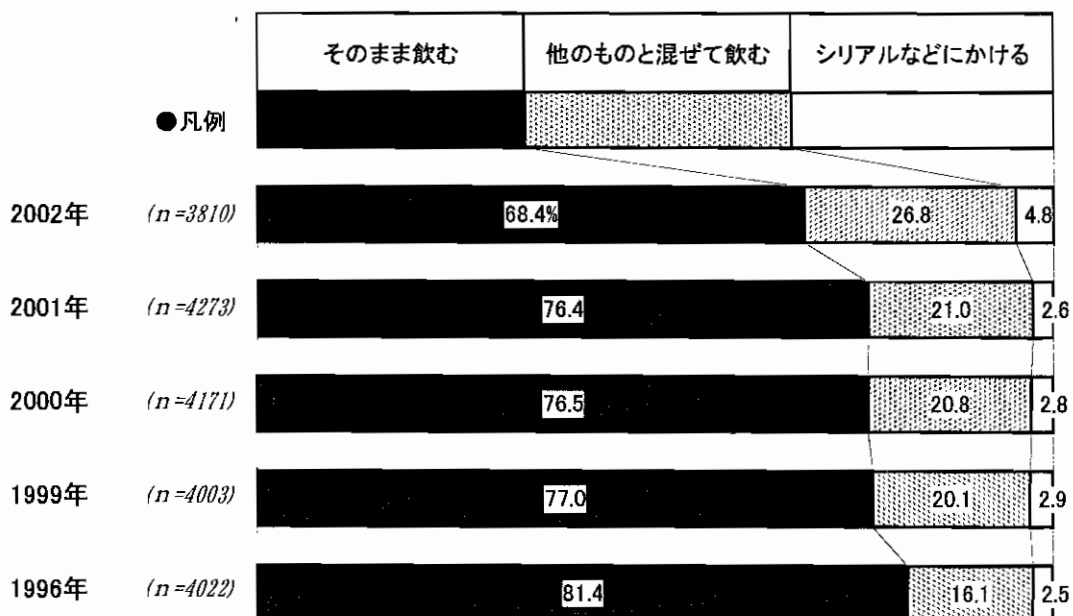
		中学生	10代 (中学生除)	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	男女別 計
男 性	年間平均	7.4	9.0	5.2	3.7	4.5	2.1	3.3	2.1	4.0
	夏 場	7.3	9.7	5.4	4.1	4.9	2.2	3.1	1.8	4.2
	冬 場	7.6	8.5	4.5	3.2	4.2	2.1	3.4	2.4	3.8
女 性	年間平均	9.3	12.1	7.4	6.6	5.2	4.3	3.4	2.3	5.4
	夏 場	10.7	13.5	8.3	7.7	5.7	4.4	3.0	2.5	5.9
	冬 場	7.7	10.5	6.6	5.7	4.8	4.0	3.3	2.3	4.9

(%)

白もの牛乳類の飲み方ごとの飲用量の割合をきき、その平均値の推移をみる。

2001年に比べて「そのまま飲む」の割合は減少し、「他のものと混ぜて飲む」の割合は増加している。

図表I-4-8 白もの牛乳類の飲み方別割合(時系列/飲用者ベース)



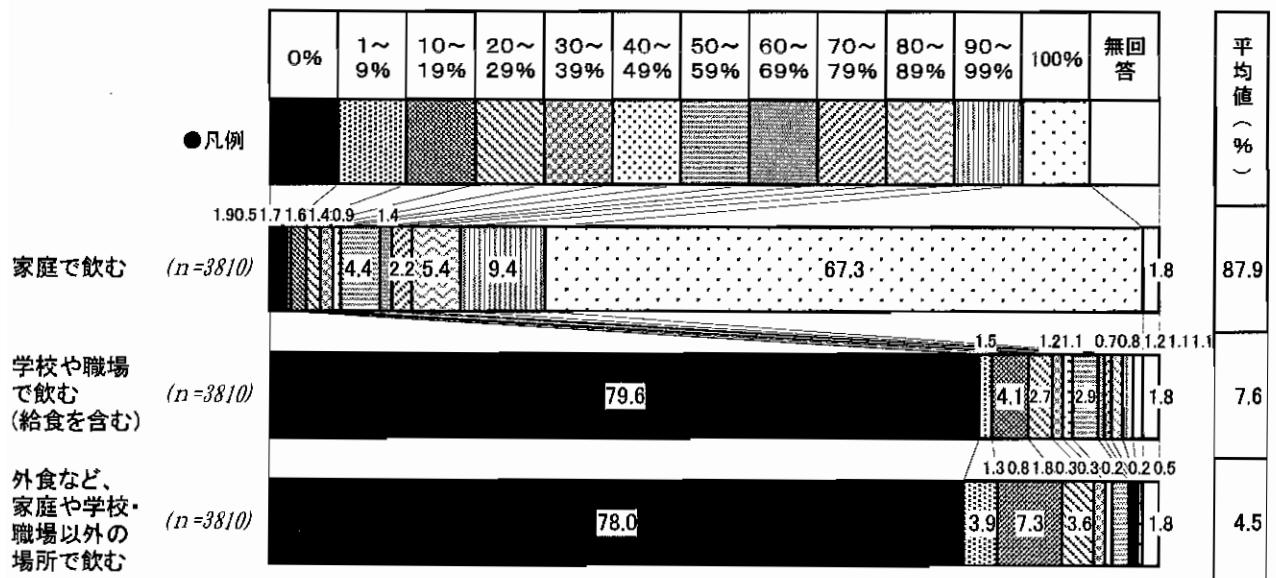
5. 白もの牛乳類の飲用場所と飲用シーン

1) 白もの牛乳類の飲用場所

そのまま飲む以外の場合を含めて、白もの牛乳類をどこで飲むか「家庭」「学校や職場（給食を含む）」「外食など、家庭や学校・職場以外にの場所」の飲用量の割合を聞いた。

「家庭で飲む」割合が100%となる人は67%あり、全体の3分の2を占める。一方「学校や職場」「外食など、家庭や学校・職場以外にの場所」で飲むことが全くない人はともにほぼ8割となっており、白もの牛乳類が「家庭」を中心に飲用されていることがわかる。

図表I-5-1 白もの牛乳類の飲用場所（飲用者ベース）

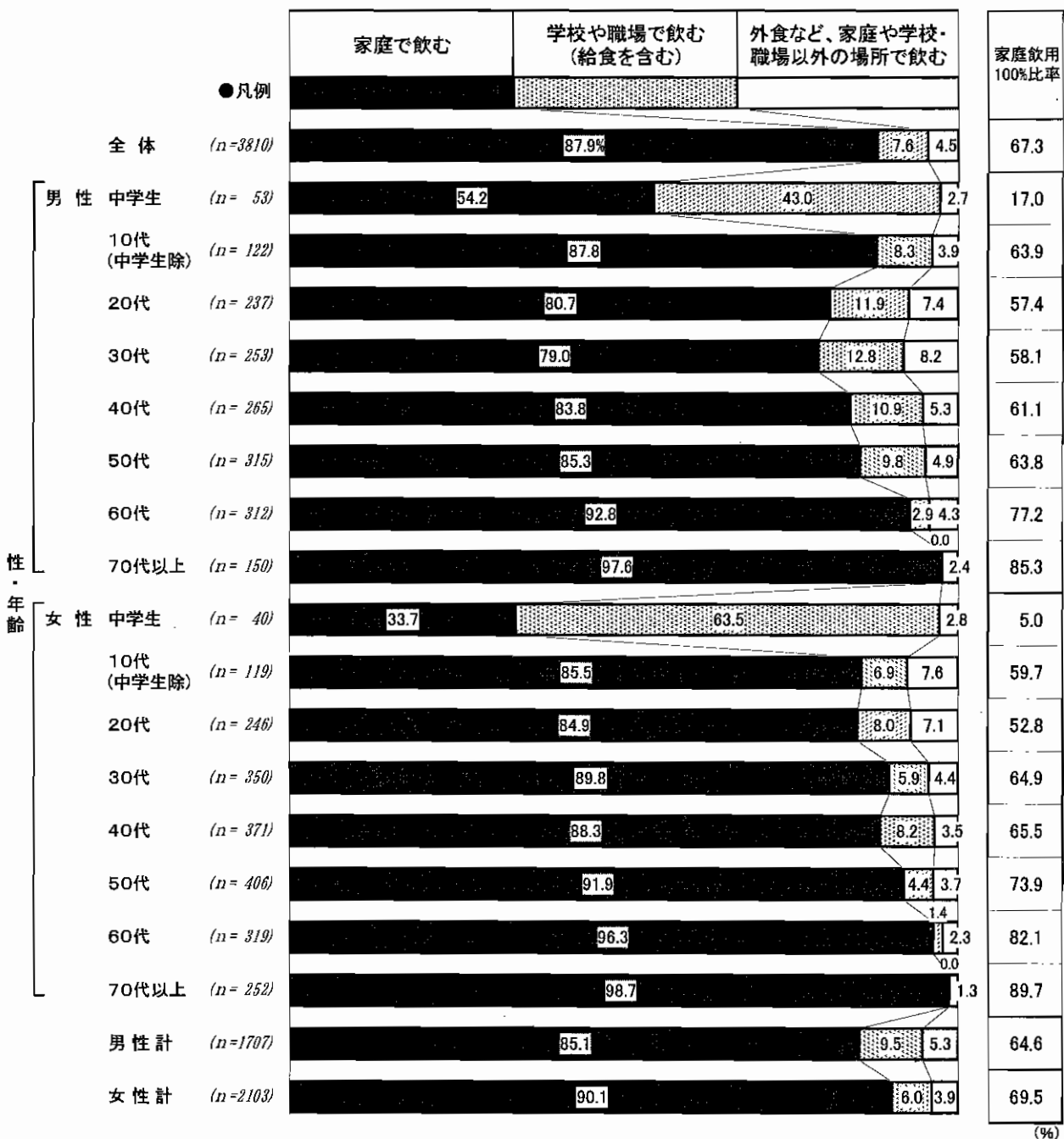


白もの牛乳類を飲む場所ごとに、飲用量の割合の平均値をみてみる。

全体でみると、「家庭」が88%を占める。

性・年齢別にみると、「学校や職場（給食を含む）」の割合は中学生の男性43%、女性64%と他の世代に比べて高く、給食での飲用を反映していると考えられる。

図表I-5-2 性・年齢別 白もの牛乳類の場所別飲用量割合(飲用者ベース)



2) 白もの牛乳類の飲用シーン

白もの牛乳類をそのまま飲む以外の場合を含めて、どのような時に飲むかを聞いた。

全体では、「のどがかわいたとき (53%)」「朝食をとりながら (47%)」「おやつや間食時 (43%)」の順が多い。

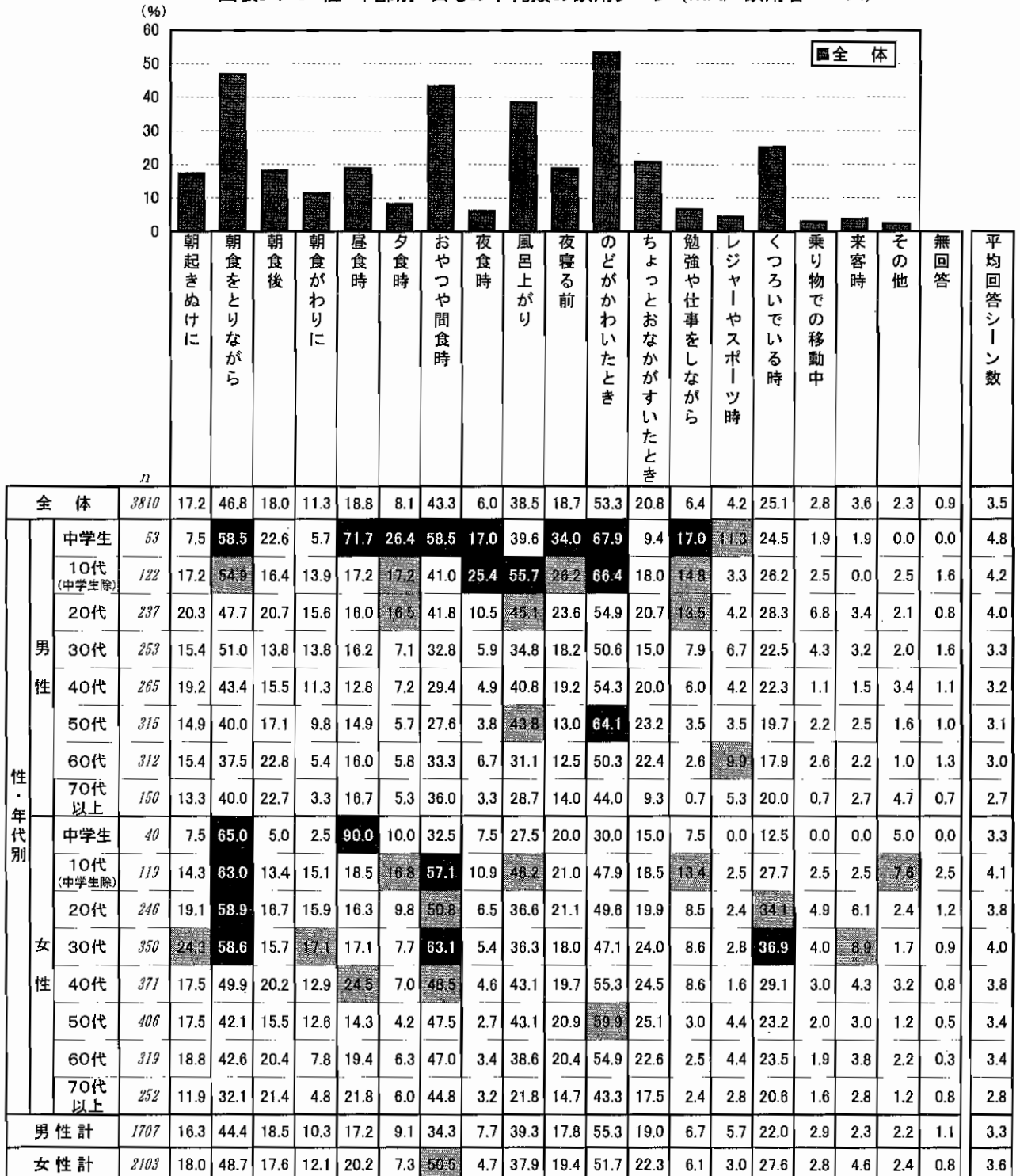
性・年齢別にみると、男性中学生では他の世代に比較して、多くのシーンで白もの牛乳類が飲まれている。

男性は年齢があがるにつれて、飲用シーンが少なくなる傾向がある。

女性では30代までの若い世代で「朝食をとりながら」飲まれる比率が比較的高い。また中学生を除く10代から30代までの層で「おやつや間食時」での比率が高くなっている。

中学生では「昼食時」が男性72%、女性90%と高く、給食での飲用を反映していると考えられるが、男女間の差の背景にある給食実態 (公私立別等) を把握する必要がある。

図表I-5-3 性・年齢別 白もの牛乳類の飲用シーン (MA/飲用者ペース)



■ 全体より5ポイント以上高い
 ■ 全体より10ポイント以上高い

(%)

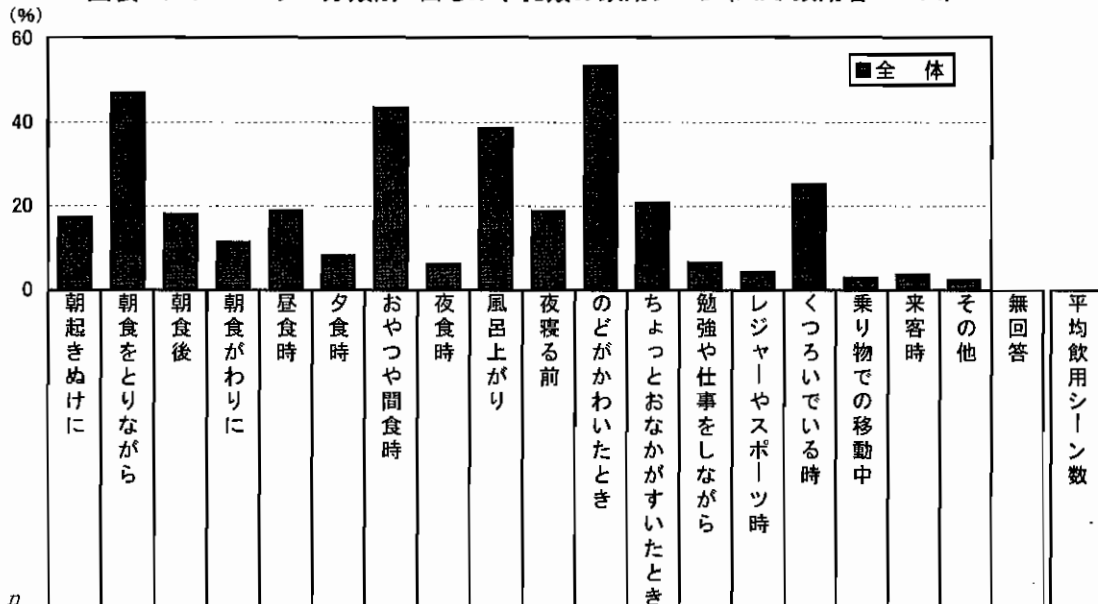
飲用行動別でみると「そのまま飲用週5日以上1日飲用量200ml」層では、他の層に比較して、多くの機会がよく白もの牛乳類が飲まれている。

全体で上位の「のどがかわいたとき」「朝食をとりながら」「おやつや間食時」に加えて、「風呂上がり」で飲む比率が57%と過半数となっている。また、他の層に比べると「昼食時」「夕食時」などの食事時に飲む比率が高い傾向がみられる。

飲用意識別でみると「効果重視者 - 愛飲」層は、他の層に比較して、多くの機会がよく白もの牛乳類が飲まれている。

全体の上位3項目に加えて、「風呂上がり」で飲む比率が56%と過半数となっている。また、他の層に比べると「くつろいでいる時（41%）」に飲む比率が高い傾向がみられる。

図表I-5-4 ユーザー分類別 白もの牛乳類の飲用シーン(MA/飲用者ベース)



		n	朝起きぬけに	朝食をとりながら	朝食後	朝食がわりに	昼食時	夕食時	おやつや間食時	夜食時	風呂上がり	夜寝る前	のどがかわいたとき	ちよつとおなががすいたとき	勉強や仕事をしながら	レジャーやスポーツ時	くつろいでいる時	乗り物での移動中	来客時	その他	無回答	平均飲用シーン数
全体		3810	17.2	46.8	18.0	11.3	18.8	8.1	43.3	6.0	38.5	18.7	53.3	20.8	6.4	4.2	25.1	2.8	3.6	2.3	0.9	3.5
飲用行動別	そのまま飲用週5日以上	1694	23.3	53.7	23.6	11.5	23.0	11.6	41.8	8.1	42.5	23.2	54.7	21.8	5.9	3.8	21.4	2.5	3.3	1.6	0.0	3.8
	1日飲用量400ml以上	492	29.3	61.6	28.5	16.7	32.3	22.4	53.7	13.4	56.7	34.3	70.7	27.4	11.6	5.3	31.5	4.1	4.5	2.6	0.0	5.0
	200ml	1014	19.8	50.8	21.6	9.8	20.3	6.9	36.6	5.7	35.8	17.9	46.6	18.5	3.5	2.9	16.9	1.8	2.2	1.0	0.0	3.2
	100ml以下	184	25.5	49.5	21.2	7.6	13.6	9.2	39.1	7.6	42.4	22.8	56.0	25.5	4.3	4.9	20.1	2.2	6.5	2.2	0.0	3.6
	そのまま飲用週1~4日	1220	14.4	46.2	15.7	11.9	18.8	6.2	46.7	5.7	44.4	19.3	60.2	25.6	6.4	4.9	28.3	2.5	3.6	2.0	0.1	3.6
	そのまま飲用それ以下	893	9.5	34.4	10.9	10.1	11.1	3.9	41.4	2.4	22.6	9.3	41.3	12.5	7.3	4.1	27.8	3.8	4.0	3.9	3.9	2.7
飲用意識別	効果重視者計	1663	20.6	48.9	20.2	13.4	20.1	8.2	48.2	7.8	44.4	27.8	56.5	25.3	7.1	5.2	29.0	3.5	4.6	2.2	0.1	3.9
	愛飲	644	28.1	57.8	24.8	16.1	23.1	11.2	57.9	10.6	56.4	35.7	69.9	34.3	12.1	7.1	41.0	5.6	7.1	3.0	0.0	5.0
	非愛飲	1019	15.9	43.4	17.3	11.7	18.2	6.3	42.0	6.0	36.9	22.8	48.0	19.5	3.9	4.0	21.5	2.3	2.9	1.8	0.1	3.2
	栄養重視者計	1555	15.0	47.5	18.2	9.5	18.6	8.2	41.7	4.6	37.3	12.7	54.5	19.5	5.5	3.7	21.2	2.3	2.3	1.9	0.0	3.2
	愛飲	669	22.9	56.2	18.5	10.9	24.7	12.7	49.6	6.1	46.6	17.0	65.6	24.7	8.7	4.3	25.9	3.4	2.5	1.9	0.0	4.0
	非愛飲	886	9.1	41.0	17.9	8.4	14.1	4.9	35.7	3.4	30.2	9.4	46.2	15.7	3.0	3.2	17.6	1.4	2.1	1.8	0.0	2.6
	牛乳愛飲者	218	22.9	50.0	14.2	13.8	22.5	13.6	41.3	8.7	39.9	13.3	57.8	19.7	8.3	6.0	33.0	4.1	5.0	1.8	0.0	3.8
	習慣飲用者	130	13.8	37.7	15.4	10.8	9.2	4.6	27.7	2.3	29.2	11.5	44.6	10.8	3.8	2.3	20.8	1.5	4.6	2.3	0.0	2.5

100.0 全体より5ポイント以上高い
 100.0 全体より10ポイント以上高い

[参考] 参考に「白もの牛乳類の飲用シーン」の推移をみる。

図表I-5-5 白もの牛乳類の飲用シーン (MA/時系列)

	<i>n</i>	朝食時	昼食時	夕食時	おやつや間食時	風呂上がり	夜寝る前	夜食や寝る前	仕事中	勉強中	レジャーやスポーツ時	その他	全く飲まない	無回答
2001年	4273	69.6	27.5	17.9	49.1	40.6	28.6		8.2	3.1	6.8	3.5		
2000年	4171	67.3	28.5	18.6	48.6	40.2	29.0		9.1	3.2	7.4	3.1		
1999年	4476	63.3	28.3	17.3	45.1	37.9	29.3		7.5	2.9	6.1	2.1	10.6	0.0
1998年														
1997年	4547	52.7	18.9	11.7	36.4	31.5		21.8	6.1	1.1	4.8	6.0	11.1	0.6
1996年	4706	51.2	17.5	10.6	36.3	29.6		18.0	6.1	1.2	3.5	3.6	10.4	0.1
1995年	4668	52.8	17.5	10.5	38.1			20.5	6.3	1.9	4.8	6.5	11.7	1.0
1994年	4617	55.0	16.5	9.8	26.8			21.7						
1993年	4553	51.6	15.2	13.1	28.2									
1991年	4714	48.1	16.4	8.8	22.8									

※斜線はデータなし
 ※1998年はデータなし

(%)

6. 白もの牛乳類を飲む理由と飲まない理由

1) 白もの牛乳類を飲む理由

白もの牛乳類を飲む人に、白もの牛乳類を飲む理由を聞いた。

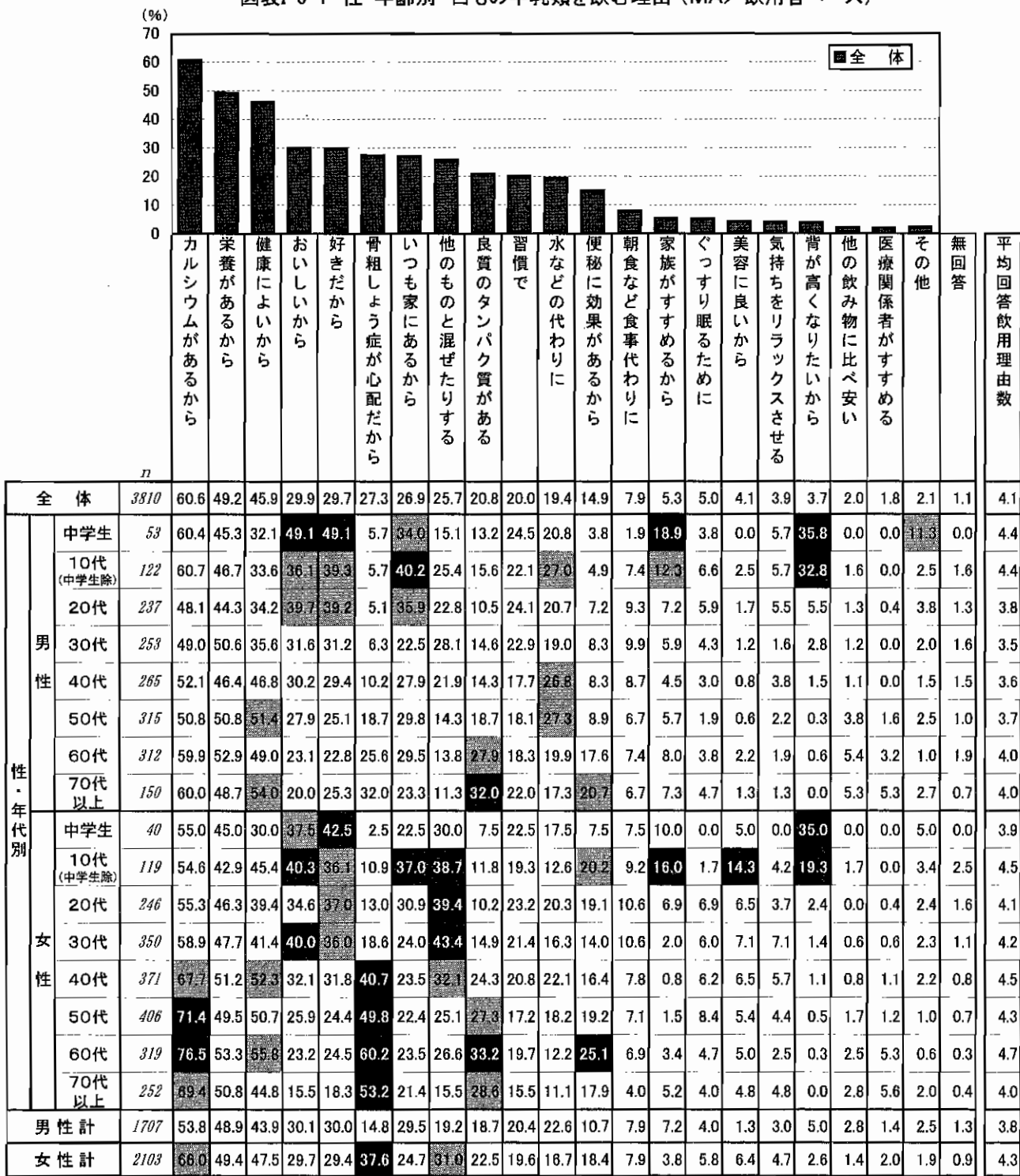
全体では、「カルシウムがあるから（61%）」「栄養があるから（49%）」「健康によいから（46%）」の順が多い。

性・年齢別にみると、男性の中学生を含む10代と女性中学生では「背が高くなりたいから」が3割以上となっている。

女性の中学生を除く10代から30代までの層では「他のものと混ぜたりする」が4割前後あり、他の層に比べて高い。

40代以降の女性では「骨粗しょう症が心配だから」とする比率が高い。またこの層では「カルシウムがあるから」とする比率も比較的高い。

図表I-6-1 性・年齢別 白もの牛乳類を飲む理由（MA/飲用者ベース）



■ 全体より5ポイント以上高い
 ■ 全体より10ポイント以上高い

「白もの牛乳類を飲む理由」の推移をみる。

2000年に比べて、2002年の「おいしいから」「いつも家にあるから」は5ポイント以上減少している。

図表I-6-2 白もの牛乳類を飲む理由 (MA/時系列)

	カルシウムがあるから	栄養があるから	健康によいから	おいしいから	好きだから	骨粗しょう症が心配だから	いつも家にあるから	他のものと混ぜたりする	良質のタンパク質がある	習慣で	水などの代わりに	便秘に効果があるから	朝食など食事代わりに	家族がすすめるから	ぐっすり眠るために	美容に良いから	気持ちをリラックスさせる	背が高くなりたいから	他の飲み物に比べ安い	医療関係者がすすめる	消化がよい	学校給食で飲む	それしかないから	その他	全く飲まない	無回答	
2002年	3810	60.6	49.2	45.9	29.9	29.7	27.3	26.9	25.7	20.8	20.0	19.4	14.9	7.9	5.3	5.0	4.1	3.9	3.7	2.0	1.8				2.1	1.1	
2001年																											
2000年	4171	61.2	49.2	34.9	30.9	28.5	33.3		20.7	19.0	21.5	18.1	10.5	9.2	5.1	5.2	4.9			2.5	4.8				2.7		
1999年	4476	54.8	45.1	32.9	29.2	25.1	31.4		19.1	18.0	20.6	17.9	9.7	7.7	5.3	4.7	5.2			2.2	5.2				2.4	10.6	0.0
1998年																											
1997年	4547	55.4	41.0	24.4	23.5	24.1	27.8		15.2	13.1	17.3	16.0	8.1	7.6		3.1				3.6					3.3	11.1	0.1
1996年	4706	50.3	40.7	22.2	23.3	19.3	19.9			15.5	17.3		7.9	5.7											3.2	10.4	0.1
1995年	4668	51.5	45.3	20.6	22.0	16.1	20.6			16.1	16.9		8.3	4.6		4.6		4.6	2.2	1.6		2.8			2.6	11.7	1.3
1994年	4617	58.7	53.9	26.5	26.5		31.0			14.3	13.4		8.6	6.5		5.7		5.7	2.8	2.5		4.5			2.9	13.4	0.1
1993年	4553	59.2	58.2	28.0	27.9		34.3			16.2	12.7		9.4	6.2		9.2		7.1	4.0	2.9		5.2			2.2	12.8	0.3
1992年	4651	51.3	52.8	25.2	28.2		30.3			14.7	14.5		8.5	6.3		4.9		5.5	2.3	2.7		3.7	2.1	2.1	13.7	0.3	
1991年	4714	50.1	54.3	25.5	28.2		31.1			14.0	15.4		8.3	6.0		5.6		6.3	2.0	2.9		5.1	2.8	2.0	12.5	0.3	
1990年	4691	54.3	58.3	23.0	26.6		30.7			13.5	14.2		8.4	5.7		7.7		5.9	2.1	2.7		4.1	2.5	2.0	12.8	0.3	
1989年	4579	46.9	54.9	22.1	26.0		29.6			12.1	14.0		8.8	5.5		6.9		4.7	2.2	3.0		3.9	2.2	1.7	15.4	0.6	
1988年	4604	44.4	55.7	23.0	25.9		29.7			11.5	14.0		9.2	6.2		9.0		6.6	2.8	2.4		5.3	2.4	1.6	15.4	0.9	
1987年	4664	38.4	53.4	23.7	27.5		27.4			14.7	18.2		9.1	5.1		8.6		5.5	2.5	2.0		4.8	3.2	1.6	16.1	1.2	

※斜線はデータなし
 ※1998年、2001年はデータなし
 ※1999年以前は非飲用者も含む全体ベース

(%)

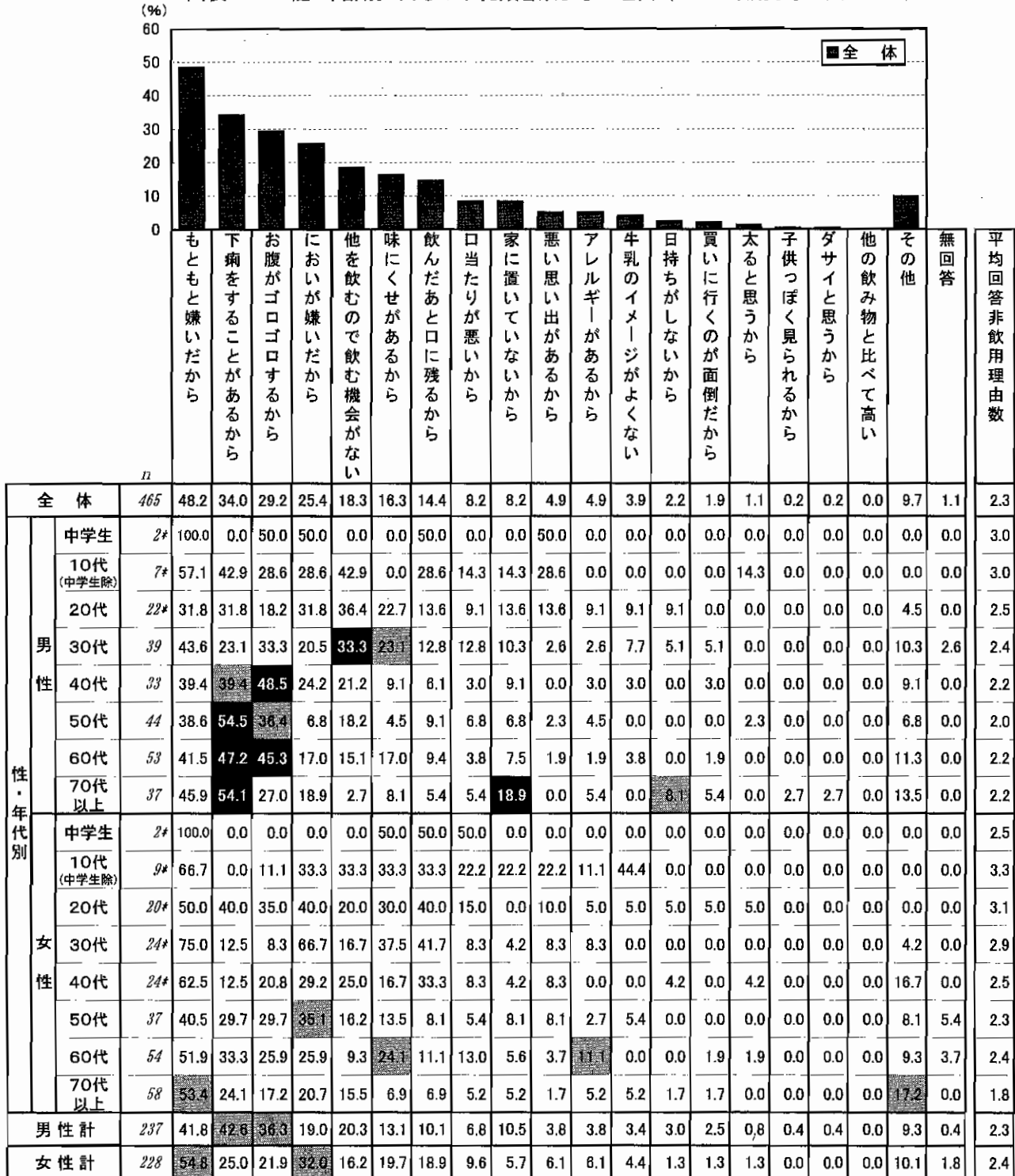
2) 白もの牛乳類を飲まない理由

白もの牛乳類を飲まない人に、飲まない理由を聞いた。

全体では、「もともと嫌いだから (48%)」「下痢をすることがあるから (34%)」「お腹がゴロゴロするから (29%)」の順で多い。

性・年齢別にみると、40代以降の男性では「下痢をすることがあるから」「お腹がゴロゴロするから」とする比率が比較的高い。

図表I-6-3 性・年齢別 白もの牛乳類を飲まない理由 (MA/飲用しない人ベース)



n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

n(サンプル数)が30以上の場合、

■ 全体より5ポイント以上高い

■ 全体より10ポイント以上高い

(%)

7. 白もの牛乳類の種類

牛乳の種類について、「知っているもの」「過去1ヵ月間に飲んだもの」「今後も飲み続けたいもの／新たに飲みたいもの」を聞いた。（「普通の牛乳」については知っているかどうかは不問とした）

「知っている」牛乳の種類は、「低脂肪乳（72%）」「産地表示牛乳（65%）」「濃厚牛乳（57%）」の順が多い。

「過去1ヵ月間に飲んだ」牛乳の種類では、「普通の牛乳（55%）」「産地表示牛乳（37%）」「低脂肪乳（28%）」の順となっている。

「今後も飲み続けたいもの／新たに飲みたい」牛乳の種類では、「普通の牛乳（48%）」「産地表示牛乳（34%）」「栄養成分強化牛乳（28%）」の順である。「栄養成分強化牛乳」については過去1ヵ月間に飲んだ比率（17%）よりも高い。

図表I-7-1 白もの牛乳類の種類(MA)

(N=4277)

	知っている牛乳の種類	過去1ヶ月間に飲んだ牛乳の種類	今後も飲み続けたい／新たに飲みたい牛乳の種類
普通の牛乳	<不問>	55.0	47.5
産地表示牛乳	64.9	36.5	33.5
低温殺菌牛乳	47.4	15.1	14.7
高温殺菌牛乳	24.4	4.6	5.1
ロングライフ牛乳	32.2	3.5	3.5
低脂肪乳	72.4	27.7	24.6
無脂肪乳	37.1	5.2	7.4
濃厚牛乳	56.6	14.6	15.1
お腹がゴロゴロしない牛乳	31.0	2.2	7.2
栄養成分強化牛乳	49.0	17.3	27.7
ひとつもない	4.0	12.9	12.0
無回答	6.2	1.0	1.2

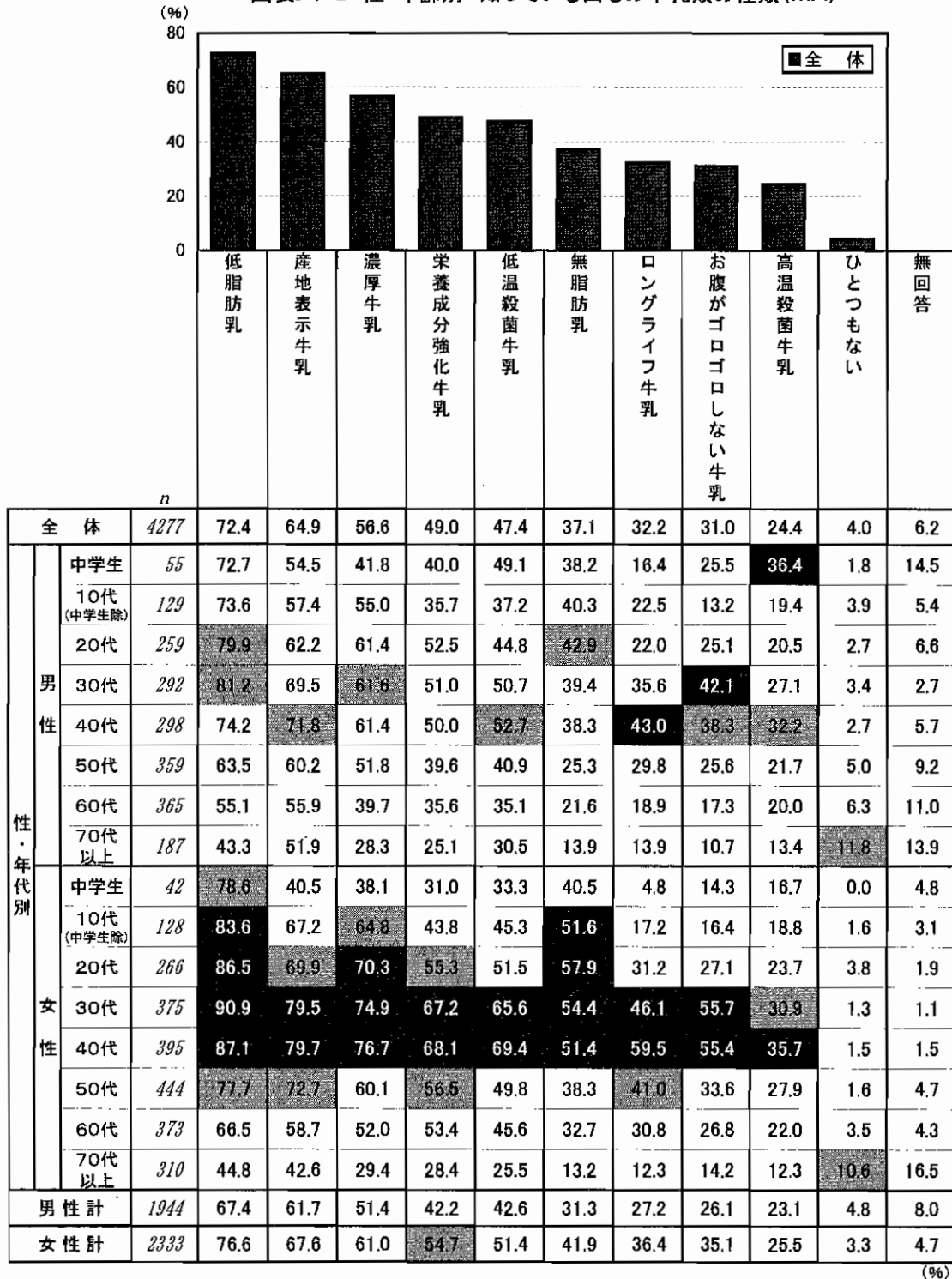
(%)

「知っている」牛乳の種類を性・年齢別にみると、どの種類についても、男性より女性の方が知っている比率が高い。

特に30代、40代女性では、全般的に「知っている」とする比率が高い。

また中学生を除く10代、20代の女性では他の層に比較して、「低脂肪乳」「無脂肪乳」の比率が高い。

図表I-7-2 性・年齢別 知っている白もの牛乳の種類(MA)



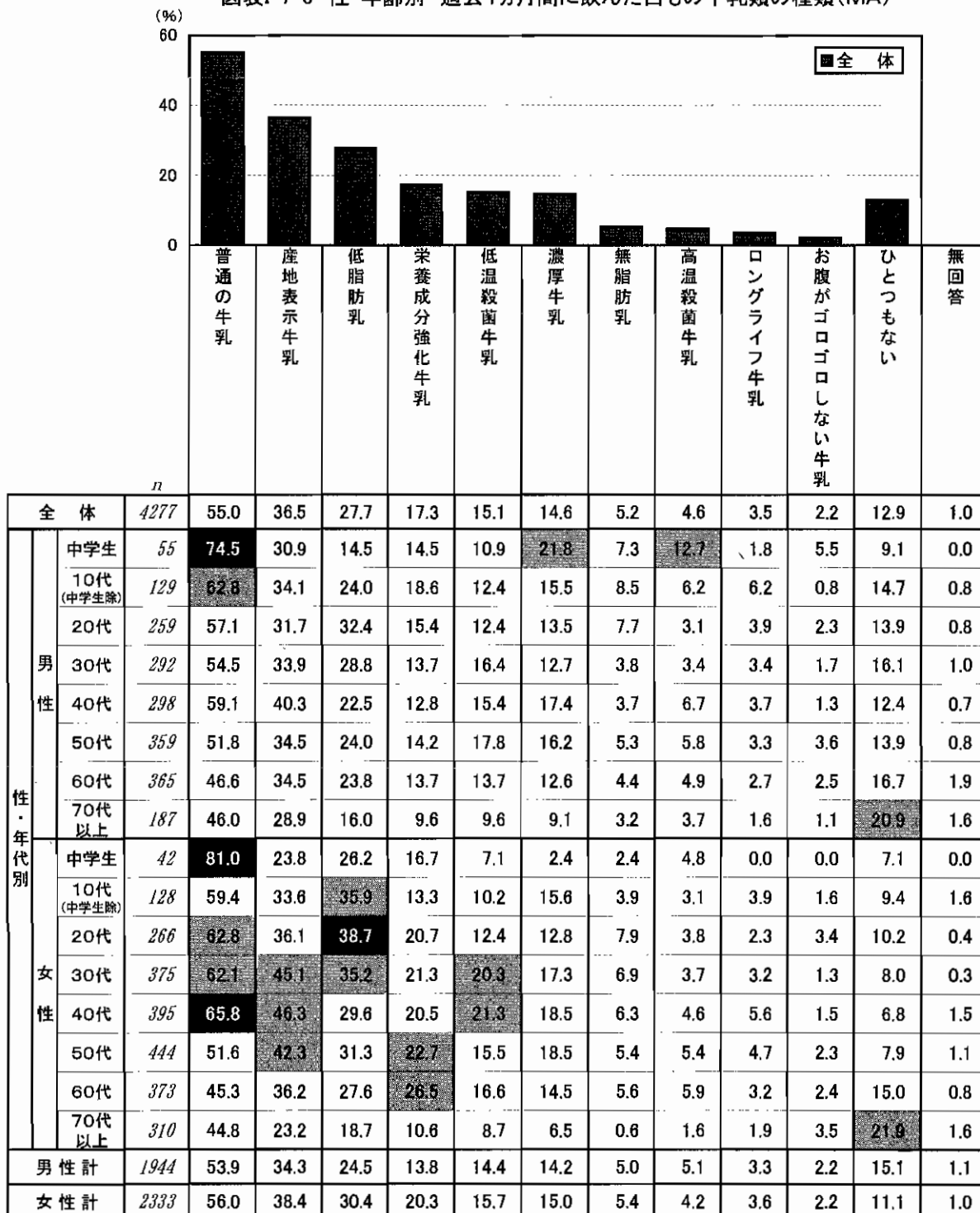
■ 全体より 5ポイント以上高い
 ■ 全体より10ポイント以上高い

(%)

「過去1ヵ月間に飲んだ」牛乳の種類を性・年齢別にみると、「普通の牛乳」は男女とも過半数となっている。

また全般的に、男性より女性の飲用比率が高く、「低脂肪乳」「栄養成分強化牛乳」では男性よりも女性の飲用比率が5ポイント以上高くなっている。女性の中でも、「産地表示牛乳」は30代から50代の中間層、「低脂肪乳」では中学生を除く10代から30代までの若年層、「栄養成分強化牛乳」では50代、60代の高年齢層で比率が高い。

図表I-7-3 性・年齢別 過去1ヵ月間に飲んだ白もの牛乳類の種類(MA)



■ 全体より 5ポイント以上高い
 ■ 全体より10ポイント以上高い

「過去1ヵ月間に飲んだ」牛乳の種類の変遷をみる。

「普通の牛乳」の飲用比率に減少傾向がみられるのに対して、「産地表示牛乳」の飲用比率は増加傾向にある。

図表I-7-4 過去1ヵ月間に飲んだ白もの牛乳類の種類 (MA/時系列)

	<i>n</i>	普通の牛乳	産地表示牛乳	低脂肪乳	栄養成分強化牛乳	低温殺菌牛乳	濃厚牛乳	無脂肪乳	高温殺菌牛乳	ロングライフ牛乳	お腹がゴロゴロしない牛乳	クリーム層ができる牛乳	ひとつもない	無回答
2002年	4277	55.0	36.5	27.7	17.3	15.1	14.6	5.2	4.6	3.5	2.2		12.9	1.0
2001年	4778	68.3	28.5	26.7	19.5	13.6	13.4	5.0		3.4	3.0		9.9	1.1
2000年	4632	67.7	27.3	29.6	20.7	14.7	13.8	6.1		3.8	3.5		9.0	0.7
1999年	4476	67.7	28.9	32.3	23.6	16.0	13.2	6.7		4.8	3.1		9.4	1.7
1998年	4472	75.0	17.6	31.8	22.4	10.5	13.7	5.0		4.3	3.0		10.8	0.8
1997年	4547	69.8	15.9	29.1	18.5	10.0	15.5			3.8	2.4	1.5	10.1	1.1
1996年	4706		26.2	33.9	14.3	16.6	24.5			8.2	2.8	1.9	29.5	3.9

※斜線はデータなし

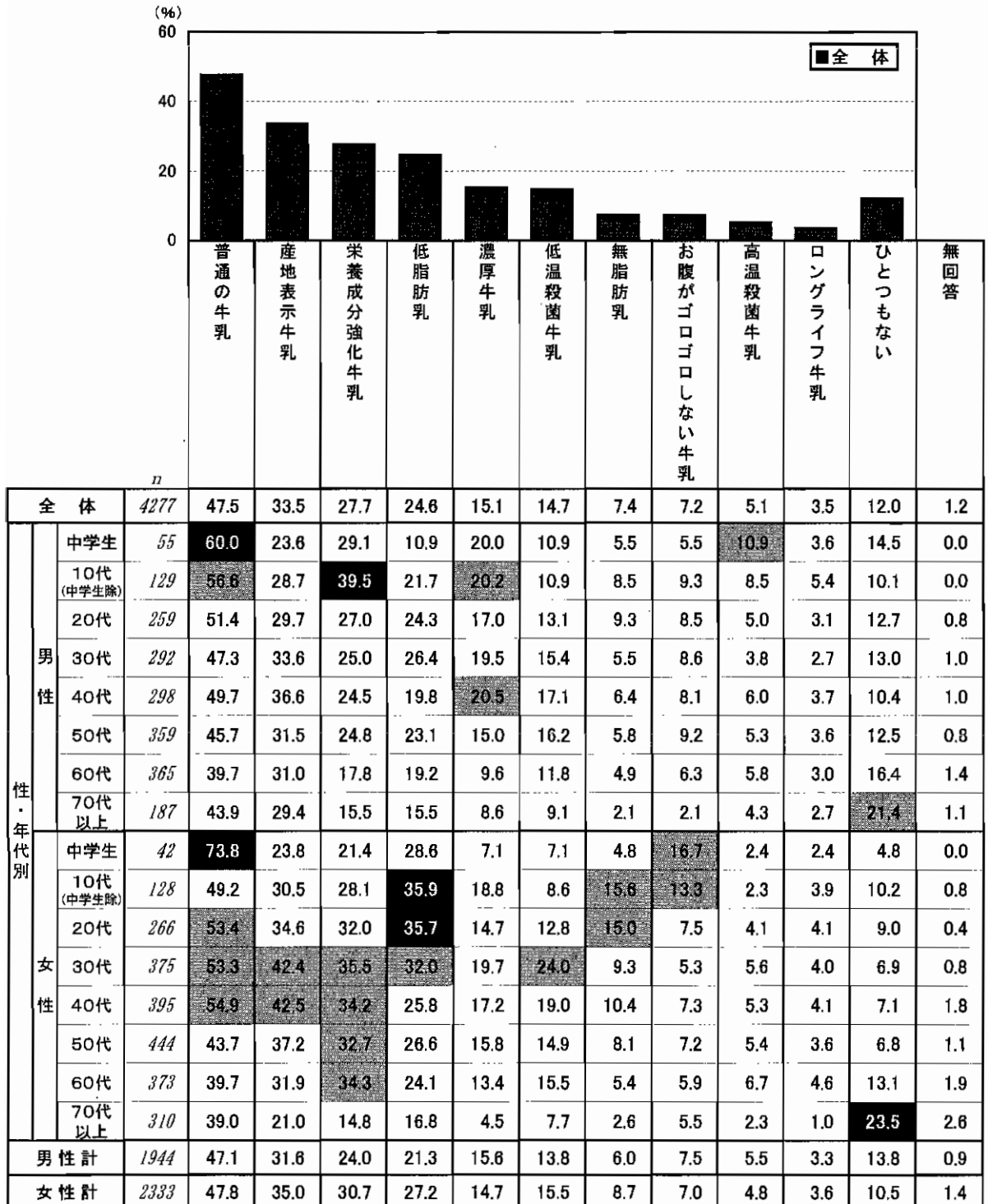
(%)

「今後も飲み続けたい／新たに飲みたい」牛乳の種類を性・年齢別にみると、「普通の牛乳」は男女ともほぼ半数を占める。

「栄養成分強化牛乳」「低脂肪乳」では、男性よりも女性の飲用意向比率が5ポイント以上高くなっている。

また女性の中でも、「産地表示牛乳」は30代から40代の中間層、「栄養成分強化牛乳」では30代から60代までの中高年齢層、「低脂肪乳」では中学生を除く10代から30代までの若年層で比率が高い。

図表I-7-5 性・年齢別 今後も飲み続けたい／新たに飲みたい白もの牛乳の種類(MA)



(%)

■ 全体より 5ポイント以上高い
 ■ 全体より10ポイント以上高い

「今後も飲み続けたい／新たに飲みたい」牛乳の種類の変遷をみる。

「産地表示牛乳」の飲用意向比率に増加傾向がみられる。

図表I-7-6 牛乳商品の今後も飲み続けたい／新たに飲みたい白もの牛乳類の種類（MA／時系列）

	n	普通の牛乳	産地表示牛乳	栄養成分強化牛乳	低脂肪乳	濃厚牛乳	低温殺菌牛乳	無脂肪乳	お腹がゴロゴロしない牛乳	高温殺菌牛乳	ロングライフ牛乳	クリームの層ができる牛乳	ひとつもない	無回答
2002年	4277	47.5	33.5	27.7	24.6	15.1	14.7	7.4	7.2	5.1	3.5	/	12.0	1.2
2001年	4778	53.4	24.8	22.5	19.6	11.6	11.4	4.7	6.8	/	2.4	/	9.8	3.6
2000年	4632	52.4	23.0	24.2	20.9	12.5	11.1	5.8	7.7	/	3.0	/	9.2	3.3
1999年	4476	54.0	24.7	29.0	25.4	12.3	12.5	7.0	7.5	/	3.8	/	9.2	1.0
1998年	4472	44.5	20.9	35.4	22.5	13.2	13.0	9.3	13.8	/	5.0	/	11.9	1.1
1997年	4547	30.2	13.3	29.0	18.6	10.8	10.4	/	8.6	/	3.1	4.6	15.5	3.1
1996年	4706	/	15.6	27.3	17.1	11.7	11.3	/	11.9	/	6.6	9.1	32.8	5.0

※斜線はデータなし

(%)

II 子供の白もの牛乳類の飲用実態

本調査の対象とならない12歳以下の子供の飲用実態について調査をするため、調査対象者に（同居家族に12歳以下の子供がいる場合のみ）子供の飲用実態を聞いた。

1. 子供の白もの牛乳類の飲用頻度

そのまま飲む以外の場合を含めて、白もの牛乳類を子供がどれくらいの頻度で飲むかを聞いた。

子供の飲用頻度を性・年齢別にみると、生後5ヶ月までの0歳児では飲用者はなく、生後6ヶ月以上の0歳児でも「毎日飲む」とする比率は19%であり、他の年齢層に比較して少なくなっている。

「1～2歳児」から年齢が上がるにつれ、白もの牛乳類の飲用頻度は高くなる傾向がみられ、「小学校3～4年生」の男女、「小学校5～6年生」の男児では7割を越える子供が「毎日」飲んでいる。

図表II-1-1 子供の性・年齢別 子供の白もの牛乳類の飲用頻度

		<i>n</i>	毎日飲む	週に5～6日飲む	週に3～4日飲む	週に1～2日飲む	月に2～3日飲む	それ以下しか飲まない	全く飲まない	わからない	無回答	平均(日/週)
子供全体		1071	59.9	17.5	7.7	3.2	1.7	1.2	4.0	1.9	3.1	5.8
0歳・計		44	11.4	0.0	4.5	0.0	4.5	0.0	40.9	18.2	20.5	1.6
生後5ヶ月まで		17*	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	47.1	29.4	23.5	0.0
生後6ヶ月以上		27*	18.5	0.0	7.4	0.0	7.4	0.0	37.0	11.1	18.5	2.3
1～2歳	男児	57	54.4	12.3	12.3	5.3	3.5	3.5	1.8	5.3	1.8	5.4
	女児	39	46.2	10.3	10.3	5.1	7.7	2.6	10.3	2.6	5.1	4.6
3～4歳	男児	50	54.0	16.0	14.0	4.0	4.0	4.0	4.0	0.0	0.0	5.2
	女児	40	60.0	15.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7
5～6歳(未就学)	男児	31	67.7	12.9	12.9	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	6.2
	女児	25*	64.0	8.0	20.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	5.6
小学校1～2年生	男児	74	66.2	18.9	5.4	1.4	1.4	0.0	2.7	1.4	2.7	6.1
	女児	54	57.4	31.5	1.9	3.7	0.0	0.0	0.0	1.9	3.7	6.2
小学校3～4年生	男児	75	76.0	13.3	2.7	4.0	1.3	1.3	0.0	0.0	1.3	6.3
	女児	76	71.1	21.1	1.3	2.6	0.0	0.0	0.0	1.3	2.6	6.5
小学校5～6年生	男児	111	70.3	18.9	2.7	0.9	0.9	0.0	1.8	2.7	1.8	6.4
	女児	122	59.8	21.3	7.4	1.6	0.0	2.5	4.1	0.0	3.3	5.8
中学校1年生	男児	57	61.4	10.5	10.5	5.3	3.5	1.8	5.3	0.0	1.8	5.4
	女児	56	58.9	23.2	8.9	1.8	3.6	0.0	0.0	0.0	3.6	6.0

(%)

n(サンプル数)の*は、*n* < 30を表す。

[参考] 参考にこれまでの調査でのこどもの1日あたりの飲用量の推移をみる。

図表II-1-2 小学生以下の子供の1日あたりの白もの牛乳類の飲用量(時系列)

	子供全体		男児							
			1~3歳		4~6歳		小学校1~3年生		小学校4~6年生	
	N	平均値 (mℓ)	N	平均値 (mℓ)	N	平均値 (mℓ)	N	平均値 (mℓ)	N	平均値 (mℓ)
1996年	1739	255.5	220	218.3	182	259.4	234	315.4	228	344.5
1995年	1689	258.4	202	225.4	171	244.5	208	323.9	224	327.7
1993年	1871	265.4	244	265.7	222	274.9	213	306.4	224	327.4

	子供全体		女児							
			1~3歳		4~6歳		小学校1~3年生		小学校4~6年生	
	N	平均値 (mℓ)	N	平均値 (mℓ)	N	平均値 (mℓ)	N	平均値 (mℓ)	N	平均値 (mℓ)
1996年	1739	255.5	190	204.1	158	233.2	208	294.8	197	294.5
1995年	1689	258.4	209	225.6	173	250.6	194	275.9	204	283.6
1993年	1871	265.4	203	252.1	187	239.0	220	285.8	219	264.2

2. 子供の白もの牛乳類の飲用量

そのまま飲む以外の場合を含めて、白もの牛乳類を子供が1日にどれくらいの量を飲むかを聞いた。

12歳以下の子供全体で見ると、「200ml」とする比率が最も高く、45%となっている。

性・年齢別にみると、「小学校3～4年生」以上の子供では、「400ml」とする比率が3割前後を占めている。

図表II-2-1 子供の性・年齢別 子供が1日に白もの牛乳類を飲む量／年間平均（飲用者ベース）

		n	15cc 未満	15 cc	30 cc	50 ml	100 ml	200 ml	400 ml	600 ml	800 ml	1ℓ 以上	無回答	平均 (ml/日)
子供全体		975	1.2	0.4	1.1	4.3	14.4	44.8	24.4	5.2	1.8	1.3	0.9	266.2
0歳 (生後6ヶ月以上)		9*	22.2	0.0	11.1	22.2	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.6
1～2歳	男児	52	3.8	0.0	1.9	15.4	34.6	30.8	9.6	1.9	0.0	0.0	1.9	157.7
	女児	32	9.4	0.0	3.1	12.5	25.0	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	157.9
3～4歳	男児	48	0.0	0.0	6.3	8.3	16.7	33.3	27.1	6.3	2.1	0.0	0.0	251.9
	女児	40	0.0	0.0	5.0	7.5	42.5	27.5	12.5	2.5	0.0	2.5	0.0	192.8
5～6歳 (未就学)	男児	30	0.0	0.0	0.0	6.7	43.3	33.3	13.3	3.3	0.0	0.0	0.0	186.7
	女児	23*	0.0	0.0	0.0	0.0	30.4	43.5	21.7	0.0	0.0	0.0	4.3	213.6
小学校 1～2年生	男児	69	1.4	0.0	0.0	0.0	4.3	62.3	20.3	8.7	1.4	1.4	0.0	288.5
	女児	51	0.0	0.0	0.0	7.8	7.8	54.9	25.5	3.9	0.0	0.0	0.0	247.1
小学校 3～4年生	男児	74	1.4	0.0	0.0	5.4	6.8	44.8	28.4	6.8	5.4	0.0	1.4	300.1
	女児	73	0.0	0.0	1.4	1.4	6.8	47.9	32.9	8.2	0.0	0.0	1.4	288.6
小学校 5～6年生	男児	104	0.0	0.0	0.0	0.0	5.8	43.3	34.6	10.6	1.9	2.9	1.0	341.7
	女児	113	0.9	1.8	0.0	1.8	8.0	53.1	27.4	3.5	0.9	2.7	0.0	280.0
中学校 1年生	男児	53	1.9	0.0	1.9	1.9	7.5	45.3	30.2	5.7	3.8	0.0	1.9	290.1
	女児	54	0.0	0.0	0.0	1.9	7.4	48.1	29.6	3.7	3.7	5.6	0.0	330.6

(%)

※生後5ヶ月までの乳児では白もの牛乳類を飲むとする回答はない。
n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

子供が1日に白もの牛乳類を飲む量の季節による変動をみてみると、小学校3～6年生の男児では、夏場は冬場より平均で50ml以上飲用量が多くなっている。

図表II-2-2 子供の性・年齢別／季節変動 子供が1日に白もの牛乳類を飲む量（飲用者ベース）

		<i>n</i>	(ml)		
			年間平均	夏場	冬場
子供全体		975	266.2	281.7	243.0
0歳(生後6ヶ月以上)		9*	60.6	77.2	55.8
1～2歳	男児	52	157.7	165.0	148.9
	女児	32	157.9	165.9	148.8
3～4歳	男児	48	251.9	259.2	220.6
	女児	40	192.8	183.3	145.8
5～6歳 (未就学)	男児	30	186.7	213.3	173.3
	女児	23*	213.6	243.5	213.0
小学校 1～2年生	男児	69	288.5	311.7	274.7
	女児	51	247.1	256.9	230.4
小学校 3～4年生	男児	74	300.1	331.6	280.2
	女児	73	288.6	297.0	273.5
小学校 5～6年生	男児	104	341.7	359.6	300.5
	女児	113	280.0	297.2	260.1
中学校 1年生	男児	53	290.1	330.5	259.4
	女児	54	330.6	331.5	278.7

※ 生後5ヶ月までの乳児では白もの牛乳類を飲むとする回答はない。

n(サンプル数)の*は、*n* < 30を表す。

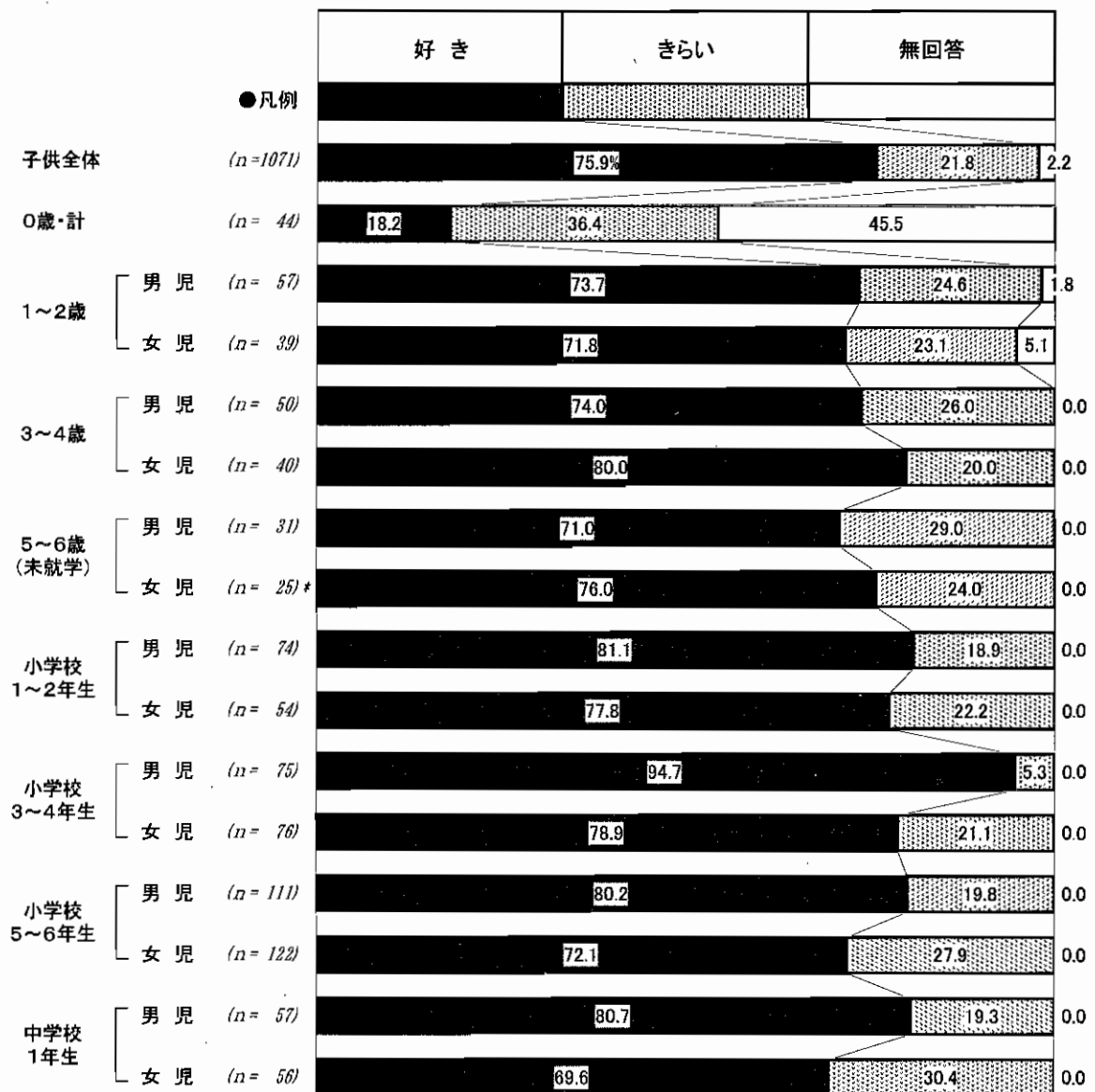
3. 子供の白もの牛乳類の好き嫌い

1) そのまま飲む場合の好き嫌い

子供が白もの牛乳類をそのまま飲むのが好きかを聞いた。

好き嫌いについて、性・年齢別にみると小学校3～4年生の男児で、95%と「好き」の比率が高く、この他にも1～2歳以上の子供は男女とも7～8割が「好き」としている。

図表II-3-1 子供の性・年齢別 そのまま飲む場合の好き嫌い



n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

2)他のものと混ぜて飲む場合の飲用

そのまま飲むのが嫌いなこどもが、白もの牛乳類を他のものと混ぜて飲むかを聞いた。

小学校5～6年生の女兒では、過半数が他のものと混ぜれば「飲む」としている。

(これ以外の層はサンプル数が少ないため参考程度)

図表II-3-2 子供の性・年齢別 他のものと混ぜて飲む場合の飲用（そのまま飲むのが嫌いな子供ベース）

		<i>n</i>	飲む	飲まない	無回答
こども全体		234	67.5	32.1	0.4
0歳・計		16*	0.0	100.0	0.0
1～2歳	男児	14*	71.4	28.6	0.0
	女児	9*	44.4	44.4	11.1
3～4歳	男児	13*	69.2	30.8	0.0
	女児	8*	100.0	0.0	0.0
5～6歳 (未就学)	男児	9*	66.7	33.3	0.0
	女児	6*	83.3	16.7	0.0
小学校 1～2年生	男児	14*	64.3	35.7	0.0
	女児	12*	91.7	8.3	0.0
小学校 3～4年生	男児	4*	100.0	0.0	0.0
	女児	16*	81.3	18.8	0.0
小学校 5～6年生	男児	22*	81.8	18.2	0.0
	女児	34	64.7	35.3	0.0
中学校 1年生	男児	11*	63.6	36.4	0.0
	女児	17*	88.2	11.8	0.0

(%)

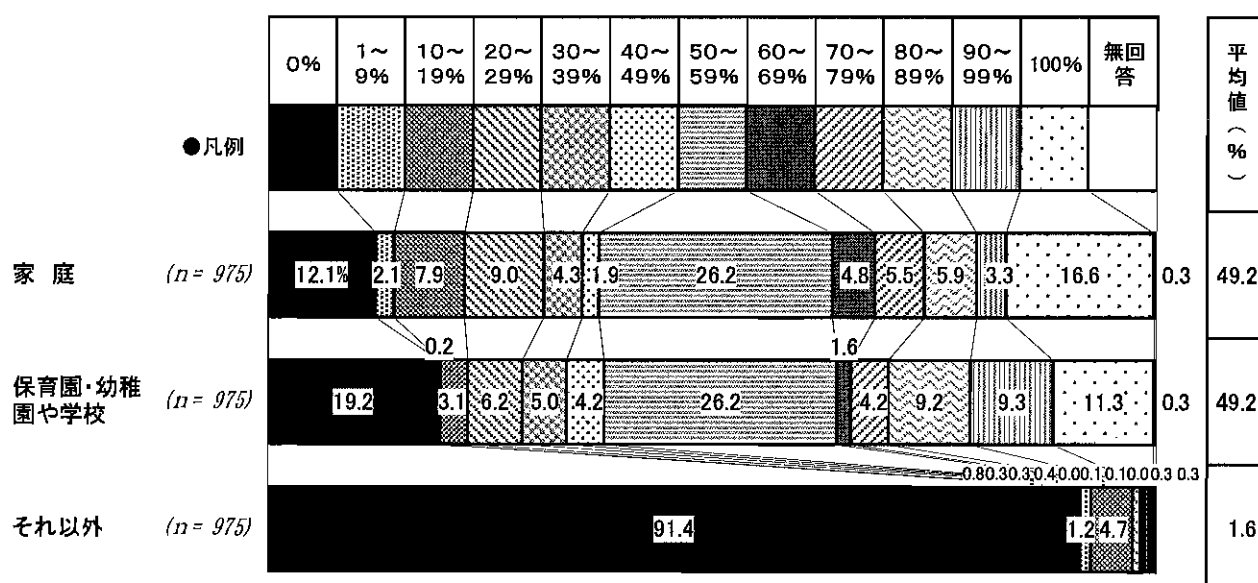
n(サンプル数)の*は、*n* < 30を表す。

4. 子供の白もの牛乳類の飲用場所

白もの牛乳類をどこで飲むか「家庭」「保育園・幼稚園や学校」「家庭、保育園・幼稚園や学校以外の場所」の飲用量の割合を聞いた。

「家庭、保育園・幼稚園や学校以外の場所」で全く飲まないとする子供は91%と9割を超えている。

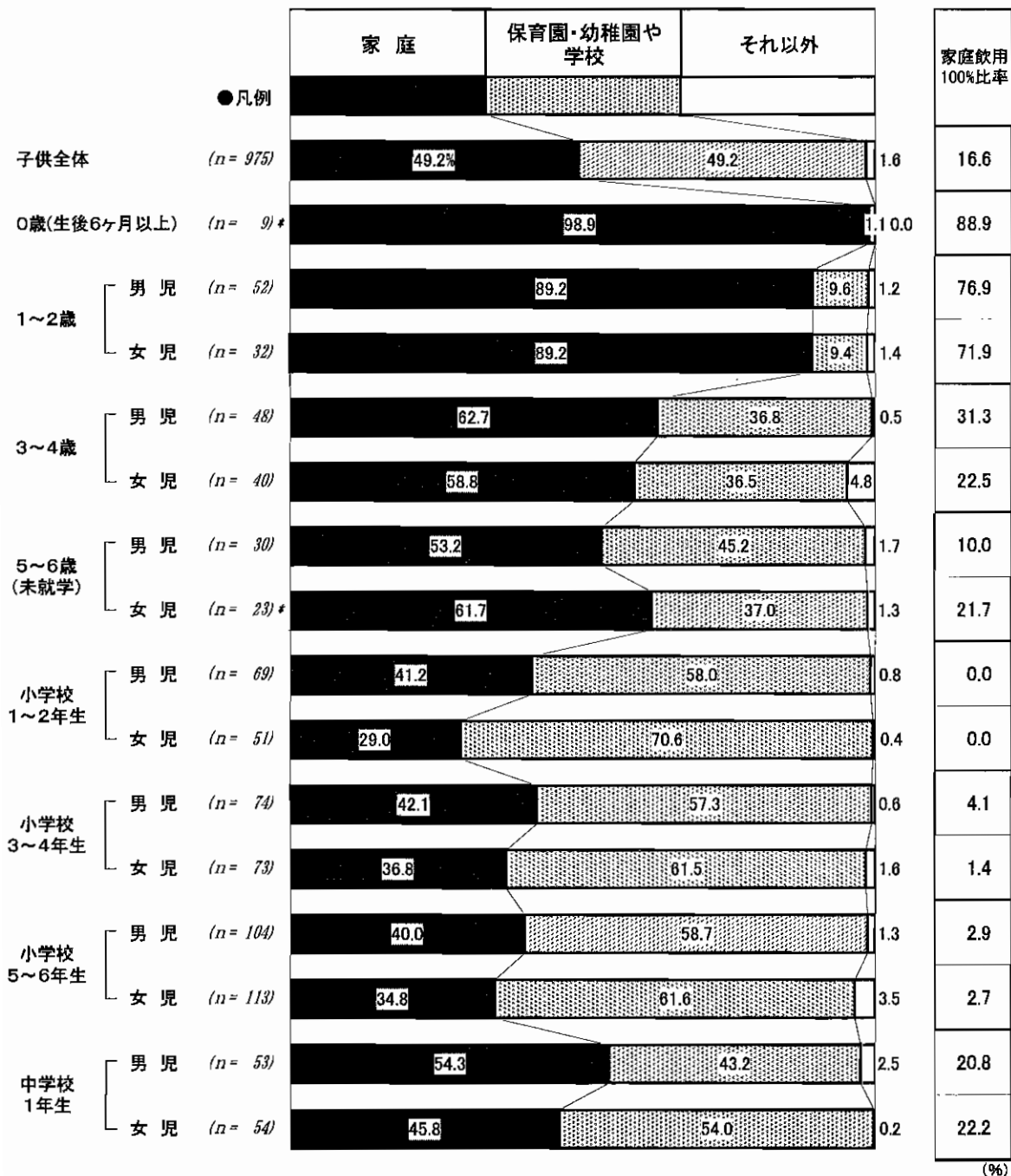
図表II-4-1 子供の白もの牛乳類の飲用場所（飲用者ベース）



白もの牛乳類を飲む場所ごとに、飲用量の割合の平均値をみてる。

性・年齢別にみると、小学生では「保育園・幼稚園や学校」での飲用割合がほぼ6~7割あり、家庭より学校での飲用量が上回っている。

図表II-4-2 子供の性・年齢別 白もの牛乳類の場所別飲用量割合（飲用者ベース）



※生後5ヶ月までの乳児では白もの牛乳類を飲むとする回答はない。
n(サンプル数)の*は、n < 30を表す。

(%)

Ⅲ 白もの牛乳類の購入実態と常備実態

1. 白もの牛乳類の購入頻度

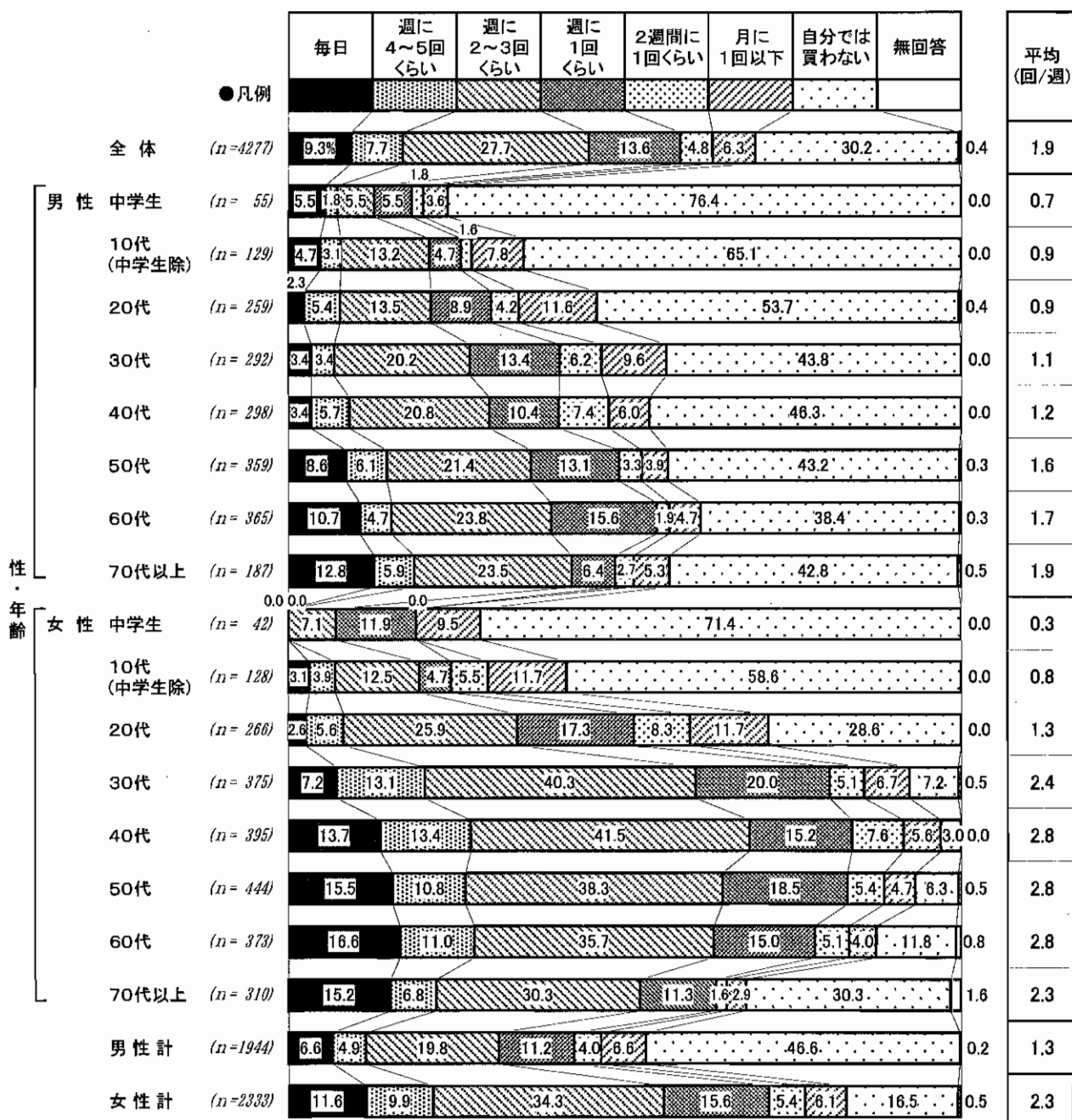
自分用・家族用を含めて、白もの牛乳類を自分が購入するのはどのくらいの頻度かを聞いた。

全体では、「毎日」購入する人の比率は9.3%であり、週1回以上購入する人では58%と過半数を占める。一方「自分では買わない」とする比率は30%である。

性・年齢別にみると、30代以降の女性で平均購入頻度が2回以上と比較的高くなっている。

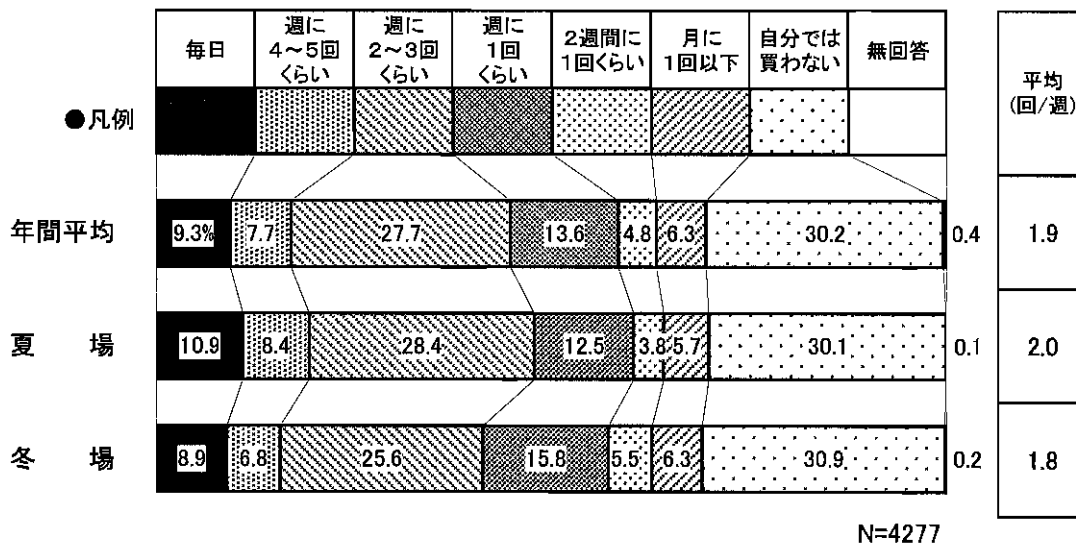
また、40代以降の層で「毎日」の比率が15%前後と他の層に比べて高くなっている。

図表Ⅲ-1-1 性・年齢別 白もの牛乳類を自分で購入する頻度／年間平均



白もの牛乳類の購入頻度の季節による変動をみると、夏場は冬場に比べ週に2～3回以上購入する人の割合がやや多くなっている。

図表III-1-2 季節変動 白もの牛乳類を自分で購入する頻度



2. 白もの牛乳類の購入場所

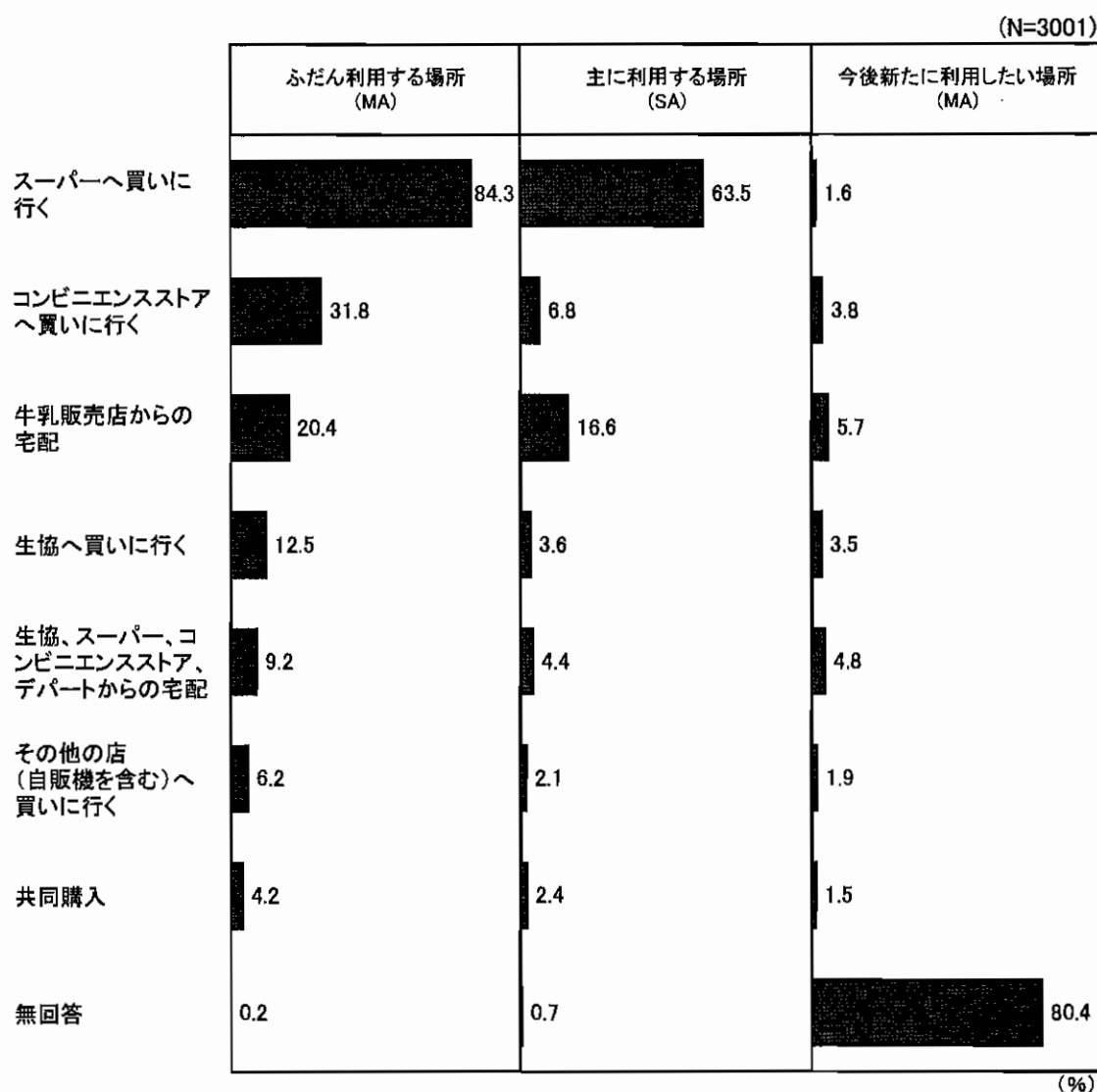
白もの牛乳類をどのような場所で購入しているか「ふだん利用する」「主に利用する」「今後新たに利用したい」場所をそれぞれ聞いた。

「ふだん利用する」場所は、「スーパーへ買いに行く（84%）」「コンビニエンスストアへ買いに行く（32%）」「牛乳販売店からの宅配（20%）」の順が多い。

「主に利用する」場所では、「スーパーへ買いに行く（64%）」が最も多く、次いで「牛乳販売店からの宅配（17%）」となっている。

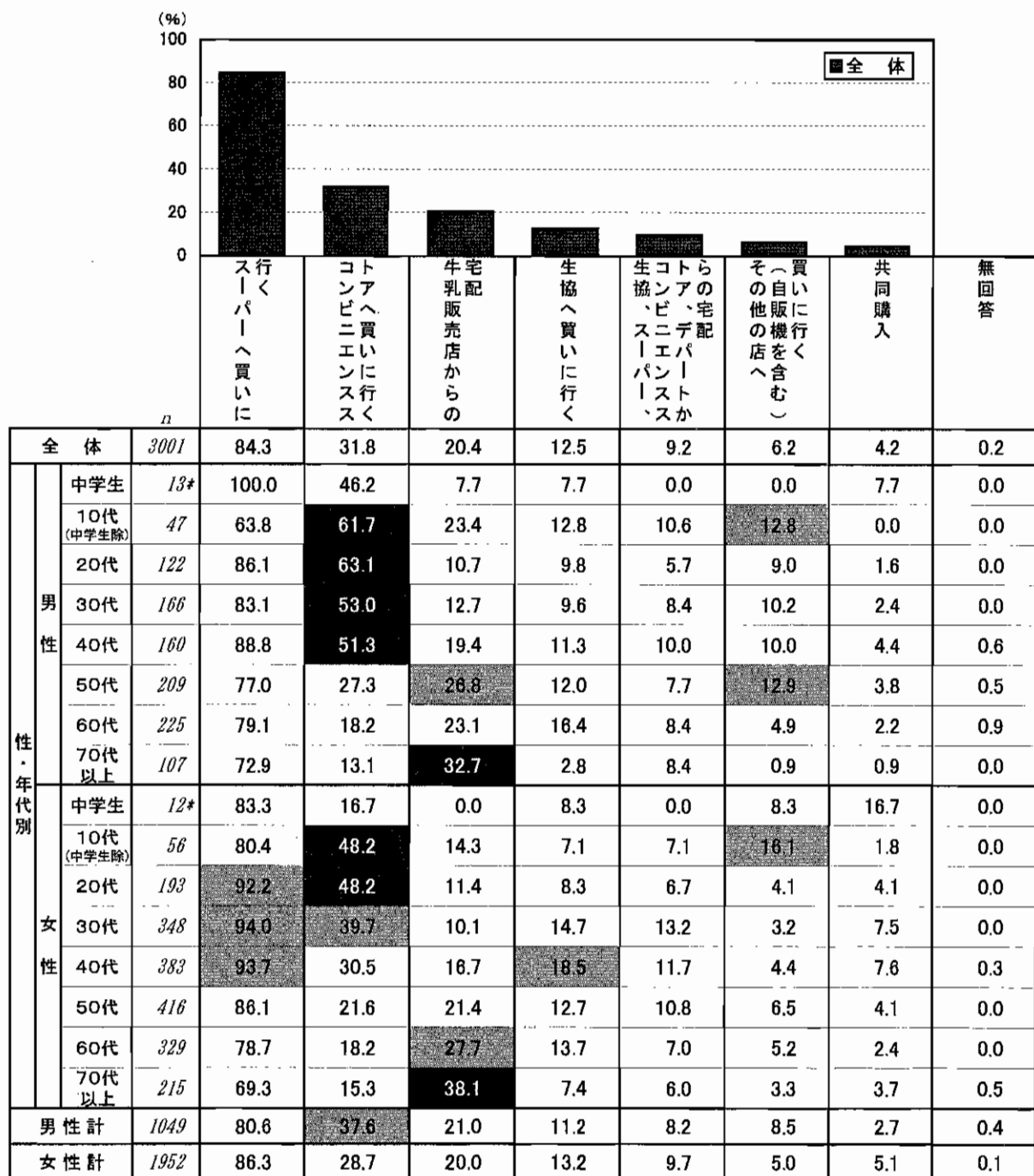
「今後新たに利用したい」場所については、「牛乳販売店からの宅配（6%）」「生協、スーパー、コンビニエンスストア、デパートからの宅配（5%）」の順となっており、いずれも低い比率にとどまる。全体の8割は「なし・無回答」としている。

図表III-2-1 白もの牛乳類の購入場所（購入者ベース）



「ふだん利用する」場所を性・年齢別にみると、女性の20代から40代では「スーパーへ買いに行く」が90%以上を占めており、他の層に比べて多い。「コンビニエンスストアへ買いに行く」とする比率は、男性の中学生を除く10代から40代にかけてと女性の中学生を除く10代から20代で比較的高い。また男女とも50代以降の高年齢層では「牛乳販売店からの宅配」の比率が高い傾向がみられる。

図表III-2-2 性・年齢別 白もの牛乳類の購入場所：ふだん利用する場所（MA／購入者ベース）



n(サンプル数)の*は、n < 30を表す。

n(サンプル数)が30以上の場合、

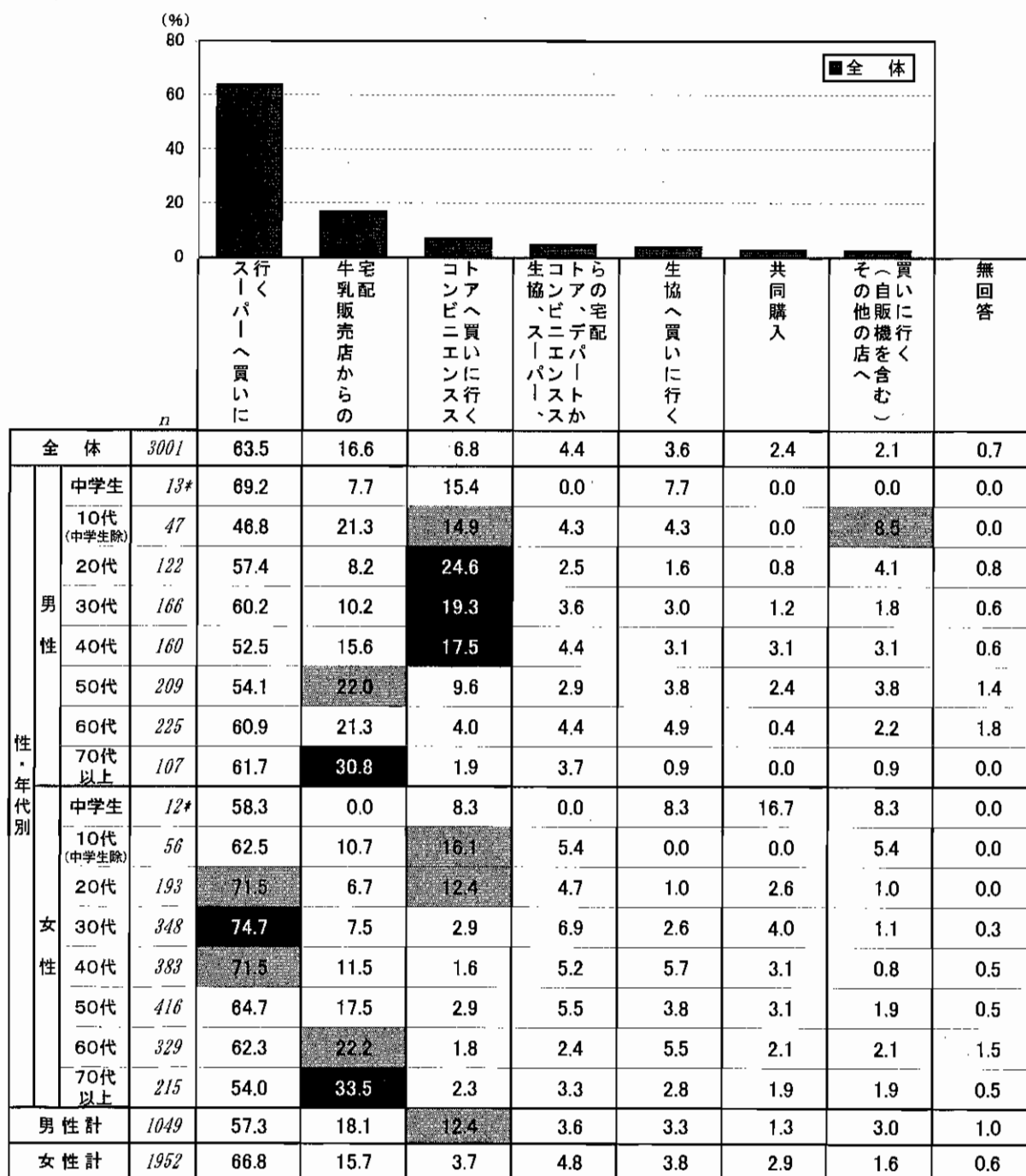
全体より5ポイント以上高い

全体より10ポイント以上高い

(%)

「主に利用する」場所を性・年齢別にみると、「ふだん利用する」場所と同様の傾向がみられ、女性の20代から40代では「スーパーへ買いに行く」が多く、男女とも50代以降の高年齢層では「牛乳販売店からの宅配」の比率が高い。また男性の中学生を除く10代から40代にかけてと女性の中学生を除く10代から20代では「コンビニエンスストアへ買いに行く」とする比率が比較的高い。

図表III-2-3 性・年齢別 白もの牛乳類の購入場所：主に利用する場所(SA/購入者ベース)



n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

n(サンプル数)が30以上の場合、

■ 全体より5ポイント以上高い

■ 全体より10ポイント以上高い

(%)

[参考] 参考に、これまでの調査での白もの牛乳類を「ふだん利用する」場所の推移をみる。

これまでの調査では、購入しない人も含めて世帯の主婦役割を担う人に聞いていた。

図表Ⅲ-2-4 白もの牛乳類の購入場所：ふだん利用する場所（MA/時系列）

	n	スーパーへ買いに行く	コンビニエンスストアへ買いに行く	牛乳販売店	牛乳販売店からの宅配	牛乳店の店頭	生協へ買いに行く	トア、デパート、コンビニエンス	生協、スーパー、コンビニエンス	その他の店へ（自販機を含む）買い	共同購入	白もの牛乳類を購入しない	その他	無回答
2001年	4778	82.1	24.2		17.4		11.3	6.7	3.3	5.6	3.3		1.0	
2000年	4632	81.4	19.8		19.0		11.4	6.9	3.0	5.1	3.2		0.6	
1999年	4476	82.0	23.0		19.6		10.9	7.6	3.4	5.2	3.3		0.3	
1998年														
1997年														
1996年	4473	82.2	17.9	17.5						15.4		4.2	0.6	
1995年	4405	82.3	15.1	20.0						15.4		4.6	0.9	
1994年	4368	87.9	30.0		19.4	2.1				16.2		1.7	0.1	
1993年	4330	79.3	17.9		19.4	1.8				16.1		2.2	0.5	
1992年	4390	79.2	18.7		16.9	2.6				13.8		1.8	0.7	
1991年	4499	80.3	17.8		18.6	2.1				15.7		2.0	0.2	
1990年	4495	79.2	15.7		20.1	2.3				12.3		1.8	0.7	
1989年	4294	78.9	13.8		20.2	2.7				12.8		1.7	0.7	
1988年	4327	75.9	14.6		21.5	3.6				13.8		1.6	0.7	
1987年	4393	75.5	11.5		21.9	4.2				12.9		2.1	0.7	

質問：この1ヶ月の牛乳の購入場所（MA）

※斜線はデータなし
 ※1997年、1998年はデータなし
 ※2001年以前は、世帯の主婦役割を担う人が回答

(%)

[参考] これまでの調査での「主に利用する」場所の推移は下表の通り。

図表III-2-5 白もの牛乳類の購入場所:主に利用する場所 (SA/時系列)

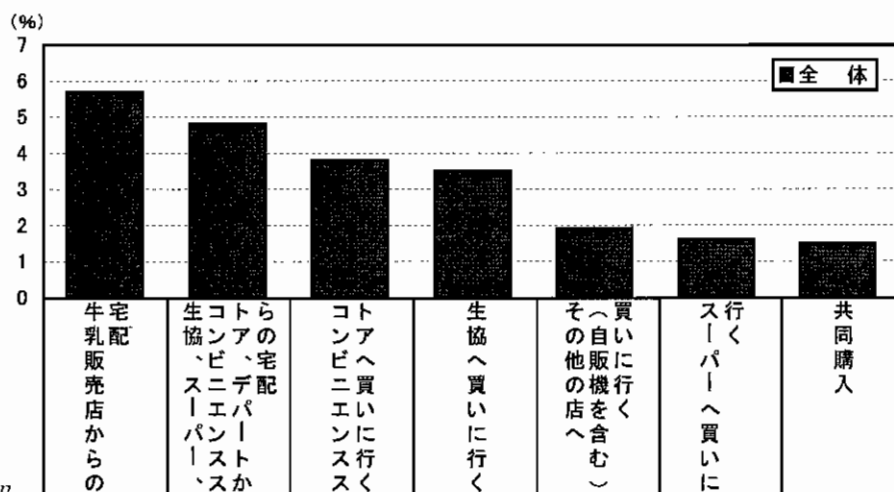
		スーパーへ買いに行く	牛乳販売店からの宅配	行くコンビニエンスストアへ買いに行く	生協、スーパー、デパート、コンビニエンスストアからの宅配	生協へ買いに行く	共同購入	買いに行くその他の店へ(自販機を含む)	白もの牛乳類を購入しない	無回答
	<i>n</i>									
2001年	4778	65.8	12.5	3.6	3.8	3.9	3.3	1.2	3.3	2.5
2000年	4632	65.8	13.5	2.7	4.3	3.5	3.2	1.2	3.2	2.5
1999年	4476	65.8	13.6	3.0	4.6	3.6	3.3	1.2	/	4.9

※斜線はデータなし

※2001年以前は、世帯の主婦役割を担う人が回答

(%)

図表Ⅲ-2-6 性・年齢別 白もの牛乳類の購入場所:今後新たに利用したい場所(MA/購入者ベース)



		n	牛乳販売店からの宅配	生協、スーパー、コンビニエンスストア	コアへの買い出し	コアへの買い出し	生協へ買いに行く	その他(自販機を含む)	行くパーへ買いに行く	共同購入	無回答
全体		3001	5.7	4.8	3.8	3.5	1.9	1.6	1.5	80.4	
性・年齢別	男性	中学生	13*	23.1	0.0	7.7	0.0	15.4	0.0	0.0	53.8
		10代(中学生除)	47	8.5	6.4	2.1	6.4	6.4	10.6	4.3	63.8
		20代	122	9.8	7.4	4.1	2.5	3.3	0.8	2.5	77.9
		30代	166	7.2	3.6	4.8	0.6	1.8	3.0	1.2	79.5
		40代	160	3.1	5.6	0.0	2.5	3.1	0.6	0.6	86.3
		50代	209	2.4	4.3	7.2	3.3	2.9	1.4	1.4	81.3
		60代	225	1.8	4.9	5.3	0.9	2.2	2.2	0.4	83.6
		70代以上	107	4.7	0.0	4.7	1.9	0.0	4.7	0.9	84.1
女性	中学生	12*	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	83.3	
	10代(中学生除)	56	10.7	1.8	5.4	3.6	3.6	1.8	0.0	73.2	
	20代	193	8.3	8.3	3.1	5.7	2.1	0.5	2.1	74.6	
	30代	348	8.0	6.0	3.7	6.6	2.0	0.6	2.6	75.6	
	40代	383	5.2	5.5	2.3	5.0	1.3	0.8	2.6	80.4	
	50代	416	5.5	4.8	3.4	4.6	1.4	1.4	0.7	81.3	
	60代	329	5.2	4.3	4.9	2.4	0.9	0.9	0.9	83.0	
	70代以上	215	4.2	1.4	2.8	0.0	0.5	3.3	1.4	86.5	
男性計	1049	4.8	4.5	4.5	2.1	2.7	2.4	1.2	81.0		
女性計	1952	6.1	4.9	3.4	4.3	1.4	1.2	1.6	80.1		

n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

n(サンプル数)が30以上の場合、

■ 全体より5ポイント以上高い

■ 全体より10ポイント以上高い

(%)

「今後新たに利用したい」場所の推移をみる。
 いずれの場所も、1割に満たない水準となっている。

図表III-2-7 白もの牛乳類の購入場所：今後新たに利用したい場所(MA/時系列)

	<i>n</i>	牛乳販売店からの宅配	生協、ストア、スーパー、パート、コンビニエンスストアからの宅配	行くコンビニエンスストアへ買いに行く	生協へ買いに行く	買っていく他の店へ（自販機を含む）	スーパーへ買いに行く	共同購入	なし・無回答
2002年	3001	5.7	4.8	3.8	3.5	1.9	1.6	1.5	80.4
2001年	4778	3.3	2.2	2.7	2.4	0.9	1.2	1.0	87.8
2000年	4632	4.9	2.7	3.4	3.2	1.7	1.2	1.1	83.5
1999年	4476	3.3	2.3	2.6	2.4	1.0	1.0	0.7	87.9

※2002年は、白もの牛乳類の購入者ベース
 ※2001年以前は、世帯の主婦役割を担う人が回答

(%)

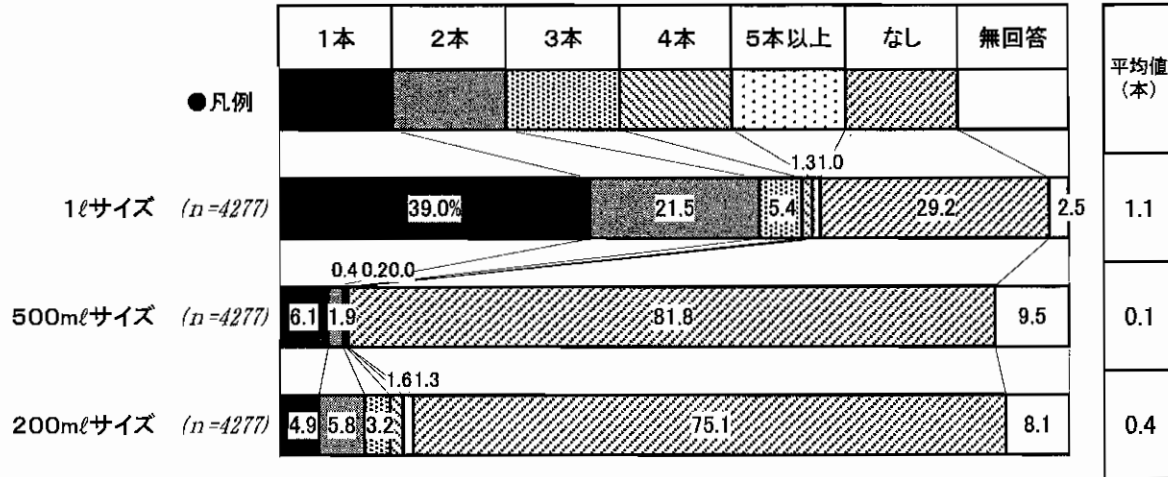
3. 白もの牛乳類の常備実態

1) 白もの牛乳類のサイズ別常備本数

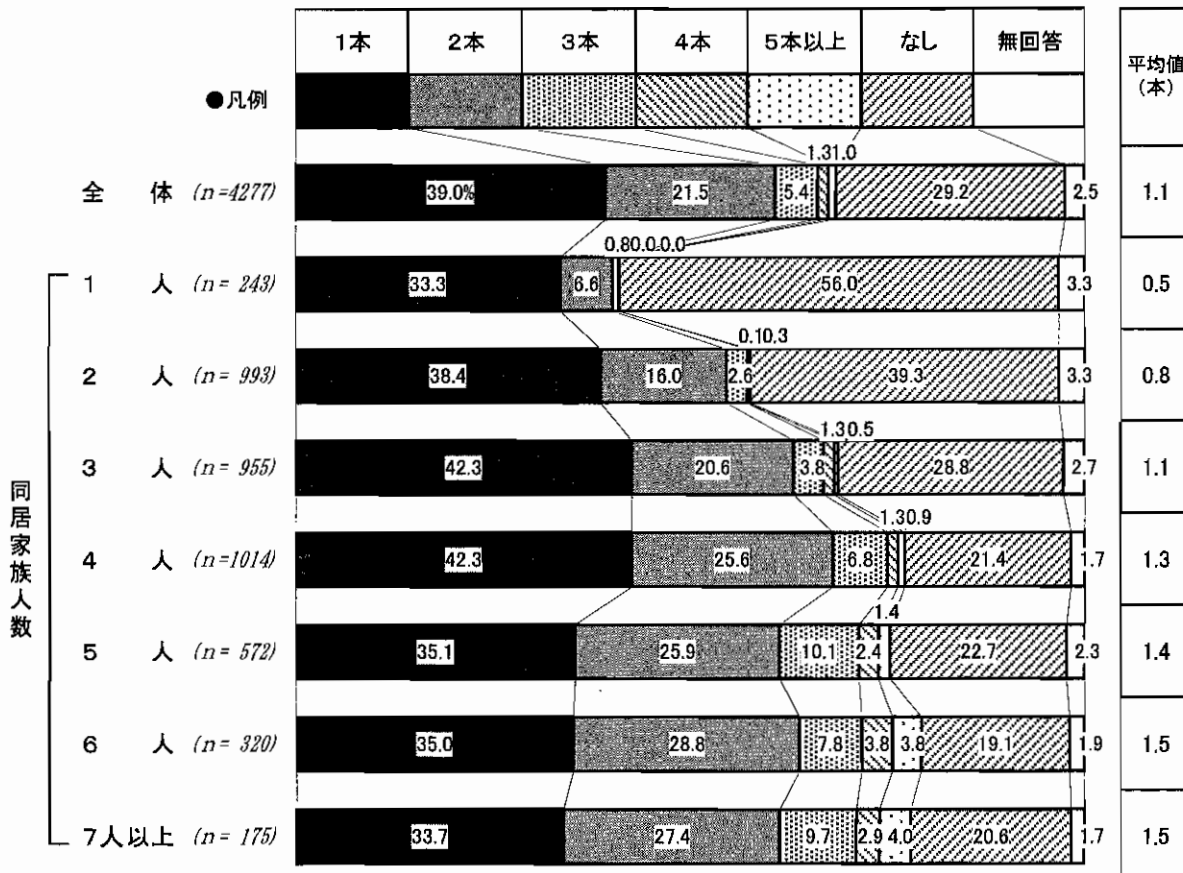
調査の当日、冷蔵庫の中に白もの牛乳類がサイズ別に何本あるかをきいた。

1ℓサイズの常備本数を同居家族人数別にみると、家族人数が5人以上になると2本以上の複数常備が多くなっている。

図表III-3-1 白もの牛乳類のサイズ別常備本数



図表III-3-2 家族人数別 白もの牛乳類の1Lサイズの常備本数



2) 白もの牛乳類の常備パリエーション

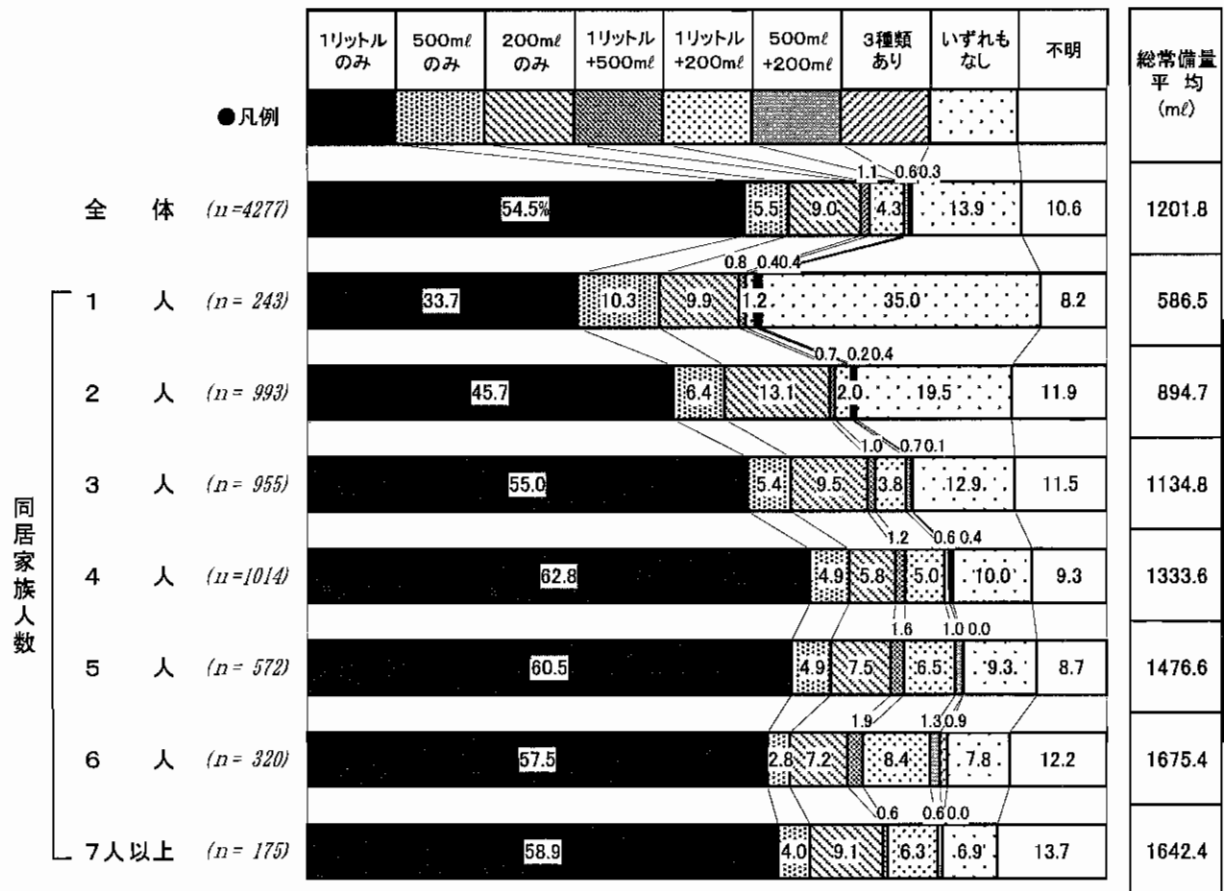
全体では「1リットルのみ」とする比率が55%と過半数を占めている。

家族人数別にみると、「1人」という単身世帯では「いずれもなし」が35%と3分の1を占め、他の層に比べて多い。

総常備量をみると、全体では平均1200mlである。

家族人数が多くなるにつれて、総常備量も増加している。

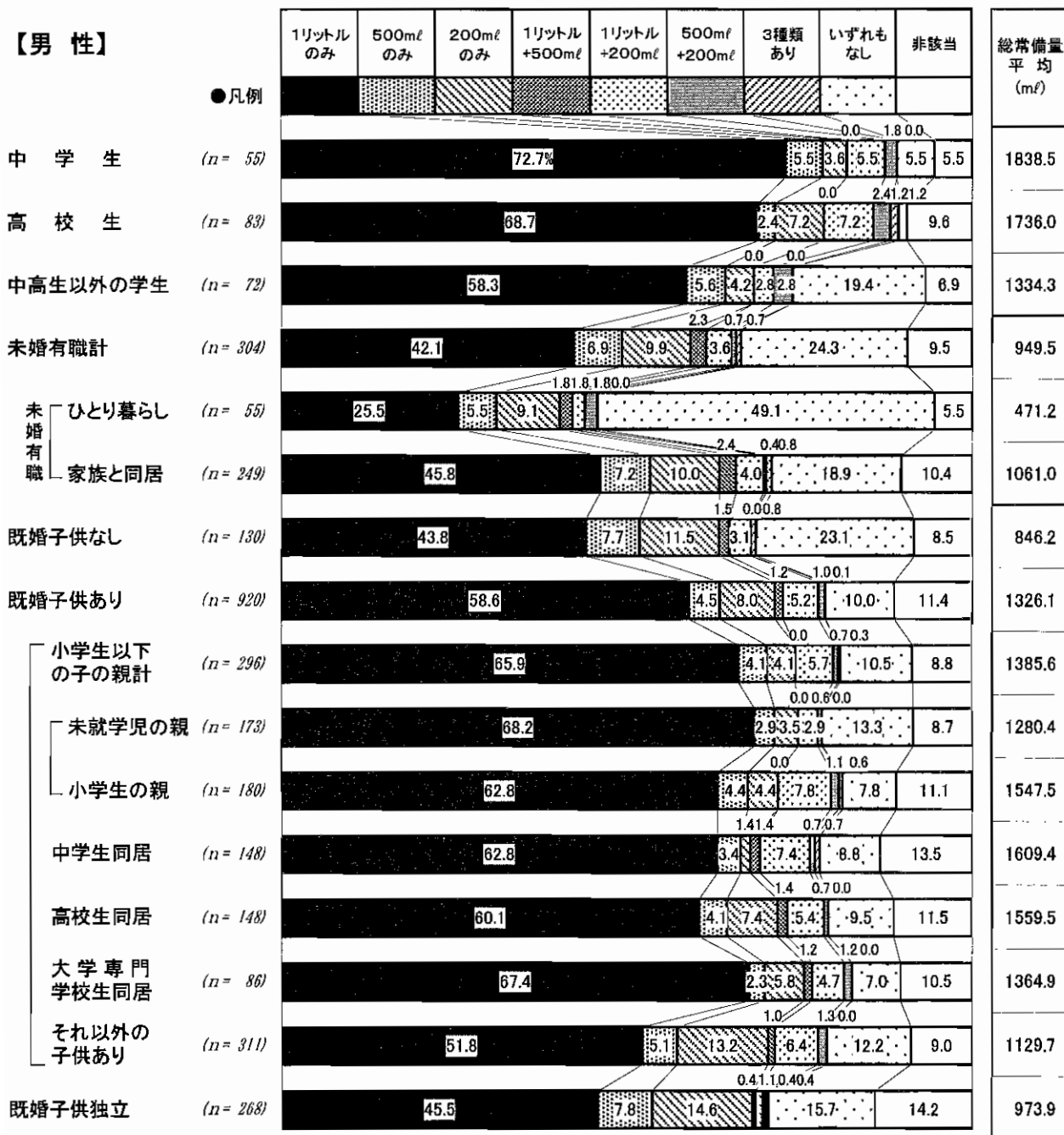
図表III-3-3 家族人数別 白もの牛乳類の常備パリエーション



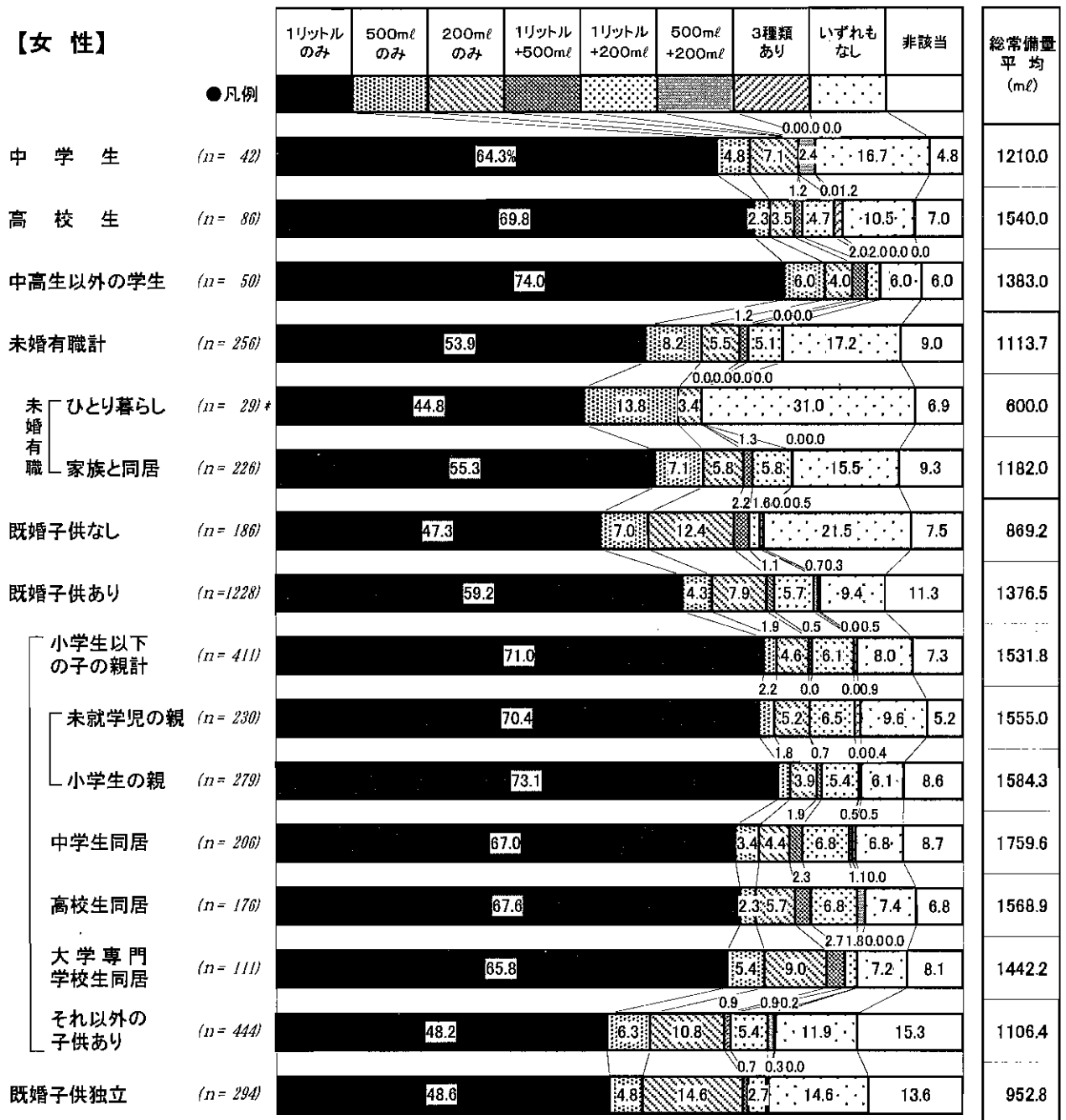
ライフステージ別にみると男女とも、中学生から中高生以外の学生までの層、既婚者で未就学児から大学専門学校までの子供と同居しているとする層、つまり世帯内に子供がいるとする人では「1リットルのみ」とする比率が高い傾向が見られる。

総常備量をみると、「未婚有職者」や「既婚子供なし」、「既婚子供独立」などの世帯内に子供がいない層で比較的少なくなっている。「既婚子供あり」とする中では、男女とも「中学生同居」とする層で最も多くなっている。また、子供がいても常備していない人が1割程度みられる。

図表III-3-4 性別・ライフステージ別 白もの牛乳類の常備バリエーション／男性



図表III-3-5 性別・ライフステージ別 白もの牛乳類の常備バリエーション／女性



n(サンプル数)の*は、n < 30 を表す。

IV 乳製品の飲食頻度と常備実態

1. 乳製品の飲食頻度

日頃どのくらいの頻度で乳製品（「普通のヨーグルト（食べるタイプ）」「ドリンクヨーグルト」「チーズ」「バター」）を飲食するかを聞いた。

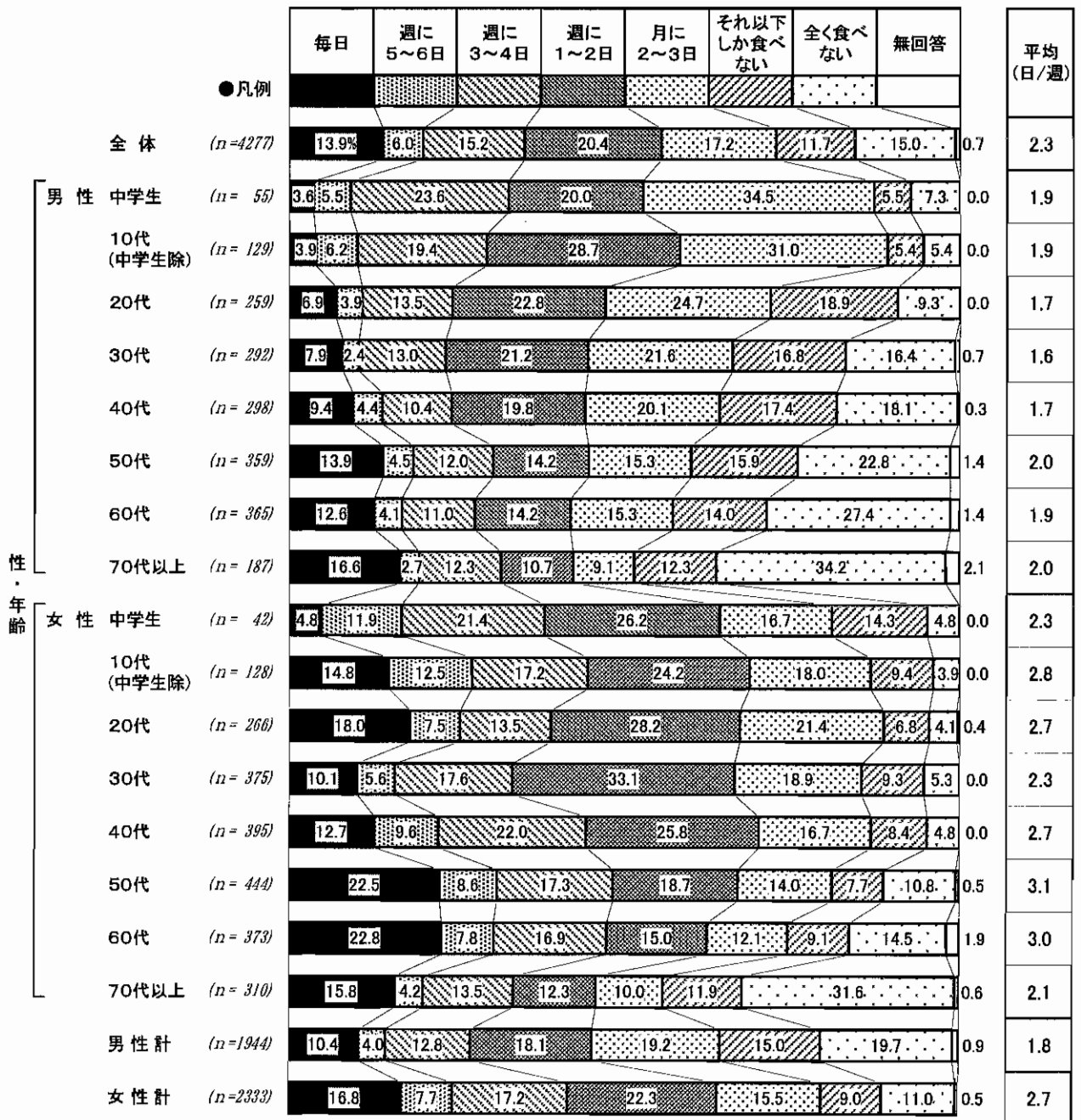
1) 普通のヨーグルト(食べるタイプ)の食用頻度

「毎日」食べる人は14%であり、週に1日以上食べる人は56%と全体の過半数を占める。一方「全く食べない」という人は15%である。

性・年齢別にみると、50代、60代の女性で「毎日」食べる比率が2割を超えており、他の層に比べて高い。

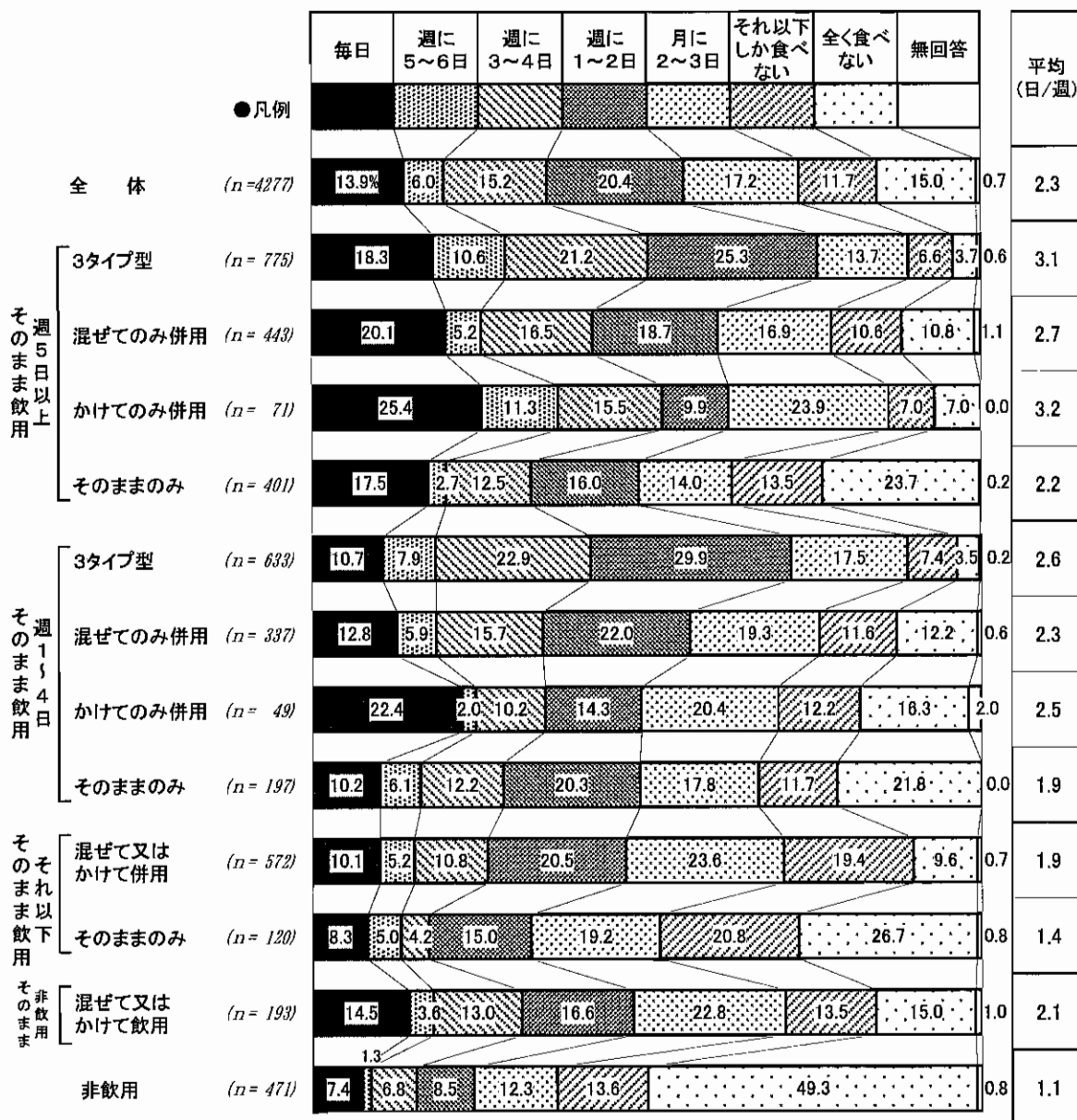
週あたりの平均食用回数をみると、いずれの年代でも男性より女性の食用頻度が高くなって

図表IV-1-1 性・年齢別 普通のヨーグルトの食用頻度



飲み方パターン別にみると、普通のヨーグルトを「毎日」食用する割合は、「そのまま飲用週5日以上-かけてのみ併用」で25%、「そのまま飲用週1~4日-かけてのみ併用」で22%と多くなっている。

図表IV-1-2 飲み方パターン別 普通のヨーグルトの食用頻度

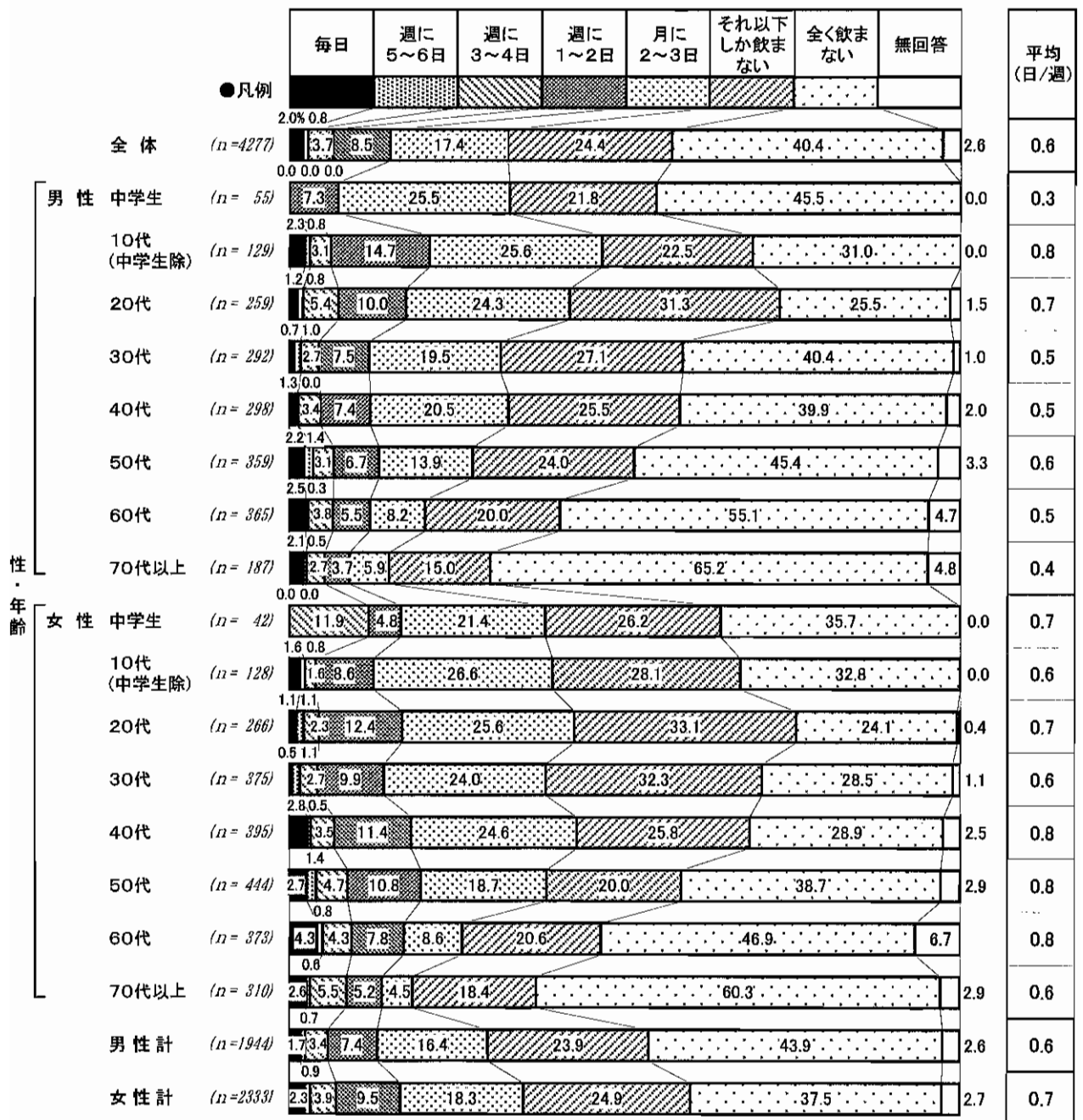


2) ドリンクヨーグルトの飲用頻度

「毎日」飲む人は2%にとどまっており、週に1日以上飲む人は15%である。一方「全く飲まない」人が40%を占める。

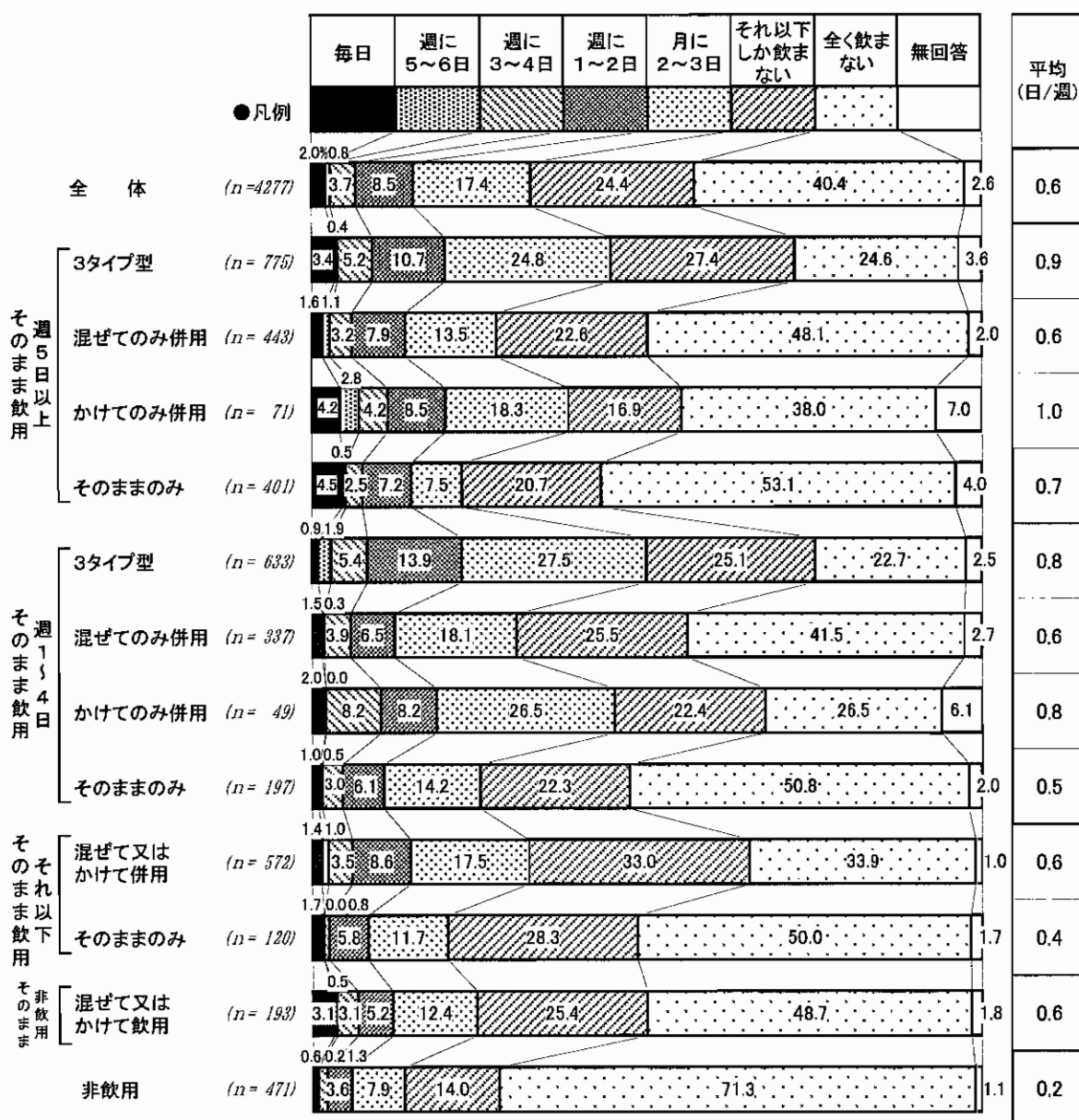
性・年齢別にみると、男女とも幾分でもドリンクヨーグルトを飲む人は20代で最も多く、以降年齢があがるにつれて飲用率は低くなっており、男女とも70代以上では「全く飲まない」という人が6割を越えている。

図表IV-1-3 性・年齢別 ドリンクヨーグルトの飲用頻度



飲み方パターン別にみると、ドリンクヨーグルトを幾分でも飲む人は「そのまま飲用週5日以上-3タイプ型」「そのまま飲用週1~4日-3タイプ型」で7割以上と多くなっている。

図表IV-1-4 飲み方パターン別 ドリンクヨーグルトの飲用頻度



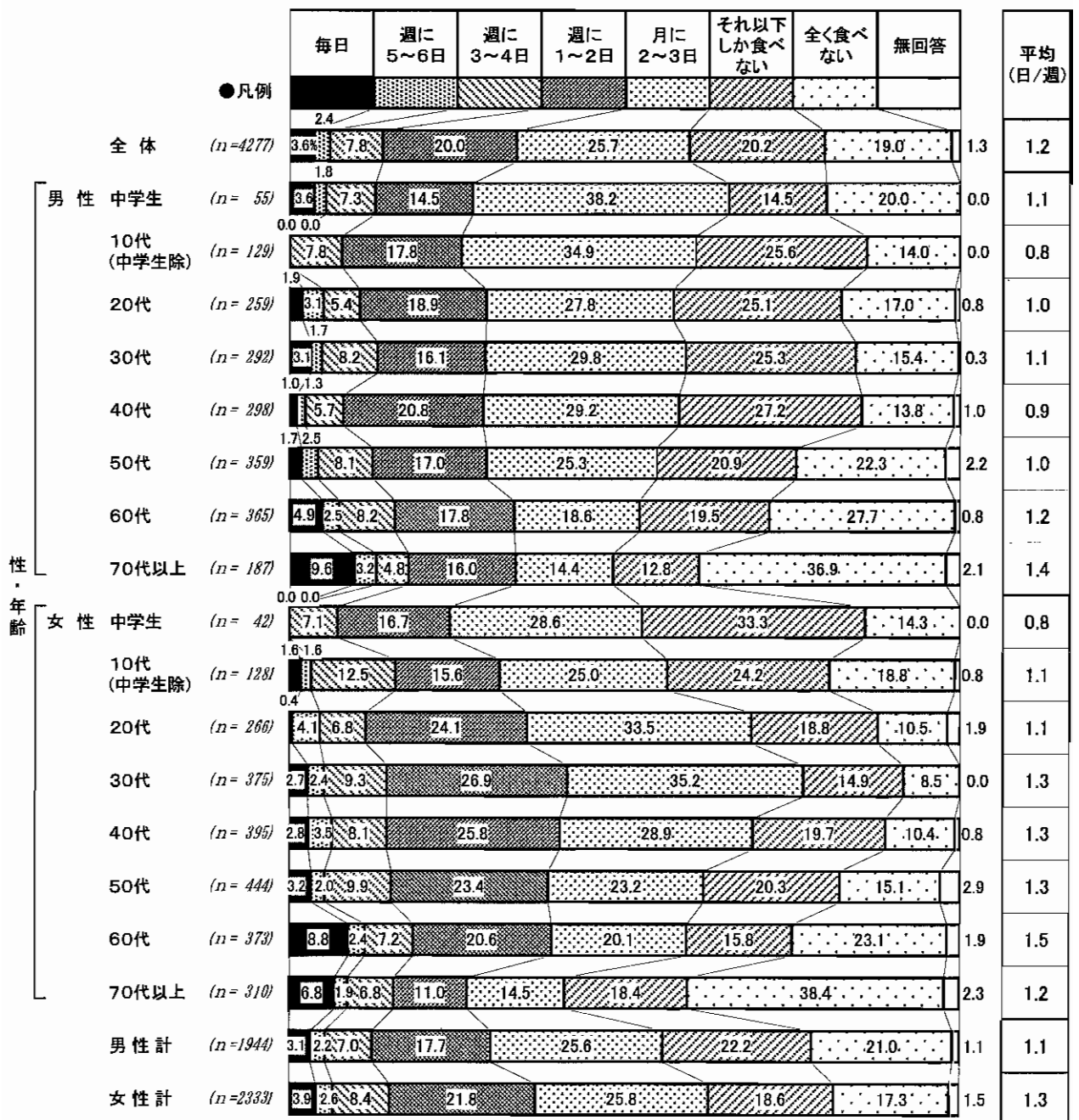
3) チーズの食用頻度

「毎日」食べる人は4%であるが、週に1日以上食べる人は34%と全体の3分の1を占める。

一方「全く食べない」人は19%である。

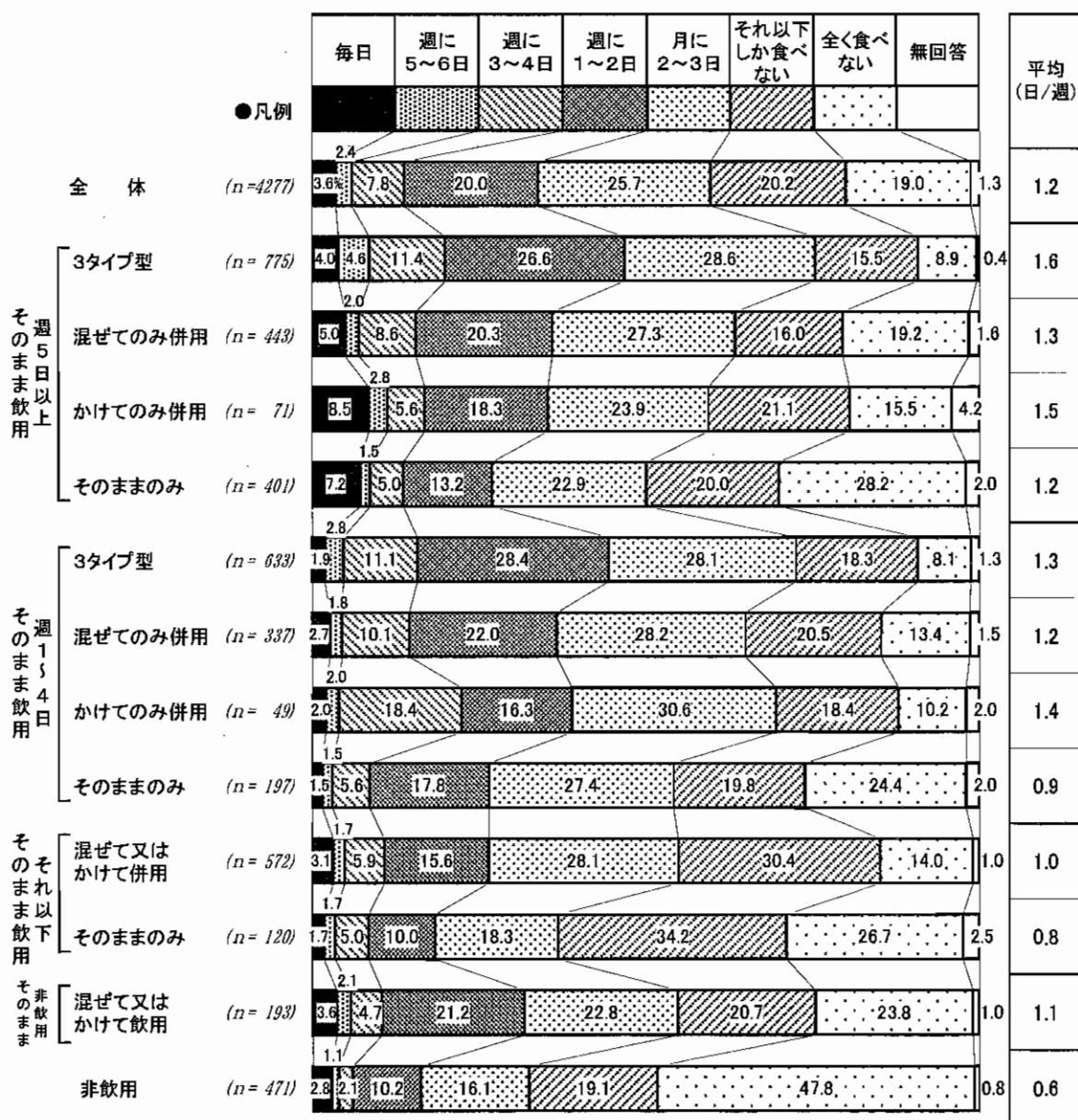
性・年齢別にみると、30代以降年齢があがるにつれて、幾分でもチーズを食べる人の比率は低くなる傾向がみられ、男女とも70代以上では「全く食べない」という人は4割近くになっている。

図表IV-1-5 性・年齢別 チーズの食用頻度



飲み方パターン別にみると、チーズを幾分でも食べる人は「そのまま飲用週5日以上-3タイプ型」「そのまま飲用週1~4日-3タイプ型」で9割と多くなっている。また、同じそのまま飲用頻度の中では、「そのままのみ」の人ではチーズを幾分でも食べる割合は少ない傾向がみられる。

図表IV-1-6 飲み方パターン別 チーズの食用頻度

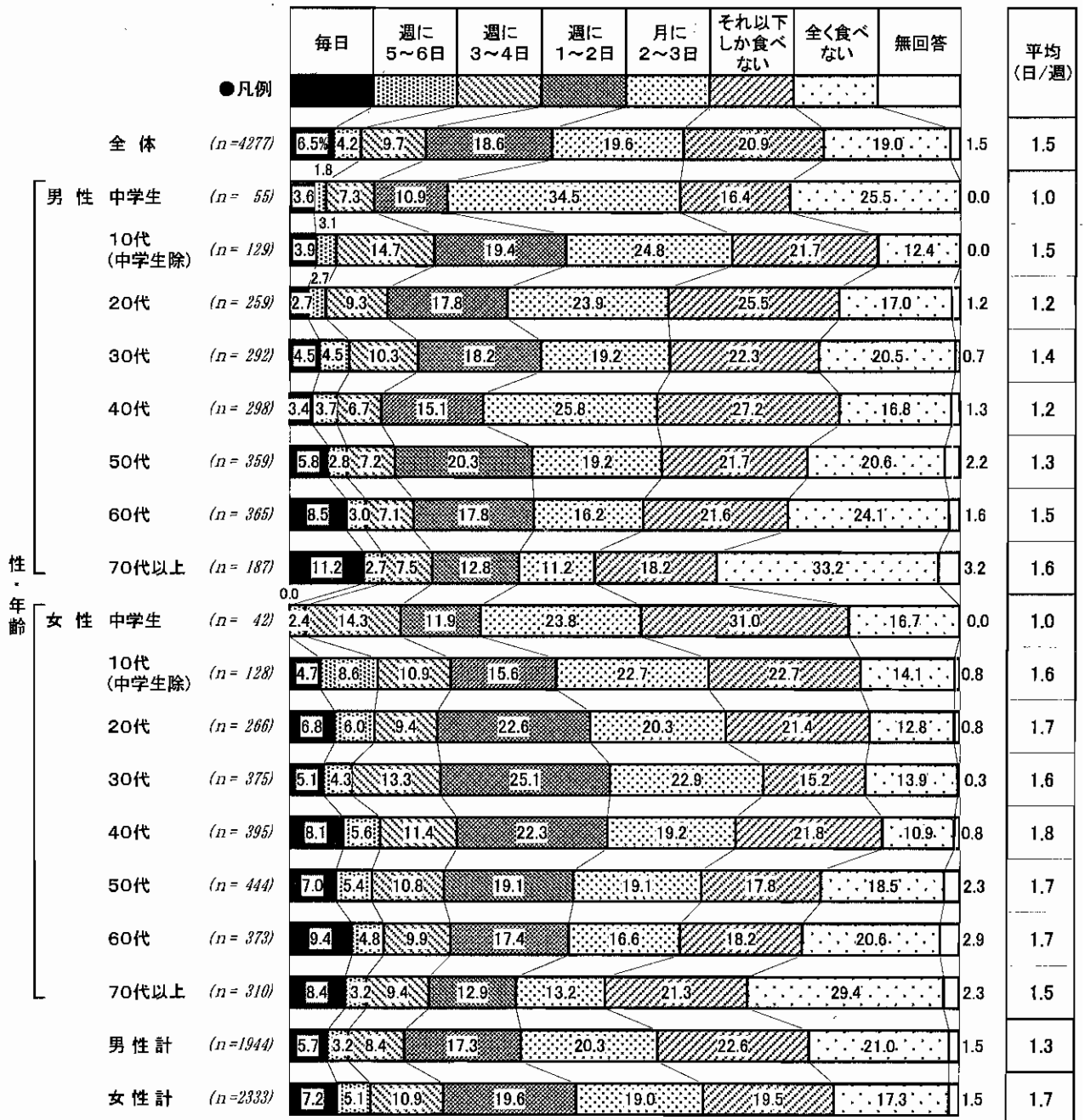


4) バターの食用頻度

「毎日」食べる人は7%であり、週に1日以上食べる人は39%と全体のほぼ4割を占める。一方「全く食べない」人は19%である。

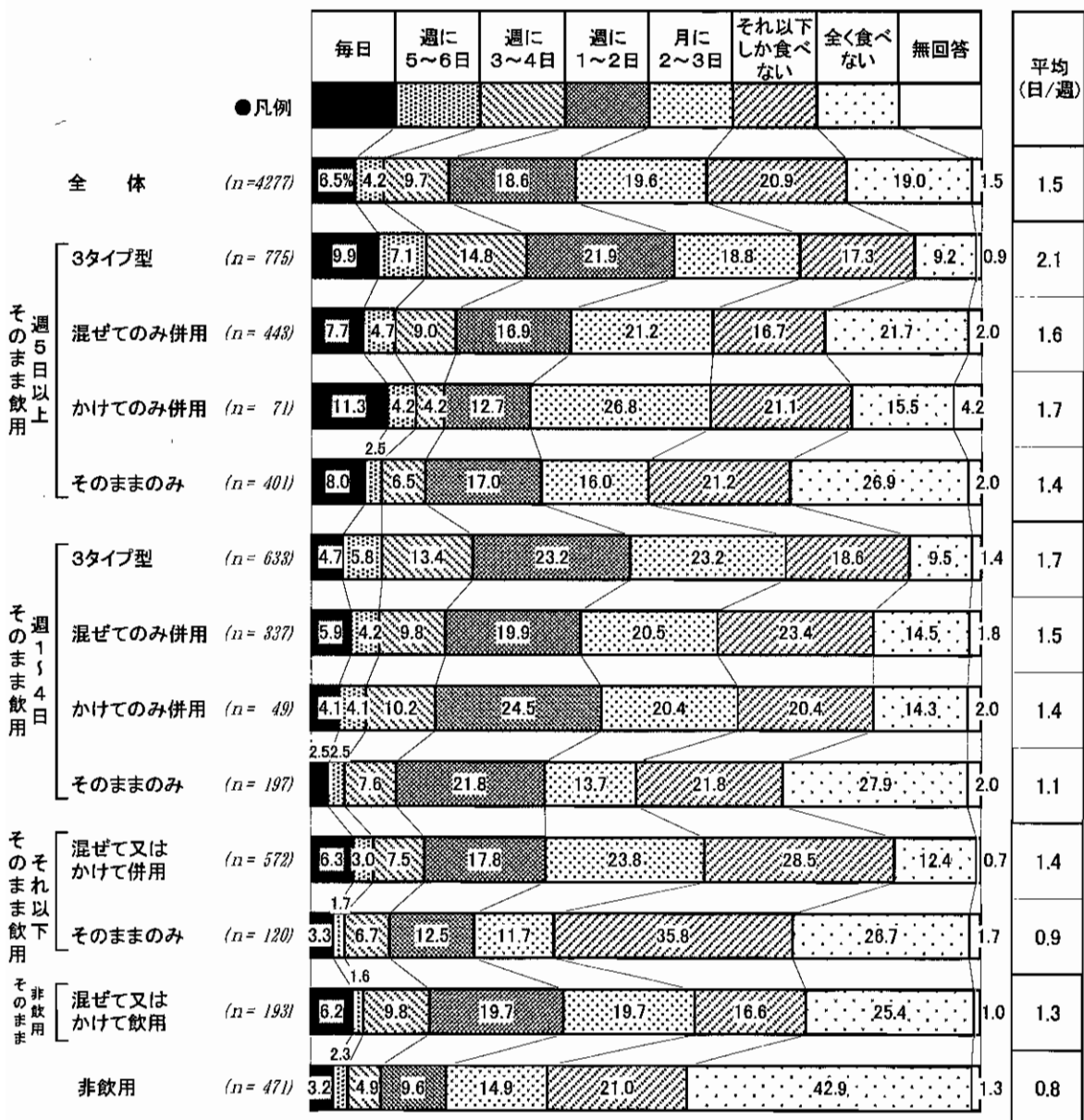
性・年齢別にみると、40代以降年齢があがるにつれて、幾分でもバターを食べる人の比率は低くなるが、チーズに比べるとその傾向は緩やかである。

図表IV-1-7 性・年齢別 バターの食用頻度



飲み方パターン別にみると、バターを幾分でも食べる人は「そのまま飲用週5日以上-3タイプ型」「そのまま飲用週1~4日-3タイプ型」で9割近くを占め、多くなっている。また、同じそのまま飲用頻度の中では、「そのままのみ」の人ではバターを幾分でも食べる割合は少ない傾向がみられる。

図表IV-1-8 飲み方パターン別 バターの食用頻度



2. 乳製品の常備実態

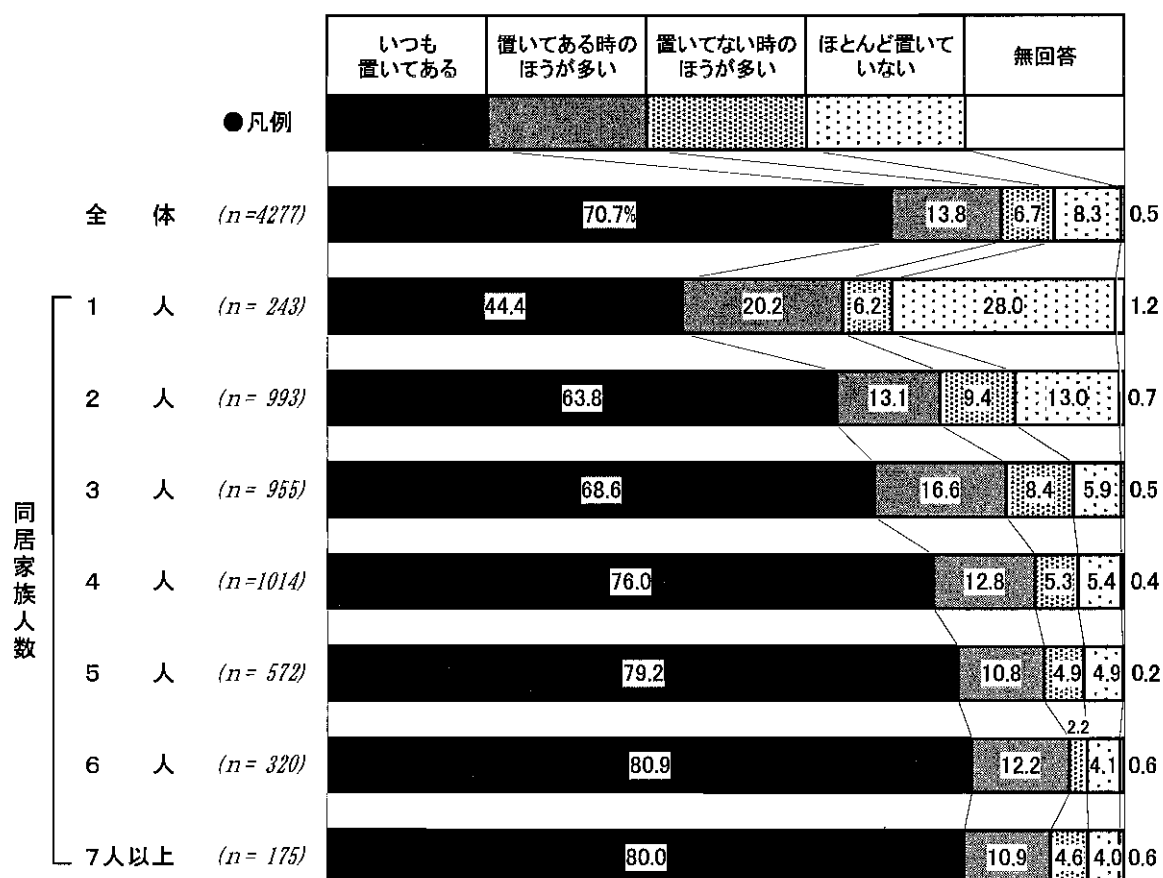
乳製品が冷蔵庫に置いてある頻度を聞いた。

1) 白もの牛乳類の常備実態

全体で、白もの牛乳類を「いつも置いてある」とするのは71%であり、7割を超えている。

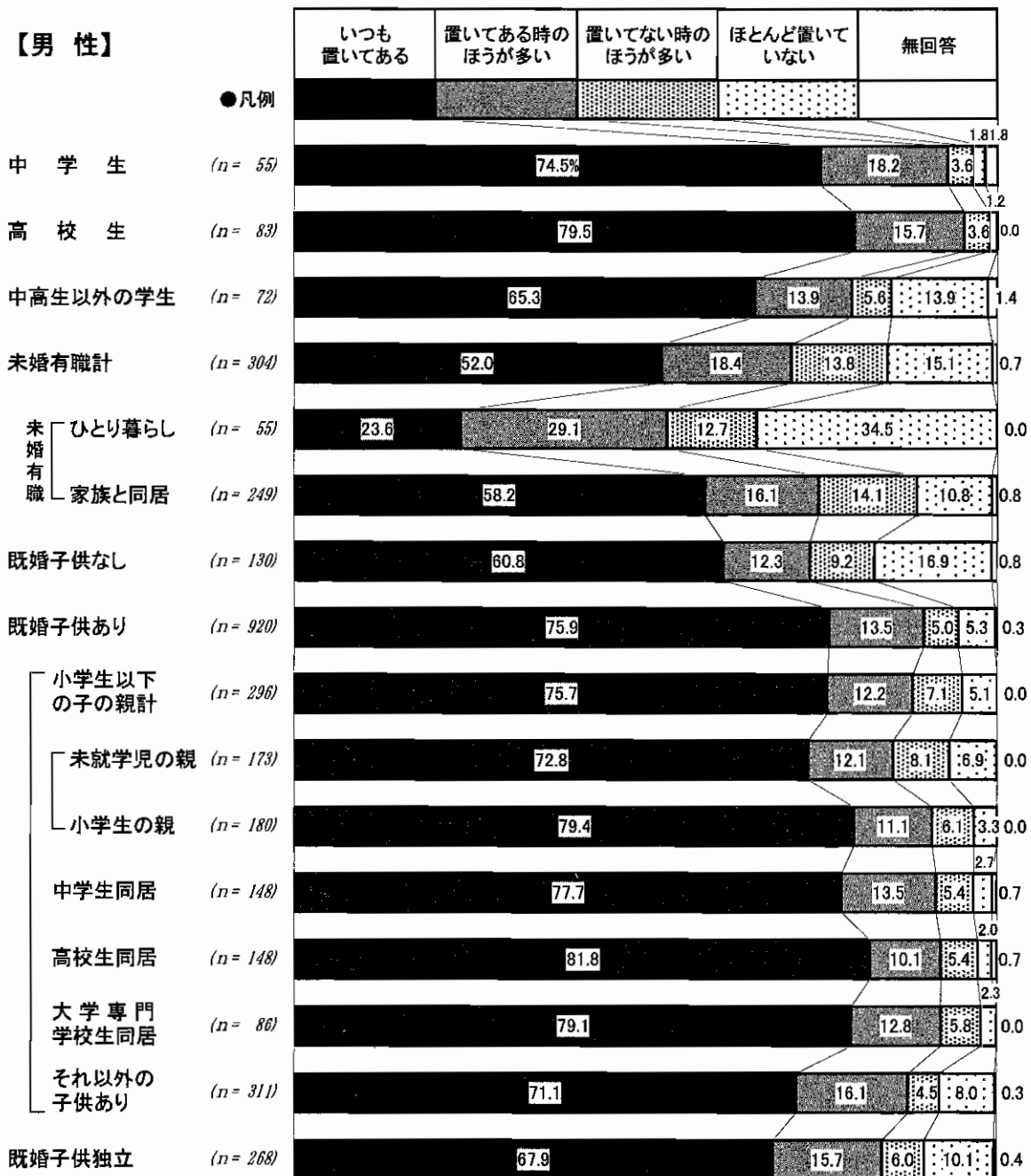
家族人数別にみると、人数が多くなるにつれて、「いつも置いてある」比率が高くなり、4人以上の世帯では8割前後を占める。

図表IV-2-1 家族人数別 白もの牛乳類の常備実態

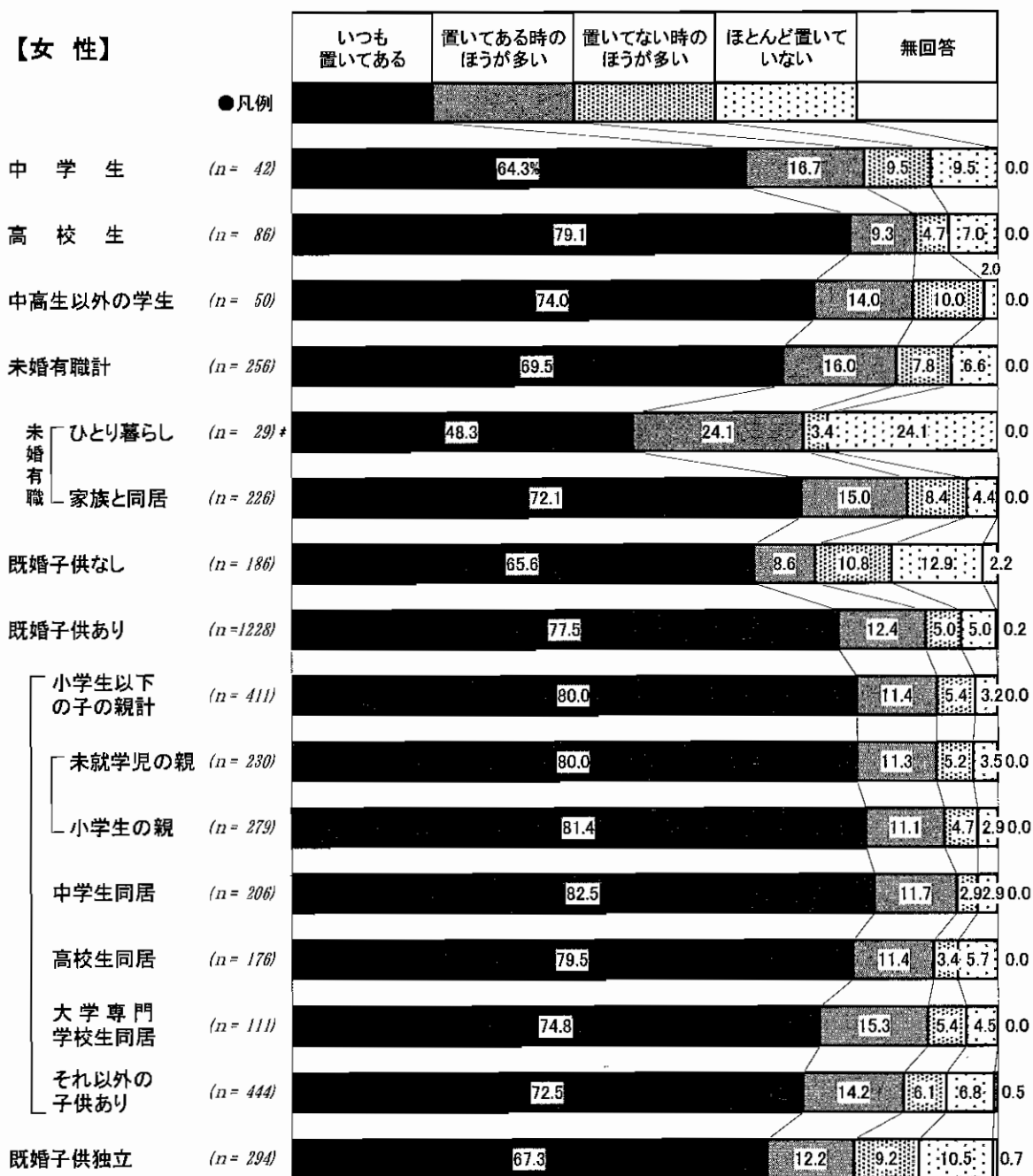


ライフステージ別にみると、「未婚有職ひとり暮らし」では男女とも「ほとんど置いていない」とする比率が高く、特に男性では35%と3分の1を超える。

図表IV-2-2 性別・ライフステージ別 白もの牛乳類の常備実態／男性



図表IV-2-3 性別・ライフステージ別 白もの牛乳類の常備実態／女性

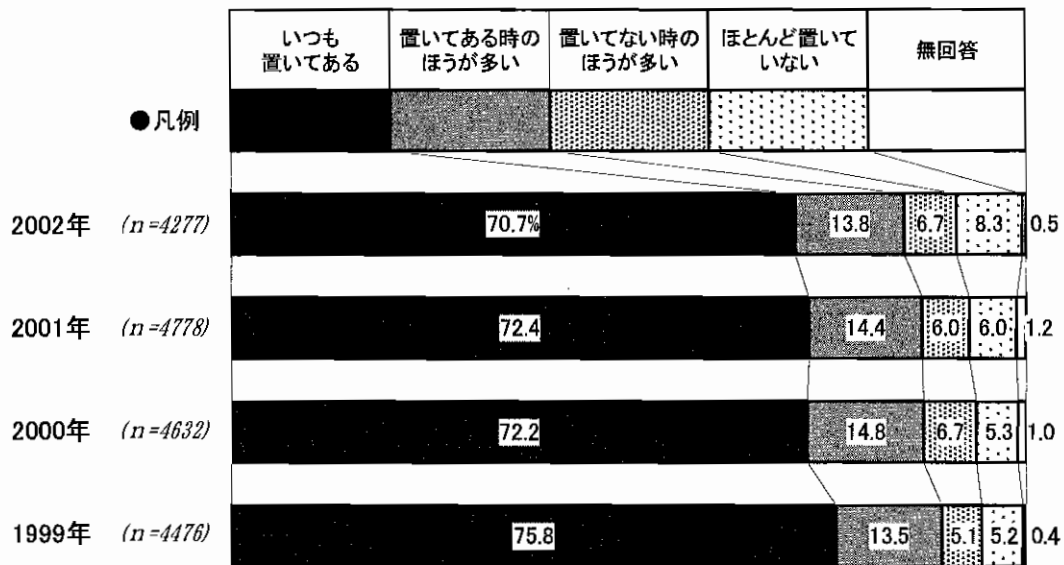


n(サンプル数)の*は、n < 30を表す。

白もの牛乳類の常備実態の推移をみる。

「いつも置いてある」とする比率は一貫して7割を超える水準となっている。

図表IV-2-4 白もの牛乳類の常備実態 <時系列>

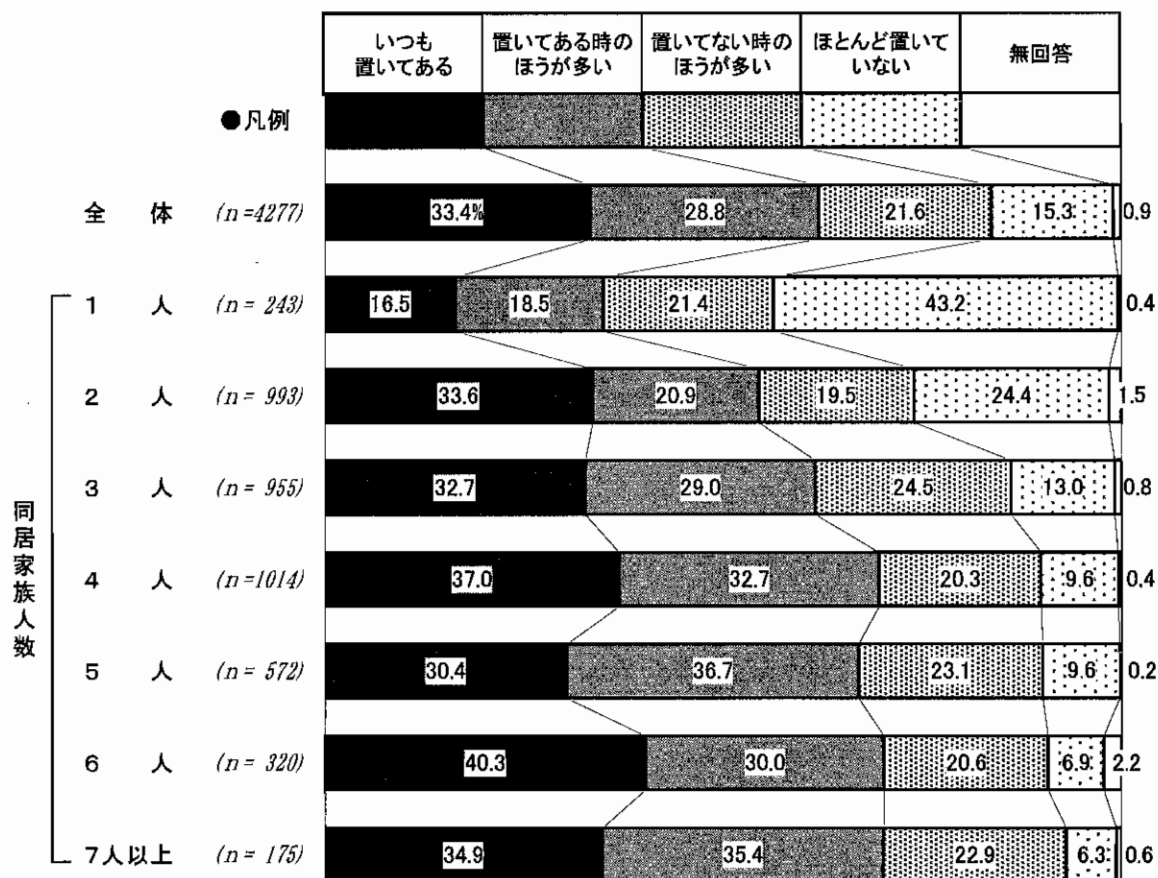


2) 普通のヨーグルト(食べるタイプ)の常備実態

全体で、普通のヨーグルト(食べるタイプ)を「いつも置いてある」とするのは33%である。

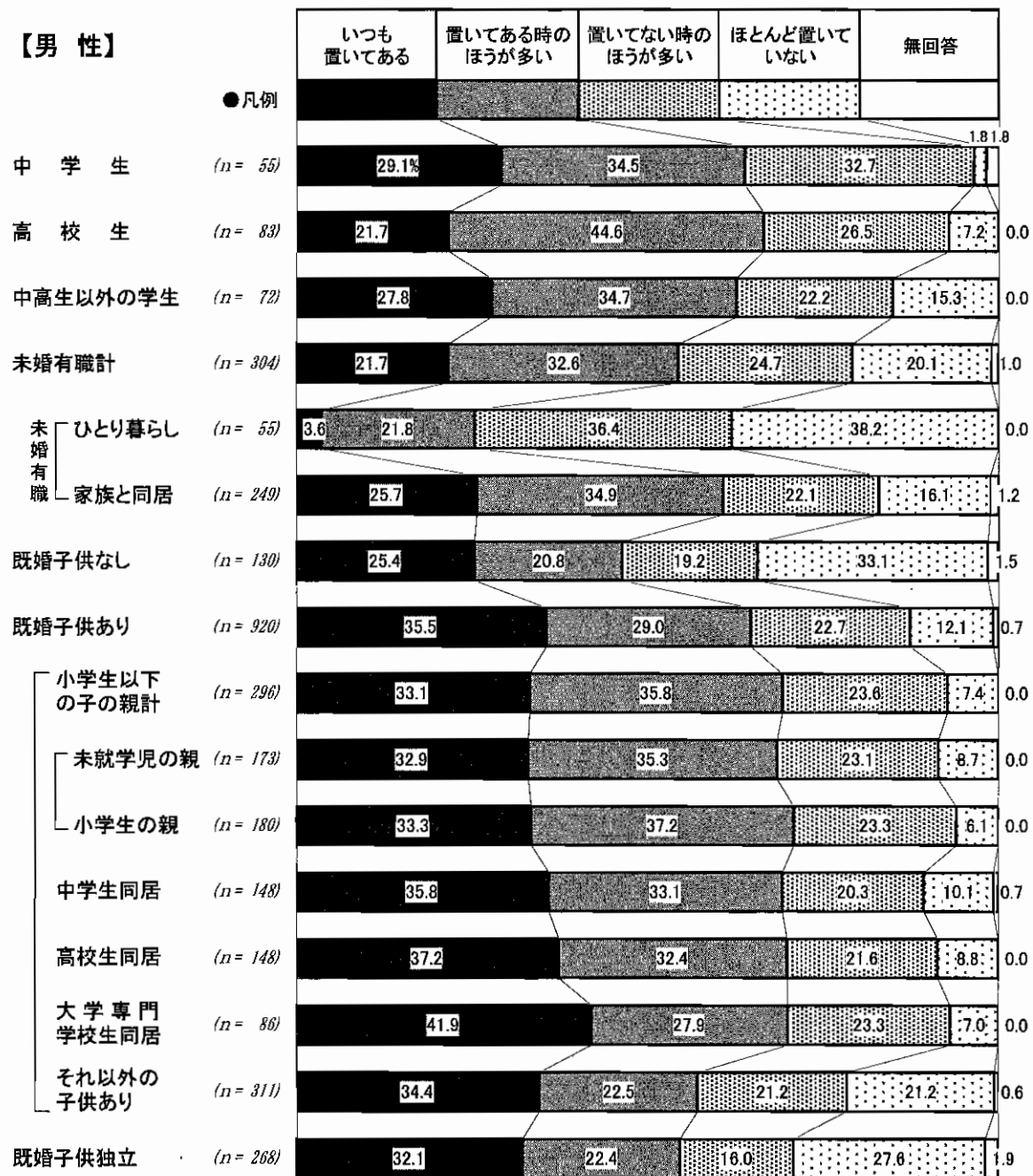
家族人数別にみると、「いつも置いてある」比率は単身世帯では17%であるが、2人以上の世帯では3~4割を占める。

図表IV-2-5 家族人数別 普通のヨーグルト(食べるタイプ)の常備実態

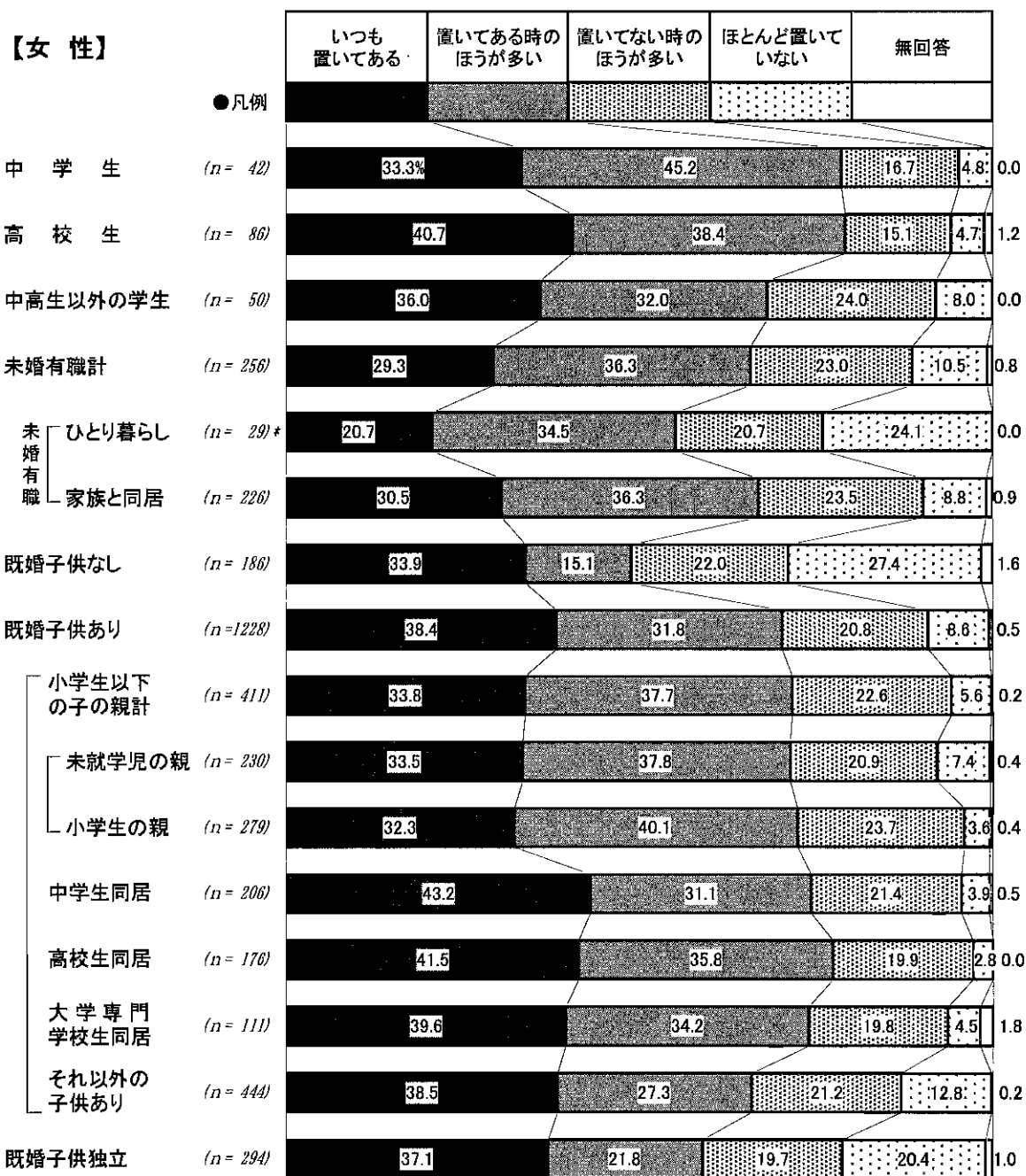


ライフステージ別にみると、「未婚有職ひとり暮らし」の男性が「いつも置いてある」とする比率は4%であり、他の層に比べて大きく落ちる。

図表IV-2-6 性別・ライフステージ別 普通のヨーグルト(食べるタイプ)の常備実態／男性



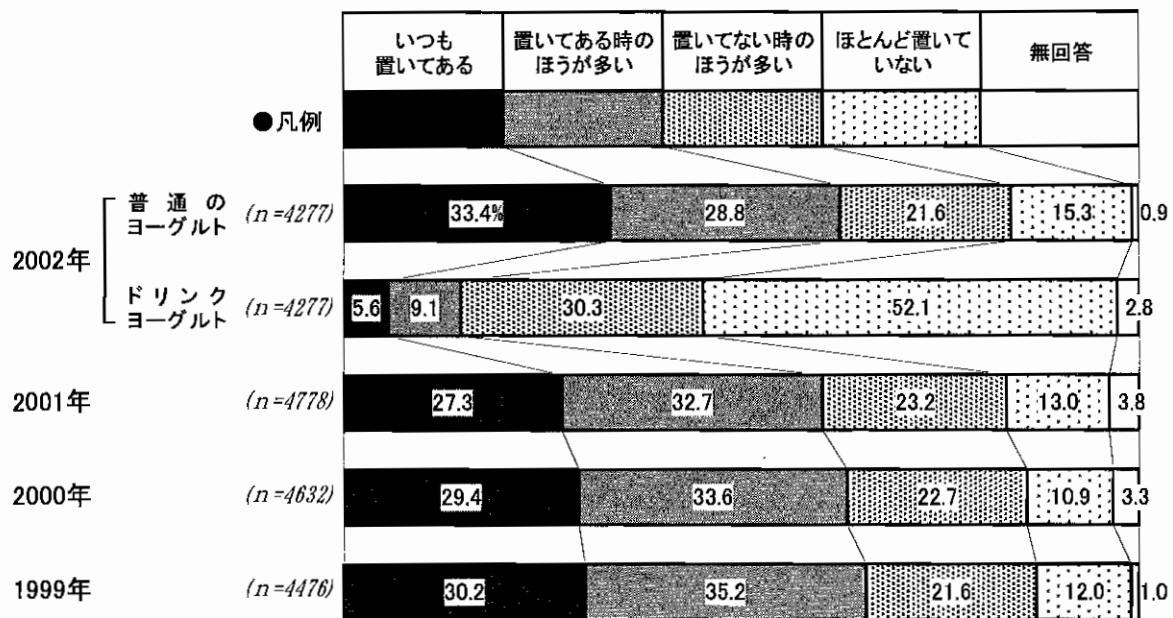
図表IV-2-7 性別・ライフステージ別 普通のヨーグルト(食べるタイプ)の常備実態／女性



n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

普通のヨーグルトの常備実態の推移をみる。
 2001年以前では、あまり大きな変動はみられない。

図表IV-2-8 ヨーグルトの常備実態 <時系列>

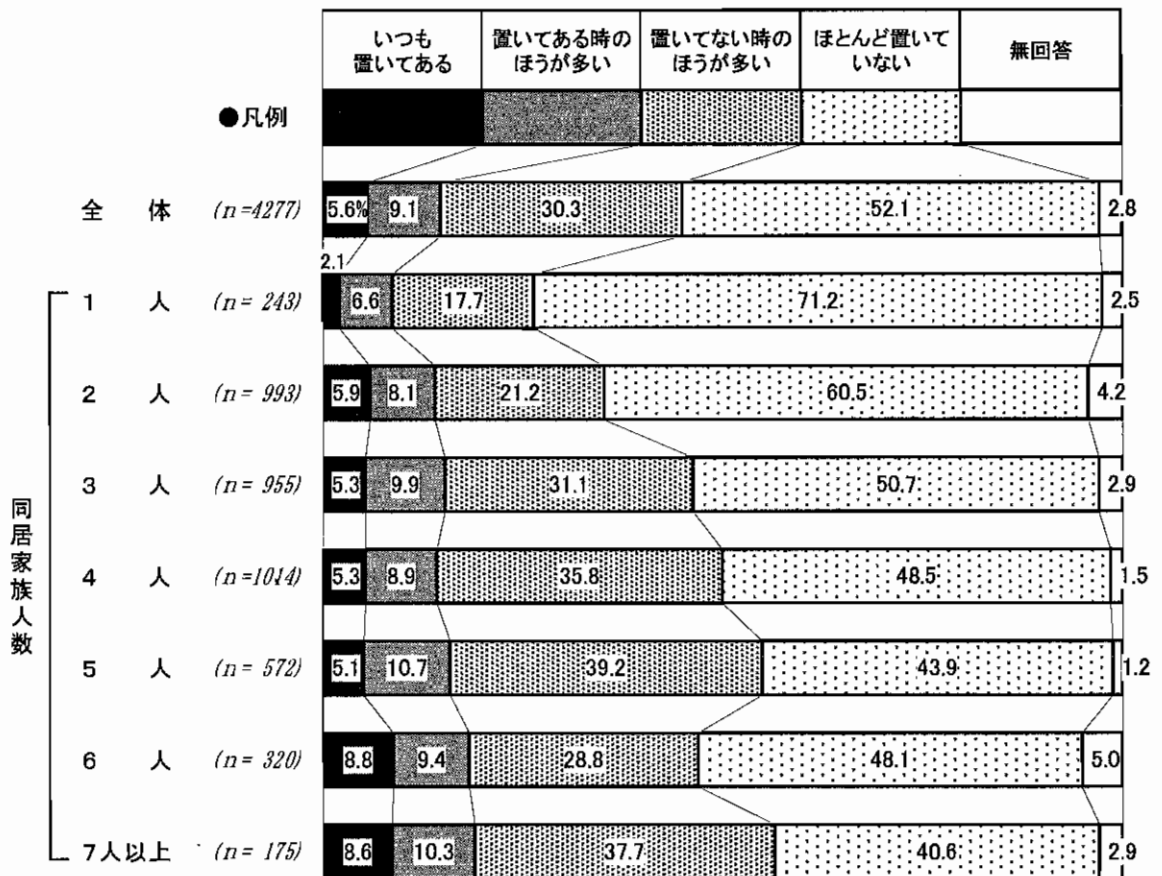


※2001年以前は「ヨーグルト(ドリンクヨーグルトを含む)」で調査

3) ドリンクヨーグルトの常備実態

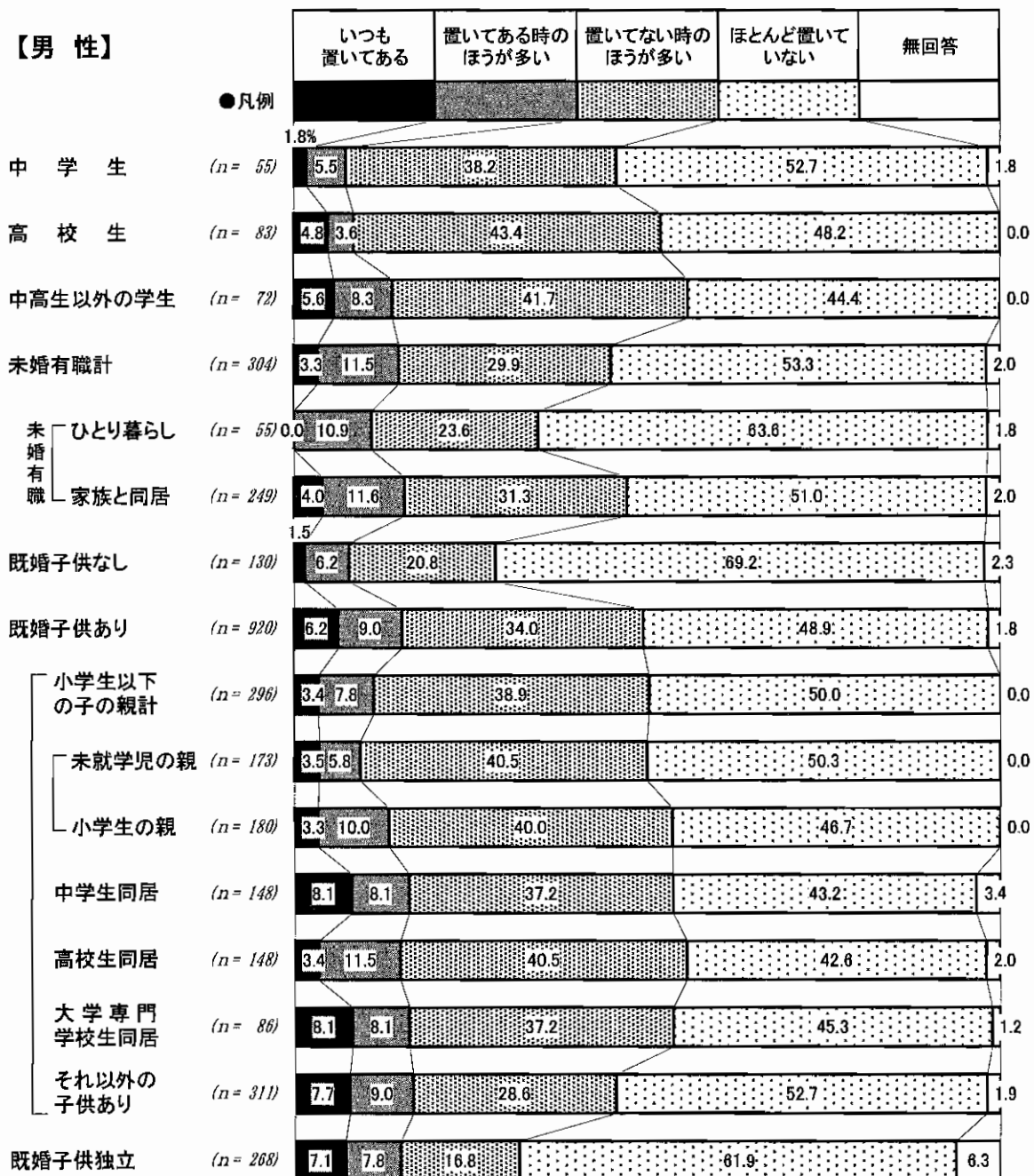
全体で、ドリンクヨーグルトを「いつも置いてある」とする比率は6%にとどまっている。
 家族人数別にみても、「いつも置いてある」比率はどの層でも1割以下となっている。

図表IV-2-9 家族人数別 ドリンクヨーグルトの常備実態

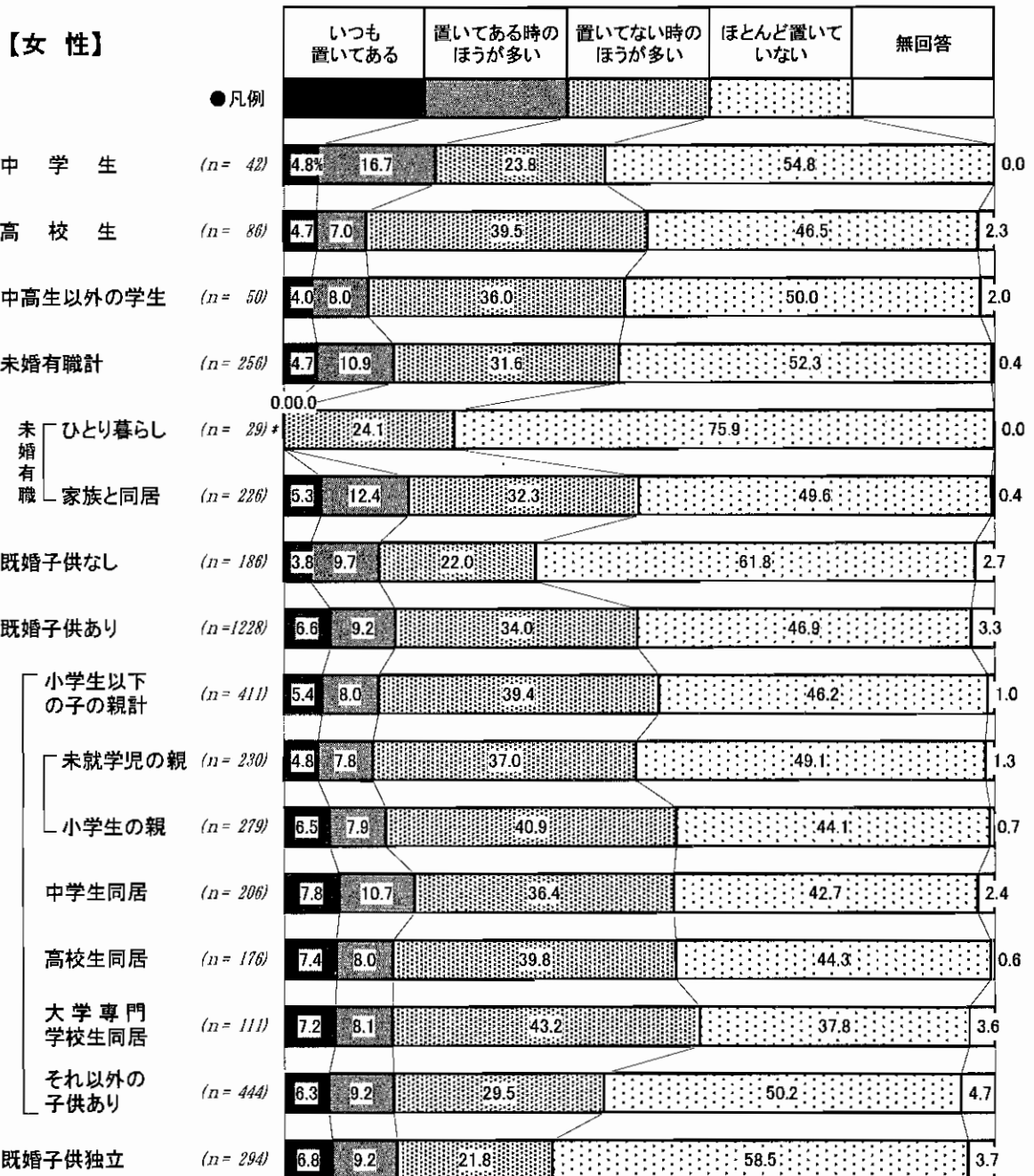


ライフステージ別にみると、「未婚有職ひとり暮らし」では男女とも「いつも置いてある」とした人はいない。特に男性で普通のヨーグルト（食べるタイプ）を含め、ヨーグルトがあまり常備されていないことがわかる。

図表IV-2-10 性別・ライフステージ別 ドリンクヨーグルトの常備実態／男性



図表IV-2-11 性別・ライフステージ別 ドリンクヨーグルトの常備実態／女性



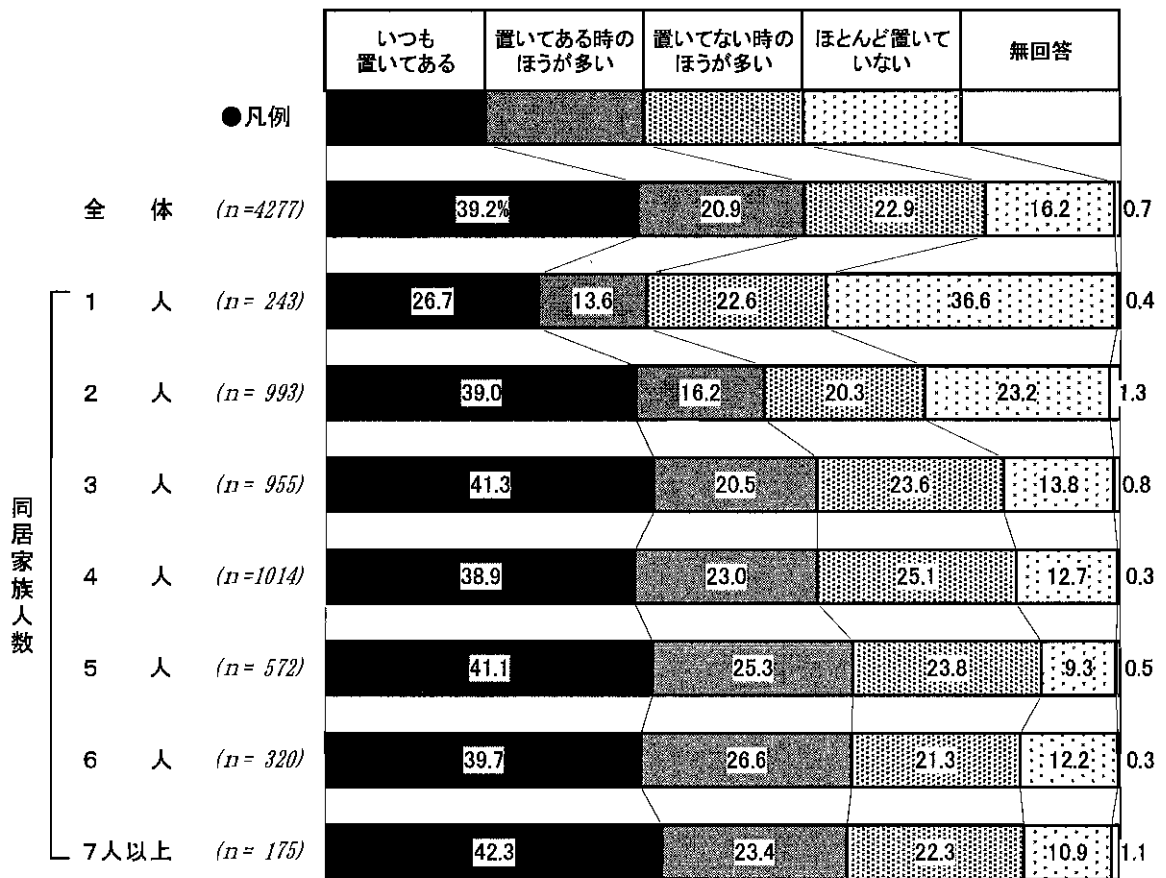
n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

4) チーズの常備実態

全体で、チーズを「いつも置いてある」とする比率は39%である。

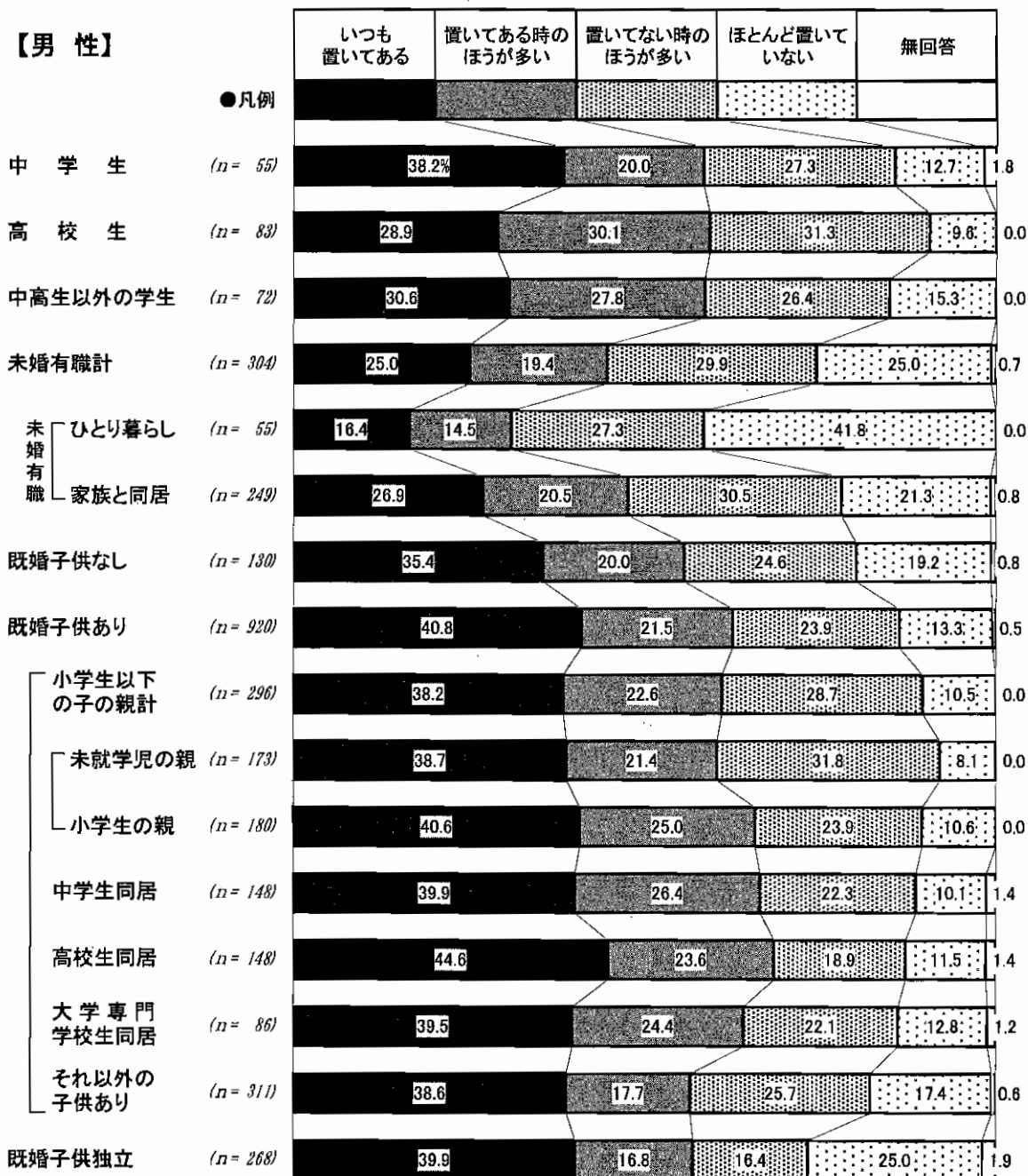
家族人数別にみると、「いつも置いてある」比率は単身世帯では27%であるが、2人以上の世帯では4割前後を占める。

図表IV-2-12 家族人数別 チーズの常備実態

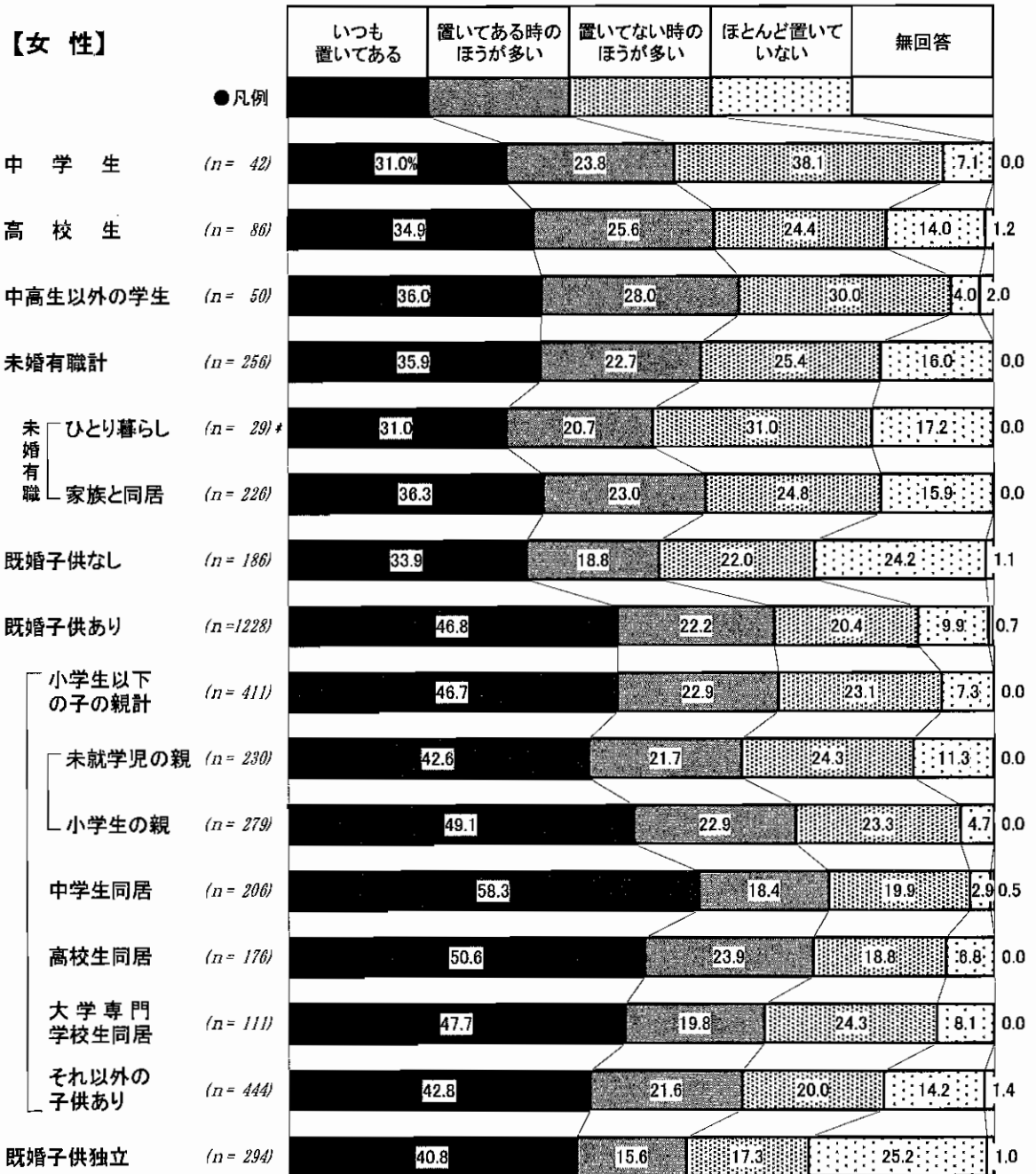


ライフステージ別にみると、「未婚有職ひとり暮らし」の男性が「いつも置いてある」とする比率は16%であり、他の層に比べて低くなっている。

図表IV-2-13 性別・ライフステージ別 チーズの常備実態／男性



図表IV-2-14 性別・ライフステージ別 チーズの常備実態／女性

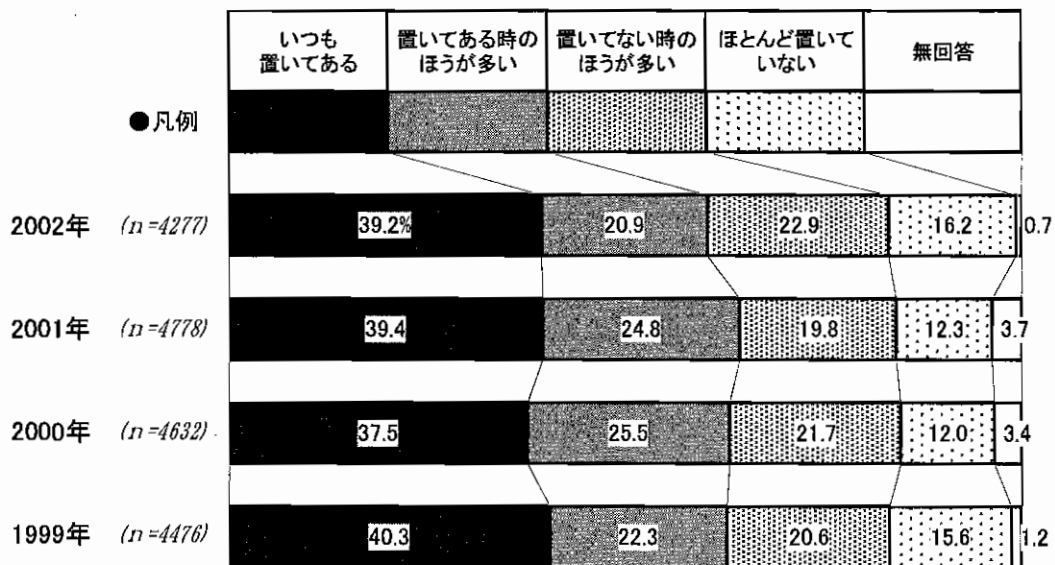


n(サンプル数)の*は、n < 30を表す。

チーズの常備実態の推移をみる。

「いつも置いてある」とする比率は一貫して4割前後の水準となっている。

図表IV-2-15 チーズの常備実態 <時系列>



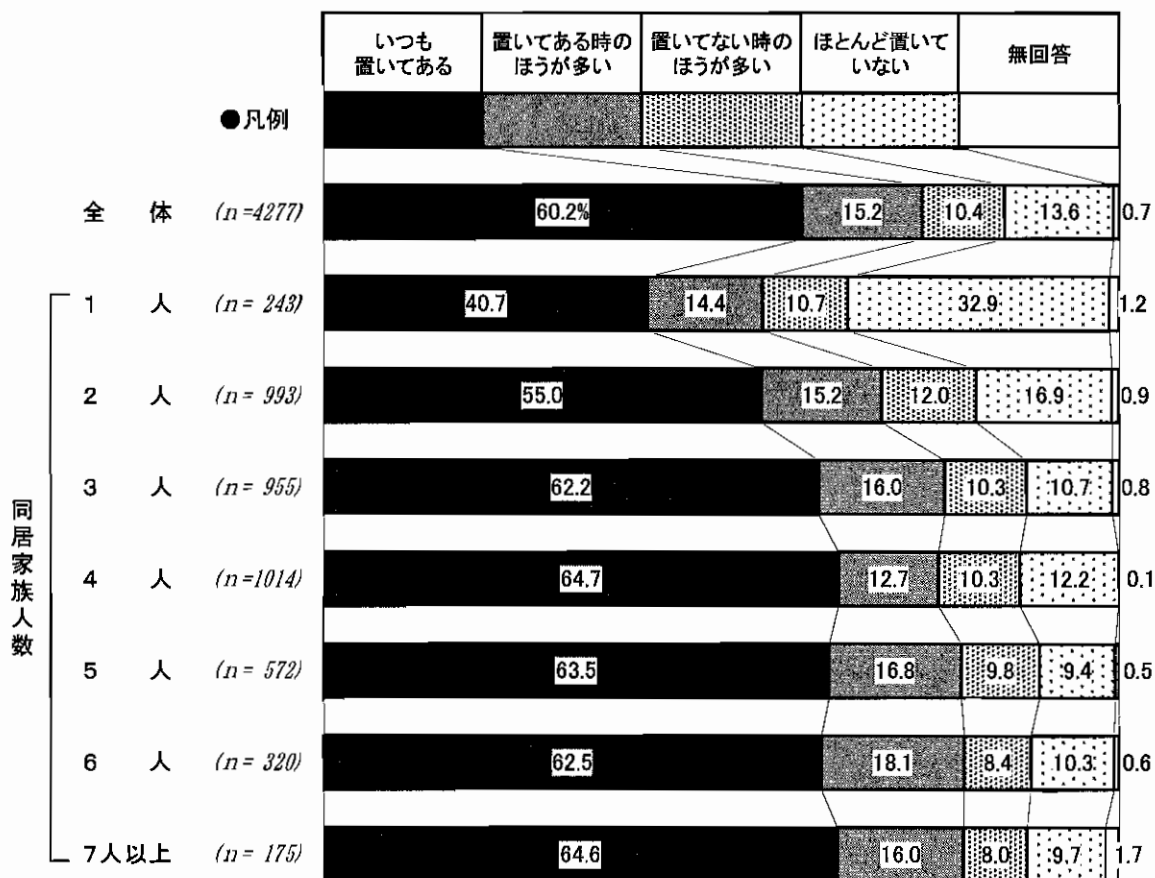
5) バターの常備実態

全体で、バターを「いつも置いてある」とする比率は60%である。

白もの牛乳類、バターについては、多くの世帯が「常備」しているといえる。

家族人数別にみると、バターを「いつも置いてある」比率は単身世帯では41%とやや低い。

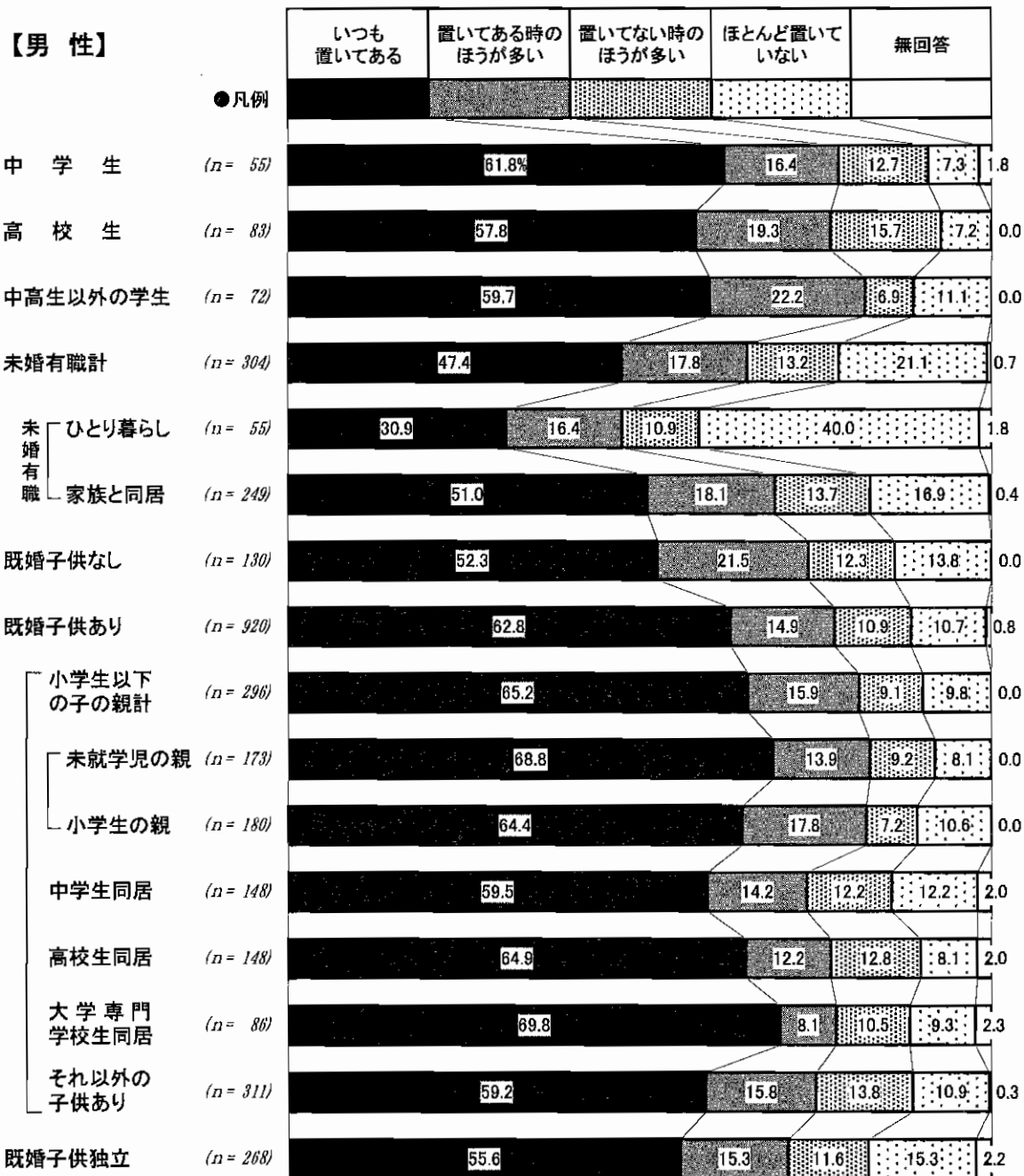
図表IV-2-16 家族人数別 バターの常備実態



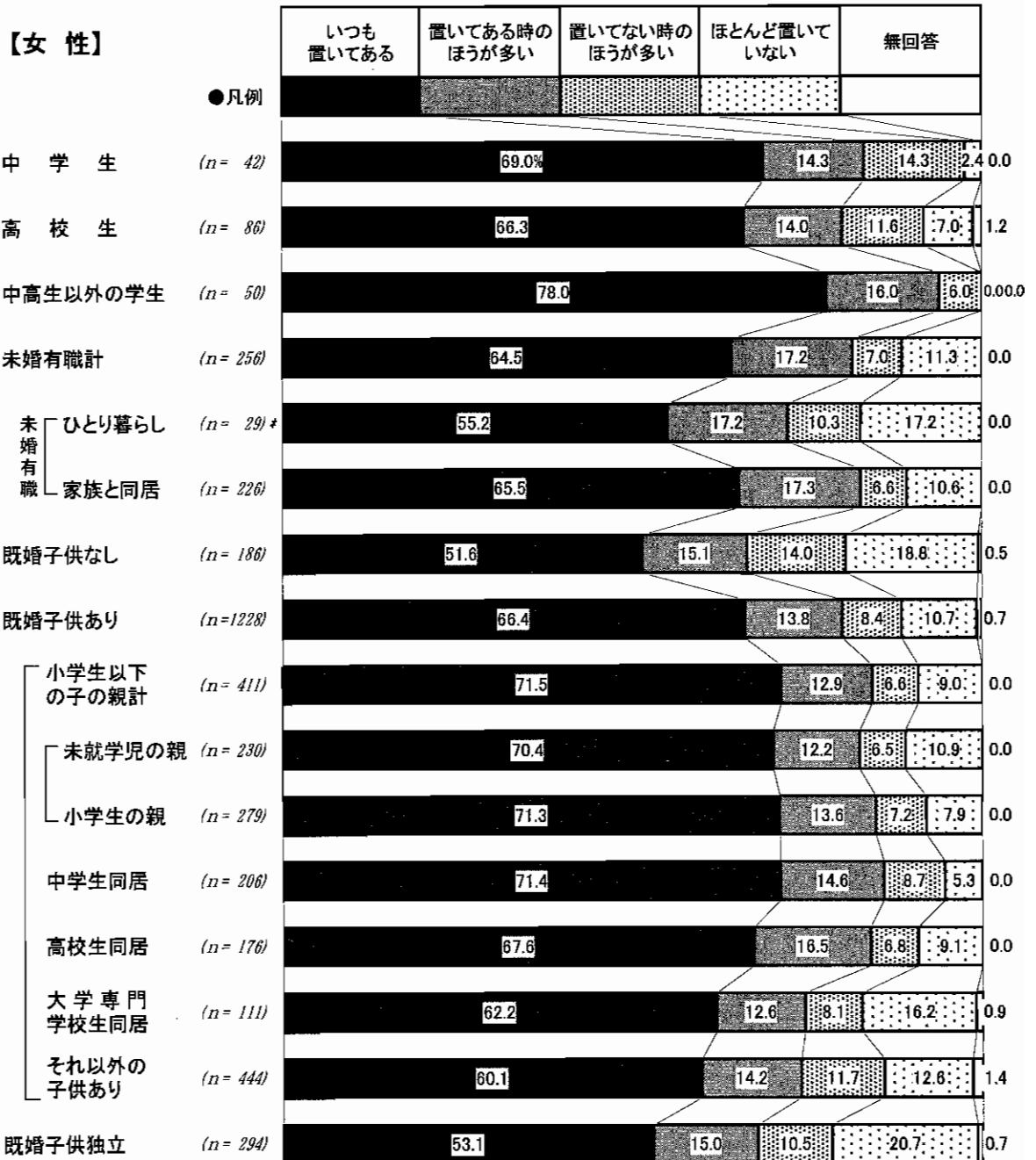
ライフステージ別にみると、「未婚有職ひとり暮らし」の男性が「いつも置いてある」とする比率は31%であり、他の層に比べて低くなっている。

総じて「未婚有職ひとり暮らし」、特に男性層で乳製品の常備頻度はあまり高くないといえる。

図表IV-2-17 性別・ライフステージ別 バターの常備実態／男性



図表IV-2-18 性別・ライフステージ別 パターの常備実態／女性

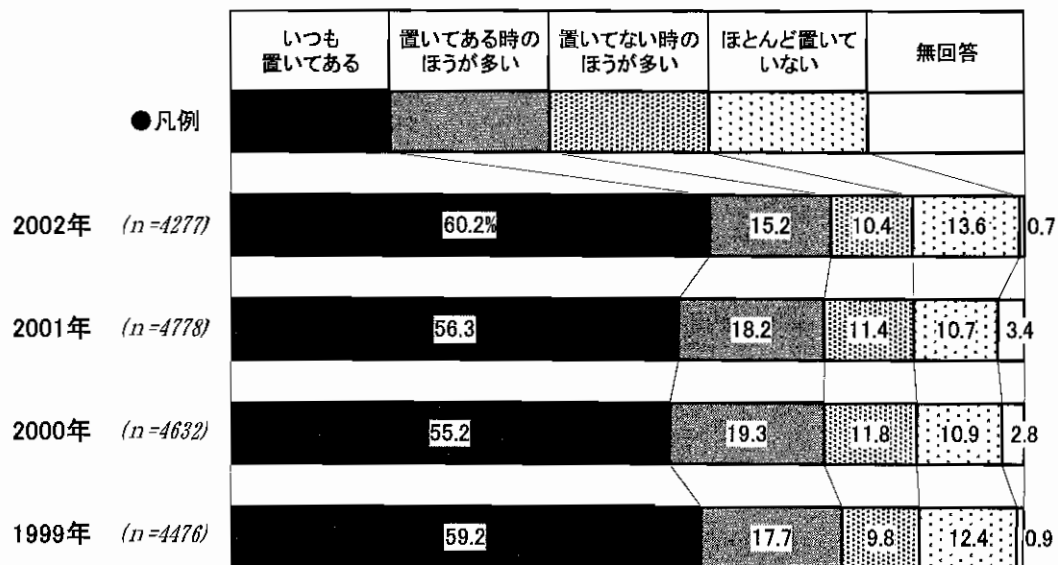


n(サンプル数)の*は、n < 30を表す。

バターの特備実態の推移をみる。

「いつも置いてある」とする比率は一貫して6割前後の水準となっている。

図表IV-2-19 バターの特備実態 <時系列>



V 生活の中の白もの牛乳類

1. 白もの牛乳類を使った料理

白もの牛乳類を使って、この1ヵ月間にデザートやお菓子を含めて料理を作ったかを聞いた。次に、料理を作ったと回答した人には、その料理回数と料理に使用した白もの牛乳類の量を聞いた。

全体では、白もの牛乳類を使って料理をした比率は26%である。

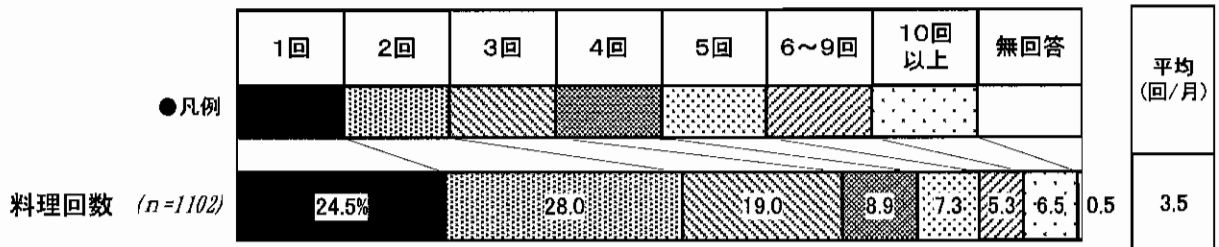
料理回数は「2回（28%）」とする人が最も多く、「1回（25%）」「3回（19%）」と続く。平均料理回数は3.5回である。

白もの牛乳類の料理使用量は、1ヶ月間で「1カップ（200cc）」とする人が27%で最も多く、次いで「1リットル以上」が25%である。平均使用量は470mlである。

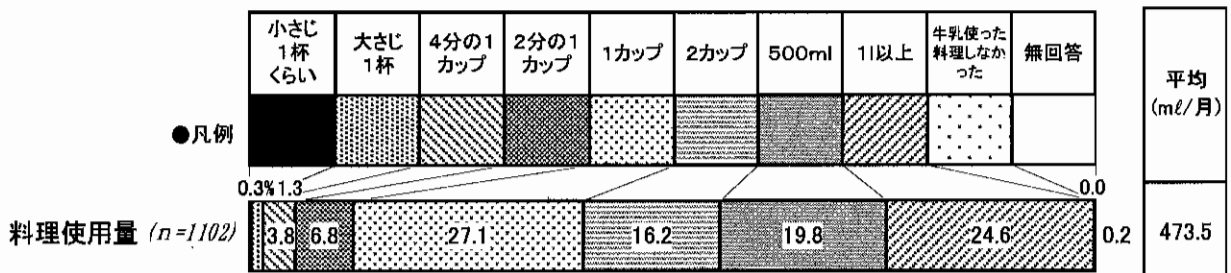
図表V-1-1 白もの牛乳類を使った料理行動



図表V-1-2 白もの牛乳類の料理回数（この1ヶ月間に白もの牛乳類を使った料理をした人ベース）

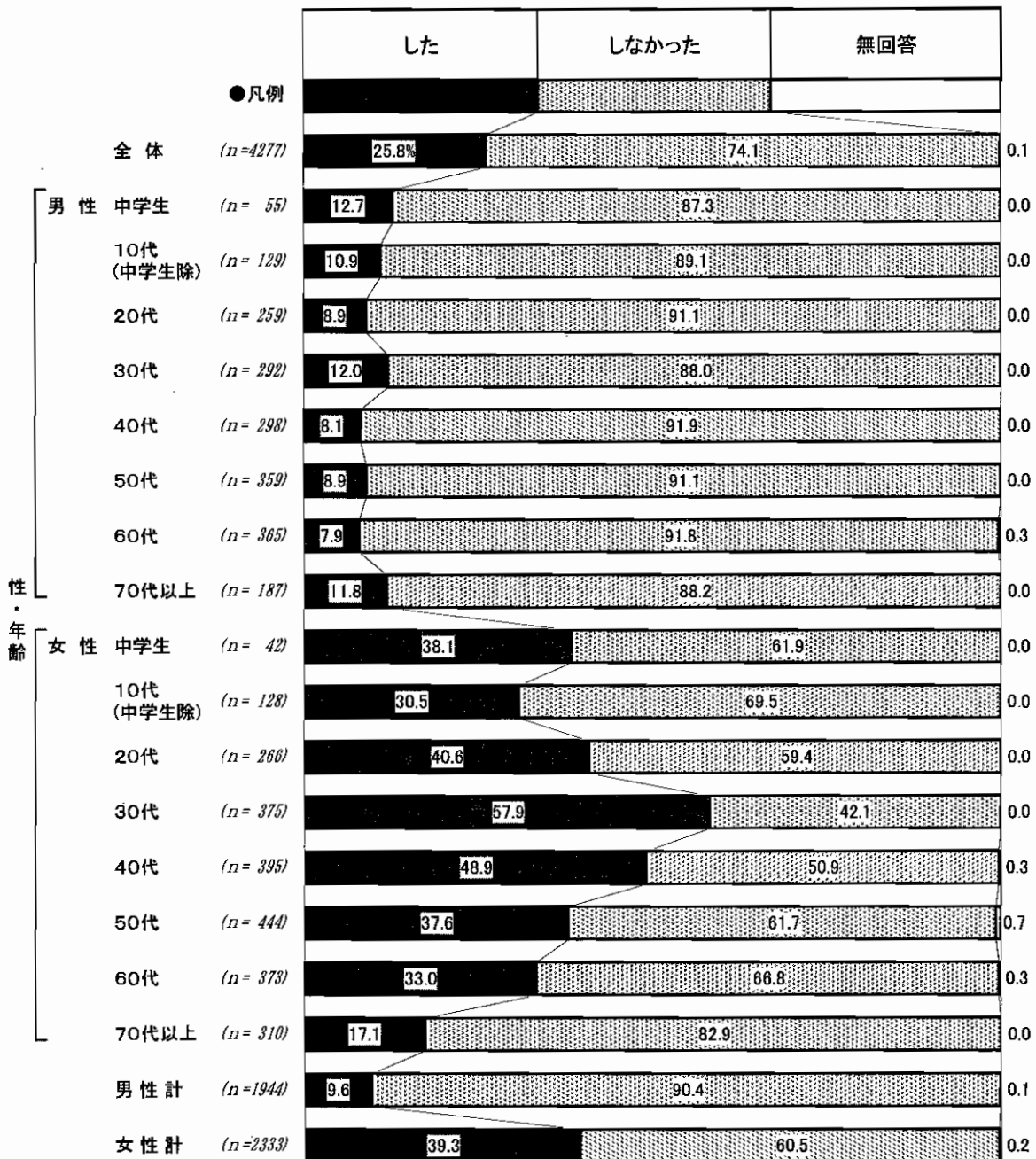


図表V-1-3 白もの牛乳類の料理使用量（この1ヶ月間に白もの牛乳類を使った料理をした人ベース）



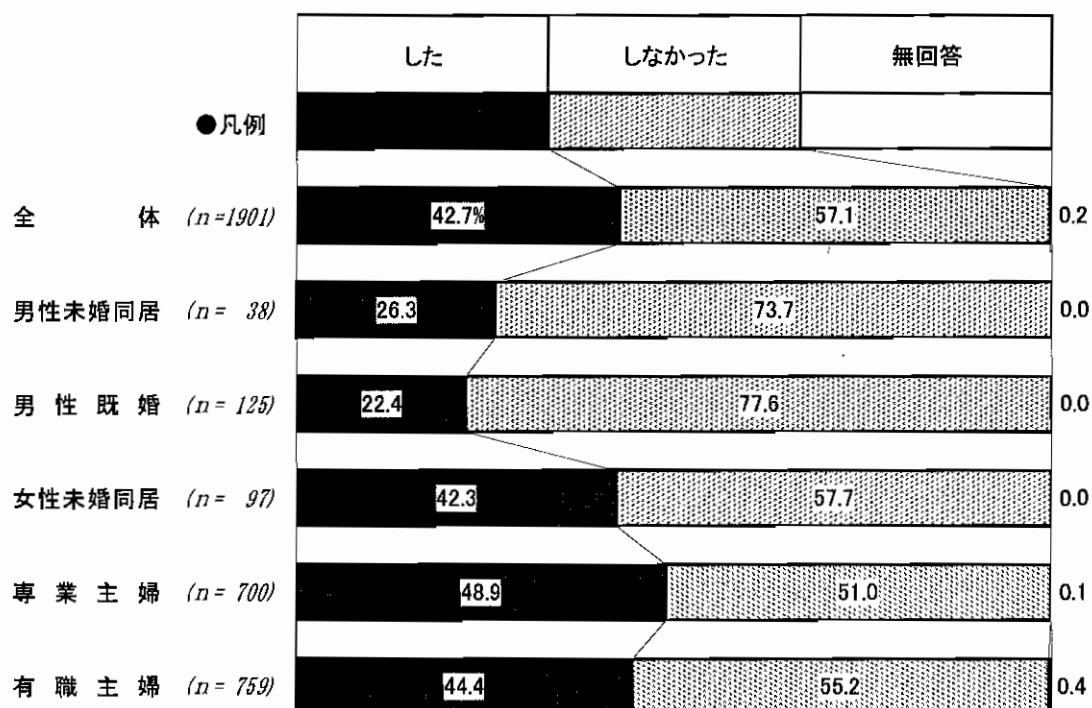
白もの牛乳類を使って、この1ヵ月間にデザートやお菓子を含めて料理を作ったかを聞いた。
 性・年齢別にみると、男性ではどの年代でも料理をしたのは1割前後となっている。
 女性では39%が料理をしており、中でも30代では58%と最も比率が高くなっている。

図表V-1-4 性・年齢別 白もの牛乳類を使った料理行動



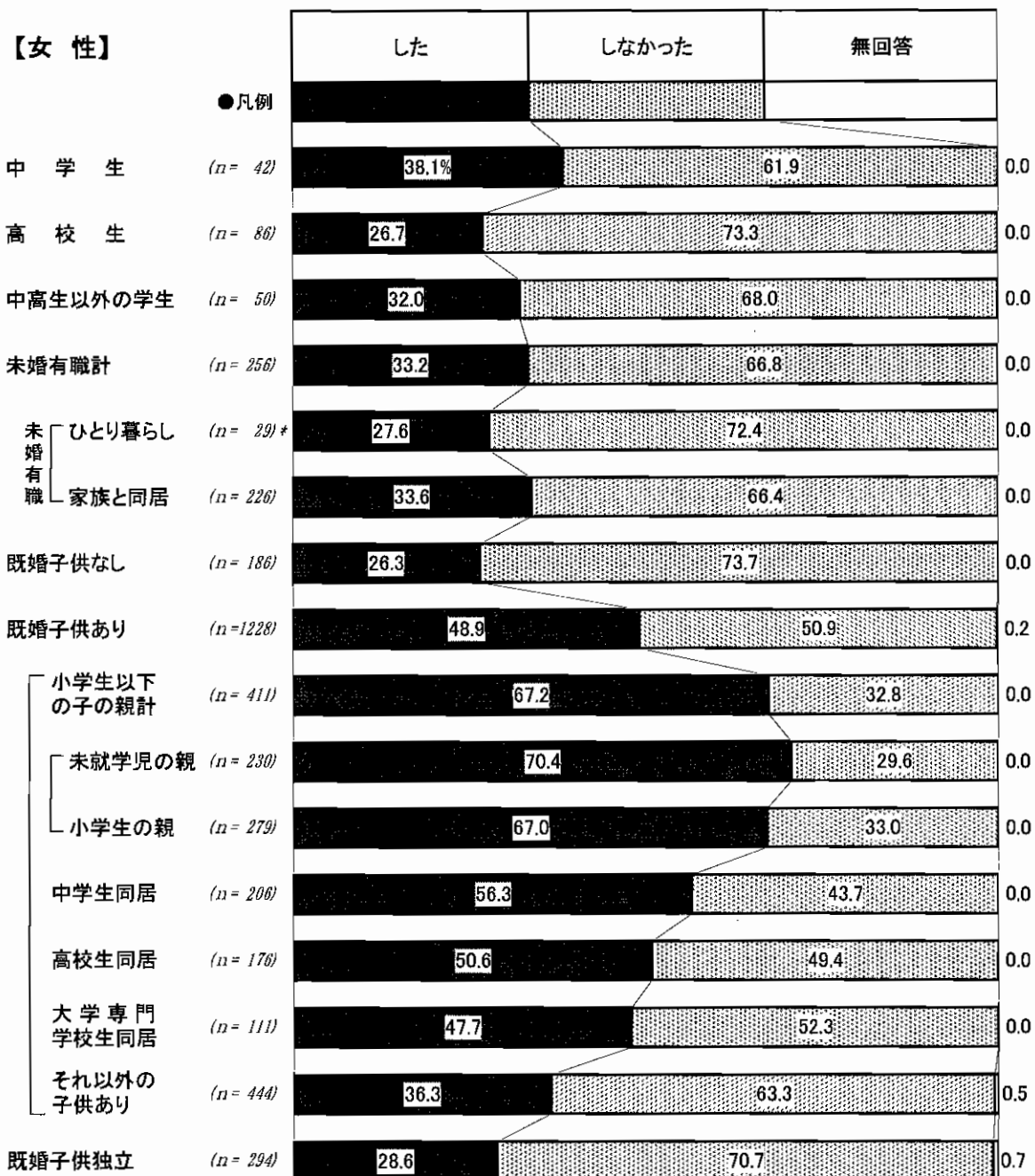
料理を家族の中で主に担当する人についてみると、「専業主婦」で最も多く、49%とほぼ半数がこの1ヵ月間に白もの牛乳類を使って料理をしている。

図表V-1-5 白もの牛乳類を使った料理行動 <料理を家族の中で主に担当する人ベース>



女性についてライフステージ別にみると、「未就学児の親」「小学生の親」では7割前後の人が、白もの牛乳類を使って料理をしている。

図表V-1-6 性別・ライフステージ別 白もの牛乳類を使った料理行動／女性



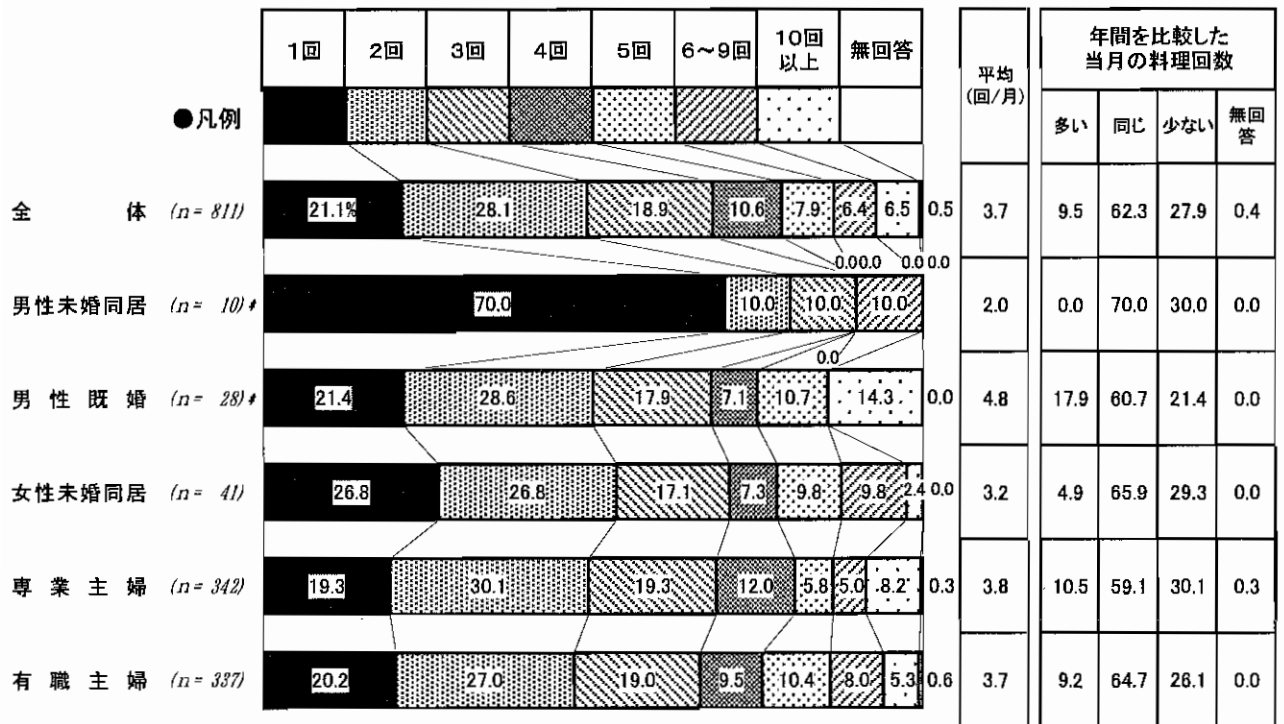
n(サンプル数)の*は、n < 30を表す。

白もの牛乳類を使ってデザートやお菓子を含めた料理を、この1ヵ月間に何回したかを聞いた。

料理を家族の中で主に担当する人についてみると、「専業主婦」と「有職主婦」であまり大きな違いはみられず、料理回数は「専業主婦」で3.8回、「有職主婦」で3.7回となっている。

図表V-1-7 白もの牛乳類を使った料理回数

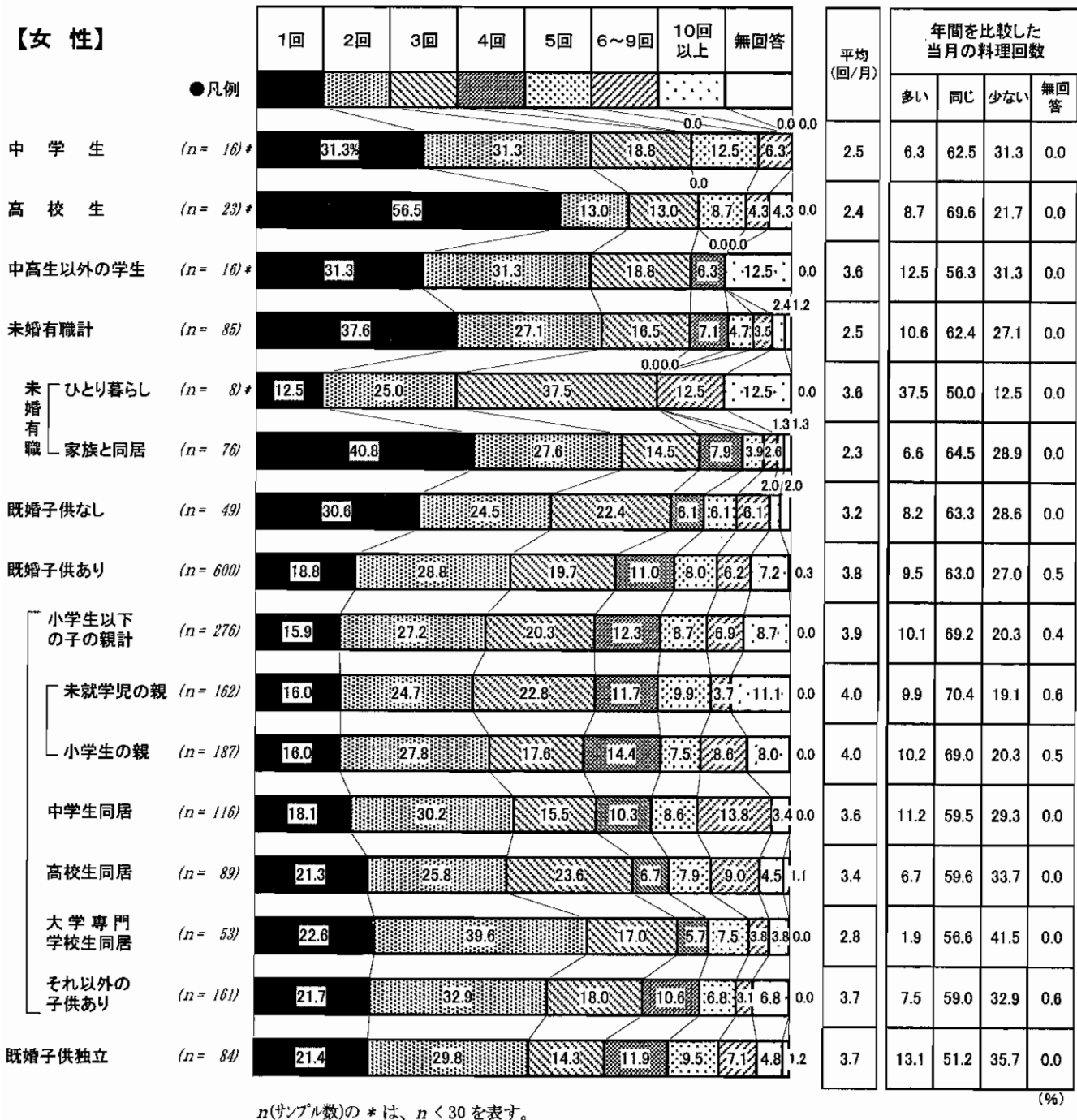
<家庭内料理担当者の中で、この1ヶ月間に白もの牛乳類を使った料理をしたベース>



n(サンプル数)の*は、n < 30を表す。

女性についてライフステージ別にみると、料理をしたとする比率が高かった女性の「未就学児の親」「小学生の親」では、回数についてもともに4.0回と他の層に比較して多くなっている。

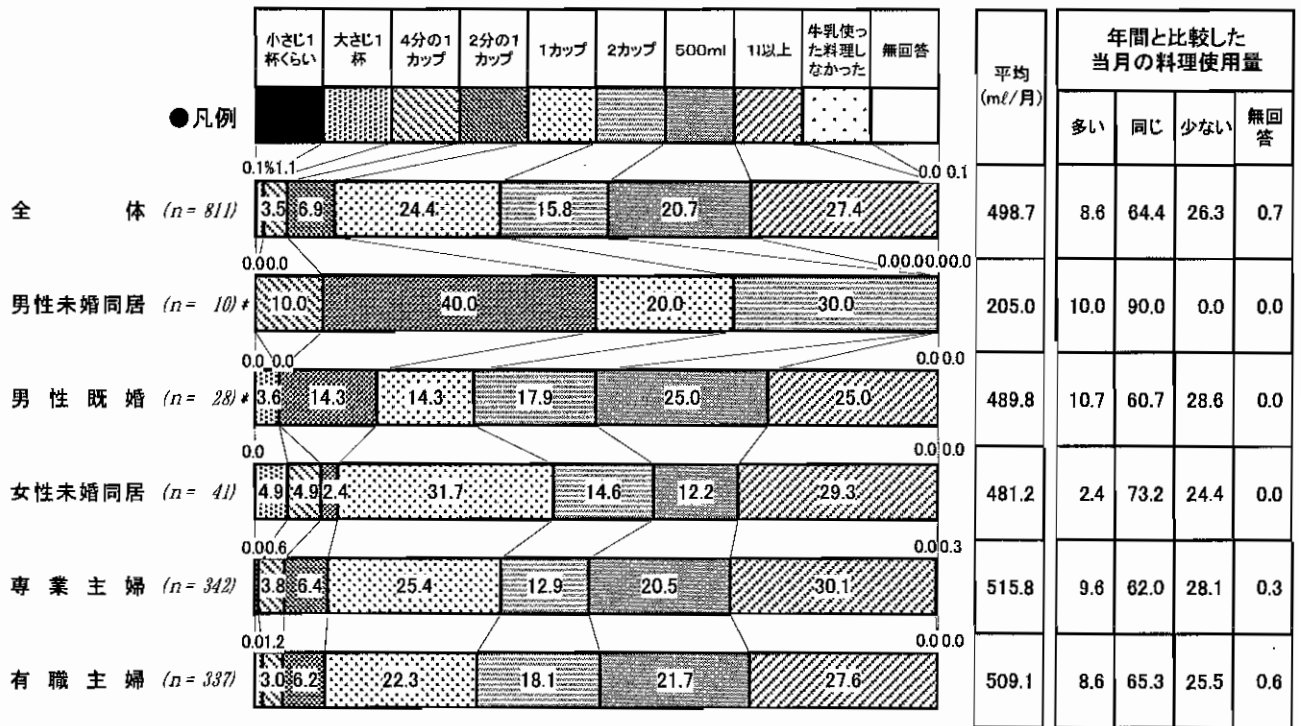
図表V-1-8 性別・ライフステージ別 白もの牛乳類を使った料理回数
 <女性/この1ヶ月間に白もの牛乳類を使った料理をした人ベース>



この1ヵ月間にデザートやお菓子を含めた料理に、白もの牛乳類をどれくらい使ったかを聞いた。
料理を家族の中で主に担当する人についてみると、「専業主婦」と「有職主婦」でいずれも平均
使用量が500mlを超えている。

図表V-1-9 白もの牛乳類の料理使用量

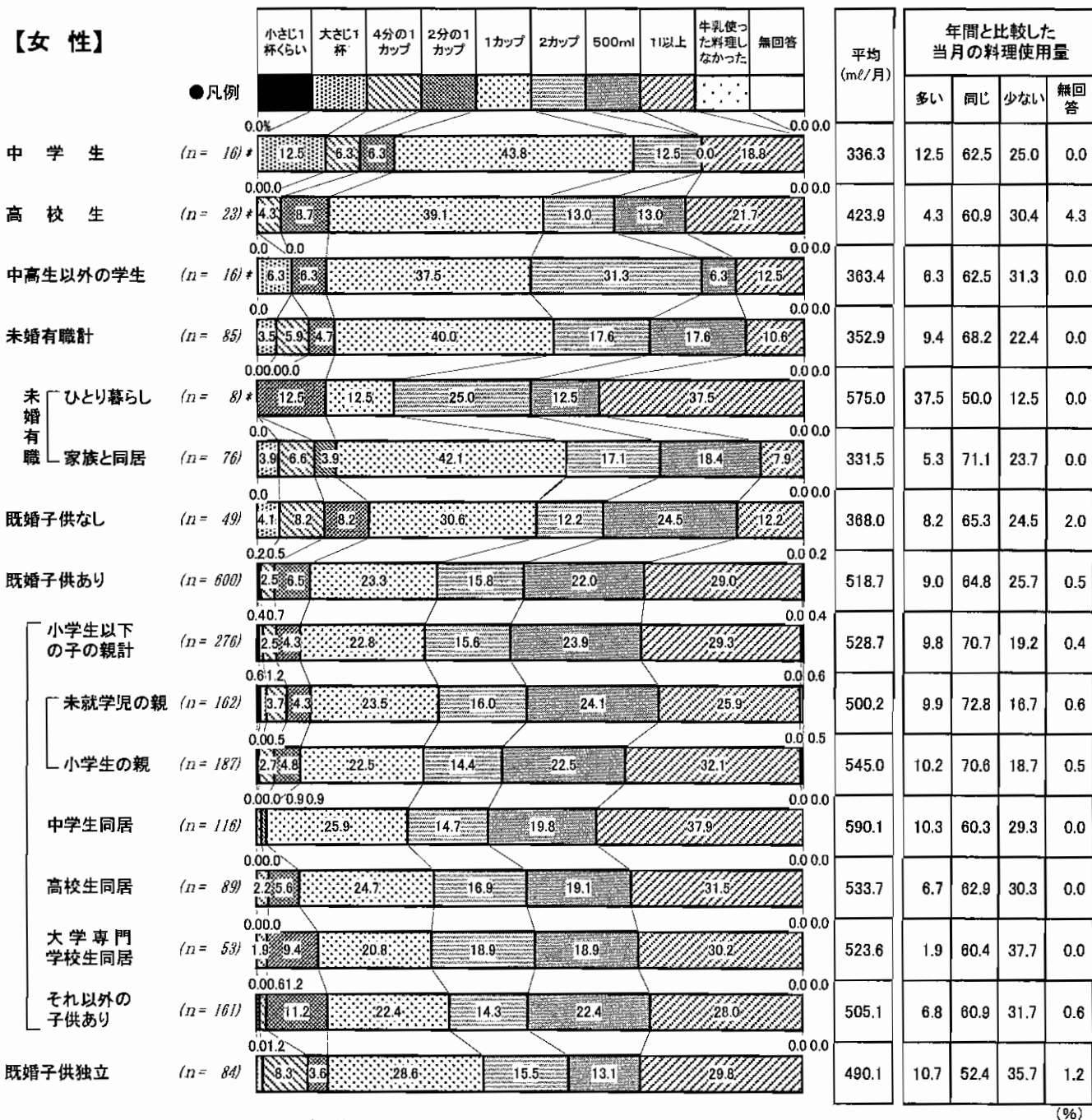
<家庭内料理担当者の中で、この1ヶ月間に白もの牛乳類を使った料理をした人ベース>



n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

女性についてライフステージ別にみると、「既婚子供あり」の層では、いずれも平均使用量が500mlを越えており、他の層に比較して多くなっている。

図表V-1-10 性別・ライフステージ別 白もの牛乳類の料理使用量
 <女性/この1ヶ月間に白もの牛乳類を使った料理をした人ベース>



白もの牛乳類を使った料理を、具体的に自由回答として聞いた。

図表V-1-11 白もの牛乳類を使った料理内容
 <この1ヶ月間に白もの牛乳類を使った料理をした人ベース>

N=1102

順位	メニュー名	件数
1	シチュー、クリームシチュー	464
2	グラタン（含ダリア1・ドリ710・キル2）	297
3	カレー	156
4	ホットケーキ	139
5	プリン	106
6	フルーチェ	88
7	スープ、ポタージュ	85
8	ハンバーグ	71
9	コーンスープ	67
10	オムレツ、オムライス	50
11	牛乳寒天	49
12	ケーキづくり	47
13	ゼリー	41
14	ヨーグルトづくり	35
15	パン	31
16	杏仁豆腐	29
17	フレンチトースト	28
18	いちごジュース、いちごミルク	27
19	ババロア	24
20	卵焼き	23
21	カボチャのスープ	22
22	バナナジュース、シェーク	19
23	ホワイトソース	18
23	スパゲティー	18
25	クッキー	17
26	おかし、デザート（漠然と）	16
27	クラムチャウダー、チャウダー	14
28	コロッケ	13
28	ドーナツ	13
30	ポテトのクリーム煮	11
30	果物に牛乳をかける	11
30	クリーム煮	11

2. 白もの牛乳類のベネフィットの認識とサプリメント

1) 白もの牛乳類のベネフィットの認識

白もの牛乳類に関する事柄について、「この半年くらいの間に見たり聞いたりしたもの」「その通りだと思うもの」「魅力を感じるもの、関心のあるもの」をそれぞれ聞いた。

「この半年くらいの間に見たり聞いたりしたもの」「その通りだと思うもの」のいずれにおいても、上位3項目は「必要な栄養素が含まれる」「子供の身長伸びを助ける」「骨粗しょう症を防ぐ成分」の順である。「魅力を感じるもの、関心のあるもの」についても、同様の項目であるが、「骨粗しょう症を防ぐ成分」が2番目にあがっている。

図表V-2-1 白もの牛乳類のベネフィットの認識(MA)

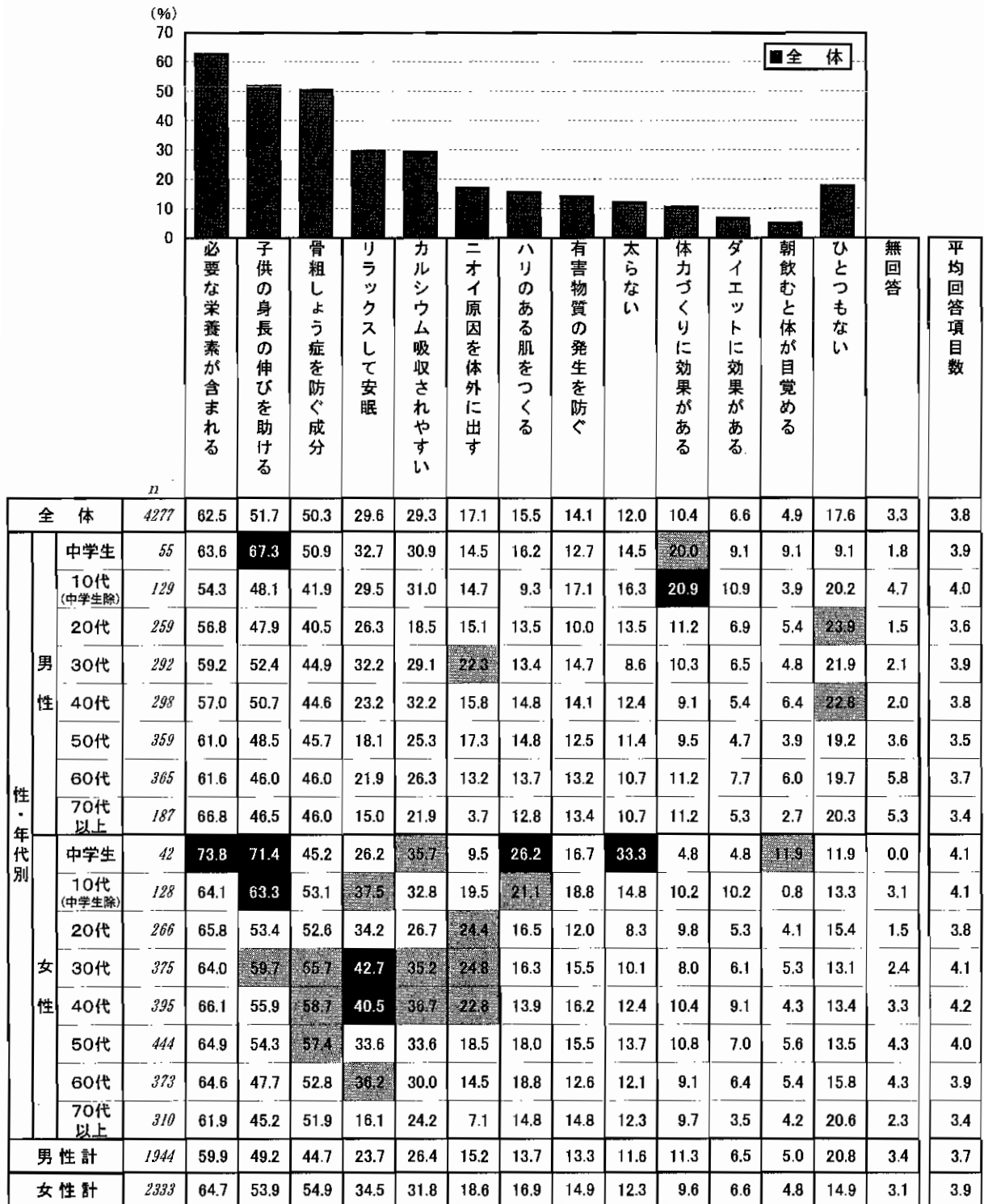
(N=4277)

	半年間にテレビで見たり聞いたりした牛乳類事柄	その通りだと思うテレビや雑誌で見た牛乳類事柄	魅力を感じるテレビや雑誌で見た牛乳類事柄
必要な栄養素が含まれる	62.5	75.8	43.7
朝飲むと体が目覚める	4.9	7.2	11.9
ダイエットに効果がある	6.6	6.9	19.8
リラックスして安眠	29.6	25.1	20.8
子供の身長伸びを助ける	51.7	64.1	31.6
ニオイ原因を体外に出す	17.1	18.1	16.5
ハリのある肌をつくる	15.5	20.6	21.6
太らない	12.0	15.4	21.5
有害物質の発生を防ぐ	14.1	18.0	20.0
体力づくりに効果がある	10.4	16.6	17.0
カルシウム吸収しやすい	29.3	36.5	28.6
骨粗しょう症を防ぐ成分	50.3	57.6	42.6
ひとつもない	17.6	6.3	14.6
無回答	3.3	1.6	5.4

「この半年くらいの間に見たり聞いたりした」白もの牛乳類のベネフィットを性・年齢別にみると、全般的に女性の方が認知率が高い傾向がある。

女性の中学生では「ハリのある肌をつくる(26%)」「太らない(33%)」など美容に関連する事柄の認知率が他の層に比べて高くなっている。また30代、40代の女性では多様な項目での認知率が高いといえる。

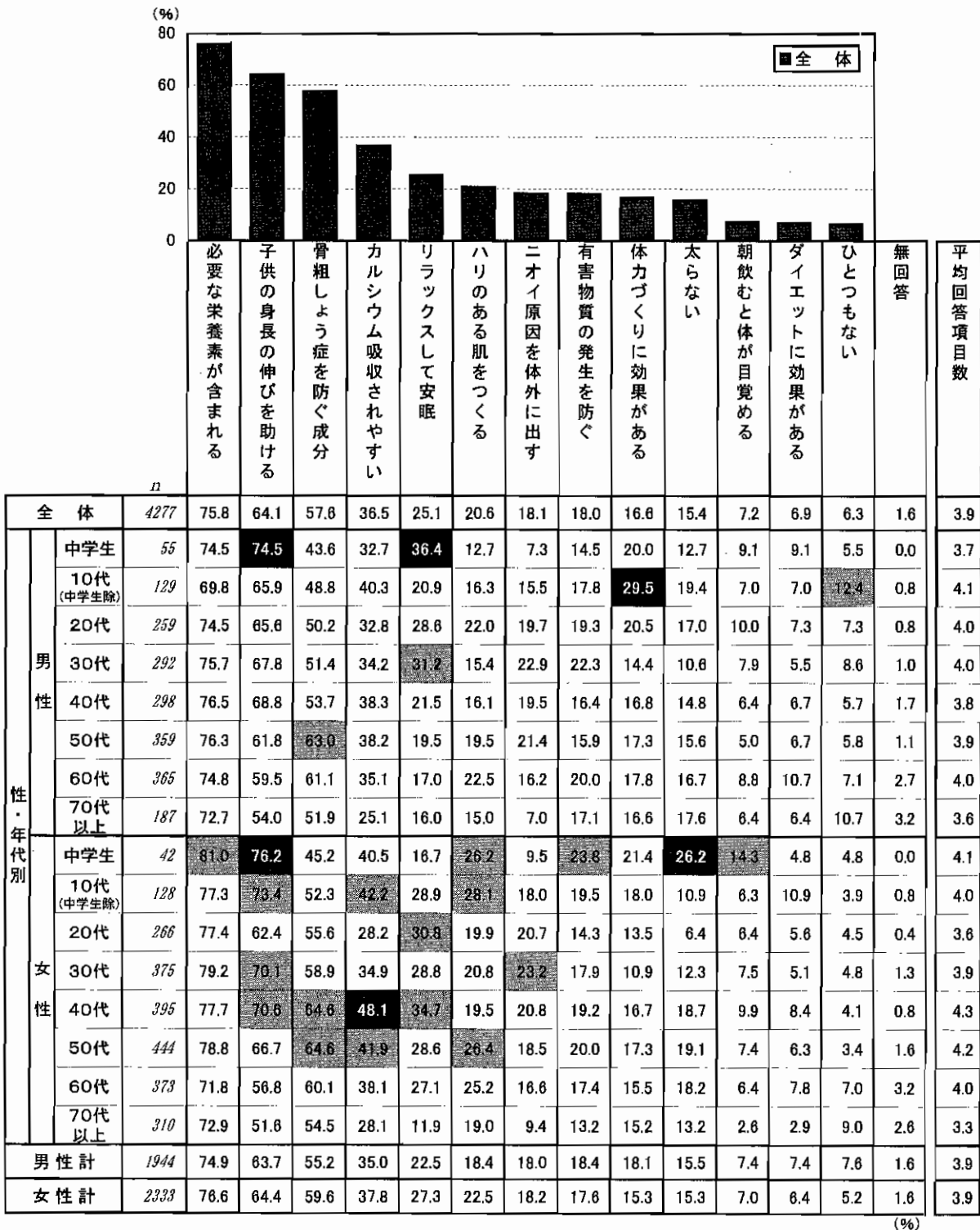
図表V-2-2 性・年齢別 この半年くらいの間に見たり聞いたりした白もの牛乳類のベネフィット(MA)



■ 全体より5ポイント以上高い
 ■ 全体より10ポイント以上高い

「その通りだと思う」白もの牛乳類のベネフィットを性・年齢別にみると、比較的女性の方が認知率が高い傾向がみられる。

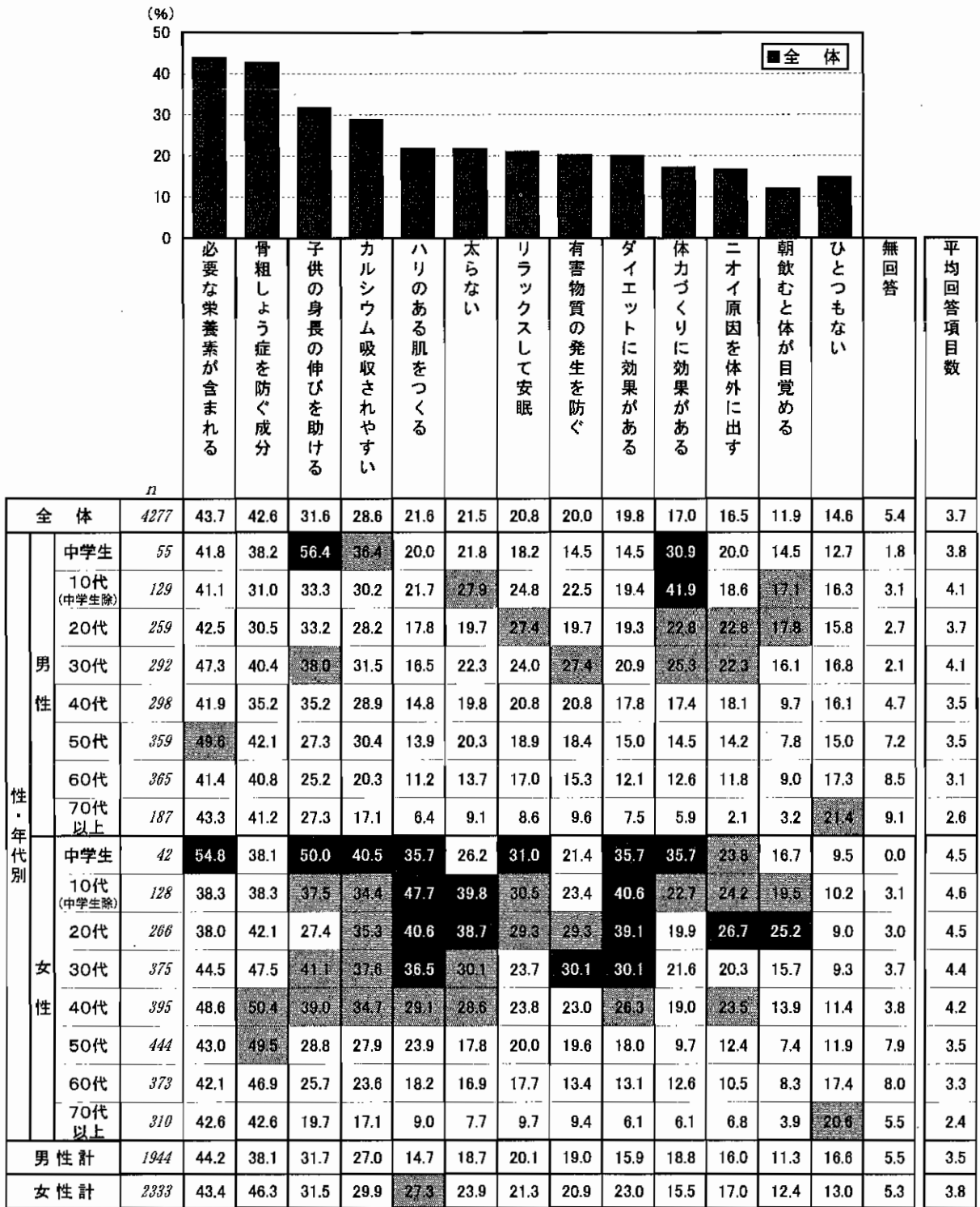
図表V-2-3 性・年齢別 その通りだと思う白もの牛乳類のベネフィット(MA)



■ 全体より5ポイント以上高い
 ■ 全体より10ポイント以上高い

「魅力を感じる、関心のある」白もの牛乳類のベネフィットを性・年齢別にみると、40代以下の女性で多様な項目で魅力、関心を感じるとする比率が高い。特に、「ハリのある肌をつくる」「ダイエットに効果がある」など美容に関連する事柄に魅力、関心を感じるとする比率が、他の層に比べて高くなっている。

図表V-2-4 性・年齢別 魅力を感じ、関心のある白もの牛乳類のベネフィット(MA)



■ 全体より 5ポイント以上高い
 ■ 全体より10ポイント以上高い

白もの牛乳類のベネフィットに対する魅力・関心と認知とのギャップをみてみると、女性の10代（中学生除）、20代では、「ハリのある肌をつくる」「ダイエットに効果がある」「太らない」といった項目でギャップが大きく、認知を高めるコミュニケーションの必要性が示唆されている。

図表V-2-5 性・年齢別 魅力・関心トップ5項目と認知(見聞きした経験)とのギャップ

(%)

n		1位	2位	3位	4位	5位	
全体	4277	必要な栄養素が含まれる 43.7 / ▲18.8	骨粗しょう症を防ぐ成分 42.6 / ▲7.7	子供の身長伸びを助ける 31.6 / ▲20.1	カルシウム吸収されやすい 28.6 / ▲0.7	ハリのある肌をつくる 21.6 / 6.1	
男性	中学生	子供の身長伸びを助ける 56.4 / ▲10.9	必要な栄養素が含まれる 41.8 / ▲21.8	骨粗しょう症を防ぐ成分 36.2 / ▲12.7	カルシウム吸収されやすい 36.4 / 5.5	体かづくりに効果がある 30.9 / 10.9	
	10代(中学生除)	体かづくりに効果がある 41.9 / 21.0	必要な栄養素が含まれる 41.1 / ▲13.2	子供の身長伸びを助ける 33.3 / ▲14.8	骨粗しょう症を防ぐ成分 31.0 / ▲10.9	カルシウム吸収されやすい 30.2 / ▲0.8	
	20代	必要な栄養素が含まれる 42.5 / ▲14.3	子供の身長伸びを助ける 33.2 / ▲14.7	骨粗しょう症を防ぐ成分 30.5 / ▲10.0	カルシウム吸収されやすい 28.2 / 9.7	リラックスして安眠 27.4 / 1.1	
	30代	必要な栄養素が含まれる 47.3 / ▲11.9	骨粗しょう症を防ぐ成分 40.4 / ▲4.5	子供の身長伸びを助ける 38.0 / ▲14.4	カルシウム吸収されやすい 31.5 / 2.4	有害物質の発生を防ぐ 27.4 / 12.7	
	40代	必要な栄養素が含まれる 41.9 / ▲15.1	子供の身長伸びを助ける 35.2 / ▲15.5	骨粗しょう症を防ぐ成分 35.2 / ▲9.4	カルシウム吸収されやすい 28.9 / ▲3.3	リラックスして安眠 20.8 / ▲2.4	有害物質の発生を防ぐ 20.8 / 5.7
	50代	必要な栄養素が含まれる 49.6 / ▲11.4	骨粗しょう症を防ぐ成分 42.1 / ▲3.6	カルシウム吸収されやすい 30.4 / 5.1	子供の身長伸びを助ける 27.3 / ▲21.2	太らない 20.3 / 8.9	
	60代	必要な栄養素が含まれる 41.4 / ▲20.2	骨粗しょう症を防ぐ成分 40.8 / ▲5.2	子供の身長伸びを助ける 25.2 / ▲20.8	カルシウム吸収されやすい 20.3 / ▲6.0	リラックスして安眠 17.0 / ▲4.9	
	70代以上	必要な栄養素が含まれる 43.3 / ▲23.5	骨粗しょう症を防ぐ成分 41.2 / ▲4.8	子供の身長伸びを助ける 27.3 / ▲19.2	カルシウム吸収されやすい 17.1 / ▲4.8	有害物質の発生を防ぐ 9.6 / ▲3.8	
	中学生	必要な栄養素が含まれる 54.8 / ▲19.0	子供の身長伸びを助ける 50.0 / ▲21.4	カルシウム吸収されやすい 40.5 / 4.8	骨粗しょう症を防ぐ成分 38.1 / ▲7.1	太らない効果がある 35.7 / 30.9	ハリのある肌をつくる 35.7 / 9.5
	10代(中学生除)	ハリのある肌をつくる 47.7 / 26.6	ダイエットに効果がある 40.6 / 30.4	太らない 39.8 / 25.0	必要な栄養素が含まれる 38.3 / ▲25.8	骨粗しょう症を防ぐ成分 38.3 / ▲14.8	
女性	20代	骨粗しょう症を防ぐ成分 42.1 / ▲10.5	ハリのある肌をつくる 40.6 / 24.1	ダイエットに効果がある 39.1 / 33.9	太らない 38.7 / 30.4	必要な栄養素が含まれる 38.0 / ▲27.8	
	30代	骨粗しょう症を防ぐ成分 47.5 / ▲8.2	必要な栄養素が含まれる 44.5 / ▲19.5	子供の身長伸びを助ける 41.1 / ▲18.6	カルシウム吸収されやすい 37.8 / 2.4	ハリのある肌をつくる 36.5 / 20.2	
	40代	骨粗しょう症を防ぐ成分 50.4 / ▲8.3	必要な栄養素が含まれる 48.6 / ▲17.5	子供の身長伸びを助ける 39.0 / ▲16.9	カルシウム吸収されやすい 34.7 / ▲2.0	ハリのある肌をつくる 28.1 / 15.2	
	50代	骨粗しょう症を防ぐ成分 49.5 / ▲7.9	必要な栄養素が含まれる 43.0 / ▲21.9	子供の身長伸びを助ける 28.8 / ▲25.5	カルシウム吸収されやすい 27.9 / ▲5.7	ハリのある肌をつくる 23.9 / 5.9	
	60代	骨粗しょう症を防ぐ成分 46.9 / ▲5.9	必要な栄養素が含まれる 42.1 / ▲22.5	子供の身長伸びを助ける 25.7 / ▲22.0	カルシウム吸収されやすい 23.6 / ▲6.4	ハリのある肌をつくる 18.2 / ▲0.6	
	70代以上	必要な栄養素が含まれる 42.6 / ▲19.3	骨粗しょう症を防ぐ成分 42.6 / ▲9.3	子供の身長伸びを助ける 19.7 / ▲25.5	カルシウム吸収されやすい 17.1 / ▲7.1	リラックスして安眠 9.7 / ▲6.4	
	男性計	必要な栄養素が含まれる 44.2 / ▲15.7	骨粗しょう症を防ぐ成分 38.1 / ▲6.6	子供の身長伸びを助ける 31.7 / ▲17.5	カルシウム吸収されやすい 27.0 / 0.6	リラックスして安眠 20.1 / ▲3.6	
女性計	骨粗しょう症を防ぐ成分 46.3 / ▲8.6	必要な栄養素が含まれる 43.4 / ▲21.3	子供の身長伸びを助ける 31.5 / ▲22.4	カルシウム吸収されやすい 29.9 / ▲1.9	ハリのある肌をつくる 27.3 / 10.4		

(凡例) 上段:項目

下段:魅力・関心 / 魅力・関心と認知のギャップ(魅力・関心-認知) ▲はマイナス(魅力・関心<認知)

■はギャップが5ポイント以上

2) サプリメントと食生活

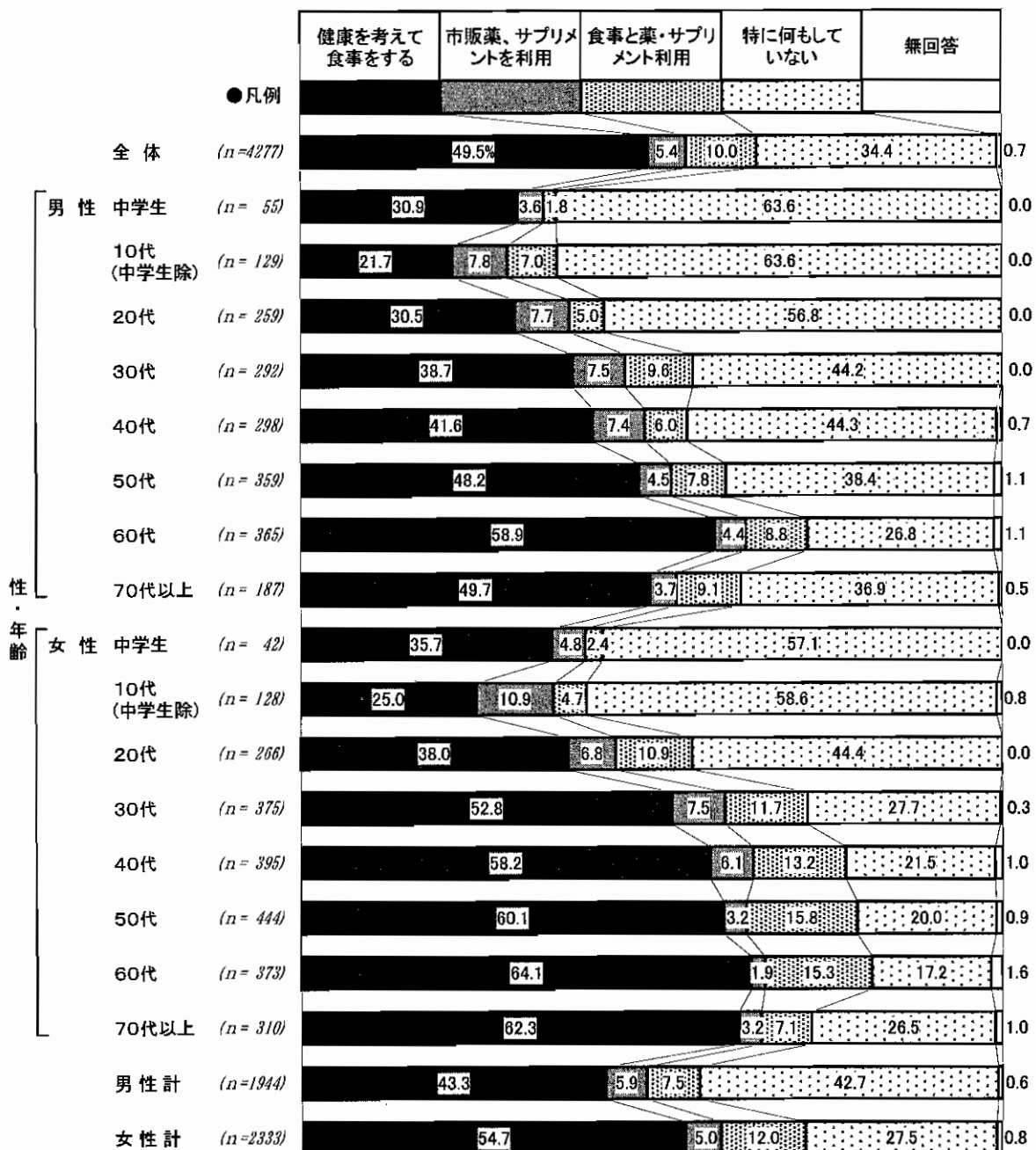
健康維持や体力づくりのために、日頃どのようなことを行っているかを聞いた。

「健康を考えて食事をする」とする人が50%と半数となっている。また市販の薬やサプリメントを利用するという人は15%である。一方34%の人が「特に何もしていない」としている。

性・年齢別にみると、「健康を考えて食事をする」比率は、男女とも中学生を除く10代で最も低く、以降年齢があがるにつれて多くなり、60代で最も多く、70代になってやや下がる傾向がみられる。

市販の薬やサプリメントの利用率は、中学生を以外のいずれの層でも1割を超えており、特に30代から50代の女性では2割近くが利用している。

図表V-2-6 性・年齢別 サプリメントと食生活



3. 牛乳容器に対する意識

1) よく見る牛乳パックの表示

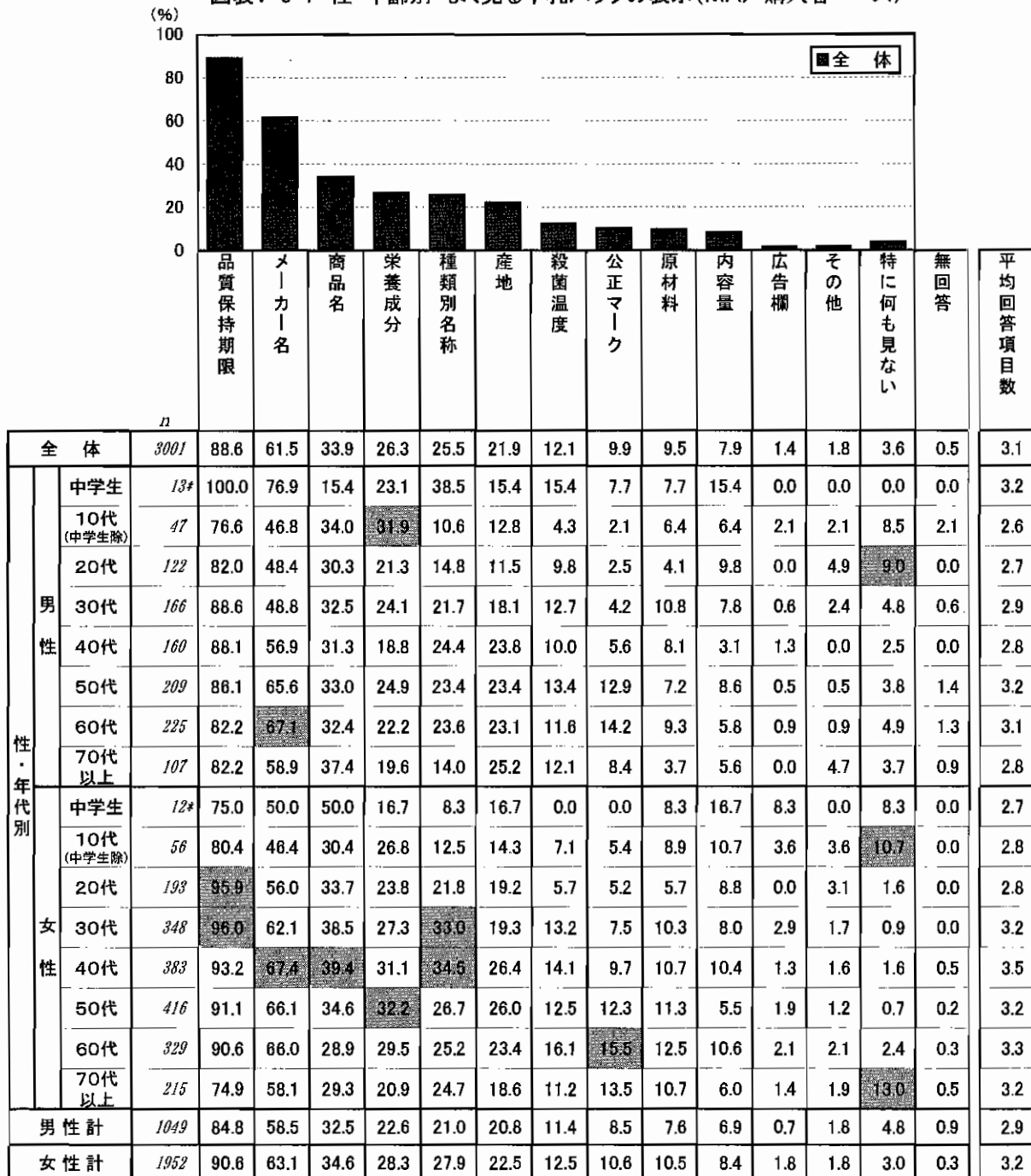
牛乳を購入する際、牛乳パックの表示のどこをふだんよく見るかを聞いた。

「品質保持期限（89%）」が最も多く、次いで「メーカー名（62%）」「商品名（34%）」となっている。

性・年齢別にみると、女性の方が項目全般に対して、表示を見ているとする比率が高い。

20代から60代にかけての女性では、9割をこえる人が「品質保持期限」をふだんよく見るとしている。

図表V-3-1 性・年齢別 よく見る牛乳パックの表示(MA/購入者ベース)



n(サンプル数)の*は、n < 30を表す。

n(サンプル数)が30以上の場合、

■ 全体より5ポイント以上高い

■ 全体より10ポイント以上高い

(%)

「よく見る牛乳パックの表示」の推移をみる。

「品質保持期限」を見るとする比率は一貫して最も高く、ほぼ9割の水準となっている。

「メーカー名」「商品名」を見るとする比率は増加している。

図表V-3-2 よく見る牛乳パックの表示(MA/時系列)

	<i>n</i>	品質保持期限	メーカー名	商品名	栄養成分	種別名称	産地	殺菌温度	公正マーク	原材料	内容量	広告欄	その他	特に何も見ない	無回答
2002年	3001	88.6	61.5	33.9	26.3	25.5	21.9	12.1	9.9	9.5	7.9	1.4	1.8	3.6	0.5
2001年	4778	87.7	57.2	30.4	21.3	31.6	17.8	9.3	8.0	6.1	/	1.5	1.6	5.5	0.5
2000年	4632	87.2	44.3	25.6	27.7	32.0	16.9	10.8	6.6	6.2	/	1.7	1.4	6.1	0.5
1999年		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
1998年	4472	87.9	43.7	18.2	32.7	36.9	/	/	8.4	10.4	/	1.2	1.5	5.1	0.5

※斜線はデータなし

※1999年はデータなし

※2002年は、白もの牛乳類の購入者ベース

※2001年以前は、世帯の主婦役割を担う人が回答

(%)

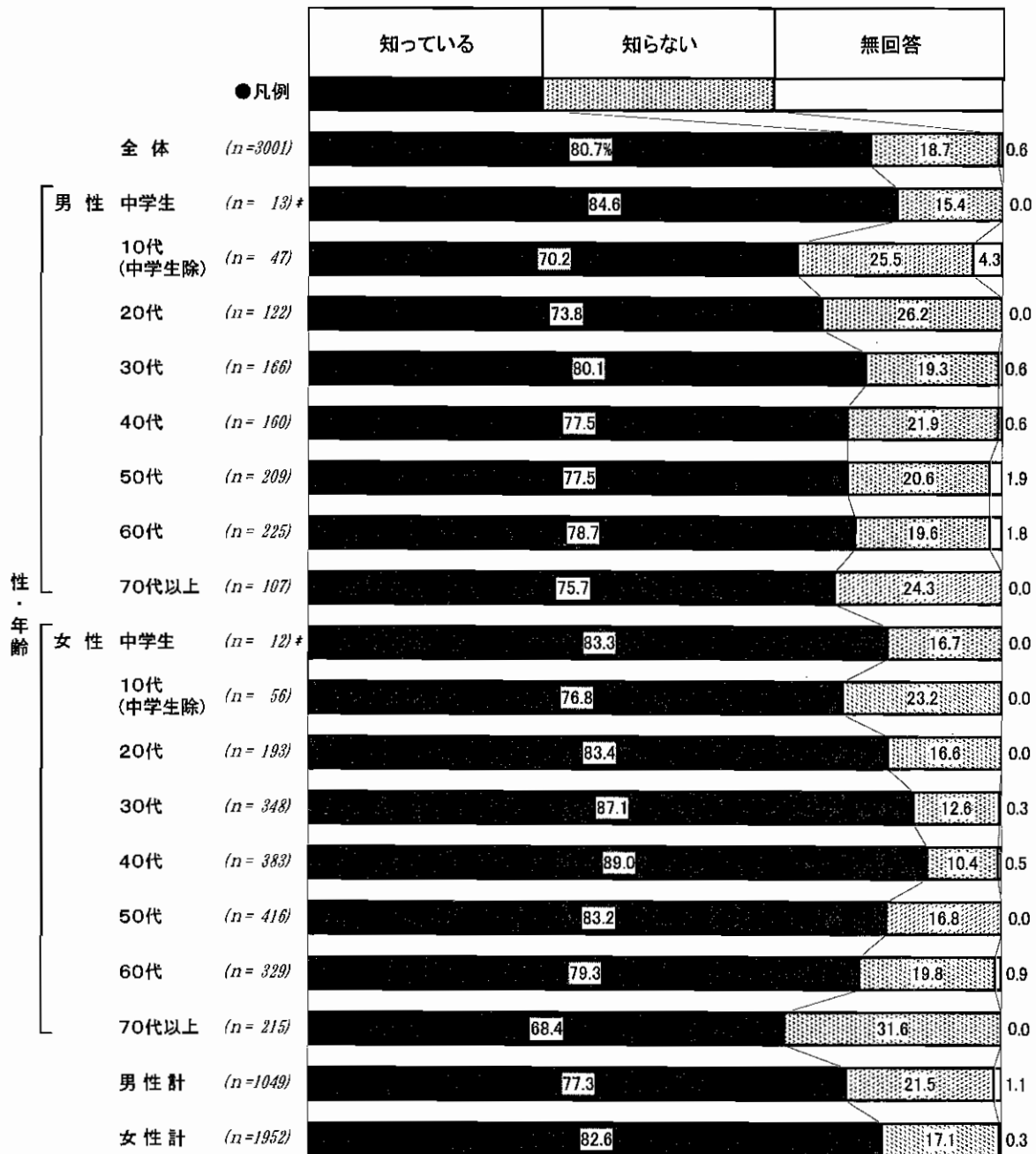
2) 一括表示欄の認知状況

白もの牛乳類を自分で購入するという人に、一括表示欄を知っているかを聞いた。

全体での一括表示欄の認知率は81%である。

性・年齢別にみると、70代以上の女性では68%と低くなっているが、その他の年代では女性の方が男性に比べて認知率は高い。

図表V-3-3 性・年齢別 一括表示欄の認知状況 <購入者ベース>



n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

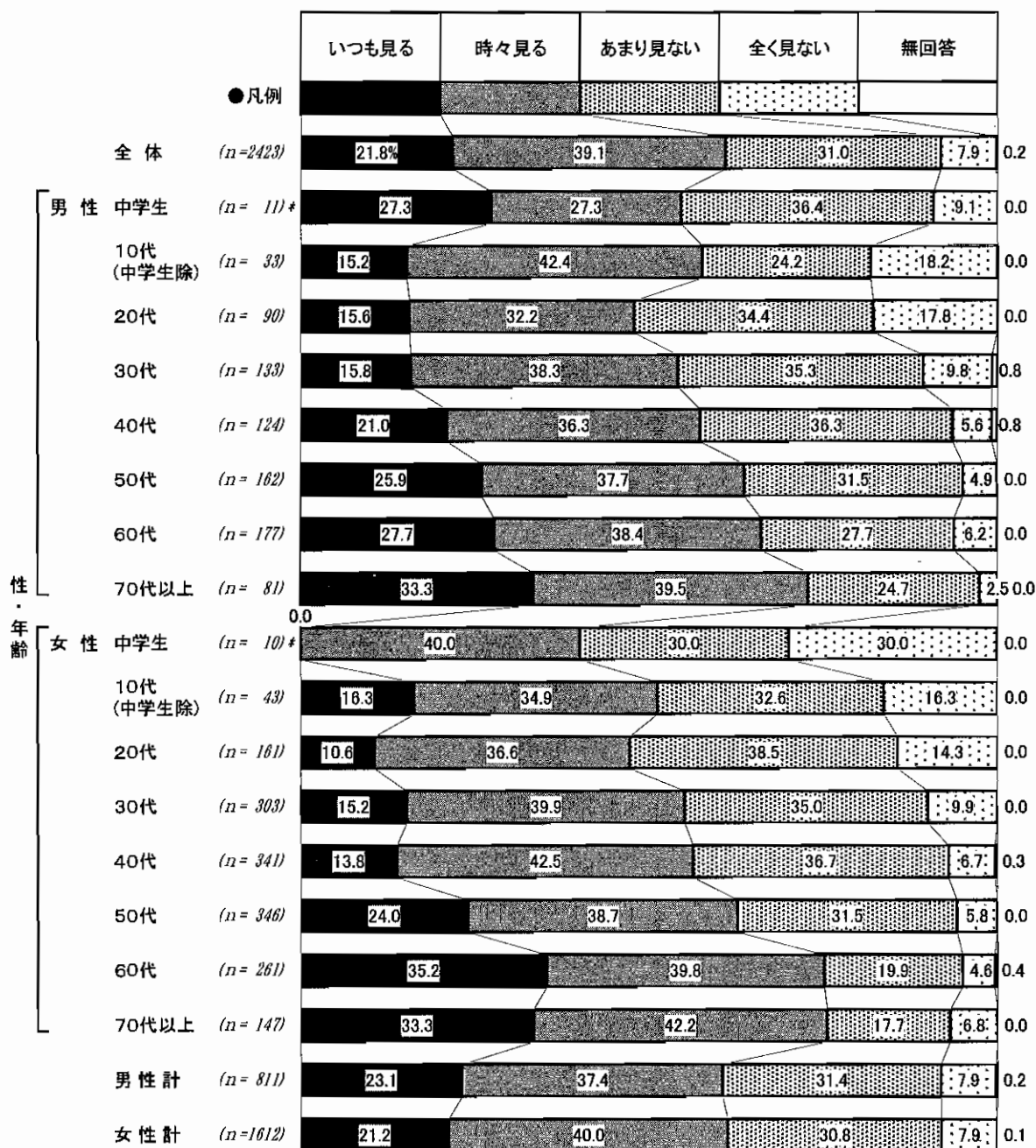
3) 一括表示欄を見る頻度

一括表示欄を知っているという人に、どのくらいの頻度で見るかを聞いた。

全体では、「いつも見る」人は22%、「時々見る」人は39%である。

性・年齢別にみると、「いつも見る」とする比率は、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

図表V-3-4 性・年齢別 一括表示欄を見る頻度 <一括表示欄認知者ベース>



n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

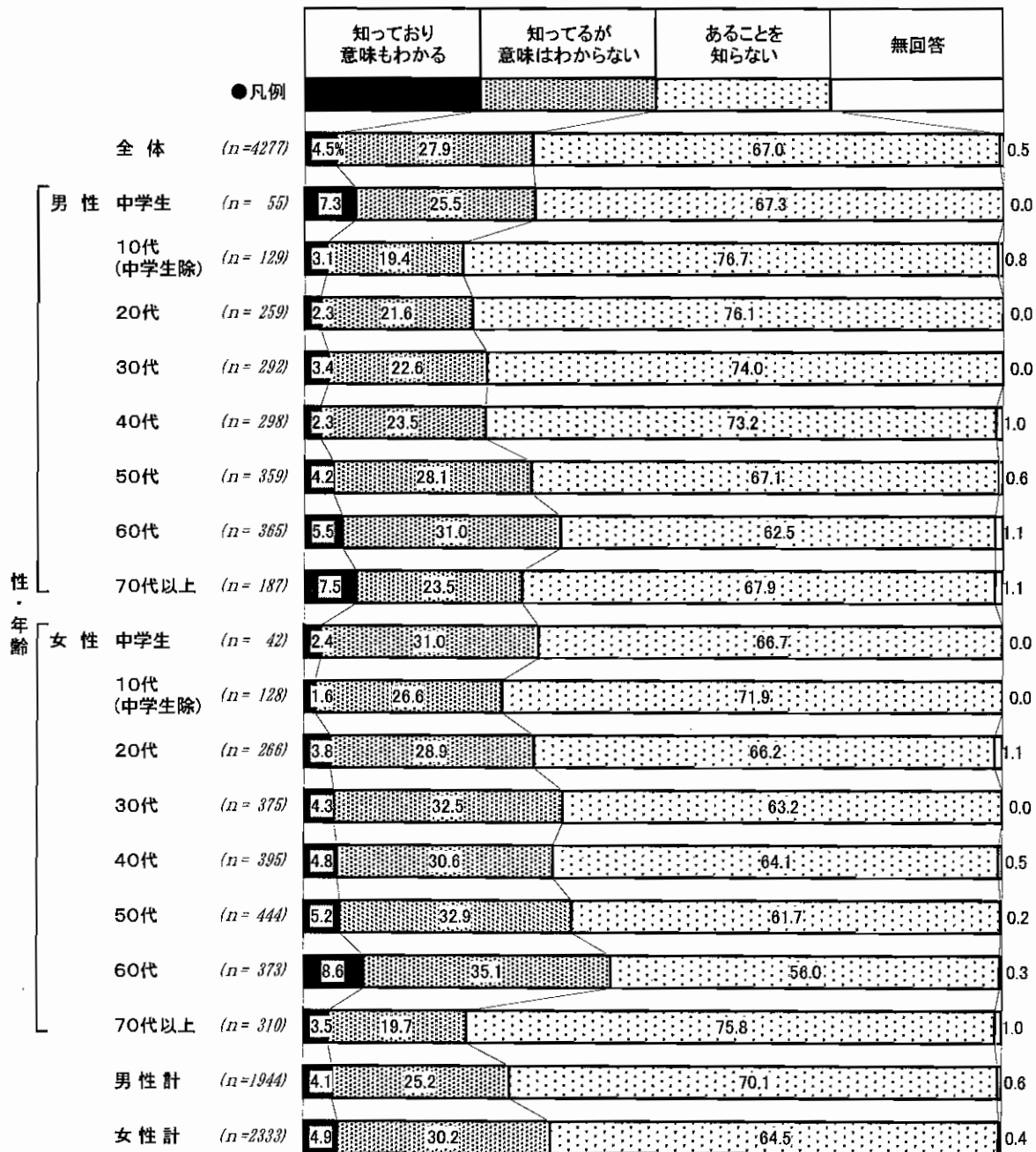
4)切欠きの認知状況

切欠きについて、知っている程度を聞いた。

全体では「知っており意味もわかる」とする比率は5%、「知っているが意味はわからない」では28%である。ほぼ3割の人に切欠きがあることは認知されている。

性・年齢別にみると、70代以上の女性では低くなっているが、その他の年代では女性の方が男性に比べて切欠きの認知率は高い。

図表V-3-5 性・年齢別 切欠きの認知状況



4. BSEと牛乳・乳製品の飲食の変化

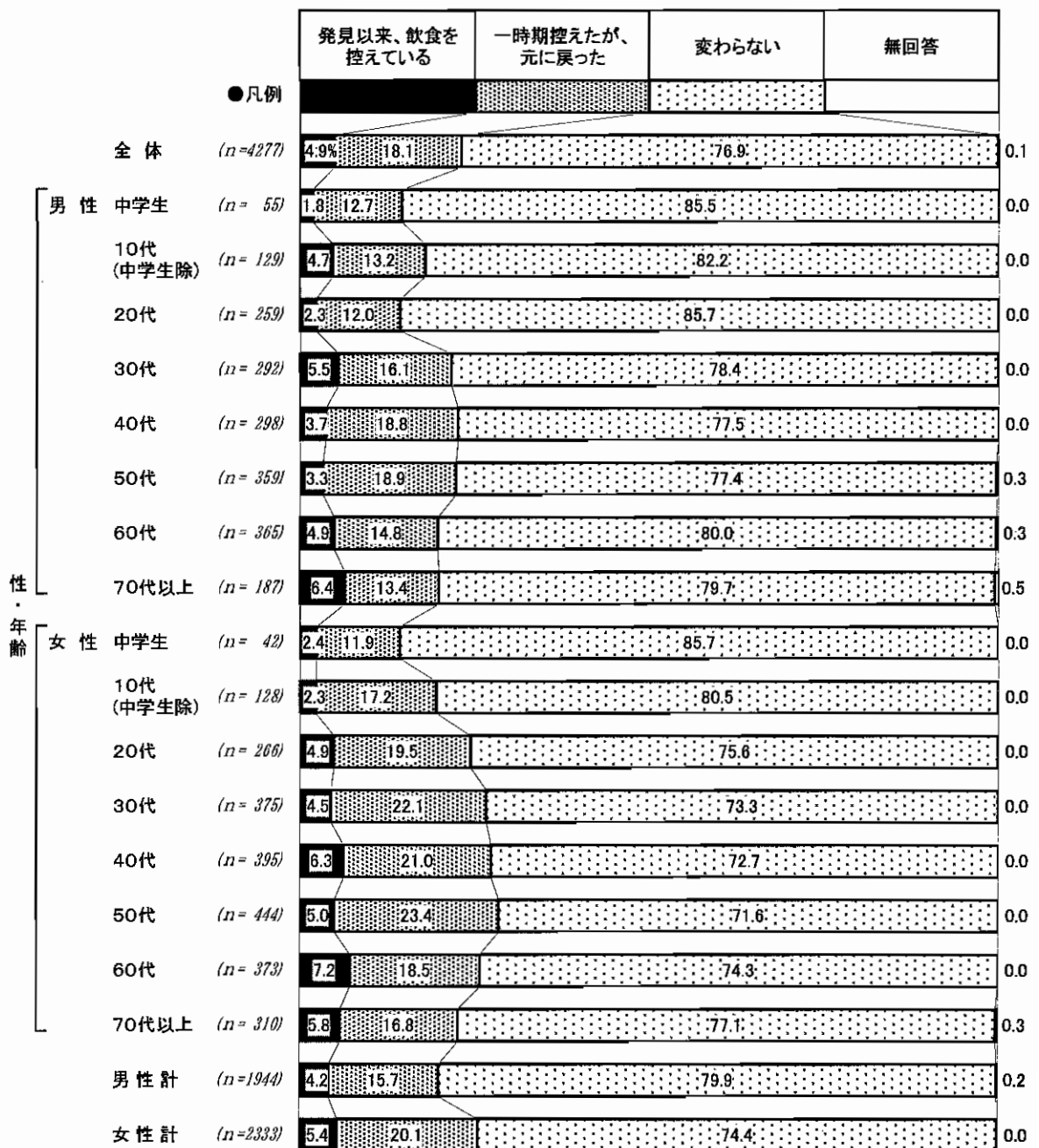
1) 白もの牛乳類・乳製品の飲食の変化

2001年のBSEの発見以降、白もの牛乳類・乳製品の飲食に変化があったかどうかを聞いた。

「発見以来飲食を控えている」とする人は5%である。また、全体の23%と約4分の1の割合で、白もの牛乳類・乳製品の飲食に変化があったとしている。

性・年齢別にみると、男性に比べて女性で「一時期控えたが、元に戻った」とする人が多く、特に30代から50代では2割以上となっている。

図表V-4-1 性・年齢別 白もの牛乳類・乳製品の飲食の変化



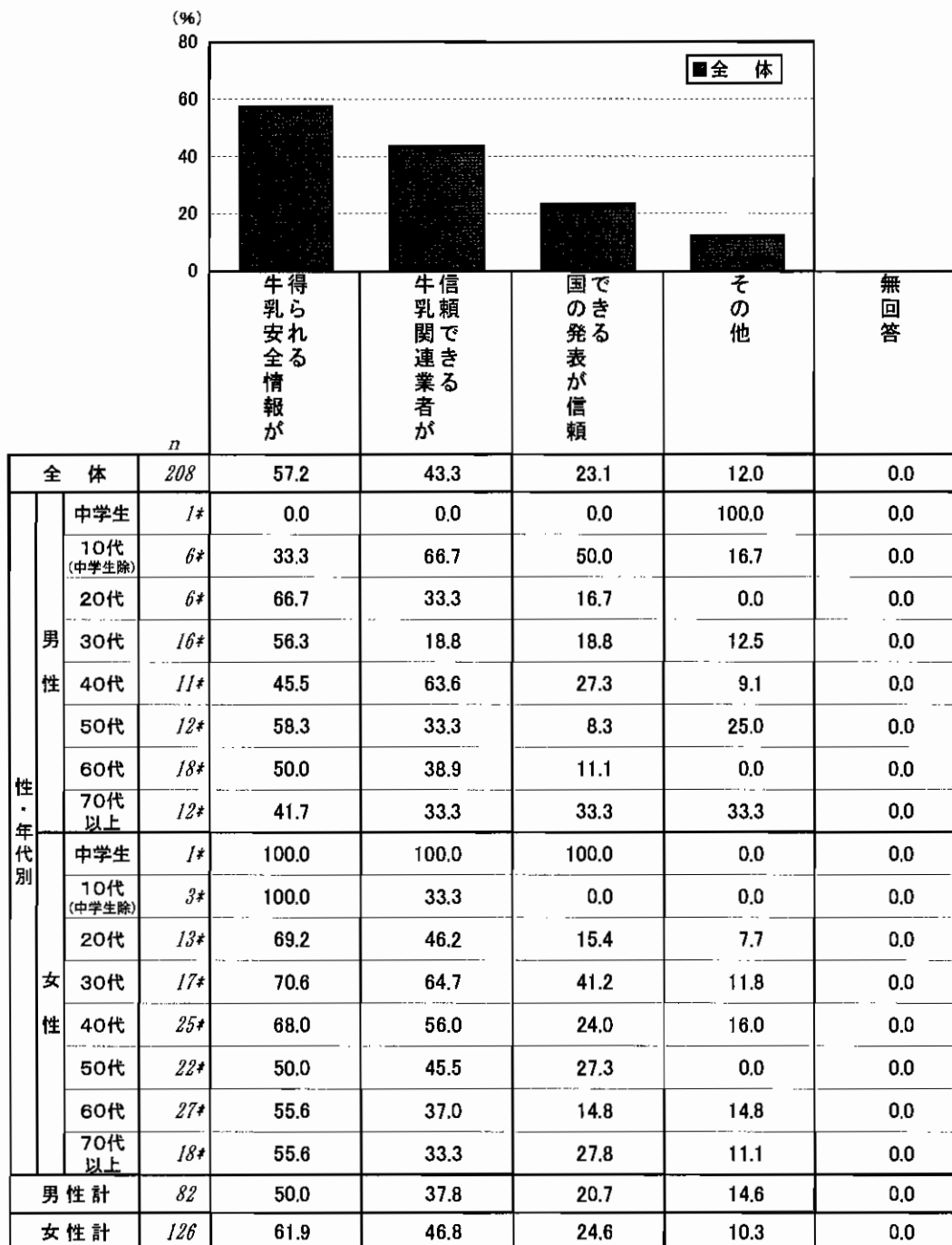
2) 白もの牛乳類・乳製品の飲食の回復条件

BSEの発見以来飲食を控えている人に、白もの牛乳類・乳製品を元のように飲食できるようにするための条件を聞いた。

「牛乳・乳製品が安全であることがわかる情報が得られること」とする人が最も多く、57%と過半数を占める。次いで「牛乳・乳製品に関連するメーカーや業者が信頼できること」が43%となっている。

性別でみると、これらの意見は男性より女性で比率が高い。

図表V-4-2 性・年齢別 白もの牛乳類・乳製品の飲食の回復 (MA/飲食を控えている人ベース)



n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

n(サンプル数)が30以上の場合、

全体より5ポイント以上高い
全体より10ポイント以上高い

(%)

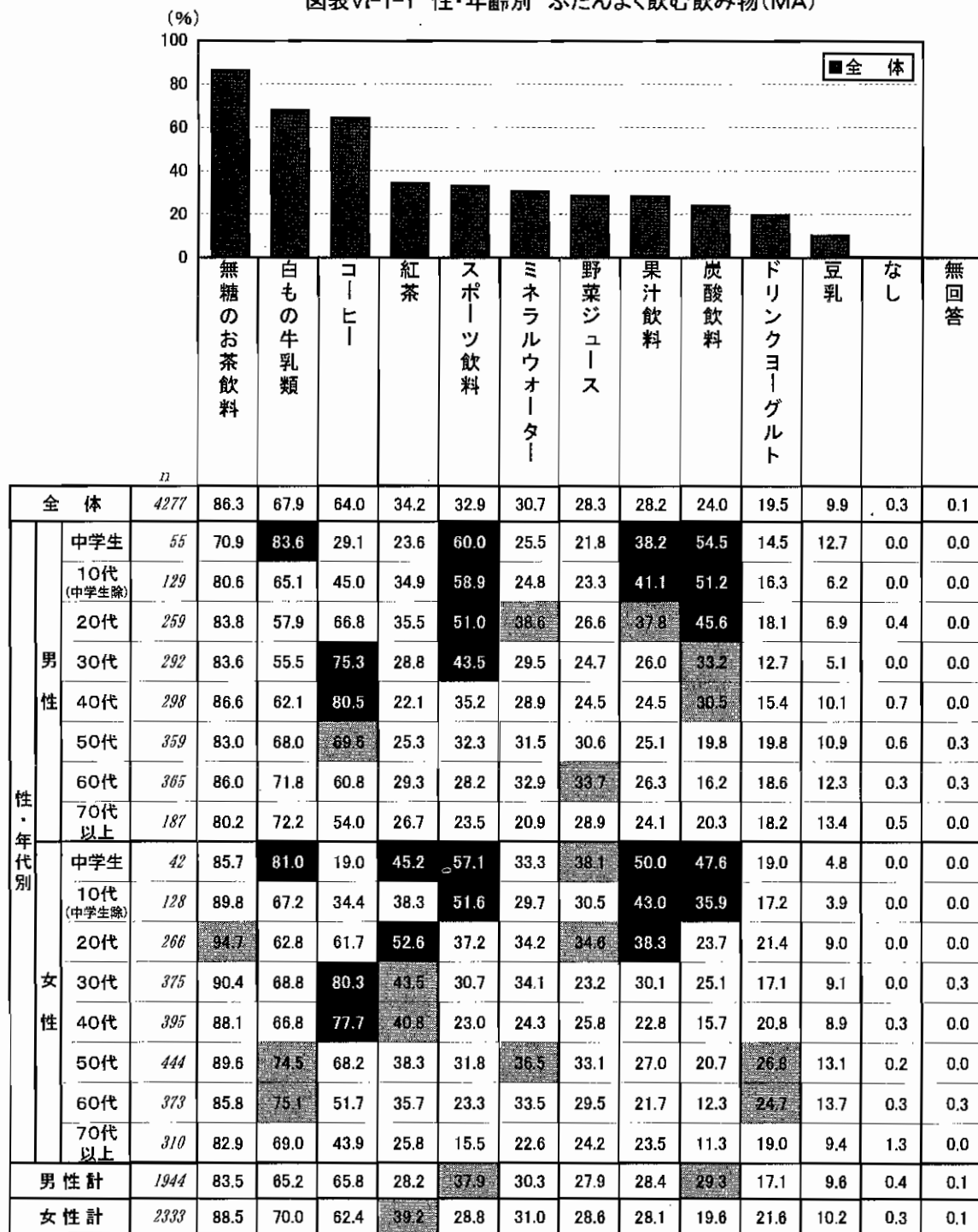
VI 白もの牛乳類と他の飲料

1. 飲用状況

白もの牛乳類、ドリンクヨーグルトを含む11種類の飲料について、飲用状況を比較した。11種類の中からふだんよく飲むものをいくつでも選んでもらったところ、「無糖のお茶飲料」「白もの牛乳類」「コーヒー」が6割以上で上位を占め、「ドリンクヨーグルト」は2割であった。

性・年齢別にみると、男性の中学生のみ「白もの牛乳類」が11種類中トップとなっている。

図表VI-1-1 性・年齢別 ふだんよく飲む飲み物(MA)



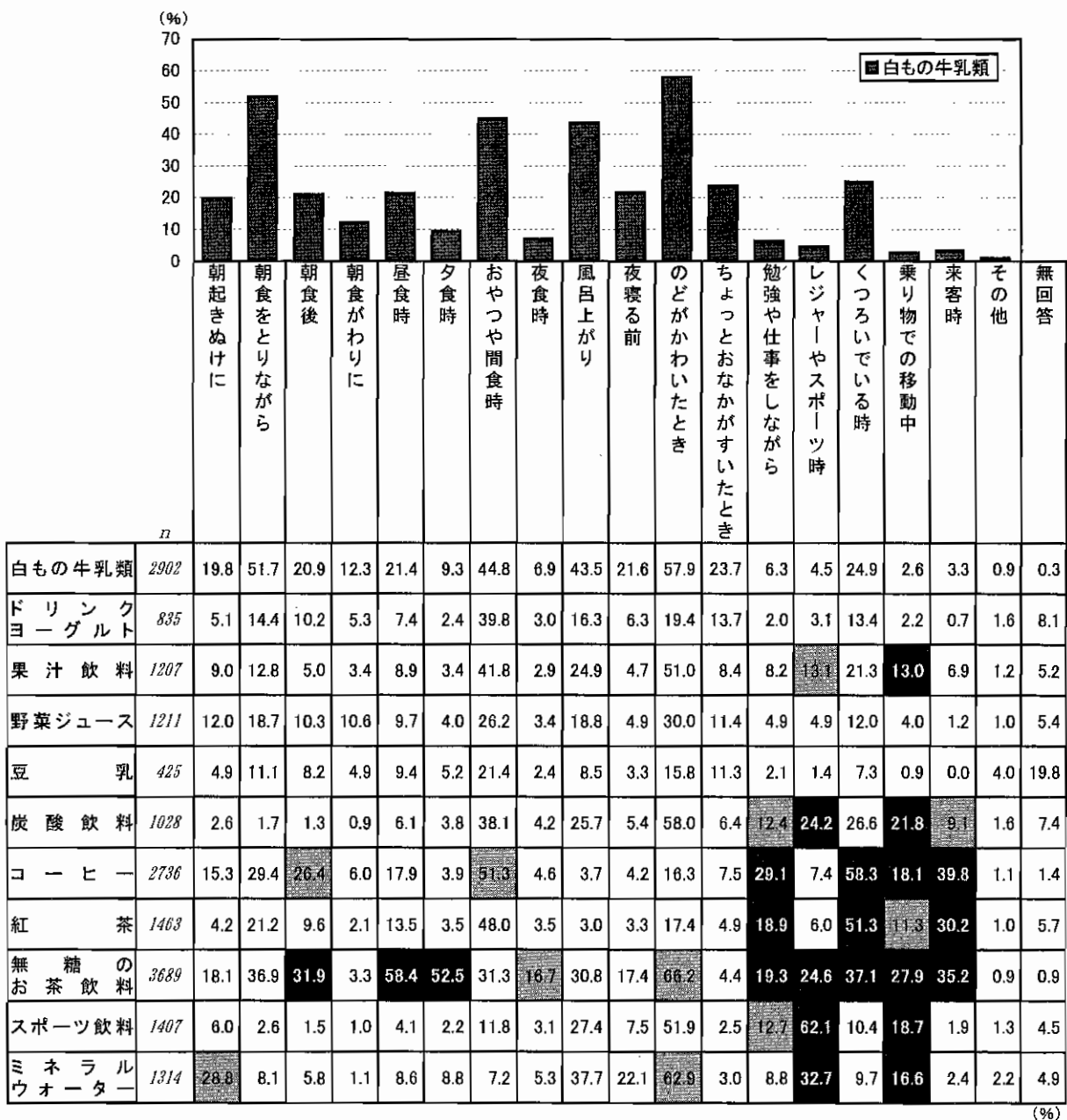
■ 全体より5ポイント以上高い
 ■ 全体より10ポイント以上高い

(%)

2. 飲用シーン

ふだんよく飲む飲料について、飲用シーンを聞いたところ、無糖のお茶飲料は食事時や勉強・仕事をしながらなど多くのシーンで白もの牛乳類を上回っている。一方、「朝食をとりながら」「風呂上がり」「ちょっとおなかがすいたとき」といったシーンでは、11種類中白もの牛乳類がトップとなっており、白もの牛乳類に特徴的なシーンといえる。

図表VI-2-1 ふだんよく飲む飲み物の飲用シーン（各飲料をふだんよく飲む人ベース/MA）



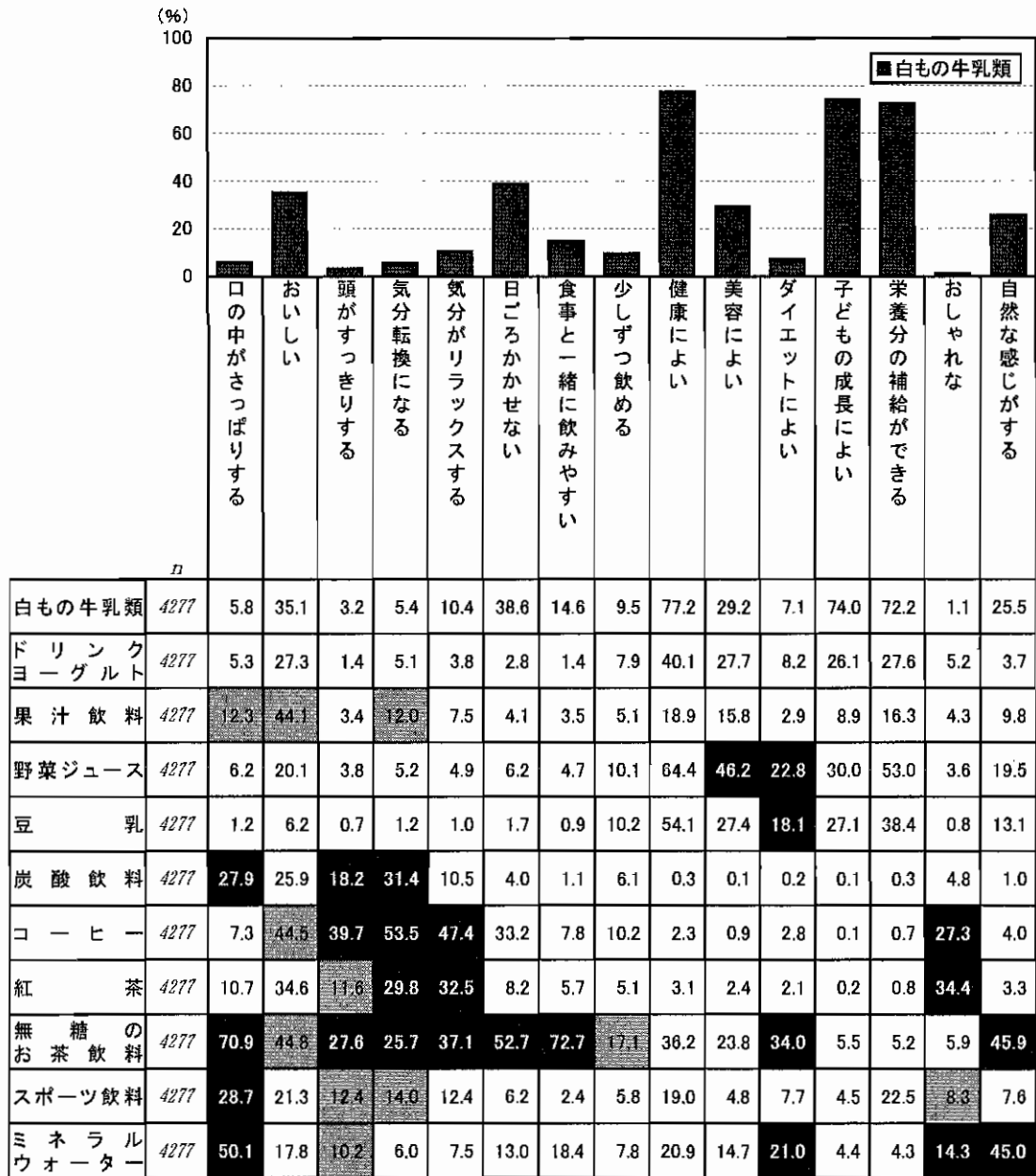
■ 白もの牛乳類より 5ポイント以上高い
 ■ 白もの牛乳類より10ポイント以上高い

3. イメージ

ふだん飲まない人も含めて11種類の飲料のイメージを聞いた。

白もの牛乳類については「健康によい」「子どもの成長によい」「栄養分の補給ができる」というイメージが7割以上にのぼり、他の飲料に比べても“健康・成長・栄養”のイメージが強いことがわかる。逆に、“リフレッシュ・リラックス”のイメージは無糖のお茶飲料やコーヒー、紅茶などに比べ白もの牛乳類では弱くなっている。

図表VI-3-1 いろいろな飲み物のイメージ (MA)



■ 白もの牛乳類より 5ポイント以上高い
 ■ 白もの牛乳類より10ポイント以上高い

<付録 1 >

各年度のテーマとサンプル数

年 度	サンプル数	テ ー マ
1987 年度	4,664	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸外国の消費動向の研究 ・ 有識者から牛乳消費拡大のためのアイデアを収集
1988 年度	4,604	<ul style="list-style-type: none"> ・ 牛乳・乳製品の表示に関する知識と評価 ・ 牛乳・乳製品の種類に関する知識と度合い
1989 年度	4,579	<ul style="list-style-type: none"> ・ 牛乳・乳製品の種類の多様化への対応 ・ 各種宅配牛乳の利用実態と意見 ・ スポーツと牛乳・乳製品のかかわり
1990 年度	4,691	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツと栄養に関する知識 ・ 輸入乳製品の利用実態と意見
1991 年度	4,714	<ul style="list-style-type: none"> ・ 牛乳と購買場面での選択基準の再度検証 ・ 飲用場面別の牛乳の競合商品 ・ 牛乳に関する知識と飲用量の関係
1992 年度	4,651	<ul style="list-style-type: none"> ・ 果汁100%ジュースとの競合関係の変化 ・ 家庭外での牛乳の飲用場面拡大のための方向性
1993 年度	4,553	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知識と購買行動の関係 ・ 牛乳の伸び悩みがどのような方向にいくか ・ 果汁100%ジュースの行方
1994 年度	4,617	<ul style="list-style-type: none"> ・ ティーンエイジャーの女の子への訴求方法 ・ 骨粗しょう症予防と牛乳の結びつき ・ 購買時点での牛乳の課題 (特売の利用状況、宅配の利用理由)
1995 年度	4,668	<ul style="list-style-type: none"> ・ 牛乳をとりまくライフスタイルを明らかにする ・ 「牛乳は太る」のイメージの解明を ・ 骨粗しょう症予防とカルシウム、牛乳の関係を明確に
1996 年度	4,706	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフスタイルと牛乳との関係 ・ 消費実感としての牛乳の需要量の変化 ・ 色々な牛乳商品の飲用・購入実態 ・ 骨粗しょう症とカルシウム、牛乳の関係について ・ 1987年から1996年の10年間の変化をみる
1997 年度	4,547	<ul style="list-style-type: none"> ・ 牛乳飲用量の変化とその理由 ・ 牛乳とチーズ・ヨーグルトの消費量 ・ 牛乳と他の飲料 ・ 健康意識と牛乳 ・ 現在の家族の姿と健康

年 度	サンプル数	テ ー マ
1998 年度	4,472	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳を1日2回以上飲んでもらうための方策 ・牛乳の飲用機会を増やすための訴求ポイント ・家庭でのしつけのあり方と牛乳飲用 ・健全なダイエットのための牛乳の役割 ・種類別の牛乳の飲用量、購入量 ・牛乳販売店からの宅配利用 ・牛乳普及のための有効な広告チャネル ・牛乳容器のあり方 ・昨今の不況の影響 ・単身世帯、一人暮らしを支える牛乳 ・国産ナチュラルチーズの振興策
1999 年度	4,476	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類の飲み方の割合 ・白もの牛乳類との混合飲用の実態 ・白もの牛乳類と他の飲み物のイメージ ・自宅外での牛乳乳製品の飲食・購入 ・白もの牛乳類の料理利用 ・白もの牛乳類、料理についての情報源 ・バター（油脂類）の使い方 ・家庭での牛乳乳製品の常備 ・白もの牛乳類のための冷蔵庫の中のスペース ・メーカーやブランドについて
2000 年度	4,632	<ul style="list-style-type: none"> ・種類別の牛乳の飲用量、購入量 ・牛乳・乳製品と他の食品のイメージ ・自宅外での牛乳・乳製品の飲食・購入 ・牛乳・乳製品の好き・嫌い ・バター・生クリーム（油脂類）の使い方 ・小学生以下の牛乳の飲用 ・家庭での牛乳・乳製品の常備 ・牛乳の容器について ・牛乳と栄養に関する健康意識
2001 年度	4,778	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類の飲み方の割合 ・白もの牛乳類との混合飲用の実態 ・自宅外での牛乳の飲食・購入 ・牛乳・乳製品と他の飲料のおいしさ ・牛乳・乳製品についての知識 ・バター・生クリーム（油脂類）の使い方 ・ヨーグルト・チーズの食頻度 ・家庭での牛乳・乳製品の常備実態 ・健康などへの関心 ・白もの牛乳類の購入場所 ・牛乳容器の表示 ・食中毒事故と飲用／購入態度の変化
2002 年度	4,277	<ul style="list-style-type: none"> ・12歳以下のこどもの白もの牛乳類の飲用実態 ・白もの牛乳類と他の飲料のイメージ・飲用機会 ・白もの牛乳類のもつ様々なベネフィットの認識 ・白もの牛乳類を使った料理の実態 ・牛乳容器の表示と切欠きについて ・BSEと白もの牛乳類・乳製品の飲食の変化

＜付録 2＞

単純集計結果付き調査票

白もの牛乳類（注）についてお聞きします

（注）ここでいう白もの牛乳類とは、普通の牛乳や低脂肪乳（ローファットミルク）や機能強化牛乳（カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの）などの白い牛乳類をいいます。市販のコーヒー牛乳やフルーツ牛乳などは含みません。

【すべての方に】（N=4277）

問1 あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をお飲みになりますか。コーヒー、紅茶やココアなど他の飲み物に入れたり、シリアル（オートミール、コーンフレーク等）にかけたり、料理に使うなど、そのまま飲む以外の場合は除いてお答えください。ただし、あたためたり、氷を入れたり、砂糖を加えたりする飲み方は、そのまま飲む飲み方に含めます。

(それぞれ1つずつ○印)		そのまま飲む							NA
		毎日飲む	週に5〜6日飲む	週に3〜4日飲む	週に1〜2日飲む	月に2〜3日飲む	飲まない それ以下しか	全く飲まない	
夏場は	→	35.4	8.1	14.6	12.2	7.1	6.8	15.8	0.1
冬場は	→	29.5	8.0	14.1	14.6	8.7	8.4	16.6	0.1
年間平均すると	→	29.7	9.9	14.7	13.8	7.9	8.3	15.5	0.1

問2 では、あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をコーヒー、紅茶やココアなど他の飲み物に入れて、または、牛乳に他のものを混ぜてお飲みになりますか。

(それぞれ1つずつ○印)		他のものと混ぜて飲む							NA
		毎日飲む	週に5〜6日飲む	週に3〜4日飲む	週に1〜2日飲む	月に2〜3日飲む	飲まない それ以下しか	全く飲まない	
夏場は	→	18.7	5.7	9.1	11.6	9.8	12.5	32.4	0.3
冬場は	→	16.6	6.1	9.3	12.7	10.6	12.6	31.9	0.2
年間平均すると	→	16.2	6.3	9.6	12.3	10.8	13.5	31.2	0.2

【すべての方に】(N=4277)

問3 では、あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をシリアル(オートミール、コーンフレーク等)やくだものにかけて食べますか。ただし、スープやグラタンなど料理に使う場合は除きます。(1つだけ○印)

(それぞれ1つずつ○印)	シリアルやくだものなどにかける								NA
	毎日食べる	週に5〜6日食べる	週に3〜4日食べる	週に1〜2日食べる	月に2〜3日食べる	それ以下しか食べない	全く食べない		
夏場は →	0.9	0.9	2.5	6.5	13.0	21.5	54.4	0.2	
冬場は →	0.8	0.6	1.6	5.3	12.1	23.0	56.5	0.2	
年間平均すると →	0.8	0.6	1.7	5.9	12.6	23.9	54.2	0.3	

※問1、2、3のすべてに「7」とお答えの方、白もの牛乳類を全く飲まない方は、問9にお進みください。

白もの牛乳類の飲み方についてお聞きします

【問1、2、3のいずれかでも1〜6とお答えの方：白もの牛乳類を飲む方に】(N=3810)

問4 あなたは、最近1週間、白もの牛乳類をどこでお飲みになりましたか。コーヒー、紅茶やココアなど他の飲み物に入れたり、シリアル(オートミール、コーンフレーク等)にかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めて、ふだん飲む量を100%とした時、それぞれの場所で飲む量がどのくらいの割合になるかを、数字でお書きください。ただし、スープやグラタンなど料理に使っているものは除きます。

a. 家庭で飲む

8 7 .9 %

b. 学校や職場で飲む(給食を含む)

7 .6 %

c. 外食など、家庭や学校・職場以外の場所で飲む

4 .5 %

合計

1 0 0 %

【白もの牛乳類を飲む方に】 (N=3810)

問5 あなたは、白もの牛乳類を飲むときは1日に合計でどれくらいの量を飲みますか。夏場、冬場、年間平均でお知らせください。コーヒー、紅茶やココアなど他の飲み物に入れたり、シリアル（オートミール、コーンフレーク等）にかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めて、「牛乳瓶1本分 200ml」を目安として、だいたい結構ですから、あなたが飲む量にいちばん近いと思うものをお答えください。

(1つずつ○印)

		1日に白もの牛乳類を飲む量								
		50 ml 未 満	50 ml く ら い	100 ml (牛乳瓶 半 分)	200 ml (牛乳瓶 1 本)	400 ml (牛乳瓶 2 本)	600 ml (牛乳瓶 3 本)	800 ml (牛乳瓶 4 本)	1 l (牛乳瓶 5 本) 以 上	NA
夏場は	→	6.3	4.5	12.4	50.8	17.8	4.4	1.4	1.2	1.2
冬場は	→	8.5	6.6	18.8	51.5	9.9	2.2	0.6	0.6	1.3
年間平均すると	→	6.9	5.5	16.6	51.5	12.5	3.3	0.9	1.5	1.3

【白もの牛乳類を飲む方に】 (N=3810)

問6 あなたは、白もの牛乳類を飲む時にどのような飲み方をしますか。ふだん飲む量を100%とした時、それぞれどのくらいの割合になるかをお知らせください。家庭だけでなく、学校や職場の給食や外食などで飲む量をすべて含めてお答えください。ただし、スープやグラタンなど料理に使っているものは除きます。

	夏場は	冬場は	年間 平均すると
a. そのまま飲む（あたためたり、氷を入れたり、砂糖を加えたりする飲み方を含む）	7 0 .1 %	6 6 .7 %	6 8 .4 %
b. コーヒー・紅茶・ココアなど他のものと混ぜて飲む	2 4 .8 %	2 8 .9 %	2 6 .8 %
c. シリアル（オートミール、コーンフレーク等）やくだものなどにかける	5 .1 %	4 .4 %	4 .8 %
合 計	1 0 0 %	1 0 0 %	1 0 0 %

【白もの牛乳類を飲む方に】 (N=3810)

問7 あなたは、ふだん、白もの牛乳類をどのような時に飲みましたか。そのまま飲む以外の場合も含めて、次の中からすべてお知らせください。(いくつでも○印)

1	朝起きぬけに	17.2	11	のどがかわいたとき	53.3
2	朝食をとりながら	46.8	12	ちょっとおなかがすいたとき	20.8
3	朝食後	18.0	13	勉強や仕事をしながら	6.4
4	朝食がわりに	11.3	14	レジャーやスポーツ時	4.2
5	昼食時	18.8	15	くつろいでいる時	25.1
6	夕食時	8.1	16	乗り物での移動中	2.8
7	おやつや間食時	43.3	17	来客時	3.6
8	夜食時	6.0	18	その他()	2.3
9	風呂上がり	38.5			
10	夜寝る前	18.7			

NA 0.9

【白もの牛乳類を飲む方に】 (N=3810)

問8 あなたが白もの牛乳類を飲む理由は何ですか。次の中から、いくつでもお答えください。(いくつでも○印)

1	おいしいから	29.9	11	骨粗しょう症が心配だから	27.3
2	好きだから	29.7	12	良質のタンパク質があるから	20.8
3	栄養があるから	49.2	13	美容に良いから	4.1
4	カルシウムがあるから	60.6	14	便秘に効果があるから	14.9
5	朝食など食事代わりに	7.9	15	健康によいから	45.9
6	水などの代わりに	19.4	16	ぐっすり眠るために	5.0
7	他のものと混ぜたり、他のものにかけてりするため	25.7	17	気持ちをリラックスさせるために	3.9
8	習慣で	20.0	18	背が高くなりたいから	3.7
9	いつも家にあるから	26.9	19	医師など医療関係者がすすめるから	1.8
10	家族がすすめるから	5.3	20	他の飲み物に比べて安いから	2.0
			21	その他()	2.1

NA 1.1

【問1、2、3の3問とも7と答えた方：白もの牛乳類を全く飲まない方に】(N=465)

問9 あなたが白もの牛乳類を飲まない理由は何ですか。次の中から、いくつでもお答えください。(いくつでも○印)

1	もともと嫌いだから	48.2	11	家に置いていないから	8.2
2	味にくせがあるから	16.3	12	他の飲み物と比べて高いから	-
3	においが嫌いだから	25.4	13	他の飲み物を飲むので牛乳を飲む機会がないから	18.3
4	口当たりが悪いから	8.2	14	牛乳を外で飲んでいると、子供っぽく見られるから	0.2
5	飲んだあと口に残るから	14.4	15	ダサイと思うから	0.2
6	太ると思うから	1.1	16	強制的に飲まされた悪い思い出があるから	4.9
7	買いに行くのが面倒だから	1.9	17	牛乳のイメージがよくないから	3.9
8	日持ちがしないから	2.2	18	アレルギーがあるから	4.9
9	お腹がゴロゴロするから	29.2	19	その他 ()	9.7
10	下痢をすることがあるから	34.0			
				NA	1.1

牛乳の種類についてお聞きします

【すべての方に】(N=4277)

問 10 牛乳の種類について、(1)、(2)、(3) にお答えください。

- (1) 次のうち、あなたが見たり聞いたりしてご存じのものを、すべてお知らせください。
- (2) では、あなたがこの1ヵ月くらいの間に飲んだものはどれですか。
- (3) さらに、今後も飲み続けていきたいもの、あるいは、今は飲んでいなくても、今後新たに飲みたいと思うものはどれですか。

(それぞれいくつでも○印)

	(1)知っているもの (いくつでも○印) ↓	(2)過去1ヵ月間に 飲んだもの (いくつでも○印) ↓	(3)今後も飲み続 けたいもの/ 新たに飲みた いもの (いくつでも○印) ↓
1) 普通の牛乳(下のどれにも該当しないもの)	-	55.0	47.5
2) 産地表示牛乳(産地名がブランド・商品名になっているもの)	64.9	36.5	33.5
3) 低温殺菌牛乳(62℃～65℃で30分で殺菌している牛乳)	47.4	15.1	14.7
4) 高温殺菌牛乳 (HTST牛乳, 72℃～75℃で15秒～16秒で殺菌している牛乳)	24.4	4.6	5.1
5) ロングライフ牛乳(LL牛乳、60日間常温で保存できるもの)	32.2	3.5	3.5
6) 低脂肪乳(ローファット、部分脱脂乳など乳脂肪分が少ないもの)	72.4	27.7	24.6
7) 無脂肪乳(乳脂肪分がほとんど入っていないもの)	37.1	5.2	7.4
8) 濃厚牛乳(乳脂肪分の割合が高いもの)	56.6	14.6	15.1
9) お腹がゴロゴロしない牛乳(乳糖分解乳)	31.0	2.2	7.2
10) 栄養成分強化牛乳(カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの)	49.0	17.3	27.7
11) ひとつもない	4.0	12.9	12.0
NA	6.2	1.0	1.2

白もの牛乳類の購入についてお聞きします

【すべての方に】(N=4277)

問 11 あなたは、白もの牛乳類をどのくらいの頻度で自分で購入していますか。ご自分用、ご家族用を問わず、すべての購入機会を含めて最も近いものをお答えください。

(それぞれ1つずつ○印)

		白もの牛乳類購入の頻度							
		毎 日	週 に 4 〜 5 回 く ら い	週 に 2 〜 3 回 く ら い	週 に 1 回 く ら い	2 週 間 に 1 回 く ら い	月 に 1 回 以 下	自 分 で は 買 わ な い	NA
夏場は	→	10.9	8.4	28.4	12.5	3.8	5.7	30.1	0.1
冬場は	→	8.9	6.8	25.6	15.8	5.5	6.3	30.9	0.2
年間平均すると	→	9.3	7.7	27.7	13.6	4.8	6.3	30.2	0.4

【問 11 のいずれかでも 1～6 とお答えの方：白もの牛乳類をご自分でお買いになる方に】
(N=3001)

問 12 あなたは、白もの牛乳類をどのような場所で購入していますか。

- (1) ふだん白もの牛乳類を買うのに利用しているのはどこですか。(いくつでも○印)
- (2) その中で、主に利用しているのはどこですか。(1つだけ○印)
- (3) 今後新たに利用したいのはどこですか。(いくつでも○印)

	(1)ふだん利用する (いくつでも○印) ↓	(2)主に利用する (1つだけ○印) ↓	(3)今後新たに 利用したい (いくつでも○印) ↓
スーパーへ買いに行く	84.3	63.5	1.6
コンビニエンスストアへ買いに行く	31.8	6.8	3.8
生協へ買いに行く	12.5	3.6	3.5
その他の店(自販機を含む)へ買いに行く	6.2	2.1	1.9
牛乳販売店からの宅配	20.4	16.6	5.7
生協、スーパー、コンビニエンスストア、 デパートからの宅配	9.2	4.4	4.8
共同購入	4.2	2.4	1.5
NA	0.2	0.7	80.4

【問11のいずれかでも1～6とお答えの方：白もの牛乳類をご自分で買いになる方に】

(N=3001)

問13 あなたは、牛乳を購入するとき、牛乳パックの表示のどこをご覧になりますか。次の中から、ふだんよくご覧になるものをいくつかもお選びください。(いくつか○印)

1 品質保持期限 (または消費期限)	88.6	5 栄養成分	26.3	10 殺菌温度	12.1
2 メーカー名	61.5	6 原材料	9.5	11 内容量	7.9
3 種類別名称	25.5	7 公正マーク	9.9	12 その他()	1.8
4 商品名	33.9	8 広告欄	1.4	13 特に何も見ない	3.6
		9 産地	21.9		

NA 0.5

【問11のいずれかでも1～6とお答えの方：白もの牛乳類をご自分で買いになる方に】(N=3001)

問14 あなたは、牛乳パックに印刷されている『一括表示欄』(下の絵の①)を知っていますか。

(1つだけ○印)

1 知っている 80.7 2 知らない 18.7 →問16へ NA 0.6

【問14で「知っている」とお答えの方に】(N=2423)

問15 では、あなたは、白もの牛乳類を購入するとき、その『一括表示欄』をご覧になりますか。

(1つだけ○印)

1 いつも見る 21.8 2 時々見る 39.1 3 あまり見ない 31.0 4 全く見ない 7.9

NA 0.2

【すべての方に】(N=4277)

問16 あなたは、牛乳の紙パックの上部に小さな半円形の「切欠き(きりかき)」(下の絵の②)があることをご存じですか。(1つだけ○印)

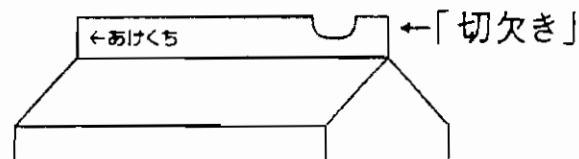
1 切欠きがあることを知っており、どうしてついているか意味もわかる	4.5
2 切欠きがあることは知っているが、どうしてついているか意味はわからない	27.9
3 切欠きがあることを知らない	67.0

NA 0.5

① 一括表示欄

② 切欠き(きりかき)

種類別牛乳		公正
商品名	〇〇牛乳	
無脂肪固形分	8.3%以上	
乳脂肪分	3.5%以上	
原材料名	生乳100%	
殺菌	130℃2秒間	
品質保持期限	上部に記載	
内容量	〇〇〇ml	



【すべての方に】 (N=4277)

問 17 では、お宅では、今日現在、冷蔵庫の中に白もの牛乳類が何本ありますか。

(1) 1ℓサイズのもの、(2) 500mlサイズのもの、(3) 200mlサイズのもの、それぞれについてお知らせください。容量があてはまらない場合は、最も近いサイズでお答えください。紙パック、瓶入りなどの容器のタイプは問いません。

(それぞれ1つずつ○印)		1本	2本	3本	4本	5本以上	なし	NA
(1) 1ℓサイズのもの	→	39.0	21.5	5.4	1.3	1.0	29.2	2.5
(2) 500mlサイズのもの	→	6.1	1.9	0.4	0.2	-	81.8	9.5
(3) 200mlサイズのもの	→	4.9	5.8	3.2	1.6	1.3	75.1	8.1

問 18 お答えいただいている今日は何曜日ですか。(1つだけ○印)

1 月曜日	12.6	4 木曜日	9.4	7 日曜日	21.8
2 火曜日	11.4	5 金曜日	15.7		
3 水曜日	6.3	6 土曜日	22.6		
				NA	0.2

牛乳を使った料理（デザートやお菓子を含む）についてお聞きします

【すべての方に】 (N=4277)

問 19 あなたは、この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理（デザートやお菓子を含む）をしましたか。（1つだけ○印）

1	した	25.8	2	しなかった	74.1	→ 問 21 へ
					NA	0.1

【この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした方に】 (N=1102)

問 19-1 その回数をお知らせください。また、それはどんな料理でしたか。具体的にお書きください。

この1ヶ月間に白もの牛乳類を使った料理の回数

3	.5	回	(回答者平均)
---	----	---	---------

料理の内容

問 19-2 この1ヶ月間にあなたが料理（デザートやお菓子を含む）に使った白もの牛乳類の量にいちばん近いものを、次の中からお知らせください。お答えいただきたいのは、1人分の量ではなく、料理に使った量全体です。（1つだけ○印） (N=1102)

1	小さじ1杯くらい(5cc)	0.3	5	1カップ(200cc)	27.1	9	牛乳を使った料理は しなかった →問 21 へ	-
2	大さじ1杯(15cc)	1.3	6	2カップ(400cc)	16.2			
3	4分の1カップ(50cc)	3.8	7	500ml	19.8			
4	2分の1カップ(100cc)	6.8	8	1ℓ以上	24.6			

NA 0.2

問 20 1年間を通してみて、あなたがこの1ヶ月間に白もの牛乳類を使った料理（デザートやお菓子を含む）の回数とその使用量は、ほかの季節に比べて、多いですか、それとも少ないですか。次の中からお知らせください。（1つずつ○印）

【料理の回数(は)】 (N=1102)

1	この1ヶ月間が多いほう	9.6
2	同じくらい	62.6
3	この1ヶ月間は少ないほう	27.4

NA 0.4

【料理で使った量は】 (N=1102)

1	この1ヶ月間が多いほう	8.7
2	同じくらい	64.2
3	この1ヶ月間は少ないほう	26.0

NA 1.0

0才から12才までのお子様の白もの牛乳類の飲み方についてお聞きします

【すべての方に】 (N=4277)

問 21 あなたが同居しているご家族の中に、0才から12才までのお子さんはいらっしゃいますか。(1つだけ○印)

1	同居家族に、0才から12才までのお子さんがある	25.0
2	いない →問 25へお進みください	74.3
		NA 0.7

【問 21 で1とお答えの方：0才から12才までのお子さんと同居している方に】

問 21-1 0才から12才までのお子さんの中で、いちばん大きいお子さんのことについてお知らせください。(1つずつ○印) (N=1071)

性別	1 男の子	44.3	2 女の子	40.4	NA 15.3
年齢	1 0才(生後5ヶ月まで)	1.6	6 小学校1~2年生	13.2	NA 0.5
	2 0才(生後6ヶ月以上)	2.5	7 小学校3~4年生	16.2	
	3 1~2才	10.4	8 小学校5~6年生	26.4	
	4 3~4才	9.7	9 中学校1年生	13.2	
	5 5~6才(未就学)	6.3			
あなたは そのお子さんの	1 父親	29.5	4 兄または姉	9.1	NA 2.4
	2 母親	42.3	5 その他	1.5	
	3 祖父母	15.2			

問 22 そのお子さんは、白もの牛乳類をそのまま飲むのが好きですか。あたためたり、氷を入れたり、砂糖を加えたりする飲み方もそのまま飲む飲み方に含みます。(N=1071)
(1つだけ○印)

1	好き →問 23へ	75.9
2	きらい	21.8
		NA 2.2

【問 22 で2とお答えの方に】

問 22-1 では、そのお子さんは、白もの牛乳類を使ってバナナジュースにしたり、ココアと混ぜたりしたものは、お飲みになりますか。(1つだけ○印) (N=234)

1	飲む	67.5
2	飲まない	32.1
		NA 0.4

【問 21 で 1 とお答えの方：0才から 12才までのお子さんと同居している方に】(N=1071)

問 23 そのお子さんは、日頃どの程度白もの牛乳類をお飲みになりますか。コーヒー、紅茶やココアなど他の飲み物に入れたり、離乳食に使ったり、シリアル（オートミール、コーンフレーク等）にかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めてお答えください。また、学校や幼稚園などご家庭以外で飲む場合も含めてください。（1つだけ○印）

1	毎日飲む	59.9	5	月に2～3日飲む	1.7
2	週に5～6日飲む	17.5	6	それ以下しか飲まない	1.2
3	週に3～4日飲む	7.7	7	全く飲まない →問 25 へ	4.0
4	週に1～2日飲む	3.2	8	わからない →問 25 へ	1.9

NA 3.1

【問 23 で 1～6 とお答えの方：0才から 12才までのお子さんが牛乳を飲むとお答えの方に】(N=975)

問 24 そのお子さんは、白もの牛乳類を飲むときは、1日に合計でどれくらいの量を飲みますか。
(1) 夏場、冬場、年間平均で、飲む量をお知らせください。また、離乳食も含めてください。

		1日に白もの牛乳類を飲む量										NA
		15 cc (大さじ1杯) 未満	15 cc (大さじ1杯)	30 cc (大さじ2杯)	50 ml	100 ml (牛乳瓶半分)	200 ml (牛乳瓶1本)	400 ml (牛乳瓶2本)	600 ml (牛乳瓶3本)	800 ml (牛乳瓶4本)	1 l (牛乳瓶5本) 以上	
(1つずつ○印)	夏場は →	1.1	0.4	0.9	4.4	12.8	42.3	27.0	7.5	1.6	1.4	0.5
	冬場は →	1.2	0.6	0.9	6.1	15.5	47.6	21.4	4.3	1.2	0.6	0.5
	年間平均すると →	1.2	0.4	1.1	4.3	14.4	44.8	24.4	5.2	1.8	1.3	0.9

(2) また、最近1週間では、どこで飲みましたか。それぞれの場所で飲む量がどのくらいの割合になるかを数字でお書きください。

【最近1週間での飲む場所別の割合】

a. 家庭で飲む	4	9	.2	%
b. 保育園・幼稚園や学校で飲む(給食を含む)	4	9	.2	%
c. 家庭、保育園・幼稚園や学校以外の場所で飲む		1	.6	%
合計	1	0	0	%

乳製品についてお聞きします

【すべての方に】(N=4277)

問 25 あなたは、日頃、乳製品をどの程度食べたり飲んだりしていますか。
次あげる(1)～(4)の乳製品それぞれについてお答えください。
ただし、料理に使う場合は含めないでください。(それぞれ1つずつ○印)

	毎 日	週 に 5 ～ 6 日	週 に 3 ～ 4 日	週 に 1 ～ 2 日	月 に 2 ～ 3 日	飲 ま な い ／ 食 べ な い ／ そ れ 以 下 し か	飲 ま な い ／ 全 く 食 べ な い	NA
(1) 普通のヨーグルト（食べるタイプ） →	13.9	6.0	15.2	20.4	17.2	11.7	15.0	0.7
(2) ドリンクヨーグルト →	2.0	0.8	3.7	8.5	17.4	24.4	40.4	2.6
(3) チーズ →	3.6	2.4	7.8	20.0	25.7	20.2	19.0	1.3
(4) バター →	6.5	4.2	9.7	18.6	19.6	20.9	19.0	1.5

問 26 お宅では、乳製品が冷蔵庫の中に置いてありますか。それぞれについて、あてはまるものをお知らせください。(それぞれ1つずつ○印)

	置 い つ も あ る	多 い 時 の ほ う が	置 い て あ る 時 の ほ う が	多 い 時 の ほ う が 置 い て い な い	置 い て い な い ほ と ん ど	NA
(1) 白もの牛乳類 →	70.7	13.8	6.7	8.3	0.5	
(2) 普通のヨーグルト（食べるタイプ） →	33.4	28.8	21.6	15.3	0.9	
(3) ドリンクヨーグルト →	5.6	9.1	30.3	52.1	2.8	
(4) チーズ →	39.2	20.9	22.9	16.2	0.7	
(5) バター →	60.2	15.2	10.4	13.6	0.7	

【すべての方に】 (N=4277)

問 27 あなたは、昨年、日本でBSE（牛海綿状脳症、いわゆる狂牛病）が発見されてから、白もの牛乳類を飲んだり、乳製品を食べたりすることに変化がありましたか。次の中から、あてはまるものをお選びください。（1つだけ○印）

1	BSEが発見されて以来、牛乳・乳製品の飲食を控えている	4.9
2	一時期、牛乳・乳製品の飲食を控えたが、元に戻った	18.1
3	変わらない	76.9
	NA	0.1

【問 27 で 1 とお答えの方に】 (N=208)

問 28 どのようになれば、元のように白もの牛乳類を飲んだり、乳製品を食べたりできると思いますか。条件としてあてはまるものをお選びください。

1	政府など国が発表することが信頼できること	23.1
2	牛乳・乳製品に関連するメーカーや業者が信頼できること	43.3
3	牛乳・乳製品が安全であることがわかる情報が得られること	57.2
4	その他（ ）	12.0
	NA	-

いろいろな飲み物についてお聞きします

【すべての方に】(N=4277)

問 29 あなたは、次のような項目にあてはまる飲み物はどれだと思いますか。

イメージで結構ですので、ア)～ソ)それぞれについて、あてはまると思う飲み物をいくつでもお選びください。(それぞれいくつでも○印)

	白もの牛乳類	ドリンクヨーグルト	果汁飲料	野菜ジュース	豆乳	炭酸飲料 (コーラ、ファンタなど)	コーヒー	紅茶 (カフェオレを含む)	(ミルクティーを含む)	無糖のお茶飲料 (緑茶、麦茶、ウーロン茶など)	スポーツ飲料 (ポカリスエットなど)	ミネラルウォーター	NA
ア) 口の中がさっぱりする →	5.8	5.3	12.3	6.2	1.2	27.9	7.3	10.7	70.9	28.7	50.1	5.4	
イ) おいしい →	35.1	27.3	44.1	20.1	6.2	25.9	44.5	34.6	44.8	21.3	17.8	5.5	
ウ) 頭がすっきりする →	3.2	1.4	3.4	3.8	0.7	18.2	39.7	11.6	27.6	12.4	10.2	23.1	
エ) 気分転換になる →	5.4	5.1	12.0	5.2	1.2	31.4	53.5	29.8	25.7	14.0	6.0	12.3	
オ) 気分がリラックスする →	10.4	3.8	7.5	4.9	1.0	10.5	47.4	32.5	37.1	12.4	7.5	14.2	
カ) 日ごろかかせない →	38.6	2.8	4.1	6.2	1.7	4.0	33.2	8.2	52.7	6.2	13.0	11.3	
キ) 食事と一緒に飲みやすい →	14.6	1.4	3.5	4.7	0.9	1.1	7.8	5.7	72.7	2.4	18.4	15.7	
ク) 少しずつ飲める →	9.5	7.9	5.1	10.1	10.2	6.1	10.2	5.1	17.1	5.8	7.8	40.7	
ケ) 健康によい →	77.2	40.1	18.9	64.4	54.1	0.3	2.3	3.1	36.2	19.0	20.9	3.0	
コ) 美容によい →	29.2	27.7	15.8	46.2	27.4	0.1	0.9	2.4	23.8	4.8	14.7	23.5	
カ) ダイエットによい →	7.1	8.2	2.9	22.8	18.1	0.2	2.8	2.1	34.0	7.7	21.0	32.9	
シ) 子どもの成長によい →	74.0	26.1	8.9	30.0	27.1	0.1	0.1	0.2	5.5	4.5	4.4	21.2	
ス) 栄養分の補給ができる →	72.2	27.6	16.3	53.0	38.4	0.3	0.7	0.8	5.2	22.5	4.3	9.6	
セ) おしゃれな →	1.1	5.2	4.3	3.6	0.8	4.8	27.3	34.4	5.9	8.3	14.3	37.0	
ソ) 自然な感じがする →	25.5	3.7	9.8	19.5	13.1	1.0	4.0	3.3	45.9	7.6	45.0	17.8	

【すべての方に】 (N=4277)

問 30 あなたは、それぞれの飲み物について、どのような感じを持ちますか。

「1. 全く好感が持てない」から「7. 非常に好感が持てる」までのいずれかの数字でお答えください。(それぞれ1つずつ○印)

		全 持 く 持 好 不 感 が ない		ど い ち え ら 不 も			非 持 常 に 好 好 感 が が		NA
		1	2	3	4	5	6	7	
白もの牛乳類	→	5.2	2.2	1.9	17.5	10.9	16.9	44.9	0.5
ドリンクヨーグルト	→	5.5	3.6	4.0	32.5	15.1	16.7	20.9	1.7
果汁飲料	→	3.1	2.6	4.2	34.3	18.6	17.4	17.9	1.8
野菜ジュース	→	4.7	3.3	3.9	23.4	16.0	19.7	27.6	1.5
豆 乳	→	15.3	7.2	6.4	31.7	11.0	10.6	15.7	2.0
炭酸飲料(コーラ、ファンタなど)	→	19.1	12.5	12.0	29.0	9.8	7.5	8.2	1.9
コーヒー(カフェオレを含む)	→	3.8	2.8	4.6	25.0	14.8	18.7	28.9	1.4
紅茶(ミルクティーを含む)	→	2.8	2.5	4.7	29.1	17.9	20.0	21.6	1.6
無糖のお茶飲料(緑茶、麦茶、ウーロン茶など)	→	1.0	0.4	0.9	10.3	8.0	18.1	60.2	1.2
スポーツ飲料(ポカリスエットなど)	→	3.8	2.9	3.9	29.6	16.0	19.3	22.5	1.9
ミネラルウォーター	→	3.8	2.1	2.6	29.0	11.2	17.0	32.9	1.4

【すべての方に】 (N=4277)

問 31 次の中で、あなたが今まで飲んだことがある飲み物をすべてお知らせください。

(いくつでも○印)

1	白もの牛乳類	95.7
2	ドリンクヨーグルト	80.7
3	果汁飲料	92.8
4	野菜ジュース	87.2
5	豆 乳	63.8
6	炭酸飲料(コーラ、ファンタなど)	88.1
7	コーヒー(カフェオレを含む)	95.3
8	紅茶(ミルクティーを含む)	90.7
9	無糖のお茶飲料(緑茶、麦茶、ウーロン茶など)	98.1
10	スポーツ飲料(ポカリスエットなど)	89.2
11	ミネラルウォーター	84.5

NA -

【すべての方に】(N=4277)

問32 では、あなたは、ふだんの飲み物をよくお飲みになりますか。(いくつでも○印)

問33 また、あなたは、問32でお答えのふだんよくお飲みになる飲み物を評価するとすれば10点満点で何点をつけますか。飲み物に求めるものを、すべて考慮に入れてお答えください。(それぞれ1つずつ○印)

	【問32】		→	【問33】ふだん飲む飲み物について										NA
	ふだんよく飲む↓	N↓		非常に悪い	悪い	普通	優れている	あらゆる点で優れている						
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
白もの牛乳類	67.9	2902	→	0.2	0.1	0.1	0.2	3.2	12.1	5.4	29.8	10.9	37.6	0.4
ドリンクヨーグルト	19.5	835	→	0.2	0.2	0.5	0.7	5.9	17.4	10.5	31.0	10.5	22.0	1.0
果汁飲料	28.2	1207	→	0.2	0.1	0.7	2.1	11.4	32.5	11.4	23.6	7.5	10.0	0.5
野菜ジュース	28.3	1211	→	0.3	0.1	0.2	0.8	4.4	16.4	9.2	30.7	13.0	23.9	1.0
豆乳	9.9	425	→	1.6	0.5	1.4	2.1	7.3	17.9	9.2	22.6	13.2	23.5	0.7
炭酸飲料 (コーラ、ファンタなど)	24.0	1028	→	5.1	2.1	9.1	11.1	20.0	26.4	6.9	10.5	3.3	5.1	0.4
コーヒー (カフェオレを含む)	64.0	2736	→	0.4	0.4	1.6	2.7	11.2	36.4	11.8	21.3	5.7	7.9	0.7
紅茶 (ミルクティーを含む)	34.2	1463	→	0.1	0.3	1.0	1.4	10.1	33.7	14.1	22.2	7.5	8.9	0.8
無糖のお茶飲料 (緑茶、麦茶、ウーロン茶など)	86.3	3689	→	0.1	0.1	0.1	-	3.6	16.5	7.2	25.3	13.3	33.2	0.7
スポーツ飲料 (ポカリスエットなど)	32.9	1407	→	0.1	0.3	0.6	0.9	6.8	20.8	11.2	25.7	12.6	19.6	1.4
ミネラルウォーター	30.7	1314	→	0.2	0.2	0.2	0.3	5.3	22.4	7.4	23.8	12.1	27.7	0.5

なし 0.3 → 問38までお進みください。

NA 0.1

問32でお答えいただいた「ふだんよく飲む飲み物」についてお聞きします

【問32で1～11とお答えの方に】

問34 では、あなたは、問32でお答えいただいたふだんよく飲む飲み物を、どのような時に飲みますか。次の中から、あてはまるものをお答えください。(それぞれいくつでも○印)

	白もの牛乳類	ドリンクヨーグルト	果汁飲料	野菜ジュース	豆乳	炭酸飲料 (コーラ、ファンタなど)	コーヒー (カフェオレを含む)	紅茶 (ミルクティーを含む)	無糖のお茶飲料 (緑茶、麦茶、ウーロン茶など)	スポーツ飲料 (ポカリスエットなど)	ミネラルウォーター
N→	2902	835	1207	1211	425	1028	2736	1463	3689	1407	1314
1) 朝起きぬけに	19.8	5.1	9.0	12.0	4.9	2.6	15.3	4.2	18.1	6.0	28.8
2) 朝食をとりながら	51.7	14.4	12.8	18.7	11.1	1.7	29.4	21.2	36.9	2.6	8.1
3) 朝食後	20.9	10.2	5.0	10.3	8.2	1.3	26.4	9.6	31.9	1.5	5.8
4) 朝食がわりに	12.3	5.3	3.4	10.6	4.9	0.9	6.0	2.1	3.3	1.0	1.1
5) 昼食時	21.4	7.4	8.9	9.7	9.4	6.1	17.9	13.5	58.4	4.1	8.6
6) 夕食時	9.3	2.4	3.4	4.0	5.2	3.8	3.9	3.5	52.5	2.2	8.8
7) おやつや間食時	44.8	39.8	41.8	26.2	21.4	38.1	51.3	48.0	31.3	11.8	7.2
8) 夜食時	6.9	3.0	2.9	3.4	2.4	4.2	4.6	3.5	16.7	3.1	5.3
9) 風呂上がり	43.5	16.3	24.9	18.8	8.5	25.7	3.7	3.0	30.8	27.4	37.7
10) 夜寝る前	21.6	6.3	4.7	4.9	3.3	5.4	4.2	3.3	17.4	7.5	22.1
11) のどがかわいたとき	57.9	19.4	51.0	30.0	15.8	58.0	16.3	17.4	66.2	51.9	62.9
12) ちょっとおなかがすいたとき	23.7	13.7	8.4	11.4	11.3	6.4	7.5	4.9	4.4	2.5	3.0
13) 勉強や仕事をしながら	6.3	2.0	8.2	4.9	2.1	12.4	29.1	18.9	19.3	12.7	8.8
14) レジャーやスポーツ時	4.5	3.1	13.1	4.9	1.4	24.2	7.4	6.0	24.6	62.1	32.7
15) くつろいでいるとき	24.9	13.4	21.3	12.0	7.3	26.6	58.3	51.3	37.1	10.4	9.7
16) 乗り物での移動中	2.6	2.2	13.0	4.0	0.9	21.8	18.1	11.3	27.9	18.7	16.6
17) 来客時	3.3	0.7	6.9	1.2	-	9.1	39.8	30.2	35.2	1.9	2.4
18) その他()	0.9	1.6	1.2	1.0	4.0	1.6	1.1	1.0	0.9	1.3	2.2
NA	0.3	8.1	5.2	5.4	19.8	7.4	1.4	5.7	0.9	4.5	4.9

問35 では、問32でお答えのふだんよく飲む飲み物のなかで、最もよく飲むものはどれですか。(1つだけ○印) (N=4259)

1 白もの牛乳類	15.2	5 豆乳	0.3	9 無糖のお茶飲料 (緑茶、麦茶、ウーロン茶など)	51.2
2 ドリンクヨーグルト	0.5	6 炭酸飲料 (コーラ、ファンタなど)	2.0		
3 果汁飲料	1.5	7 コーヒー (カフェオレを含む)	21.6	10 スポーツ飲料 (ポカリスエットなど)	1.8
4 野菜ジュース	1.3	8 紅茶 (ミルクティーを含む)	1.6	11 ミネラルウォーター	2.5
NA 0.5					

【問32で1～11とお答えの方に】

問36 問32でお答えいただいたふだんよく飲む飲み物を今後も飲み続けることについて、あなたはどのようにお考えですか。3つの文章の中から1つお選びください。
(それぞれ1つずつ○印)

	N ↓	その飲み物はいろいろ良い点があるので今後も飲み続けたい。他の飲み物に変える理由は見当たらない。	その飲み物はこれからも飲み続けたい気もするが、他の飲み物に変えたいと思う点もいろいろある。	その飲み物を飲み続けたいと思う点はほとんどなく、他の飲み物に変えたいと思う点がある。	NA
白もの牛乳類	2902 →	92.5	5.4	0.5	1.6
ドリンクヨーグルト	835 →	71.6	16.0	3.4	9.0
果汁飲料	1207 →	63.2	24.5	4.1	8.1
野菜ジュース	1211 →	76.4	15.3	2.0	6.4
豆乳	425 →	56.0	18.4	7.8	17.9
炭酸飲料 (コーラ、ファンタなど)	1028 →	39.4	42.3	10.6	7.7
コーヒー (カフェオレを含む)	2736 →	75.7	20.2	1.5	2.6
紅茶 (ミルクティーを含む)	1463 →	71.5	21.1	1.5	5.9
無糖のお茶飲料 (緑茶、麦茶、ウーロン茶など)	3689 →	92.2	4.9	0.4	2.5
スポーツ飲料 (ポカリスエットなど)	1407 →	72.2	19.7	1.9	6.2
ミネラルウォーター	1314 →	81.0	11.3	1.8	5.9

問37 私たちは人生や日常生活でいろいろな選択をします。それには重要な選択もあればそれほど重要ではない選択もあります。結婚相手を誰にすべきかや、そもそも結婚すべきかなどといったことは、多くの人にとってとても重要な選択になるでしょう。一方、紙コップの銘柄を何にすべきかといったことはあまり重要でないかもしれません。そこでお聞きします。飲み物を選ぶということは、あなたにとってどれくらい重要なことですか。次の5つの中からお選びください。(1つだけ○印) (N=4277)

1 とても重要	13.8	3 重要	47.3	4 あまり重要でない	24.9
2 かなり重要	10.8			5 全く重要でない	2.4
				NA	0.8

健康や食生活についてお聞きします

【すべての方に】(N=4277)

問38 次にあげる白もの牛乳類に関することがらについて、(1)、(2)、(3)にあてはまるものをすべてお答えください。(それぞれいくつでも○印)

- (1) あなたが、この半年くらいの間に、テレビや新聞、雑誌などで見たり聞いたりしたものはどれですか。
 (2) あなたがその通りだと思えるものはどれですか。
 (3) あなたが魅力を感じるもの、関心のあるものはどれですか。

	(1)この半年くらいの間に見たり聞いたりしたもの (いくつでも○印) ↓	(2)その通りだと思えるもの (いくつでも○印) ↓	(3)魅力を感じる／関心のあるもの (いくつでも○印) ↓
1) 牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている	62.5	75.8	43.7
2) 牛乳を朝飲むと、体温が上がり体が目覚める	4.9	7.2	11.9
3) 牛乳は血糖値の上昇がゆるやかなので、ダイエット効果がある	6.6	6.9	19.8
4) 牛乳を寝る前に飲むことで気分がリラックスして安眠できる	29.6	25.1	20.8
5) 牛乳に含まれるカルシウムは、骨を丈夫にし子供の身長の伸びを助ける	51.7	64.1	31.6
6) 牛乳のたんぱく質には、ニオイの原因となる物質を包み込み体外に出す働きがある	17.1	18.1	16.5
7) 牛乳の良質なたんぱく質やビタミン類は、ハリやツヤのある肌をつくる	15.5	20.6	21.6
8) 牛乳は少ないカロリーで効率よく必要な栄養素がとれるので太らない	12.0	15.4	21.5
9) 牛乳に含まれる乳糖は腸内細菌のバランスを改善し有害物質の発生を防ぐ	14.1	18.0	20.0
10) 牛乳はスポーツの後に飲むと体力づくりに効果がある	10.4	16.6	17.0
11) 牛乳のカルシウムは魚や野菜のカルシウムよりも体に吸収されやすい	29.3	36.5	28.6
12) 牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている	50.3	57.6	42.6
13) ひとつもない	17.6	6.3	14.6
NA	3.3	1.6	5.4

【すべての方に】(N=4277)

問39 あなたは、ご自分の健康の維持や体力づくりのために、ふだんどのようになさっていますか。次の中から、主なものを1つだけお答えください。(1つだけ○印)

1 健康や栄養バランスを考えて食事をしている	49.5
2 市販の薬やサプリメント(栄養補助食品)をよく利用している	5.4
3 上の1と2の両方をおこなっている(食事と薬・サプリメント)	10.0
4 特に何もしていない	34.4

NA 0.7

あなたご自身のことについてお知らせください。
統計分析に必要ですので、ありのままお答えください。

【すべての方に】 (N=4277)

F 1 性別

1 男性	45.5	2 女性	54.5	NA	-
------	------	------	------	----	---

F 2 年齢

4	7	.1	才 (平均)
---	---	----	--------

F 3 あなたは結婚なさっていますか。(1つだけ○印)

1 未婚	24.2	2 既婚	72.8	3 その他	2.8	NA	0.2
------	------	------	------	-------	-----	----	-----

F 4 お子さんはいらっしゃいますか。

1 いる	67.7	2 いない	32.0	NA	0.3
------	------	-------	------	----	-----

F 5 あなたのご職業は何ですか。あてはまるものを1つだけお答えください。

(1つだけ○印)

【自営・家族従業】		【勤め】		【無職】	
1 農林漁業	3.1	5 管理職	4.5	11 専業主婦	17.3
2 商工サービス業	5.8	6 専門・技術職	11.4	12 中学生	2.3
3 自由業	3.5	7 事務職	8.3	13 高校生	4.0
4 内職	0.5	8 労務職	5.8	14 中高生以外の学生	2.9
		9 販売・サービス職	5.4	15 無職	15.2
		10 パート・アルバイト	9.9		
				NA	0.4

F 6 同居しているご家族の人数を、ご自分も含めてお知らせください。(1つだけ○印)

1 1人 (ひとり暮らし)	5.7	4 4人	23.7	7 7人以上	4.1
2 2人	23.2	5 5人	13.4		
3 3人	22.3	6 6人	7.5		

NA 0.1

【同居している家族人数が2人以上の方に】 (N=4029)

F 7 あなたはご家族の中で、次のようなことを主に担当なさっていますか。あてはまるものをお答えください。(いくつでも○印)

1 料理をする	47.2	3 どちらもしていない	45.0
2 食料品の買物をする	47.6		

NA 0.3

【同居している家族人数が2人以上の方に】(N=4029)

F 8 お宅の家族構成(同居している家族)を、次の中から1つだけお選びください。

(1つだけ○印)

1	夫婦2人	20.1
2	2世代世帯(親と子)	56.8
3	3世代世帯(親、子、孫)	20.5
4	その他()	2.4
	NA	0.2

【F 8で2、3、4と答えた方に】(N=3210)

F 9 では、同居しているご家族に、次のような方はいらっしゃいますか。該当するものをいくつでもお答えください。(いくつでも○印)

1	乳児・幼児	16.8	4	高校生	19.6
2	小学生	20.9	5	大学・短大・専門学校生	11.0
3	中学生	18.1	6	この中にはない	43.0
			NA		0.7

長時間にわたりご協力いただき、ありがとうございました。

2002年 牛乳・乳製品の消費動向に関する調査
〔第16回〕

2002年12月発行

発 行 社団法人 全国牛乳普及協会
東京都千代田区一番町22-1
一番町セントラルビル
電話 (03) 3262-7181 (代)

後 援 農 林 水 産 省
農畜産業振興事業団

調査実施機関 株式会社 日本リサーチセンター